

社会福祉法人 三養福社会

令和5年度 事業報告書



H10.4 開設

特別養護老人ホーム三養苑



H14.6 開設

サンホーム 桑才



H15.12

特別養護老人ホーム 箕面の郷



H18.8 開設

特別養護老人ホーム 穂原の郷



H19.4 開設

特別養護老人ホーム 白浜日置の郷



H20.6 開設

特別養護老人ホームサンフォート武庫之荘



H23.5 開設

特別養護老人ホーム穂原の郷 別館



H24.4

養護老人ホーム・地域密着型特養 四宮三養苑



H24.6 開設

特別養護老人ホーム 田辺の郷



H25.4 開設

ケアハウス 白浜樺の郷



H29.4 開設

事業所内保育所 わくわく保育園



H30.7.1 開園

ゆめの樹 保育園



H31.11.1 開設

特別養護老人ホーム 網島の郷



H31.4.1 開園

大正ゆめの樹保育園



令和2年11月1日開設

プライムガーデンズ高円寺

★特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
三養苑診療所
サンホーム 桑才
門真第5包括支援センター

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所

三養苑
三養苑
三養苑
三養苑

白浜日置の郷
白浜日置の郷
白浜日置の郷
白浜日置の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
ケアハウス
箕面の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所

箕面の郷
箕面の郷
箕面の郷
箕面の郷
箕面の郷

サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
認知症対応型共同生活介護
別館
リハビリデイサービス
介護員養成校
事業所内保育所

養護老人ホーム
地域密着型特養
短期入所生活介護
デイサービスセンター

ケアハウス

穂原の郷
穂原の郷
穂原の郷
穂原の郷
穂原の郷
穂原の郷
穂原の郷

四宮三養苑
四宮三養苑
四宮三養苑
四宮三養苑

白浜樺の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
高円寺わくわく保育園

★認可保育所
ゆめの樹 保育園
大正 ゆめの樹 保育園

網島の郷
網島の郷

プライムガーデンズ高円寺
プライムガーデンズ高円寺

令和5年度
社会福祉法人 三養福祉会
特別養護老人ホーム 三養苑
事業報告書

- ・ 特別養護老人ホーム 三養苑
- ・ 短期入所生活介護 三養苑
- ・ デイサービスセンター 三養苑
- ・ グループホーム サンホーム桑才
- ・ 居宅支援事業所 三養苑
- ・ ヘルパーステーション 三養苑
- ・ 門真第5地域包括支援センター

令和5年度各活動報告

■行事/レク委員実施報告

【レクリエーション活動内容】

毎月第3日曜日に担当者が企画し、おやつ作りを行い、インスタにアップする。

開催月	レク内容	報告
4月	マシュマロ ＆ プリン	3/20に予定していたマシュマロデコレーションを行いました。 4/17にプリンレクを行い、コロナ禍に負けずないように甘いもので癒しを提供しました。
5月	フルーチェ	フルーチェを作り、コーヒーと一緒に提供しました。感染防止のため皆で一緒に作ることができず、職員が作っているのを見て頂くのみとなりました。
6月	四季の 和菓子	季節限定の四季の和菓子を提供しました。 コーヒーとジュース、お茶の3種から選んで頂きました。
7月	羊羹と ゼリー	冷たいゼリーや羊羹など召し上がっていただき、清涼感を味わっていただきました。
8月	シャーベット と フルーツ ゼリー	シャーベットとフルーツゼリーを提供しました。 カルピスで作ったシャーベットは冷たくておいしいと好評でした。 ゼリーは6種類の中から選んで頂きました。
9月	フルーチェ	フルーチェと飲み物を提供しました。 ジュースとコーヒーを選んで頂き、美味しいと喜ばれていました。
10月	クレープ	クレープ作りを行いました。焼くのは入居者様に手伝って頂きました。 盛り付けも一緒に楽しみ、美味しかったとおっしゃってくださいました。
11月	お汁粉	温かいお汁粉に喜ばれていました。
12月	パンケーキ	パンケーキを作り、温かいコーヒーで召し上がっていただきました。 コーヒーの香りに喜んでおられました。
1月	おしるこ	おしるこの中に具材として柔らかくしたさつまいもをトッピング。 皆様完食してくださいました。
2月	どら焼き	カルピスを作り、どら焼きとカステラを選んで頂きました。
3月	カルピス	ホワイトデーとしてどら焼きにホイップクリームでデコレーションし、 カルピスで召し上がって頂きました。

《反省と課題》

美味しいおやつで笑顔になって頂けるメニューを立案し、一緒に作る楽しさを味わって頂くためを目的に企画しているが、企画書の提出が遅く、当日準備がスムーズにいかず、職員間の連携不足がみられた。今後は、早めの企画立案と、職員間に届知できるよう準備を行い、楽しいひと時を職員で盛り上げていきたい。

■誕生日会実施報告

【活動内容】

誕生日当日にパースターケーキまたはココアケーキを召し上がって頂けるよう管理栄養士と

準備し、昼食時に厨房から出して頂き、昼食を食へ終わった頂にハッピーバースデーを歌いながらケーキを提供する。皆集め方にはムースケーキを発注し、看護師と共に居室にてお祝いをする。プレゼントは各居を担当が家人様へ連絡し本人または家族が希望するものを準備する。

開催月	人数	報告
4月	7名	BDソングと共にケーキと家族様からのお手紙をお届けしました。
5月	4名	ビールと赤飯、から揚げに刺身を希望され、昼食を変更し召し上がって頂きました。今まで一番の笑顔で喜ばれていました。
6月	2名	粉から作る本格コーヒーを提供しました。
7月	3名	BDソングと共にケーキをお届けしました。
8月	6名	とろけるゼリーをプレゼント。 食堂にて歌と一緒にお届けしました。
9月	3名	手作りの色紙をプレゼントしました。
10月	7名	希望のたこ焼きは夕食時に提供し、昼食時にはズボンやクッションをプレゼントさせていただきました。
11月	9名	BDソングと共にケーキをお届けしました。
12月	6名	手作りの誕生日カードをプレゼントしました。
1月	10名	BDソングと共にケーキをお届けしました。
2月	13名	当日はケーキでお祝いし、後日プレゼントとしてミニパフェとプリンをお届けすると笑顔で美味しいと喜ばれていました。
3月	7名	今年も100円ビールを希望されNSに了解いただいたため提供、コーヒーとおやつなどを食堂にて歌と一緒にお届けしました。

《反省と課題》

家人様へ連絡した際に、連絡が繋がらなかったり、「お任せします」や「そっちでやってくれ」など協力を得られないことがあり、今後はあえて連絡せず施設内でお祝いをさせて頂くこととなりました。事前連絡や当日持参されたプレゼントはお預かりさせて頂き、誕生日当日にお渡しさせて頂き、心を込めたお誕生日会を開催したいと思います。

■行事実施報告

【活動内容】

毎月第1日曜日に各担当職員が企画・準備・ラジカメ撮影やインスタUPまでを行う。

開催月	行事名	行事内容・報告
4月	中止	コロナ感染症にて行事中止となる。
5月	端午の節句	鯉のぼりの貼り絵を行いました。 おやつのマロンワッフルも好評で美味しかったと喜ばれていました。
6月	塗り絵	あじさい塗り絵レクを行いました。準備体操として棒体操を行いアイスクリームを提供しさっぱりしたと喜んで頂けた様子です。
7月	七夕	短冊に願い事を書いて頂き、笹に飾りつけを行いました。 ジュースは美味しいと喜ばれました。
8月	白昼月	おやつについた糸を手繰り寄せて、手元に来たおやつを召し上がって

		頂きました。点描きや色塗りなどをして楽しんで頂きました。
9月	敬老の日	マシュマロとトッピングにチョコレートソースかトッピングシャワーをかけて召し上がって頂きました。飲み物はコーヒーとオレンジジュース、リンゴジュースから選んで頂きました。
10月		コーヒーゼリーにホイップクリームをトッピングして楽しんで頂きました。
11月	間違い探し	間違い探しを根気よくされていたため、あんみつやプリンでひと休みして頂きました。
12月	クリスマス	クリスマスカードに色を塗って頂きました。 ミニドーナツやチョコレートなどと一緒にジュースで一息楽しまれました。
1月	お正月	お正月カードを作り、今年1年の抱負を書いて頂きました。 最後にシールでデコレーションして楽しまれていました。
2月	節分行事	鬼を貼った段ボールにボールを投げて鬼退治をして頂きました。 和菓子とコーヒーかお茶を召し上がって頂きました。
3月	桃の節句	ロールケーキとアボカドジュースでひな祭りを楽しんで頂きました。

《反省と課題》

コロナの影響もあり行事らしい行事を行えず、季節感を味わって頂くことができなかった。
5類に分類されることから、今後は季節感を味わって頂けるような企画を立てたり、外出できなかった時期が長いので外出行事を盛り込んだ内容で楽しんで頂きたい。

■広報委員実施報告

【活動内容】

行事やレク、誕生日企画担当者が楽しまれている様子や喜ばれている表情などを、家族了解の上三養苑ホームページ上のインスタにアップする。

「家族様への手紙」はアンケートを実施し、希望される方のみ、4か月ごとに郵送させて頂きました。

《反省と課題》

笑顔溢れる写真や動画を撮ることが少なかった。インスタ方法も全職員へ周知されておらず特定の職員のみで対応していたためホームページ上へのアップもできていなかった時もあった。

今後は、全職員が対応できるようマニュアル化し、笑顔溢れる様子を家族様に見て頂けるようにする。

■介護サービス計画委員実施報告

【活動内容】

介護サービス計画委員が、毎月第3金曜日のサービス担当者会議に必要な確認事項を踏まえて、日々の状態観察で得られた情報、疾病、現ケアプランに沿って、各担当者や他委員等の意見を聞き、連携しアセスメントを行う。状態悪化などで変更が必要な利用者様については、再度アセスメントを行う。サービス担当者会議に出席し、決定事項はスタッフ会議にて報告する。

緊急連絡先や家族希望の受診先についての連絡票を作成しケースファイルに挟む。

《反省と課題》

職員からの情報共有を行い、偏りのない意見となるように努めた。アセスメント作成時にケース記録からの十分な情報が得られにくいとは引き続き今後の課題として、見直しを検討する。

■接遇推進/身体拘束/虐待防止委員実施報告

【活動内容】

接遇マナー5原則【挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉づかい】の向上と浸透を図ることを目的として、月に1度、他部署合同の会議を開催し、身体拘束/虐待防止/接遇推進委員会を行い虐待防止/接遇マナー向上に取り組む。

今年度はハラスメントについて強化した内容を委員会活動で行いました。
様々なハラスメントによる問題が利用者様、家族様含め職員間でも起こり得ることから接遇面の見直しと共に職員へのストレスケアまで委員会で話し合いました。
アンケートによる現場の状態把握を行い、職員への意識付けを重点的に実施しました。

《反省と課題》

委員会で話し合った内容が職員へのフィードバックに繋がっていないかった。内容が抽象的な部分が多く、理解が難しかったのが要因のひとつだと思われる。今後は納得するまで話し合い内容を理解した上でフィードバックを忘れず行う。

■介護技術向上委員会実施報告

【活動内容】

オンライン研修を受講し動画視聴後にレポートを入力する方法では他人事のように捉え、身に付くことが難しいため、今年度は無料配信している動画を見ながら合同で研修会を行った。当日参加できない職員には資料配布し、各自無料動画を見て頂くようにした。

開催日	勉強会内容
5/26(木)	新人学習会「感染症(新型コロナウイルス)」
6/23(木)	新人学習会「緊急時の対応」
7/28(木)	食中毒
8/25(木)	介護職員の倫理及び法令遵守
9/29(木)	認知症及び認知症ケア
10/27(木)	感染対策の基礎知識
11/24(木)	リスクマネジメント
12/29(木)	褥瘡対策
2/23(木)	虐待につながる「不適切ケア」/ 身体拘束「スピーチロック」
3/30(木)	介護事故防止

《反省と課題》

以前のように職員が講師となり対面での研修会を行っていないため、介護技術面も知識面も低迷してきているため、今年度は個々で動画を見るのではなく、合同で視聴し、話し合える環境の中研修会を行った。しかし、動画視聴と資料配布だけではスキルアップに繋げるのが難しいため、今後は以前のように職員が講師となり、資料作成から行い、個々のスキルアップに繋げる。

■介護事故防止委員実施報告

【活動内容】

毎月第4日曜日に当日出勤職員で、報告書やヒヤリハット報告書を見返し、事故原因を考察し、対応策を検討する。検討した内容をスタッフ会議で報告し、再度周知徹底していく。
また、事故統計を作成し、3ヶ月に一度の事故防止委員会に参加する。

《反省と課題》

昨年同様ヒヤリハット件数が少なく、介護過誤による事故が続くことがあった。危険予測に対する意識が低いのが原因かと思われる。事例検討会の開催、介護事故研修会を行うことで職員の意識向上に繋げていく。

■排泄支援・褥瘡防止委員実施報告

【活動内容】

看護師主催で開催され、褥瘡予防対策を立案・検討しスタッフ会議にて周知徹底を図る。
また、入浴時や排泄時・食事介助時などでの皮膚トラブルの現状把握と対策について委員会の中で話し合いアンケート結果、実施・評価を行う。
同時に各利用者様への個別支援の為、排泄支援計画表の作成(3月・6月・9月・12月)を行う。
排泄に関する全般の状態把握を行い、自立支援を目指していく。

《反省と課題》

排泄時や食事介助後のケアについて継続して行うことができなかった。職員への周知徹底もできておらず、排泄支援として利用者目線でケアを提供できるようスキルを上げていく。
引き続き、統一したケアの提供ができるように職員間での情報共有に努める。

■備品管理業務実施報告

【活動内容】

備品に関して、定期的に点検を行い安全な環境を維持する目的で行う。
毎月第2日曜日に当日出勤者で行い、情報収集する。

《反省と課題》

備品の不足や故障個所などの報告・連携・相談ができていなかった。
必要な時に必要な物品が常時あるように備品管理を徹底する。

■美化業務および物品発注実施報告

【活動内容】

毎月第2・5日曜日を美化業務の日とし、午後より美化業務を行う。年間美化業務計画をもとに普段の業務の中では出来ていないダンス内の整理や窓ふき等を行う。
物品発注は毎週水曜日の業務内にて物品庫の整理整頓と物品補充、不足品の発注まで行う。

期間	内容
適宜	ダンス・ライト・トイレ等の破損箇所の確認
適宜	手すり・ラール等のハイター消毒
適宜	各階棚の整理整頓
適宜	ベット廻り・ベット欄・ダンス上のハイター消毒

10月～	カーテン・窓・網戸の掃除
11月	不要義歯の処分(義歯リサイクル協会へ郵送)

4月	破損個所の点検・報告	10月	タンス内整理・衣類確認(衣替え)
5月	各居室の通気口掃除	11月	カーテン洗濯
6月	タンス内整理・衣類確認 (衣替え)	12月	ベット周り掃除
7月	汚物庫整理	1月	居室棚整理
8月	掃除道具・マットBOX点検	2月	備品破損箇所点検
9月	窓・網戸拭き掃除	3月	冷蔵庫掃除・備品点検

《反省と課題》

スタッフルームや居室、共有スペースも整理整頓や掃除が行き届いておらず、雑然とした環境の中で、破損や故障などの報告が遅れ、不足した物品により業務や利用者様に支障をきたす場面もあった。今後は職員間での意識付けと徹底した環境整備に努め、感染症防止に繋げる。

令和5年度 施設サービス計画書 報告

■ 暫定的な施設サービス計画の作成について。

【内容】

施設サービス計画書の作成においては、まず暫定的な施設プランの作成を行い、入居前の心身の状況や本人様の生活に対する意向、家人様の意向を収集・把握し、立案していく。

入居後1ヶ月間は暫定施設プランに基づいて様々な介護サービスを提供していく。

【結果】

新規入居者様16名の暫定プランを作成するが、入居前面接調査に基づき、各専門職より事前聞き取りアセスメントを収集し、スムーズに暫定プランの作成に努める事が出来た。

(暫定プラン作成においても、入居者様や家人様の思いや意向を汲み取り、作成することができた。)

【内容】

毎月第3水曜日にサービス担当者会議を開催する。チームカンファレンスを定期的に行い、各種専門職からのアセスメント(課題分析)シートを収集し、事前にケアマネが作成した原案をもとに情報の共有及び様々な意見交換を行い、月対象者・退院後・新入居者・状態悪化等でプラン変更の入居者様の個別プランの作成に努めた。

【結果】

毎週第3水曜日の開催を行い、他職種のメンバーが変わる事もあった為、様々な意見交換が出来た様に思う。(アセスメント収集がきちんとできている。)

入居者様それぞれが様々なニーズと課題をかかえており、各種専門職の意見や見解等を総合しプラン作成に努めた。又、状態悪化等で、プラン変更が必要な入居者様に関しては再アセスメントを行うと共に、その都度カンファレンスを行い、変更プランの作成を行った。

又、新入居者様には暫定プランを基に新プランの作成に努めた。

又、個別機能訓練・褥瘡予防・栄養ケア計画プランに基づき総合的に個々のプラン作成に対する話し合いを行えた。

毎月褥瘡対策委員会に参加し「褥瘡対策に関するケア計画」を生活相談員、介護・看護主任管理栄養士と共に作成を行い、今までより更に各入居者様の皮膚状態の把握及び確認(処置)栄養状態の把握を行い、悪化時は専門医受診を行う事等で皮膚状態悪化傾向であった入居者が良くなったり、悪化を繰り返される入居者様には再度褥瘡ケア計画の見直しを行い、少しずつ皮膚状態の改善傾向が見られた。

月対象者が病状悪化傾向の為、途中入院となり、そのまま退居となる何名かの入居者様がおられた。又、新入居者様が増えられたが、施設生活に早く慣れて頂ける様、随時居室を訪室し慣れていただけるよう随時居室を訪室し、コミュニケーションを図ることが出来ていた。

【内容】

入居後～6ヶ月間の施設サービス計画書においては、暫定プラン作成後、家族様への説明を行う際、本人様及び家族様の意向をしっかり聞き、プランに反映して行く。24時間切れ目のない生活をサポートするために、施設内の各種専門職がサービスを提供にするに当って、

様々な視点でのアセスメントを行い、サービス担当者会議で立案し、入居者様ごとに個別の正式な施設サービス計画書の作成に努める。

【結果】

暫定プラン作成後、家族様への説明を行う際、しっかりと本人様、家人様の意向を聞き、プランに反映出来た。各専門職から提出されたアセスメント表を基に、カンファレンスを行い、本人様や家人様の意向を踏まえて、ケアプラン作成に努めた。又、定期的にプランの見直しを行い再アセスメントを施行、状態の変化等モニタリングの結果を踏まえて更新プランや変更プランの作成を行えた。（入居者様ごとに個別のサービス計画書の作成を行えた。）

個別支援計画として、生活リハビリ（嚥下体操・レク活動等）を行い、個別サービス計画に導入嚥下機能の低下を防ぎ、ADLの維持・向上に努める事が出来ていた。

【内容】

入居者様、家人様の生活に対する意向や希望がアセスメント項目に反映されているかどうかの確認及び把握を行うと共に施設サービス計画書が、入居者様の自立性、安全性、快適性を踏まえた上で作成していく事に重点を置く。

【結果】

入居者様の中には、意思疎通困難な為、明確な意思の確認が出来ない事も多々見受けられたが、家人様の意向をしっかりと聞くと共に入居者様の安全性、快適性を主とし、プラン作成するように努めた。又、アセスメント実施に関しては、基本動作・移動・移乗・食事・排泄・意思の伝達・入浴・着脱・介護度・疾患等から状況を把握し、ニーズに応じた入居者様本位のアセスメント表を作成出来た。

【内容】

施設サービス介護計画と連動し、施設リスク計画を立案する。ヒアリハット等の報告や職員の気づき集に基づき、リスクマネジメントを行い、その都度サービス担当者会議を行う。又、Drよりリスクの高い入居者様に関しては、現在の状況及び今後予知される急変リスクについて、家人様とのムンテラ後、サービス担当者会議に移行し、今後の方向性をカンファレンスし家人様の希望も含めて、リスクプランの作成を行っていく。

【結果】

本年度は3名のリスク会議を行い、リスク計画を作成する。

- ①機能低下による、誤嚥性肺炎のリスク⇒咀嚼や嚥下機能の把握を行い、誤嚥に注意しながら介助を行っていく。
- ②傾眠に栄養状態の低下や脱水にて状態が悪化する可能性のリスク⇒水分をこまめに提供し、脱衣に注意する。
- ③左下肢深部静脈血栓症有り、全身状態の把握を行い、体調の変化に注意して行く。
- ④仙骨部に褥瘡有り、自力体動困難有り、今後悪化するリスク有り、皮膚状態の把握・保清強化を行い体調を管理して行く。

【内容】

ニーズの変化や新たな問題が発生していないか等的確に分析し、1、3、6ヶ月評価を随時行っていく。プランの変更(新たな問題が発生した際や退院後のADL低下等)を随時行っていく、再アセスメントを行う。又、目標の達成等の観察や確認、評価を行っていく。

【結果】

支援経過記録(ケース記録)をもとに常に入居者様の状態把握を行い、変化があれば必要に応じ、ケアプランの変更を考慮して行くことに努めた。

同時に3、6ヶ月評価においても計画に沿ったサービスが提供されているか、計画に基づいたサービス提供する事で課題はないか(ニーズ・解決に向けた内容になっているか)等計画の目標達成に向けたサービスとなっているか等の観点からモニタリングを進めて行きあらたな計画を作成する上でのアセスメントに必要な情報の把握を行う事に努めた。

3ヶ月毎のモニタリングにおいては、入院、退院の日等に合わせてではなく、その月の最終の日に合わせて、30日か31日に日付けを統一し、取り組んだ。

個別機能訓練においては、なるべく細かく訓練内容や実施記録を記入し、モニタリングを行えた。また、日常生活動作に対しては自己にて行える事は自己にて行えるよう他職種との統一したケアを行えた。

■ サイン及び捺印について

【内容】

立案した施設サービス介護計画書および施設リスクプランは、御家族様にケアプランの説明をし、同意を得、サイン及び捺印をいただく。

【結果】

暫定プランにおいては、新入居者様の契約の際、家人様へ説明を随時行っていたが、感染予防のため、年度末より面会自粛が続き、新入居者の家人様への説明が行われていない状況あり。

本プランも同様であり、コロナ渦の中、外部との接触を断っている為、今後、どのようにプランの説明・サイン及び捺印を行うかの検討要す。→新入居様に関しては、契約の際に、暫定プランの説明を行っている。

■ 反省点及び今後の課題について

アセスメント→暫定プラン→サービス担当者会議開催→本プラン作成→ケアの提供→モニタリングというケアプラン作成の一連の流れは計画通りに出来ていたように思う。

又、プラン作成にあたっては、入居者様のその人らしさを大切に、残存機能の維持、向上を目標に作成する事が出来たように思う。

毎月褥瘡対策委員会に参加し、褥瘡対策に関するケア計画」を相談員・介護及び看護主任、管理栄養士と共に話し合いを行い、褥瘡計画や悪化リスク等注意が必要な方・様子観察を行う方等を現在の施設計画に反映・連動し、細かな処置やケアの提供を行い、入居者様が穏やかな生活を送っていただけるよう配慮していきたいと考えている。

暫定プラン・本プランのサインについては、月に一度、相談員が領収書等を家人様へ郵送する際、二部コピーを入れ一部を返却していただく。

又、リモート面会の際や物品衣類の差し入れの際等にサインをいただくよう心得ていく。

事業報告書

管理栄養士

■褥瘡会議について

【内容】

月1回褥瘡会議に参加。

【結果】

栄養状態が低下している方や皮膚状態の悪化がみられる方などの情報を他職種と共有し、早期に対策を立て、褥瘡への移行を防止したり、褥瘡を治癒・改善したりすることができた。

【反省・課題】

今後も継続して参加していく。

■非常食について

【内容】

非常食の置き場所や使用方法について、介護職員への説明を行った。
また、メーカー廃版などに伴い、現在使用している非常食の買い足しが困難なため、別の商品への変更を検討。

【結果】

災害時スムーズに非常食を提供できるよう、勉強会を行い、非常食の置き場所や使用方法をレクチャーし、また、今回勉強会に参加されていない方もわかるように非常食置き場にマニュアルを掲示し、誰でも準備できるようにした。
現在使用している非常食は、賞味期限切れのものから順次、別の商品に切り替えていく予定。
どの非常食を取り入れるか、介護職員や看護職員にも実際に試食や使い勝手を見ていただき、非常食の選択を行った。

【反省・課題】

新しい非常食に切り替わったら、再度非常食の提供方法の説明やマニュアルの作成など行う必要があるため、しっかり準備を行い、災害時に備える。

■グループホームの栄養管理体制加算について

【内容】

定期的にグループホームへ訪問し、栄養管理指導を行った。

【結果】

栄養管理や衛生管理などに関する指導を行い、利用者様により良いサービスを提供することができたと考える。
介護職員との関係性が構築できてきたため、栄養管理に関する情報共有がしやすくなった。

【反省・課題】

体重が増加する方が多くみられたため、栄養状態を維持しつつ体重管理を行っていく必要がある。
食事だけでなく間食や運動量など他の面からもアプローチしていきたい。

令和5年度 医務事業報告

◆安全・衛生管理

(1) 健康管理

入居者・利用者の個々の健康状態を把握し、異常の早期発見・早期治療・合併症の予防のため、日々の健康管理(バイタル測定や定期的な検査、服薬・点滴・創処置)を行った。
多職種と連携をとり、入居者一人一人の身体状況を考慮し、管理医師や往診医(歯科・精神科)による治療に繋げた。
また、職員の体調不良に対しても相談を行った。

- ・糖尿病患者に対して、定期的な検査を実施し適切な内服やインスリン投与を行った。
(糖尿病患者:19名 うち内服投与:12名 インスリン投与:2名)
- ・バルーン留置者に対して、日々の排泄量の確認や管理を行うとともに受診先の病院の連携に努めた。
(バルンカテーテル留置者:5~6名)
- ・在宅酸素使用者に対して、適切な管理を行った。
(在宅酸素使用者:1名)
- ・胃瘻造設者に対して、定期的な検査にて栄養状態の確認を行い、確実な胃ろう注入を行った。
(胃ろう増設者:2名)
- ・人工肛門使用者に対して、適切な管理を行った。
(人工肛門使用者:2名)

(2) 感染症対策

感染症予防対策の基本として、標準予防策(スタンダードプリコーション)の浸透を図るため、勉強会を行う外部研修に参加し、感染症予防意識の強化を図った。
感染症予防委員会と連携し、施設内でのコロナウイルス・インフルエンザウイルス・ノロウイルス等の発症予防・対策に取り組んだ。また、流行時期に合わせ、フロア移動制限・面会制限や外部との接触を避ける事で発生を防止することができた。
新型コロナウイルス対策について、厚生労働省や保健所・大阪府の発表情報を基に、可能な範囲での対策を講じた。
新型コロナウイルス感染発生時、速やかな隔離・ゾーニング・感染対策を行った。
また、保健所の指示の元、入院調整や往診Drの診療の補助や治療に協力した。
入居者・職員に対して、新型コロナワクチン接種を実施した。
(6回目、入居者:82名 職員:76名)(7回目、入居者:85名 職員:61名)
入居者・職員に対して、インフルエンザワクチン接種を実施した。
(入居者:88名 職員:63名)
結核予防法に基づき、入居者に対して胸部レントゲン撮影を行った。
(入居者:79名)

(3) 褥瘡予防

褥創予防委員会・スキンケア委員会会議に参加し、多職種と連携し、皮膚トラブルの早期発見・早期治癒に努めた。
褥創悪化者に対して、個別の褥創ケア計画を作成し、介護・看護で統一したケアを行うことで早期の症状改善を図った。
また、栄養士とも連携を取りながら栄養状態の把握に努めた。
排泄ケアの統一を図るため、マニュアル作成を行った。

(4)機能訓練

入居者の毎日の習慣として嚥下体操や軽作業を行うことで、認知症悪化予防に努めた。
ケアカンファレンス・サービス担当者会議への参加にて、介護・看護共に統一したケアを目指した。

(5)職員の技術・知識向上

看護職員の資質向上・介護職員の技術、知識向上のため助言・指導研修を行った。
職員全体に身体拘束防止の意識付け徹底の働きかけを行った。

(6)物品および衛生管理

医薬品や医療物品の使用期限や在庫管理・メンテナンスを行い、物品の無駄をなくした。
入居者居室や医務室・介護室の環境衛生保持として、室温・湿度管理や換気・環境の衛生管理及び
美化などの強化に努めた。

特別養護老人ホーム 三葉苑 令和5年度 報告書

令和5年度(令和5年4月1日—令和5年9月30日)

令和5年度(令和5年10月1日—令和6年3月31日)

定員：特別養護老人ホーム△60名、短期入所10名							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月平均
定数	1800	1860	1800	1860	1860	1800	1830
入居定数(累計)	1812	1858	1800	1859	1885	1800	1835.7
在籍者1日平均	60.40	59.94	60.00	59.97	60.81	60.00	60.2
入院差引き(実数)	1701	1726	1722	1799	1812	1696	1742.7
入籍差引き(実数)	56.7	55.7	57.4	58.0	58.5	56.5	57.1
1日当り実費(空床率)	6.17%	7.10%	4.33%	3.23%	3.92%	5.78%	5.09%
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0
新規入所者数	1	1	2	1	1	0	1.00
退所者(内死亡者)	2(1)	2(0)	0	1(1)	1(1)	0	1.75(0.8)
1日当り入院者平均	3.70	4.26	2.60	1.94	2.35	3.47	3.05
入院日数(1ヵ月累計)	111	132	78	60	73	104	93.0
平均入所率	100.7%	99.9%	100.0%	100%	101.3%	100%	100.3%
短期入所者(老人職)	403	413	333	332	346	402	371.5
特養+短期定数	2100	2170	2100	2170	2170	2100	2135
月当り在籍者数	2104	2139	2055	2131	2158	2098	2114.2
1日当り実費(床者数)	70.13	69.00	68.50	68.74	69.61	69.93	69.3
稼働率(特+短)	100.2%	98.6%	97.9%	98.2%	99%	99.9%	99.0%
入所者介護度平均							0.00
要支援	0	0	0	0	0	0	0
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護(2)	1	1	2	2	1	0	1.2
要介護(3)	16	14	14	14	11	11	13.3
要介護(4)	24	24	25	24	25	25	24.5
要介護(5)	19	19	19	20	23	24	20.7
合計	60	58	60	60	60	60	59.7
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0
外出数	3	0	0	0	0	0	0.50
通院者数	26	20	25	23	24	23	23.5
面会者数	0	0	0	0	0	0	0.0
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0

定員 特別養護老人ホーム60名、短期入所10名										全体	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合 計	月平均		
定 数	1860	1800	1860	1860	1680	1860	1820	21900	1825		
入居実数月累計	1858	1798	1922	1920	1756	1911	1860.83	22179	1848.3		
在籍者1日平均	59.9	59.9	62.0	61.9	60.6	61.65	61.0	727	60.59		
入院基準引く実数	1726	1651	1826	1814	1661	1762	1740	20896	1741.3		
入院者差引く実数	55.7	55.0	58.9	58.5	59.3	56.8	57	687.1	57.3		
1日当り養育定床率	7.10%	8.17%	5.16%	5.70%	5.65%	8.01%	6.63%		5.19%		
旧借入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		
新規入所者数	2	1	2	0	2	1		14	1.2		
退所者(内死亡者)	2(2)	1(0)	0	2(0)	1(1)	2(1)	1.6(1.0)	19(11)	1.08(0.9)		
1日当り入院者平均	4.26	4.90	3.10	3.42	3.39	4.81	3.98	42.2	3.5		
入院1日数12月累計	132	147	96	106	95	149	120.8	1283	106.9		
平均入所率	99.9%	99.9%	103%	103.2%	105%	103%	102.3%		101.3%		
短期入所者差へ人数	456	425	427	431	379	468	431.0	4815	401.3		
特養＋短期 定数	2170	2100	2170	2170	1960	2170	2123.3	25550	2129.2		
月当り在籍者実数	2182	2076	2253	2245	2040	2230	2171.0	25711	2142.6		
1日当り実質在籍者数	70.39	69.20	72.68	72.42	72.86	71.94	71.6	845.4	70.4		
稼働率(特十短)	100.8%	98.9%	103.8%	103.5%	104.1%	103%	102.26%	1207.71%	100.6%		
入所者介護度平均						4.30	0.72	4.30	0.36		
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
要介護(2)	0	0	0	0	0	0	0.0	7	0.6		
要介護(3)	11	10	8	7	7	5	8.0	128	10.7		
要介護(4)	27	27	29	28	29	28	28.0	315	26.3		
要介護(5)	22	23	25	25	26	27	24.7	272	22.7		
合 計	60	60	62	60	62	60	60.7	722	60.2		
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		
外出数	0	0	0	0	0	0	0.00	3	0.3		
通院者数	30	15	28	19	24	25	23.5	282	23.5		
面会者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		

②障害老人の日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	0
中度	A1	1
	A2	2
重度	B1	9
	B2	23
最重度	C1	15
	C2	10
合計		60

③痴呆性老人の日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	2
	IIa	6
	IIb	8
中度	IIIa	7
	IIIb	12
重度	IV	19
	M	6
合計		60

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	6	3	51	60
食事	27	15	18	60
排泄	7	10	43	60
入浴	1	25	34	60

⑤オムツ使用者状況

	人数
常時	15
夜間のみ	16
合計	31

⑥在所期間の状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	平均在所
男	2人	6人	3人	3人	0人	0人	2.8年
女	12人	10人	9人	13人	3人	0人	3.9年
計	14人	16人	12人	16人	3人	0人	3.4年

⑦日常生活の状況調査

区 分					実数	割合	区 分					実数	割合
移動 立 食 事 入 浴 着 脱 衣 じょくそう者数	自立	独立歩行	4 人	6.7 %	排泄 間 夜 間	便所	自己で可能	1 人	1.7 %	ポータブル 便器	自己で可能	1 人	1.7 %
		杖等の歩行補助器使用	2 人	3.3 %			一部介助	21 人	35.0 %		一部介助	1 人	1.7 %
		車椅子使用	50 人	83.3 %			全部介助	10 人	16.7 %		全部介助	2 人	3.3 %
	要介助		37 人	61.7 %		おむつ使用		15 人	25.0 %	おむつ使用		15 人	25.0 %
	食事	自己で可能	27 人	45.0 %		便所	自己で可能	15 人	25.0 %	ポータブル 便器	自己で可能	0 人	0.0 %
		一部介助	15 人	25.0 %			一部介助	6 人	10.0 %		一部介助	4 人	6.7 %
		全部介助	12 人	20.0 %			全部介助	10 人	16.7 %		全部介助	0 人	0.0 %
	入浴	自己で可能	1 人	1.7 %		ポータブル 便器	自己で可能	0 人	0.0 %	おむつ使用		16 人	26.7 %
		一部介助	25 人	41.7 %			一部介助	4 人	6.7 %				
		全部介助	21 人	35.0 %			全部介助	0 人	0.0 %				
着脱衣	自己で可能	2 人	3.3 %										
	一部介助	26 人	43.3 %										
	全部介助	21 人	35.0 %										
じょくそう者数			1 人	1.7 %									
認知症	重 度		42 人	70.0 %									
	中 度		13 人	21.7 %									
	軽 度		5 人	8.3 %									

5年度事業報告書
短期入所生活介護 三養苑

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	男													0
	女													0
要支援2	男													0
	女													0
要介護1	男	0					3	2	4					9
	女	1				1	2	6	2	1	1	2	1	17
要介護2	男	0				0	0	0	0	0	1	1	1	3
	女	1	1			0	0	1	2	1	1	1	1	9
要介護3	男	3	3	4	5	5	5	5	3	2	2	2	1	40
	女	1	0	0	1	2	2	2	1	5	6	4	4	31
要介護4	男	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	4	3	23
	女	5	5	5	6	4	5	3	4	1	5	5	5	56
要介護5	男	1	1	1	2	2	1	1	1	2	3	2	2	19
	女	2	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	9
合計		15	13	12	17	16	20	21	23	18	22	21	18	216
夜間人数		395	382	303	331	335	418	456	426	427	431	380	468	4752
平均		13.2	12.7	10.1	11.0	11.2	13.9	15.2	14.2	14.2	14.4	12.7	15.6	13.0

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
門真市	13	11	11	18	15	17	18	21	16	19	18	15	192
守口市	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	11
四条畷市													0
寝屋川市					1	1	1	1	1	1	1	1	8
大阪市													0
大東市													0
その他	1	1				1	1	1	1	1	1	1	9
合計	15	13	12	19	17	20	21	23	19	22	21	18	220

新規利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	0	0	0	1	1	3	0	3	1	0	0	0	9
女	2	0	1	3	2	1	4	3	1	0	0	0	17
計	2	0	1	4	3	4	4	6	2	0	0	0	26

緊急ショート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
女	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
計	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	4

年齢層		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男													0
	女													0
61～65	男													0
	女													0
66～70	男				1						1			2
	女				0						0			0
71～75	男				0		0	0	1		0	1		2
	女	2	2	1	2		1	1	1	1	1	2	1	15
76～80	男	0	0	1	1	1	1	1	3	2	2	2	1	15
	女	2	1	1	1	1	0	2	2	2	2	1	2	17
81～85	男	4	4	4	5	5	6	6	4	5	5	5	5	58
	女	3	3	3	5	4	4	3	2	1	2	2	2	34
86～90	男	1	1	1	1	2	3	2	2	1	1	1	1	17
	女	1	1	1	3	3	4	5	7	6	6	6	5	48
91～95	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	1	0	0	1	1	1	1	1	2	1	1	12
96以上	男													0
	女													0
合計		15	13	12	19	17	20	21	23	19	22	21	18	220

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	5	4	4	9	7	9	12	14	8	11	10	7	100
第5包括(委託)													0
他事業所	10	9	8	10	10	11	9	9	11	11	11	11	120
合計	15	13	12	19	17	20	21	23	19	22	21	18	220

事業所別 延べ利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
居宅	122	120	106	142	104	175	237	255	173	179	142	166	1921
第5包括(委託)													0
他事業所	276	265	198	202	239	254	234	189	265	263	245	306	2936
合計	398	385	304	344	343	429	471	444	438	442	387	472	4857
平均	13.3	12.8	10.1	11.5	11.4	14.3	15.7	14.8	14.6	14.7	12.9	15.7	13.3

事業所別延べ利用人数詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
三養苑	122	120	106	142	104	175	237	255	173	179	142	166	1921
第5包括(委託)													0
守口ラガール													0
愛泉会	30	31	30	26	14	30	30		13	31	29	31	295
さくら	30	31	30	31	31	30	12						195
ハッピーライフ													0
董島ラガール													0
柏友会	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	58	62	732
美春													0
都							14	30	31	31	29	31	166
クオレ門真	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
なるなる	30												30
ハイジ													0
みどり								4					4
みなみ													0
ひかり門真													0
なぎ						14							14
ひかり大和田													0
ニチイ													0
笑和ケアプラン													0
あじさい				9	31								40
赤い屋根	30	31	30	31	31	6							159
サン													0
蒼の里													0
エルケア													0
いろり	30	31	17	1	30	60	54	30	57	27	22	62	427
えくぼ	30	31											61
ちどり					3								3
はるか郷				8									8
ミーツ								4	53	48	48	57	212
さつき						22	31	29	14	31	29	31	187
あいな清和苑	6	17											23
くすのき													0
まある			1	5		2		2	2	2	1	1	14
他事業所合計	276	265	198	202	239	254	234	189	265	263	245	306	2936
合計	398	385	304	344	343	429	471	444	438	442	387	472	4857

令和5年度 三養福祉会 デイサービスセンター三養苑 事業報告書

令和5年度もコロナの影響により他事業所訪問ができない状態ではありましたが、

その中でもたくさんの問い合わせを頂きました。

食費が100円も地域のCMに浸透しており、体験依頼を受ける際に

利用者様に勧めやすいとたくさんのお言葉を頂戴しています。

現在利用されている利用者様・家族様のニーズを把握していく事で

利用回数の増加、安心して利用して頂ける環境構築を図って参ります。

次年度もご利用者様からの意見を取り入れて、想像力豊かにスタッフ一人一人の

提案・企画し、若い世代の方から高齢の方まで満足してご利用頂けるサービスを

提供します。令和6年度も職員一丸となって取り組みを行って参ります。

【 三養福祉会 デイサービスセンター三養苑 介護保険 令和5年度報告 】

介護保険 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	21	22	24	22	20	19	20	23	24	23	24	24	266
女 性	37	37	34	35	35	33	37	39	42	40	41	42	452
合 計	58	59	58	57	55	52	57	62	66	63	65	66	718

要介護度別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護度 1	18	19	21	19	19	19	18	20	21	18	18	20	230
要介護度 2	23	21	22	21	21	19	20	20	20	19	17	17	240
要介護度 3	8	9	7	9	7	6	10	11	12	13	16	18	126
要介護度 4	4	5	4	4	4	4	5	7	7	7	8	5	64
要介護度 5	5	5	4	4	4	4	4	4	6	6	6	6	58
合 計	58	59	58	57	55	52	57	62	66	63	65	66	718

デイサービス 利用実績

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
通所介護 I 11	28	31	29	24	29	16	17	18	15	16	18	21	262
通所介護 I 12	17	17	5	4	8	11	8	8	11	4	4	6	103
通所介護 I 13	6	5	4	4	4	4	5	4	4	8	8	22	78
通所介護 I 14	11	12	12	13	13	12	13	13	14	12	12	0	137
通所介護 I 15	6	5	4	5	4	4	5	3	4	4	4	4	52
通所介護 I 21	26	43	42	39	33	30	20	7	6	8	8	6	268
通所介護 I 22	27	31	29	30	29	28	31	38	43	39	25	34	384
通所介護 I 23	27	30	39	23	14	13	14	19	12	9	23	27	250
通所介護 I 24	9	9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	19
通所介護 I 25	6	9	9	8	9	9	8	8	9	8	8	9	100
通所介護 I 31	26	37	55	67	59	65	57	66	68	57	51	68	676
通所介護 I 32	75	76	83	69	92	80	66	55	69	61	66	62	854
通所介護 I 33	23	27	24	34	34	33	37	58	52	47	56	55	500
通所介護 I 34	0	2	8	9	8	13	17	24	23	24	18	10	156
通所介護 I 35	8	9	0	0	0	0	1	4	9	8	8	9	56
通所介護 I 41	62	56	57	55	65	61	62	77	76	38	52	66	727
通所介護 I 42	67	71	73	70	68	65	72	84	70	73	76	49	838
通所介護 I 43	29	35	24	31	25	22	40	33	43	37	52	79	450
通所介護 I 44	36	36	41	33	14	16	0	0	4	0	8	9	197
通所介護 I 45	8	9	9	9	7	6	0	0	4	3	2	5	62
通所介護 I 51	4	5	4	4	4	12	21	19	61	72	72	41	319
通所介護 I 52	52	33	52	45	47	46	50	35	36	33	41	44	514
通所介護 I 53	17	11	0	0	0	0	0	2	13	12	13	10	78
通所介護 I 54	0	0	0	0	0	0	28	52	53	50	49	26	258
通所介護 I 55	22	31	29	25	29	30	31	29	29	23	29	27	334
合 計	592	630	632	601	596	576	623	656	728	646	703	689	7672

【 三養福祉会 デイサービスセンター三養苑 介護予防 令和5年度報告 】

予防介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	0	16
女 性	3	5	5	5	5	6	6	6	5	5	4	7	62
合 計	5	7	7	7	7	7	7	7	6	6	5	7	78

要支援別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援 1	2	2	0	1	2	1	2	2	2	2	1	0	17
要支援 2	3	5	7	6	5	6	5	5	4	4	4	7	61
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	7	7	7	7	7	7	7	6	6	5	7	78

デイサービス 利用実績

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
通所型サービス1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービス2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービスAⅡ	40	58	51	49	45	59	58	49	45	39	33	27	553
合 計	40	58	51	49	45	59	58	49	45	39	33	27	553

月	日付	行事	月	日付	行事
4月	4、6	カラオケ	11月	7、9	カラオケ
	18、20	カラオケ		21、23	カラオケ
5月	8～13	母の日週間プレゼント	12月	5、7	カラオケ
	9、11	カラオケ		19、21	カラオケ
	23、25	カラオケ		21・22	冬至イベント【ゆず湯】
				25	クリスマス会
6月	6、8	カラオケ	1月		
	12～17	父の日週間プレゼント		4～8	福笑い
	20、22	カラオケ		9～15	初め
				23、25	カラオケ
7月	1～6	七夕週間（七夕飾りプレゼント）	2月	1～3	節分週間
	4、6	カラオケ		12～	バレンタイン週間
	18、20	カラオケ		6、8	カラオケ
				20、22	カラオケ
8月	8、10	カラオケ	3月	5、7	カラオケ
	7、8	ミニ納涼祭		11～	ホワイトデー週間
	22、24	カラオケ		23、25	カラオケ
9月	5、7	カラオケ			
	18～	敬老祝賀会			
	19、21	カラオケ			
10月	9～	運動会			
	10、12	カラオケ			
	24、26	カラオケ			

令和5年度スタッフ会議

医務学習会

4月	4/14(金)18:00～	場所:デイフロア
5月	5/26(金)18:00～	場所:デイフロア
6月	6/23(金)18:00～	場所:デイフロア
7月	7/21(金)18:00～	場所:デイフロア
8月	8/22(火)18:00～	場所:デイフロア
9月	9/25(月)18:00～	場所:デイフロア
10月	10/24(火)18:00～	場所:デイフロア
11月	11/21(火)18:00～	場所:デイフロア
12月	12/28(火)18:00～	場所:デイフロア
1月	1/23(火)18:00～	場所:デイフロア
2月	2/27(火)18:00～	場所:デイフロア
3月	3/26(火)18:00～	場所:デイフロア

新人職員研修会

第1回	感染症について
第2回	救急対応について

※法定研修については
動画の視聴で行う。

学習会 歯科

口腔ケアについて

令和5年度 デイサービス勉強会

4月	17:30～	場所:デイフロア
5月	一般浴について	
	17:30～	場所:デイフロア
6月	特浴について	
	17:30～	場所:デイフロア
7月	食事介助について	
	17:30～	場所:デイフロア
8月	排泄介助について	
	17:30～	場所:デイフロア
9月	車椅子誘導方法について	
	17:30～	場所:デイフロア
10月	歩行介助について	
	17:30～	場所:デイフロア
11月	ペットから車椅子の移乗方法について	
	17:30～	場所:デイフロア
12月	利用者様とのコミュニケーションについて	
	17:30～	場所:デイフロア
1月	ヒヤリハットについて	
	17:30～	場所:デイフロア
2月	離苑について	
	17:30～	場所:デイフロア
3月	安全な乗車・降車方法	
	17:30～	場所:デイフロア
	ノロBOXの使用について	

10月通算集計		10月通算集計												10月通算集計																			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	10月通算集計	11月通算集計	12月通算集計	1月通算集計	2月通算集計	3月通算集計	4月通算集計	5月通算集計	6月通算集計	7月通算集計	8月通算集計	9月通算集計	10月通算集計	11月通算集計	12月通算集計	1月通算集計	2月通算集計	3月通算集計	合計		
身体介護1	27	47	35	64	74	90	84	69	55	39	41	579	身体介護1	84	579	身体介護1	84	579	身体介護1	84	579	身体介護1	84	579	身体介護1	84	579	身体介護1	84	579	身体介護1	84	579
身体介護2			1	11								12	身体介護2		12	身体介護2		12	身体介護2		12	身体介護2		12	身体介護2		12	身体介護2		12	身体介護2		12
身体介護3													身体介護3			身体介護3			身体介護3			身体介護3			身体介護3			身体介護3			身体介護3		
身体介護4	213	290	284	206	255	202	169	157	150	137	147	159	身体介護4	169	202	身体介護4	169	202	身体介護4	169	202	身体介護4	169	202	身体介護4	169	202	身体介護4	169	202	身体介護4	169	202
身体介護5		5			12	10		14				41	身体介護5		10	身体介護5		14	身体介護5			41	身体介護5		10	身体介護5		14	身体介護5			41	身体介護5
身体介護6	19	18	17	27	25	20	27	45	43	30	40	35	身体介護6	27	20	身体介護6	27	45	身体介護6	27	20	35	身体介護6	27	20	身体介護6	27	45	身体介護6	27	20	35	身体介護6
身体介護7						1						1	身体介護7		1	身体介護7			身体介護7			1	身体介護7		1	身体介護7			身体介護7			1	身体介護7
身体介護8													身体介護8			身体介護8			身体介護8				身体介護8			身体介護8			身体介護8				身体介護8
身体介護9													身体介護9			身体介護9			身体介護9				身体介護9			身体介護9			身体介護9				身体介護9
身体介護10													身体介護10			身体介護10			身体介護10				身体介護10			身体介護10			身体介護10				身体介護10
身体介護11													身体介護11			身体介護11			身体介護11				身体介護11			身体介護11			身体介護11				身体介護11
身体介護12													身体介護12			身体介護12			身体介護12				身体介護12			身体介護12			身体介護12				身体介護12
身体介護13													身体介護13			身体介護13			身体介護13				身体介護13			身体介護13			身体介護13				身体介護13
身体介護14													身体介護14			身体介護14			身体介護14				身体介護14			身体介護14			身体介護14				身体介護14
身体介護15													身体介護15			身体介護15			身体介護15				身体介護15			身体介護15			身体介護15				身体介護15
身体介護16													身体介護16			身体介護16			身体介護16				身体介護16										

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
第1年1	69	79	64	67	110	74	第1年1	95	67	69	84	112	938	第1年1	690	790	840	67	1100	740	第1年1	950	670	690	840	1120	9380
第1年2	58	64	47	61	23	19	第1年2	41	44	39	28	42	501	第1年2	870	990	705	92	345	270	第1年2	815	480	595	570	390	7515
第1年3	2				16	17	第1年3	10					0	第1年3	30	180			240	298	第1年3	150					898
第1年4							第1年4						0	第1年4							第1年4						
第1年5							第1年5						0	第1年5							第1年5						
第1年6							第1年6						0	第1年6							第1年6						
第1年7							第1年7						0	第1年7							第1年7						
第2年1	17	21	22	14	14	36	第2年1	16	21	22	19	20	749	第2年1	255	390	330	21	210	540	第2年1	240	315	330	330	285	3735
第2年2	8	8		10	10	11	第2年2	8	3	10	9	14	120	第2年2	160	160		20	200	220	第2年2	160	80	200	180	580	280
第2年3	2	5	6	8	4	5	第2年3	1	3	4	4	7	50	第2年3	40	100	120	12	80	113	第2年3	20	60	60	60	140	1013
第2年4							第2年4						0	第2年4							第2年4						
第2年5							第2年5						0	第2年5							第2年5						
第2年6							第2年6						0	第2年6							第2年6						
第2年7							第2年7						0	第2年7							第2年7						
第2年8							第2年8						0	第2年8							第2年8						
第2年9							第2年9						0	第2年9							第2年9						
第2年10							第2年10						0	第2年10							第2年10						
第2年11							第2年11						0	第2年11							第2年11						
第2年12							第2年12						0	第2年12							第2年12						
第2年13							第2年13						0	第2年13							第2年13						
第2年14							第2年14						0	第2年14							第2年14						
第2年15							第2年15						0	第2年15							第2年15						
第2年16							第2年16						0	第2年16							第2年16						
第2年17							第2年17						0	第2年17							第2年17						
第2年18							第2年18						0	第2年18							第2年18						
第2年19							第2年19						0	第2年19							第2年19						
第2年20							第2年20						0	第2年20							第2年20						
第2年21							第2年21						0	第2年21							第2年21						
第2年22							第2年22						0	第2年22							第2年22						
第2年23							第2年23						0	第2年23							第2年23						
第2年24							第2年24						0	第2年24							第2年24						
第2年25							第2年25						0	第2年25							第2年25						
第2年26							第2年26						0	第2年26							第2年26						
第2年27							第2年27						0	第2年27							第2年27						
第2年28							第2年28						0	第2年28							第2年28						
第2年29							第2年29						0	第2年29							第2年29						
第2年30							第2年30						0	第2年30							第2年30						
第2年31							第2年31						0	第2年31							第2年31						
第2年32							第2年32						0	第2年32							第2年32						
第2年33							第2年33						0	第2年33							第2年33						
第2年34							第2年34						0	第2年34							第2年34						
第2年35							第2年35						0	第2年35							第2年35						
第2年36							第2年36						0	第2年36							第2年36						
第2年37							第2年37						0	第2年37							第2年37						
第2年38							第2年38						0	第2年38							第2年38						
第2年39							第2年39						0	第2年39							第2年39						
第2年40							第2年40						0	第2年40							第2年40						
第2年41							第2年41						0	第2年41							第2年41						
第2年42							第2年42						0	第2年42							第2年42						
第2年43							第2年43						0	第2年43							第2年43						
第2年44							第2年44						0	第2年44							第2年44						
第2年45							第2年45						0	第2年45							第2年45						
第2年46							第2年46						0	第2年46							第2年46						
第2年47							第2年47						0	第2年47							第2年47						
第2年48							第2年48						0	第2年48							第2年48						
第2年49							第2年49						0	第2年49							第2年49						
第2年50							第2年50						0	第2年50							第2年50						
第2年51							第2年51						0	第2年51							第2年51						
第2年52							第2年52						0	第2年52							第2年52						
第2年53							第2年53						0	第2年53							第2年53						
第2年54							第2年54						0	第2年54							第2年54						
第2年55							第2年55						0	第2年55							第2年55						
第2年56							第2年56						0	第2年56							第2年56						
第2年57							第2年57						0	第2年57							第2年57						
第2年58							第2年58						0	第2年58							第2年58						
第2年59							第2年59						0	第2年59							第2年59						
第2年60							第2年60						0	第2年60							第2年60						
第2年61							第2年61						0	第2年61							第2年61						
第2年62							第2年62						0	第2年62							第2年62						
第2年63							第2年63						0	第2年63							第2年63						
第2年64							第2年64						0	第2年64							第2年64						
第2年65							第2年65						0	第2年65							第2年65						
第2年66							第2年66						0	第2年66							第2年66						
第2年67							第2年67						0	第2年67							第2年67						
第2年68							第2年68						0	第2年68							第2年68						
第2年69							第2年69						0	第2年69							第2年69						
第2年70							第2年70						0	第2年70							第2年70						
第2年71							第2年71						0	第2年71							第2年71						
第2年72							第2年72						0	第2年72							第2年72						
第2年73							第2年73						0	第2年73							第2年73						
第2年74							第2年74						0	第2年74							第2年74						
第2年75							第2年75						0	第2年75							第2年75						

【要介】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活2	119	174	170	126	108	78	88	90	87	98	113	122	1283	生活2	59.5	87.0	80.0	83	54.0	39.0	43.0	45.0	48.0	57	610	534.5
生活3	603	834	583	588	579	528	570	595	591	574	574	554	7093	生活3	603.0	834.0	583.0	588	579.0	528.0	570.0	595.0	574.0	574	654.0	7093.0
生活2・生活3													0	生活2・生活3												0.0
生活2・生活3													1	生活2・生活3												1.0
生活2・生活3													2	生活2・生活3												2.0

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活2・生活3							1						1	生活2・生活3						1.0						1.0
生活2・生活3							1							生活2・生活3							1.0					1.0
生活2・生活3							0	0	0	0	0	0	0	生活2・生活3						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
生活2・生活3														生活2・生活3												
生活2・生活3														生活2・生活3						10.0						10.0
生活2・生活3							20	16	17	10	11	13	103	生活2・生活3						20.0	16.0	8.5	10.0	11.0	13.0	94.5
生活2・生活3	148	153	140	171	181	191	176	175	183	174	229	180	2079	生活2・生活3						176.0	175.0	183.0	174.0	229.0	180.0	2079.0

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	14	15	14	14	15	14	身体介護1	15	14	14	14	14	14	171
身体介護1-1-1							身体介護1-1-1							0
身体介護1-1-2							身体介護1-1-2							0
身体介護2	10	12	11	12	12	12	身体介護2	12	12	12	12	10	12	139
身体介護2-1							身体介護2-1							0
身体介護3							身体介護3							0
身体介護3-1							身体介護3-1							0
身体介護4							身体介護4							0
身体介護4-1							身体介護4-1							0
身体介護4-2							身体介護4-2							0
身体介護5							身体介護5							0
身体介護6							身体介護6							0
身体介護7							身体介護7							0
身体介護8							身体介護8							0
身体介護10							身体介護10							0
身体介護11							身体介護11							0
身体介護12							身体介護12							0
身体介護13							身体介護13							0
身体介護14							身体介護14							0
身体介護15							身体介護15							0
合計	24	27	25	26	27	26	合計	27	26	26	26	24	26	310

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1			1				家事援助1							1
家事援助1-1							家事援助1-1							0
家事援助2	36	39	26	38	36	36	家事援助2	38	36	36	36	36	36	428
家事援助2-1							家事援助2-1							0
家事援助3							家事援助3							0
家事援助4							家事援助4							0
家事援助4-1							家事援助4-1							0
家事援助5							家事援助5							0
家事援助6							家事援助6							0
合計	36	39	26	38	36	45	合計	38	36	36	36	36	36	429

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	7	7.5	7	7	7.5	7	身体介護1	7.5	7	7.0	7	7.0	7.0	85.5
身体介護1-1-1							身体介護1-1-1							
身体介護1-1-2							身体介護1-1-2							
身体介護2	10	12	11	12	12	12	身体介護2	12	12.0	12.0	12	10.0	12.0	138.0
身体介護2-1							身体介護2-1							
身体介護3							身体介護3							0.0
身体介護3-1							身体介護3-1							
身体介護4							身体介護4							0.0
身体介護4-1							身体介護4-1							
身体介護4-2							身体介護4-2							
身体介護5							身体介護5							0.0
身体介護6							身体介護6							0.0
身体介護7							身体介護7							0.0
身体介護8							身体介護8							0.0
身体介護9							身体介護9							0.0
身体介護10							身体介護10							0.0
身体介護12							身体介護12							0.0
合計	120	145	180	182	185	180	合計	183	180	180	180	170	180	1385.5

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1			0.5				家事援助1							0.5
家事援助1-食事							家事援助1-食事							0.0
家事援助2	36	39	25	38	36	36	家事援助2	38	36	36	36	36	36	428.0
家事援助2-洗濯							家事援助2-洗濯							0.0
家事援助3							家事援助3							0.0
家事援助4							家事援助4							0.0
家事援助4-洗濯							家事援助4-洗濯							0.0
家事援助5							家事援助5							0.0
家事援助6							家事援助6							0.0
家事援助10							家事援助10							0.0
家事援助11							家事援助11							0.0
家事援助12							家事援助12							0.0
合計	36.0	39.0	25.5	38.0	36.0	36.0	合計	38.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	428.5

【精神障害者】							【知的障害者】							
訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	44	44	44	44	44	44	身体介護1	44	44	44				396
身体介護2							身体介護2							0
身体介護3							身体介護3							0
身体介護4							身体介護4							0
身体介護5							身体介護5							0
合計	44	44	44	44	44	44	合計	44	44	44	0	0	0	396

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1			1				家事援助1							1
家事援助1-食事							家事援助1-食事							0
家事援助2	53	53	51	52	52	52	家事援助2	52	52	52	9	9	9	498
家事援助2-洗濯							家事援助2-洗濯							0
家事援助3							家事援助3							0
合計	53	53	51	52	52	52	合計	52	52	52	9	9	9	498

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	22	22	22	22	22	22	身体介護1	22	22	22				198
身体介護2							身体介護2							0.0
身体介護3							身体介護3							0.0
身体介護4							身体介護4							0.0
身体介護5							身体介護5							0.0
合計	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	合計	22.0	22.0	22.0	0.0	0.0	0.0	198.0

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1			0.5				家事援助1							0.5
家事援助1-食事							家事援助1-食事							0.0
家事援助2	53.0	53	51.0	52.0	52	52	家事援助2	52.0	52	52	9	9	9	498.0
家事援助2-洗濯							家事援助2-洗濯							0.0
家事援助4							家事援助4							0
家事援助5							家事援助5							0
合計	53.0	53.0	51.0	52.0	52.0	52.0	合計	52.0	52.0	52.0	9.0	9.0	9.0	498.5

【訪問回数】							【訪問時間】							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問回数	0	0	0	0	0	0	訪問回数	0	0	0	0	0	0	0
訪問時間	0	0	0	0	0	0	訪問時間	0	0	0	0	0	0	0

【訪問回数】							【訪問時間】							
介護保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	介護保険者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	267	263	318	299	263	223	身体介護	233	234	248	212	219	240	3446
生活介護	222	315	203	214	643	606	生活介護	657	685	678	670	687	777	8364
複合介護	156	182	151	159	178	161	複合介護	171	138	145	140	143	196	1920
合計	645	760	672	672	1084	990	合計	1061	1057	1071	1022	1049	1213	13730

【訪問回数】							【訪問時間】							
介護保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	介護保険者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	136.8	183.3	160.8	155.0	177.0	152.5	身体介護	138.0	135.8	131.8	115.8	129.8	129.0	1745.6
生活介護	662.5	716.0	643	651.0	633.0	567.0	生活介護	614.0	640.0	634.5	622.0	630.5	716.0	7729.5
複合介護	205	240	197.5	212	220	218	複合介護	214	177	191	182	200	250	2502.5
合計	1004.3	1139.3	1001.3	1018.0	1029.0	937.5	合計	966.0	952.8	957.3	918.3	960.3	1094.0	11977.6

【訪問回数】														
介護予防訪問事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合	146	153	140	171	161	191	総合	164	176	200	135	145	159	1941
合計	146	153	140	171	161	191	合計	164	176	200	135	145	159	1941

【訪問時間】														
介護予防訪問事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合	146	153	140	171	161	191	総合	164	176	200	135	145	159	1941
合計	146	153	140	171	161	191	合計	164	176	200	135	145	159	1941

【訪問回数】							【訪問時間】							
障がい者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	障がい者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	24	27	26	26	27	26	身体介護	27	26	26	26	26	26	313
家事援助	36	39	26	38	36	45	家事援助	38	36	36	36	36	36	438
合計	60	66	52	64	63	71	合計	65	62	62	62	62	62	751

【訪問時間】							【訪問時間】							
障がい者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	障がい者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	17.0	19.5	18.0	19.0	19.5	19.0	身体介護	19.5	19	19	19.0	17.0	19.0	224.5
家事援助	36.0	39	25.5	38	36	36.0	家事援助	38.0	36.0	38.0	36.0	36	36	428.5
合計	53.0	58.5	43.5	57.0	55.5	55.0	合計	57.5	55	57	55.0	53.0	55.0	653.0

精神障がい者							精神障がい者数								
精神障がい者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	精神障がい者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
身体介護	44	44	44	44	44	44	身体介護	44	44	44				396	
家事援助	53	53	47	52	52	52	家事援助	52	52	52	9	9	9	492	
合計	97	97	91	96	96	96	合計	96	96	96	9	9	9	888	

【訪問回数】							【訪問時間】							
精神障がい者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	精神障がい者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	身体介護	22.0	22	22				198.0
家事援助	53.0	53	51	52	52	52.0	家事援助	52.0	52.0	52.0	9.0	9	9	496.0
合計	75.0	75.0	73.0	74.0	74.0	74.0	合計	74.0	74	74	9.0	9.0	9.0	694.0

利用者状況

利用希望(件)							利用希望(件)							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険者	96	97	101	102	103	106	介護保険者	105	108	109	107	111	115	1260
身体障がい者	3	3	3	3	3	3	身体障がい者	3	3	3	3	3	3	36
精神障がい者	2	2	2	2	2	2	精神障がい者	2	2	2	1	1	1	21
移動支援	0	0	0	0	0	0	移動支援	0	0	0	0	0	0	0
実費	2	3	1	0	1	1	実費	1	0	0	0	0	0	9
合計	102	105	107	107	108	112	合計	111	113	114	111	115	119	1266

介護度別利用希望														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防利用希望	32	30	30	35	36	38	介護予防利用希望	40	39	41	38	40	39	438
介護度1	21	25	26	25	25	22	介護度1	20	20	22	24	23	23	255
介護度2	23	22	22	19	18	21	介護度2	20	21	20	19	20	22	224
介護度3	12	12	12	13	13	13	介護度3	13	15	13	12	12	13	141
介護度4	6	6	9	8	9	10	介護度4	10	12	11	13	13	14	115
介護度5	2	2	2	2	2	2	介護度5	2	1	2	1	3	4	23
合計	96	97	101	102	103	106	合計	105	108	109	107	111	115	1260

【企画・外部研修】

- 令和5年7月14日 在宅医療における服薬管理研修
- 令和5年07月19日 門真市高齢者虐待防止ネットワーク会議
- 令和5年08月4日 認知症の人との接し方
- 令和5年08月5日 生活援助サービス従事者研修
- 令和5年09月15日 門真市域在宅医療推進協議会・勉強会
- 令和5年9月13日 権利保護と成年後見制度研修
- 令和5年9月27日 福祉施設においてBCP作成支援研修会
- 令和5年11月15日 権利擁護(青年後見)本人の意思決定事例検討会
- 令和5年11月18日 門真多職種連携研修会
- 令和6年1月17日 門真市高齢者虐待対応の流れ(関係機関との連携)

【通所介護について】

- 色々な状況を考えてできる限り高齢者のヘルパー以外で対応
- 単位数のことも踏まえてできる限り職員で対応

【移動支援】

- 現在対象利用者おらず、また必要時対応していく

【サービスの状況】

- 件数、サービス内容増加については状況を見ながら検討しています

令和5年度事業報告書
サンホーム桑才(認知症対応型共同生活介護)

1.入居者の状況(ショートステイ含む)

①月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
在籍者数(月末)	26	26	25	27	26	26	26	26	26	26	24	26	310
新規入所数	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0	5
延べ利用	780	806	750	837	806	780	806	780	806	806	696	806	9459
退所数	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	3	1	8
空室数	1	1	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	12
空延日数	30	31	60	0	31	30	31	30	31	30	87	31	422

②要介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2(月末)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度1	4	4	4	5	5	5	4	4	3	3	3	4	48
介護度2	7	7	7	7	7	7	5	5	5	5	6	6	74
介護度3	7	7	6	6	5	5	2	2	2	2	2	3	49
介護度4	1	1	1	2	2	2	5	6	6	6	3	3	38
介護度5	7	7	7	7	7	7	10	9	10	10	10	10	101
平均介護度	3.0	3.0	3.0	2.9	3.0	3.0	3.5	3.4	3.6	3.6	3.5	3.4	3.2

③介護度別延利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度1	120	124	120	155	155	150	124	120	93	93	87	124	1465
介護度2	210	217	210	217	217	210	155	150	155	155	174	186	2256
介護度3	210	217	180	186	155	150	62	60	62	62	58	93	1495
介護度4	30	31	30	62	62	60	155	180	186	186	87	93	1162
介護度5	210	217	210	217	217	210	310	270	310	310	290	310	3081
月合計	780	806	750	837	806	780	806	780	806	806	696	806	9459

④日常生活自立度(令和6年3月現在)

ランク	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	
認知度		4	3	6	8	1	4	
ランク	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
寝たきり度			4	2	2	6	7	5

⑤市町村別入所者数(令和6年3月現在)

都道府県	大 阪 府			府外			合 計
市町村	門 真 市	四 条 畷 市	守 口 市				
人数	25	0	1				26

⑥面会・外泊・入院・外出の状況(月末)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数	15	16	12	15	21	23	28	28	30	22	6	3	219
外出者数	0	0	0	1	0	2	3	3	4	0	0	0	13
外泊者数	4	4	2	2	2	2	1	1	2	0	0	0	20
通院者数	4	6	12	15	3	4	2	5	6	4	3	3	67
入院者数	2	2	1	2	2	1	0	3	4	2	1	0	20

⑦入居者の身体状況(令和6年3月末)

視力			言語			歩行			聴力	
普通	弱視	片盲	普通	少し不自由	不自由	自立	一部介助	全介助	普通	難聴
8	17		8	12	5	8	1	16		13
排泄			リハパン			食事			入浴	
自立	一部介助	全介助	なし	夜使用	昼夜使用	自立	一部介助	全介助	自立	全介助
	11	14	2		23	13	6	6		16
紙おむつ			尿取りパット							
なし	夜のみ	昼夜使用	なし	昼のみ	昼夜使用					
11	3	11	3	3	19					

⑧入居者平均年齢

	男性	女性
人数	3	22
平均	85.5	88.6

2.年間行事 報告

月	日	行 事 名	実 施 場 所
5	5	端午の節句	サンホーム
	14	母の日(ケーキでお祝い)	サンホーム
7	7	七夕	サンホーム
9	19	敬老の日	サンホーム
12	25	クリスマス(ケーキでお祝い)	サンホーム
12	31日	大晦日(年越し)	サンホーム
1	1~3	お正月	サンホーム
2	3	節分	サンホーム
3	3	ひな祭り	サンホーム
	※	上記以外はコロナ5類で様子を	
		見ながら行った。	

4. 外部研修

[illegible]

令和5年度事業報告書 居宅介護支援事業所 三養苑

今年度はコロナウィルスの感染症法上の位置付けが5類に移行したことで臨時的な取扱いもほぼなくなり、引き続き感染症対策を行いながら支援を行う事となりました。

約3年制限された生活であった為、精神的に不安定となられたりADLの低下につながるといった利用者様もおられました。

利用者様、ご家族様が抱えている思いは違い、受け止め方、介護に対する捉え方等も様々です、私達支援者は専門的な立場であらゆる提案をできるよう心がけるとともに、置かれている状況を十分に理解し、決定しやすいようサポートをしていく事が重要だと思います。

介護予防、自立支援に関しては利用者様、ご家族様から相談を受ける時には実際に支援をしてもらいたいので相談しているといった方がほとんどです、こちらが介護予防、自立支援の考え方を説明し、理解を得る為には私達ももっと経験が必要だと思います。

新規ケースの相談があった際にはなるべく対応させて頂きましたが、担当ケースの対応で余裕がなくお断りさせて頂いた事もありました、今後も状況を見ながらなるべく応じる事ができるよう努めていきたいと思っています。

{業務内容}

- ① 要支援、要介護認定代行申請
- ② 重要事項説明書の説明及び契約、要支援、事業対象者の方は地域包括支援センターとの委託契約
- ③ 市への必要書類の提出
- ④ アセスメント
- ⑤ サービス担当者会議の開催及び事業所との連絡調整
- ⑥ ケアプラン作成
- ⑦ サービス計画書(1)、(2)、(3) 利用者様、サービス事業所への交付、同意を得る
- ⑧ サービス事業者への個別サービス計画書の提出依頼
- ⑨ 毎月 の利用票の作成
- ⑩ 毎月 の訪問(モニタリング)、要支援、事業対象者の方は3か月に1度
- ⑪ 毎月 のサービス提供票の作成とサービス事業所への交付
- ⑫ 毎月 の実績のチェック
- ⑬ 毎月 の給付管理
- ⑭ ケアプラン請求のチェック
- ⑮ 相談業務
- ⑯ サービス事業所へ依頼、連絡調整、報告、状況確認等
- ⑰ 各ケースの記録
- ⑱ 電話対応
- ⑲ 住宅改修、福祉用具購入、福祉用具レンタル時、事業所との連絡調整及び同行訪問にて状況把握、住宅改修、福祉用具購入に際しては意見書の作成
- ⑳ 福祉用具貸与理由書の作成(要支援1・2、要介護1)
- ㉑ 特養入居申請にあたり意見書作成
- ㉒ 短期入所サービス延長理由書の作成
- ㉓ 退院前のカンファレンス
- ㉔ 入院中の状況確認
- ㉕ 来苑者の対応
- ㉖ 要支援、事業対象者の方の毎月 の状況確認の電話
- ㉗ 要支援、事業対象者の方の包括支援センターへの書類提出、実績報告
- ㉘ モニタリング以外での必要時の訪問
- ㉙ 主治医への病状確認、医療系サービス導入に際して相談等

- ③⑩ 有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅等の情報提供
- ③⑪ 配食等インフォーマルサービスの情報提供
- ③⑫ 介護保険負担限度額認定の説明及び代行申請
- ③⑬ 勉強会、研修、法定外研修等の参加

* 本年度は利用者宅訪問回数が1148 回でした。

利用者宅訪問	1148
利用者電話	1455
関係機関訪問	758
関係機関電話連絡	1007

(令和6年3月末現在)

{月別請求ケース数}

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援・事業対象者	17	16	19	21	23	25	
介護	67	70	68	68	64	64	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援・事業対象者	26	27	25	27	25	26	277
介護	75	78	76	74	74	70	848

{今年度の勉強会、研修等の参加}

- ・令和5年6月14日(守口市市民保健センター4階)
「くすのき広域連合解散に伴う事業所説明会」
- ・令和5年6月17日(門真市市民プラザ 1階視聴覚室)
「2024年度介護報酬改定と今後の展望」
- ・令和5年6月22日(PDハウス門真)
「パーキンソン病 合同研修会」
- ・令和5年6月27日(オンライン研修)
「介護予防ケアマネジメントにおけるモニタリングと評価の方法」
- ・令和5年8月28日(守口市市民保健センター4階会議室2, 3)
「知っておきたい福祉用具貸与の知識と理由書の書き方について」
- ・令和5年10月20日(門真市保健福祉センター4階視聴覚室)
「BCP作成について勉強会」
- ・令和5年11月6日(オンライン研修)
「総合事業の指定事業所向け説明会」
- ・令和6年1月10日(オンライン研修)
「サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホームにおけるケアマネジメントの留意点」
- ・令和6年3月12日(オンライン研修)
「地域支援事業の説明会」
「サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホームにおけるケアマネジメントの留意点」

R5年度事業報告書(三養福祉会)

門真第5地域包括支援センター

R6年度は、地域の各通いの場の住民の方々からの要望に応え、地域に出向き介護予防教室の開催と体力測定を順次実施しました。介護予防教室ではフレイルの原因と運動すること、栄養等の大切さを啓発し、体力測定ではリハビリ専門職の参加により専門的見地から助言をいただき、参加者の健康づくりへの意識向上に努め、更に、門真市でも増加傾向にある特殊詐欺等の消費者被害について伝え、地域の課題に沿った内容としました。また、地域の認知症の理解のための活動であるれんかファームでは、新たな取り組みとして大学生ボランティアを募集し認知症当事者と共に畑の作業を行いました。認知症のイメージがネガティブなものから、ポジティブイメージに変わったという感想を聞くことができました。

年次相談実績

(1)総合相談件数(相談者区別)

	本人	家族・親族	知人・近隣住民	関係機関	介護支援専門員	医療機関	行政機関	その他	合計
延べ人数	1625	1036	74	316	984	221	307	134	4697

(2)相談内容内訳

	介護に関すること(介護保険に関するものを含む)	介護予防・生活支援サービスに関すること	健康・医療に関すること	権利擁護・高齢者虐待(消費者生活含む)	介護者離職防止に関すること	認知症に関する相談	その他	合計
延べ人数	3855	275	383	233	17	247	310	5320

(1) 介護予防事業

- 4月26日 第1回介護予防教室 消費者被害(東田町自治会館)
- 4月28日 出前講座 介護保険の動向(下馬伏自治会館)
- 5月13日 第2回介護予防教室 健康体操で身体も心も軽く(千石西町A自治会集会所)
- 5月16日 第3回介護予防教室 消費者被害(UR東門真団地集会所)
- 6月27日 第4回介護予防教室 頻尿、フレイル予防(上三ツ島自治会館)
- 6月29日 第5回介護予防教室 腰痛予防(枚方信用金庫)
- 7月6日 第6回介護予防教室 腰痛予防で動ける身体をつくろう(千石東自治会館)
- 7月24日 出前講座 介護保険について(高齢者ふれあいセンター)
- 9月28日 第7回介護予防教室 骨密度測定(枚方信用金庫)
- 10月17日 第8回家族介護教室 音楽療法で心と身体をリフレッシュ(UR東門真団地)
- 10月24日 第10回介護予防教室 歩行診断(高齢者ふれあいセンター)
- 10月31日 第9回介護予防教室 高齢期の栄養について(UR東門真団地)
- 11月16日 第11回介護予防教室 運動と笑いで認知症予防(千石東自治会館)
- 12月19日 第12回介護予防教室 口腔ケア(千石西町A自治会集会所)
- 3月16日 出前講座 介護予防に取り組みましょう(高齢者ふれあいセンター)
- 3月21日 第13回介護予防教室 運動と笑いで認知症予防(三ツ島住宅集会所)

認知症サポーター養成講座、ステップアップ教室

- 6月12日 門真市立第2中学校(合同)
- 10月20日 認知症ステップアップ講座
- 10月10日 上島頭自治会館
- 10月18日 ハイライフ集会所
- 11月24日 シルバー人材センター

通いの場くいきいき百歳体操>

- 11月3日 11月9日 立ち上げ支援・全3回(門真下馬伏住宅)
- 体力測定(島頭東自治会館他11回開催)

市域包括ケア会議

- 4月25日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・高齢福祉課からの周知事項
- 5月23日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・
- 6月20日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・
- 7月25日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・ケアマネジメントマニュアルについて他
- 9月27日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・
- 10月24日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・圏域担当医との連携会議について他
- 11月28日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・水道局からの問い合わせについて他
- 12月26日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・
- 1月23日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・ICT化促進事業について他
- 2月27日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・重要事項説明書について他
- 3月26日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・新システム導入他

小地域ネットワーク委員会

(小地域ネットワークの推進について)

12月25日 3月5日

高齢者虐待防止実務者会議・ネットワーク会議

(事例を通して虐待について考える、大阪府・門真市の虐待相談と通報状況について)

5月17日 7月19日 9月13日 11月15日 1月17日 3月13日

地域ケア会議(新介護予防ケアマネジメント検討会議)

(ケアマネジメントの質の向上や事業所の専門職の専門性の向上、高齢者の抱える問題など地域課題を把握する)

4月25日 5月23日 6月27日 7月25日 8月22日 9月26日 10月24日 11月21日 11月28日 12月26日
1月23日 2月27日

地域ケア会議(個別)

(個別ケースの支援内容を検討し課題を解決し、また地域課題を積み上げる)

6月11日 6月29日 7月22日

認知症初期集中支援事業チーム員会議・検討委員会

(チームの活動状況、医療機関との連携について)

6月21日 7月19日 9月20日

事例検討会・勉強会

(第2包括と共同でパーキンソン病について勉強会を開催)

6月22日 3月13日

圏域ケア会議

(地域課題の共有と協議し多機関、多職種の参加により、ネットワークの強化につながった)

6月30日

(2) その他会議と地域福祉活動

圏域内地域密着型サービス事業所運営推進会議

南郷デイサービス(10月30日)、ソラストれんか(10月19日、12月21日、2月22日)

かたぐるま(9月26日、3月26日)

(3) 三専門職会議

社会福祉士連絡会

①通所介護、訪問介護分科会との勉強会

②高齢者虐待対応の仕方について、社会福祉士の意見を投げかけ、検討していく

主任ケアマネ連絡会

①ケアマネ連絡会と協同し法定外研修を実施

②ケアプラン提出書類について

医療職連絡会

①認知症ステップアップ講座について

②運動サポーター養成講座について

(4) 参加した主な研修・講演等

9月13日 権利擁護と成年後見制度(佐藤)

11月18日 多職種連携(吉田)

11月20日 門真市消費者安全確保地域協議会研修(若林)

12月7日 「コミュニティコーピング」を学ぶ(内部研修全員参加)

12月21日 皆で考えるBCP(西島)

12月21日 虐待の気づきについて(若林)

1月8日 自然災害発生におけるBCPに罹る訓練(内部研修全員参加)

3月7日 在宅介護に関する地域の理解(吉田)

(5) ゆめ伴サロン・ファーム

サロン、ファーム共に毎週水曜日に活動、ファームは屋外活動であり、猛暑の炎天下は一時休止したが、認知症当事者と家族、住民等が作業を通して交流している。包括に相談があり、介護サービスを利用しなくとも趣味活動のできる方、通所C等介護保険サービスの利用を卒業した方等の通いの場として、一人ひとりができること、やりたいことが実現できる場として効果が期待できる。

R5年度事業報告書(三養福祉会)

門真第5地域包括支援センター

R6年度は、地域の各通いの場の住民の方々からの要望に応え、地域に出向き介護予防教室の開催と体力測定を順次実施しました。介護予防教室ではフレイルの原因と運動すること、栄養等の大切さを啓発し、体力測定ではリハビリ専門職の参加により専門的見地から助言をいただき、参加者の健康づくりへの意識向上に努め、更に、門真市でも増加傾向にある特殊詐欺等の消費者被害について伝え、地域の課題に沿った内容としました。また、地域の認知症の理解のための活動であるれんかファームでは、新たな取り組みとして大学生ボランティアを募集し認知症当事者と共に畑の作業を行いました。認知症のイメージがネガティブなものから、ポジティブイメージに変わったという感想を聞くことができました。

年次相談実績

(1)総合相談件数(相談者別)

	本人	家族・親族	知人・近隣住民	関係機関	介護支援専門員	医療機関	行政機関	その他	合計
延べ人数	1625	1036	74	316	984	221	307	134	4697

(2)相談内容内訳

	介護に関すること(介護保険に助することを含む)	介護予防・生活支援サービスに関すること	健康・医療に関すること	権利擁護・高齢者虐待(消費生活含む)	介護者離職防止に関すること	認知症に関する相談	その他	合計
延べ人数	3855	275	383	233	17	247	310	5320

(1) 介護予防事業

- 4月26日 第1回介護予防教室 消費者被害(東田町自治会館)
- 4月28日 出前講座 介護保険の動向(下馬伏自治会館)
- 5月13日 第2回介護予防教室 健康体操で身体も心も軽く(千石西町A自治会集会所)
- 5月16日 第3回介護予防教室 消費者被害(UR東門真団地集会所)
- 6月27日 第4回介護予防教室 頻尿、フレイル予防(上三ツ島自治会館)
- 6月29日 第5回介護予防教室 腰痛予防(枚方信用金庫)
- 7月6日 第6回介護予防教室 腰痛予防で動ける身体をつくろう(千石東自治会館)
- 7月24日 出前講座 介護保険について(高齢者ふれあいセンター)
- 9月28日 第7回介護予防教室 骨密度測定(枚方信用金庫)
- 10月17日 第8回家族介護教室 音楽療法で心と身体をリフレッシュ(UR東門真団地)
- 10月24日 第10回介護予防教室 歩行診断(高齢者ふれあいセンター)
- 10月31日 第9回介護予防教室 高齢期の栄養について(UR東門真団地)
- 11月16日 第11回介護予防教室 運動と笑いで認知症予防(千石東自治会館)
- 12月19日 第12回介護予防教室 口腔ケア(千石西町A自治会集会所)
- 3月16日 出前講座 介護予防に取り組みましょう(高齢者ふれあいセンター)
- 3月21日 第13回介護予防教室 運動と笑いで認知症予防(三ツ島住宅集会所)

認知症サポーター養成講座、ステップアップ教室

- 6月12日 門真市立第2中学校(合同)
- 10月20日 認知症ステップアップ講座
- 10月10日 上島頭自治会館
- 10月18日 ハイライフ集会所
- 11月24日 シルバー人材センター

通いの場くいきいき百歳体操>

- 11月3日 11月9日 立ち上げ支援・全3回(門真下馬伏住宅)
- 体力測定(島頭東自治会館他11回開催)

市域包括ケア会議

- 4月25日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・高齢福祉課からの周知事項
- 5月23日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・
- 6月20日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・
- 7月25日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・ケアマネジメントマニュアルについて他
- 9月27日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・
- 10月24日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・圏域担当医との連携会議について他
- 11月28日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・水道局からの問い合わせについて他
- 12月26日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・
- 1月23日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・ICT化促進事業について他
- 2月27日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・重要事項説明書について他
- 3月26日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・新システム導入他

小地域ネットワーク委員会

(小地域ネットワークの推進について)

- 12月25日 3月5日

高齢者虐待防止実務者会議・ネットワーク会議

(事例を通して虐待について考える、大阪府・門真市の虐待相談と通報状況について)

5月17日 7月19日 9月13日 11月15日 1月17日 3月13日

地域ケア会議(新介護予防ケアマネジメント検討会議)

(ケアマネジメントの質の向上や事業所の専門職の専門性の向上、高齢者の抱える問題など地域課題を把握する)

4月25日 5月23日 6月27日 7月25日 8月22日 9月26日 10月24日 11月21日 11月28日 12月26日
1月23日 2月27日

地域ケア会議(個別)

(個別ケースの支援内容を検討し課題を解決し、また地域課題を積み上げる)

6月11日 6月29日 7月22日

認知症初期集中支援事業チーム員会議・検討委員会

(チームの活動状況、医療機関との連携について)

6月21日 7月19日 9月20日

事例検討会・勉強会

(第2包括と共同でパーキンソン病について勉強会を開催)

6月22日 3月13日

圏域ケア会議

(地域課題の共有と協議し多機関、多職種の参加により、ネットワークの強化につながった)

6月30日

(2) その他会議と地域福祉活動

圏域内地域密着型サービス事業所運営推進会議

南郷デイサービス(10月30日)、ソラストれんか(10月19日、12月21日、2月22日)

かたぐるま(9月26日、3月26日)

(3) 三専門職会議

社会福祉士連絡会

①通所介護、訪問介護分科会との勉強会

②高齢者虐待対応の仕方について、社会福祉士の意見を投げかけ、検討していく

主任ケアマネ連絡会

①ケアマネ連絡会と協同し法定外研修を実施

②ケアプラン提出書類について

医療職連絡会

①認知症ステップアップ講座について

②運動サポーター養成講座について

(4) 参加した主な研修・講演等

9月13日 権利擁護と成年後見制度(佐藤)

11月18日 多職種連携(吉田)

11月20日 門真市消費者安全確保地域協議会研修(若林)

12月7日 「コミュニティコーピング」を学ぶ(内部研修全員参加)

12月21日 皆で考えるBCP(西島)

12月21日 虐待の気づきについて(若林)

1月8日 自然災害発生におけるBCPに備える訓練(内部研修全員参加)

3月7日 在宅介護に関する地域の理解(吉田)

(5) ゆめ伴サロン・ファーム

サロン、ファーム共に毎週水曜日に活動、ファームは屋外活動であり、猛暑の炎天下は一時休止したが、認知症当事者と家族、住民等が作業を通して交流している。包括に相談があり、介護サービスを利用しなくても趣味活動のできる方、通所C等介護保険サービスの利用を卒業した方等の通いの場として、一人ひとりができること、やりたいことが実現できる場として効果が期待できる。

令和5年度 事業報告書

- ・令和5年度 箕面の郷 事業報告概論
- ・特別養護老人ホーム箕面の郷事業報告
 - ・食事・栄養管理(特養・デイサービス・ケアハウス)事業報告
 - ・令和5年度研修(内部・外部)研修報告
- ・デイサービスセンター箕面の郷事業報告
- ・ヘルパーステーション箕面の郷事業報告
- ・居宅介護支援事業所 箕面の郷事業報告
- ・ケアハウス箕面の郷 事業報告

社会福祉法人 三養福祉会

指定介護老人福祉施設 箕面の郷

令和5年度指定介護老人福祉施設箕面の郷事業報告概論

事業報告冒頭に利用者様をはじめその家族様、関係各位の皆様には深くお詫びをいたします。それは8月の末に虐待の疑いで箕面市より実態確認調査をうけ、下記の通りの指摘を受けました事は、誠に遺憾に思い、痛恨の極みであります。

記

- (1) 高齢者虐待件数2件
- (2) 非虐待高齢者数 入居者複数名
- (3) 虐待種別
 - ① ネグレクト
ナースコールが配置されていない、もしくはナースコールはあるが電源が抜かれていたり、利用者本人が使えない場所に配置したりしている状態はネグレクトに該当する。
 - ② 心理的虐待日常的に高圧的な言動や態度、介護の荒さがみられ、利用者を子ども扱いしたり、利用者が怖がったりしている事は心理的虐待に該当する。
- (4) 虐待を行った従事者の職種
介護職員 複数名

以上

上記の個々の指摘については、施設として主張はあるのですが、真摯に受け止め、これを機に箕面の郷をより良い施設にする為の好機ととらえ研修や制度の見直し(若返り)を図り、6年度に継続してまいります。

さて、箕面の郷の令和5年度は課題であったBCP(事業継続計画)を整備することが出来ました。今後は節目ごとの見直し検討を継続していきます。

また、新型コロナウイルス感染症とノロウイルス感染症が、12月~2月にかけ施設内で発症致しましたが、お陰様で小規模の感染で抑えることが出来ました事は利用者様はじめご家族様、関係各位、職員一同の理解と協力の成果だと思い深く感謝いたします。

令和5年度業績については箕面の郷全体で売り上げが5億2千9百満で、前年度と比べほぼ横ばいの微増でしたが、デイサービスに於いては新旧スタッフの入れ替え等のため人件費が膨れ上がり約40万円の赤字に至ってしまいました。今後は利用率のUPと経費節減に取り組み挽回を図ってまいります。また、居宅に於いても前年に続き赤字でしたが、半減する事が出来ました。箕面の郷は設立20年になり色々の大型の修理等があり修繕費等の増加が避けられない状態故、利用率の向上は至上課題に6年度の運営を実施していきます。簡単ですが、令和5年度箕面の郷事業報告の概論といたします。

指定介護老人福祉施設箕面の郷
施設長 生島 誼

令和5年度事業報告書

特別養護老人ホーム 箕面の郷

期間: 令和5年度(2023年4月1日～2024年3月31日)

指定介護老人福祉施設床数 定員: 指定介護老人福祉施設 56名、短期入所 14名)

I 特別養護老人ホーム

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要介護1	男性													0	0.0
	女性													0	0.0
要介護2	男性													0	0.0
	女性	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	21	1.8
要介護3	男性	3	2	2	2	3	3	3	4	5	6	6	6	45	3.8
	女性	9	9	10	9	10	10	11	11	10	12	11	11	123	10.3
要介護4	男性	3	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	54	4.5
	女性	18	18	17	18	18	17	18	18	15	18	18	19	212	17.7
要介護5	男性	2	2	2	5	2	2	2	1	1	1	1	1	22	1.8
	女性	17	17	16	11	16	15	13	12	13	13	11	12	166	13.8
合計		54	54	54	52	56	54	54	53	51	55	52	54	643	53.58
平均介護度		3.91	3.93	3.89	3.73	4.02	3.86	3.80	3.68	3.55	3.82	3.59	3.75	45.54	3.79

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入所者数	男性	8	8	8	9	10	10	10	10	10	11	10	11	115	9.6
	女性	46	46	46	43	46	44	44	43	41	44	42	43	528	44.0
退去者数	男性			1						1				2	0.2
	女性	1	2		1	1		1		3	1	1	1	12	1.0
入院者数	男性			1	1					1	1	1	2	7	0.6
	女性	3	3	3	5	4	4	4	4	6	4	4	5	49	4.1
外泊者数	男性													0	0.0
	女性	1		1	2	1	1	1	1	3	3	1	1	16	1.3
新規利用者数	男性			1	1	1				1	1			5	0.4
	女性		1	1		1		1		1	3		1	9	0.8
外出者数		2	1	1			2	2	2	4	3	3	3	23	1.9
通院者数		17	13	13	13	6	14	12	7	13	8	15	11	142	11.8
面会者数		31	102	89	53	25	77	62	54	66	81	41	74	755	62.9
実習生受入日数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

退所者理由	看取り介護にて永眠	精神科療養	長期療養型病院	ホスピス病院	逝去
	1	1	10	1	1

今年度は、感染症感染から入院となり施設に戻る事が困難で、長期療養型病院に移られる方が多く退所期日ギリギリまで、お部屋の取り置き希望と看取りでの再入所希望それぞれ意向もあり空室の有効活用が難しくショートへの利用に繋げる事が出来なかった。
令和5年12月の退所が多く、満床に戻すのに2カ月以上かかりその間にも退所もあり稼働率が低下した。
特養待機者については、郵便にて待機継続確認実施し、特養入所取り下げ希望の方も多く発生し待機人数も少なく、箕面市全体で待機者が少なくなりつつある。

階層別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第4段階	28	28	27	26	28	26	26	25	23	28	25	26	316
第3段階②	16	16	16	16	18	18	18	18	19	18	18	19	210
第3段階①	6	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	71
第2段階	4	4	5	5	4	4	4	4	3	3	3	3	46
第1段階													0
合計	54	54	54	52	56	54	54	53	51	55	52	54	643

(入所者の状況)

2024年3月31日付

保険者市町村名	大阪府						兵庫県		滋賀県
	箕面市	吹田市	池田市	豊中市	大阪市	豊能町	芦屋市	宝塚市	大津市
男性	8			1		2			
女性	32	1	2	3	1	1	1	1	1

(待機者状況)

2024年3月31日付け	箕面市	吹田市	豊中市	池田市	大阪市	茨木市	高槻市	豊能郡	その他
待機者市町村名	45	2	5	1	2	0	0	1	5

取消理由	辞退	除外	他施設入所	その他
	10	14	14	4

入所者身体状況

2024年3月31日付け

入所者平均年齢

	男性	女性
人数	11	43
平均年齢	89	
最高年齢	95	101
最低年齢	80	77

認知症老人の日常生活自立

0	レベル	人数
軽度	I	0
	II a	1
	II b	5
中度	III a	20
	III b	22
重度	IV	6
	M	0
合計		54

障害老人の日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	0
中度	A1	0
	A2	5
重度	B1	10
	B2	31
最重度	C1	5
	C2	3
合計		54

(年間行事)

5月	菖蒲湯
8月	納涼祭
9月	敬老祝賀会
12月	餅つき・ゆず湯

今年は感染状況を見ながら、外出行事や全体で行う行事などを行いました。

約3年ぶりにご家族様と一緒に納涼祭を実施しました。

その他ユニット単位で誕生会や行事を縮小して行い

感染対策の中でも季節を感じて頂けるよう努めた。

(部署会議)

実施期日	会議
4月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
5月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
6月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
7月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
8月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
9月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
10月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
11月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
12月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
1月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
2月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
3月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議

来年度は、感染予防を行いつつご家族様にも行事やイベントに参加していただけるよう様々な行事やイベントを取り入れ実施していきます。

Ⅱショートステイ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	25	21	29	24	26	28	28	36	30	30	24	34	335	27.9
延利用者数	312	331	348	425	415	383	372	413	414	389	329	319	4450	371
1日平均利用者数	10.4	10.7	11.6	13.7	13.4	12.8	12	13.8	13.4	12.5	11.3	10.3	148	12.4

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	2	1	3	1	1	1							9
要支援2				1				1		1	2		5
要介護1	2	1	1	2	3	5	5	6	3	4	1	6	39
要介護2	4	4	4	2	1	3	4	6	5	3	4	6	46
要介護3	8	5	11	8	9	9	11	12	10	11	7	10	111
要介護4	6	6	5	5	6	5	3	5	6	6	5	5	63
要介護5	3	4	5	5	6	5	5	6	6	5	5	7	62
合計	25	21	29	24	26	28	28	36	30	30	24	34	335
夜間稼働率	72%	70%	75%	88%	91%	92%	81%	88%	82%	78%	72%	66%	80%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規利用者	6	2	9	1	3	4	0	4	2	2	2	7	42

(利用者階層別日数)

階層別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第4段階	15	13	19	16	16	15	19	24	20	18	15	21	211
第3段階(2)	6	5	6	7	8	10	7	7	6	7	7	9	85
第3段階(1)						1	1	2	3	3	1	2	13
第2段階	3	2	4	1	1	2	1	3	1	2	1	2	23
第1段階	1	1			1								3
合計	25	21	29	24	26	28	28	36	30	30	24	34	335

【利用状況について】

* ショート部屋利用のみの稼働率では、86%であったが特養の入院者が多い為特養入院部屋含むと74%まで減少した。

令和6年度については、入院部屋のSS利用徹底を重視し営業活動していく。

【感染対応について】

* 令和5年度は、インフルエンザ コロナウィルス ノロウィルスともにSSから持ち込み感染拡大発生し、今一度、家族との連携強化し日々様子確認努め、感染症を持ち込まないようにしていく。

令和5年度 事業報告 箕面の郷 給食関係

1. 特養実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比(%)
令和5年4月	1531	1530		1531	4592	107
令和5年5月	1554	1555		1553	4662	100
令和5年6月	1519	1517		1519	4555	101
令和5年7月	1536	1536		1536	4608	98
令和5年8月	1577	1581		1577	4735	99
令和5年9月	1572	1570		1571	4713	102
令和5年10月	1583	1584		1586	4753	101
令和5年11月	1532	1533		1532	4597	106
令和5年12月	1523	1520		1518	4561	101
令和6年1月	1526	1525		1531	4582	107
令和6年2月	1474	1472		1473	4419	104
令和6年3月	1571	1574		1571	4716	99
合計	18498	18497		18498	55493	
平均	1542	1541		1542	4624	102

2. 短期入所実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比(%)
令和5年4月	295	310	40	299	944	81
令和5年5月	330	339		329	998	80
令和5年6月	331	356		335	1022	88
令和5年7月	412	433		416	1261	100
令和5年8月	398	420		396	1214	102
令和5年9月	357	389		359	1105	88
令和5年10月	352	375		350	1077	87
令和5年11月	378	415		381	1174	94
令和5年12月	377	406		379	1162	111
令和6年1月	435	462		440	1337	127
令和6年2月	314	335		313	962	101
令和6年3月	280	314		281	875	80
合計	4259	4554	40	4278	13131	
平均	355	380	40	357	1094	95

令和5年度 行事食

令和5年4月	お花見御膳(たけのこご飯、鯛の塩焼き、茶碗蒸し、真薯さくらあん、ゼリー)
令和5年5月	端午の節句(お赤飯、天ぷら、筍と真薯の銀あんかけ、抹茶ムース、清汁)
令和5年6月	
令和5年7月	七夕(ちらし寿司、茶碗蒸し、三色そうめん清汁、七夕ゼリー) 土用の丑(うなぎちらし、きゅうり梅和え、清汁)
令和5年8月	納涼祭
令和5年9月	重陽の節句(栗ご飯、赤魚塩焼き、菊葉柚子和え、エビ団子煮物、清汁) 敬老祝賀会(赤飯、天ぷら、茶碗蒸し、紅白なます、清汁、紅白まんじゅう)
令和5年10月	ハロウィン(かぼちゃプリン)
令和5年11月	
令和5年12月	クリスマス(エビヒラフ、フライドチキン、野菜サラダ、コーンスープ、クリスマスデザート) 年越しそば(にしんそば、白煮魚、みかん)
令和6年1月	お節料理
令和6年2月	節分(巻き寿司、炊き合わせ、いわしつみれの清汁、みかん、たまごボーロ)
令和6年3月	ひな祭り(ちらし寿司、炊き合わせ、菜の花和え物、茶碗蒸し、ひなあられ)

3. デイサービス実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比(%)
令和5年4月		499	498		997	104
令和5年5月		555	554		1109	110
令和5年6月		510	509		1019	94
令和5年7月		562	559		1121	102
令和5年8月		534	532		1066	106
令和5年9月		558	553		1111	105
令和5年10月		544	536		1080	103
令和5年11月		512	504		1016	105
令和5年12月		535	528		1063	150
令和6年1月		502	488		990	123
令和6年2月		521	520		1041	109
令和6年3月		566	553		1119	107
合計		6398	6334		12732	
平均		533	528		1061	110

令和5年度 デイ イベント食

令和5年4月	助六寿司
令和5年5月	旬野菜の天ぷら
令和5年6月	冷やし中華
令和5年7月	ぶっかけうどん
令和5年8月	夏野菜カレー
令和5年9月	芋煮会
令和5年10月	豚汁
令和5年11月	ご当地おでん(金沢、姫路)
令和5年12月	鶏寄席鍋風ホイル包み
令和6年1月	おせち料理と天ぷら
令和6年2月	クリームシチュー
令和6年3月	いなり寿司・うどんセット(天ぷら)

4. ケアハウス実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比(%)
令和5年4月	1018	682		986	2686	104
令和5年5月	1034	680		995	2709	101
令和5年6月	944	591		911	2446	99
令和5年7月	1047	688		1015	2750	101
令和5年8月	1083	723		1050	2856	101
令和5年9月	1053	686		1015	2754	102
令和5年10月	1082	712		1041	2835	102
令和5年11月	1008	654		971	2633	98
令和5年12月	1013	686		975	2674	96
令和6年1月	1015	693		977	2685	98
令和6年2月	939	605		905	2449	100
令和6年3月	1020	655		980	2655	100
合計	12258	8055		11821	32132	
平均	1021	671		985	2678	100

5、 来客・ご利用のご家族さま実数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比(±人)
令和5年4月	0	0		0	0	
令和5年5月	0	0		0	0	
令和5年6月	0	0		0	0	
令和5年7月	0	0		0	0	
令和5年8月	0	0		0	0	
令和5年9月	0	0		0	0	
令和5年10月	0	0		0	0	
令和5年11月	0	0		0	0	
令和5年12月	0	0		0	0	
令和6年1月	0	0		0	0	
令和6年2月	0	0		0	0	
令和6年3月	0	0		0	0	
合計	0	0		0	0	

6、 職員食実数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比(%)
令和5年4月		350			350	126
令和5年5月		360			360	131
令和5年6月		348			348	119
令和5年7月		341			341	111
令和5年8月		322			322	98
令和5年9月		328			328	98
令和5年10月		333			333	101
令和5年11月		289			289	92
令和5年12月		309			309	101
令和6年1月		305			305	106
令和6年2月		273			273	94
令和6年3月		304			304	120
合計		3862			3862	
平均		322			322	108

7、 事故報告

令和5年4月	
令和5年5月	
令和5年6月	
令和5年7月	朝食時のフルーツ缶に虫が混入していた。→缶詰の開封時、盛り付け時、検品時に異物混入が無いを確認するよう指導した。
令和5年8月	
令和5年9月	鶏の粕漬焼山椒風味にビニール片が混入していた。→開封時ビニール片が落ちないよう切り離さない状態でゴミ箱に入れる。
令和5年10月	鶏の山椒焼きの上に白い髪の毛がのついていた。→厨房職員に白い髪の毛が落ち、上にのつた状態であったためご本人様の毛の可能性もあるが白衣に髪の毛がついていないか確認するように指導した。
令和5年11月	ひじきの煮物の中に金属片が混入していた。→劣化したざるの使用を中止し日々点検を行うように指導した。
令和5年12月	
令和6年1月	デイサービスで提供されたカレーライスの中に3cm×6cmのビニール片が混入していた。→開封時ビニール片が落ちないよう切り離さない状態で確実にゴミ箱に入れる。
令和6年2月	
令和6年3月	

※事故報告考察

異物混入が多かった。厨房に入室前、白衣の着脱後にローラーをかけ、お互いに衣服に髪の毛等異物混入になりそうなものがついていないか確認をし予防に努めなければならない。

また日々の点検をしっかり行い、異物混入の危険性のあるものの使用は中止する等対策をする。ビニール片の混入については作業の仕方を再確認し、厨房職員全員に周知徹底してもらう。

令和 5 年度研修(内部・外部)研修報告書

長年、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に重点を置く中で、研修方法は、動画配信、Zoom 等が主となり、対面での研修は、ほぼ開催できませんでした。そのような中、令和 5 年度は、基本に戻り「認知症研修」と令和 6 年度から必須となる「業務継続計画(以下、BCP)研修」を通じ、自然災害・新型コロナウイルス等パンデミックに備えた施設づくりと、職員一人ひとりが認知症の理解と適切なケアを提供できるようスキルアップを図ることに取り組みました。

内部研修は、新入職員研修、2 年目職員フォローアップ研修、中途採用職員研修、各委員会が主催する研修会、施設独自の研修会(人権・認知症研修・普通救命講習会・BCP 研修・虐待防止研修・安全運転研修等)の他、法人主催の虐待防止のための研修会を開催し、延べ 585 名が参加しました。認知症研修は、全職員を対象に 3 日間開催した後、特養ユニット毎に困難事例を基に事例検討会を開催し、認知症の理解を深めました。

BCP 研修では、運営会議メンバーを BCP 委員会のメンバーに任命し、作成・修正段階から協働しました。研修会では、全職員を対象に 3 日間 BCP の主旨、方針、リスクの把握、役割分担等を説明した上で、訓練は 7 回(リーダークラス・一般職員別)開催しました。

一方、外部研修は、和歌山・日置の郷のユニット介護を勉強させていただくことからスタートし、大阪府主催の「認知症介護実践者研修」を 2 名が、又、認知症介護基礎研修(e-ラーニング)は 7 名が受講しました。

又、箕面市主催の「応急手当の普及講習会」を 1 名が受講し、職員全員に 3 日間、講義と実技を指導し、緊急時の対応を学ぶことが出来ました。その他、箕面市の「高齢者虐待研修(動画)」や「認知症研修(コミュニケーションの取り方)」を、大阪府主催の「高齢者虐待防止研修」を施設長とリーダー 2 名が受講しました。いずれも、外部受講者の報告書を各部署に配布し、伝達研修を実施しました。

残念なことにこのような取り組みの最中、令和 5 年 8 月 24 日～9 月 13 日までの間、箕面市から「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援などに関する法律」に基づく事実確認があり、令和 6 年 3 月 4 日付けで、同法第 20 条に基づき、高齢者虐待があったものとして、改善計画の提出依頼がありました。

令和 6 年度は、この改善計画に則り、高齢者虐待が発生した原因を充分に究明し、再発防止に向けた対策を進めて参る所存です。

以上

令和5年度 内部研修参加一覧表

NO.1

番号	日付	研修名	参加者	所属
1	4月2日－11日	令和5年度 新入職員研修	4名	新入職員他
2	4月17日	2年目職員フォローアップ研修	3名	特養・デイ
3	4月19日	感染症とその対策研修 1回目	14名	全職員
4	5月24日	R5年度 認知症研修（基礎編） 1回目	30名	全職員
5	5月24日	接遇・マナー研修 1回目	30名	全職員
6	5月26日	R5年度 認知症研修（基礎編） 2回目	23名	全職員
7	5月26日	接遇・マナー研修 2回目	23名	全職員
8	5月29日	R5年度 認知症研修（基礎編） 3回目	22名	全職員
9	5月29日	接遇・マナー研修 3回目	22名	全職員
10	6月7日	認知症・ユニット事例検討会（3階・3丁目）	9名	特養
11	6月7日	高齢者虐待防止研修（法と種別）（1回目）	6名	全職員
12	6月12日	事故対策研修会リスクマネジメントの基本的な視点と記録の意義（1回目）	5名	全職員
13	6月13日	認知症・ユニット事例検討会（3階・2丁目）	8名	特養
14	6月15日	認知症・ユニット事例検討会（3階、1・5丁目）	6名	特養
15	6月19日	認知症・ユニット事例検討会（2階・ひまわり）	4名	特養
16	6月20日	感染症胃腸炎（ノロウイルス）研修（2回目）	10名	全職員
17	6月26日	認知症・ユニット事例検討会（2階・さくら）	6名	特養
18	6月30日	認知症・ユニット事例検討会（2階・ぼたん）	7名	特養
19	7月5日	認知症・ユニット事例検討会（2階・コスモス）	6名	特養
20	7月5日	身体拘束・虐待防止研修会 身体拘束の種類と範囲（2回目）	5名	全職員
21	8月16日	高齢者虐待防止研修（事例を通して学ぶ）（3回目）	4名	全職員
22	8月19日	事故対策研修会 介護現場での事故とヒヤリハット、起こり得る事故、事故報告書の重要性（2回目）	9名	全職員
23	8月22日	胃ろう・喀痰・吸引研修会 胃ろう喀痰吸引マニュアルと吸引機の取り扱い方と注意点（1回目）	9名	全職員
24	9月6日	身体拘束研修（身体拘束がもたらす身体的・精神的影響について）（4回目）	5名	全職員

令和5年度 内部研修参加一覧表

NO.2

番号	日付	研修名	参加者	所属
25	9月7日	人権研修（障がいの特性と共に働く意義） 外部講師	16名	全職員
26	9月20日	感染症 感染性胃腸炎（ノロウイルス）研修 3回目	10名	全職員
27	9月27日	「普通救命講習会」 1回目	16名	全職員
28	9月29日	「普通救命講習会」 2回目	10名	全職員
29	10月2日	「普通救命講習会」 3回目	15名	全職員
30	10月4日	身体拘束・虐待防止研修 （プライバシー保護・人権） (5回目)	5名	全職員
31	10月18日	感染症・褥瘡予防研修会 褥瘡（床ずれ）の原因、予防法 (4回目)	10名	全職員
32	10月26日	胃ろう・喀痰・吸引研修会 胃ろうにおける口腔ケアの重要性 (2回目)	6名	全職員
33	10月27日	R5年度 第1回目 BCP研修&訓練 全体（リーダークラス）	22名	リーダー
34	11月19日	R5年度第2回目 BCP研修&訓練 全体（一般職員）	17名	全職員
35	11月27日	R5年度第3回目 BCP研修&訓練 全体（一般職員）	11名	全職員
36	12月6日	箕面市高齢者虐待防止研修（動画）	4名	全職員
37	12月7日	R5年度 第4回目 BCP研修&訓練 全体（一般職員）	27名	全職員
38	1月17日	R5年度 第5回目 BCP研修&訓練 感染症対策編編 感染経路の遮断	12名	全職員
39	2月1日～8日	令和5年度中途採用職員研修	1名	中途採用職員
40	2月13日	R5年度 第6回目 BCP研修&訓練 全体（BCP対策本部）	12名	推進メンバー
41	2月21日	R5年度 第7回目 BCP研修&訓練（感染症対策編） スタンダードプリコーション、PPE、ガウン着脱訓練	12名	全職員
42	2月27日	胃ろう・喀痰・吸引研修会 PEG利用者のための 半固形化栄養 外部講師 (3回目)	4名	全職員
43	3月4日	R5年度 安全運転研修（安全運転の心得） 運転士用マニュアル	15名	全職員
44	3月27日	R5年度 感染症 褥瘡予防ポジショニング研修 外部講師 (5回目)	13名	全職員
45	3月25日～31日	法人主催 虐待防止のための研修（WEB研修）	77名	全職員
			延べ585名	

令和5年度 外部研修参加一覧表

番号	日付	研修名	参加者	所属
1	6/7-6/9	ユニットケア研修（和歌山、日置の郷）	2名	特養
2	7/25-27	箕面市 応急手当の普及講習会	1名	ケアハウス
3	9月11日	大阪府介護施設指導グループ主催 BCP策定等に関する防災リーダー研修（1回目）	1名	特養CM
4	11月1日	2,023年日本環境感染学会 地域セミナー委員会主催 関西・中国ブロック研修会	1名	特養 生活相談員
5	11月24日	大阪府BCP策定などに関するアドバイザーによる個別相談会（2回目）（Zoom）	2名	特養
6	9/6-11/22	大阪府認知症介護実践者研修（松村・池田）	2名	特養・デイ
7	12月－3月	厚労省の定める認知症介護基礎研修（e-ラーニング）認知症の人の理解と対応の基本	7名	特養
8	12月6日	箕面市 高齢者虐待研修 動画視聴	4名	身体拘束・虐待委員会
9	12月14日	箕面市立病院 スキルアップ研修 認知症ケア（コミュニケーションの取り方）	2名	デイ・ケアハウス
10	1月12日	R5年度池田保健所館内 院内・施設内感染対策ネットワーク合同会議（Zoom）	4名	ケアハウス・デイ・特養CM・事務局
11	1月18日	経営課題解決セミナー BCP策定支援セミナー（Zoom）	4名	運営会議メンバー
12	2月8日	R6年度 介護報酬改定の主な事項についてセミナー（Zoom）	9名	運営会議メンバー
13	2月15日	R5年度 大阪府主催 高齢者虐待防止研修（管理者対象）	1名	施設長
14	2月20日	令和5年度 公正採用選考人権啓発推進員 ステップアップ人権研修	1名	施設長
15	2月22日	R5年度 大阪主催 高齢者虐待防止研修（特養現場リーダー対象）（ケアハウス現場リーダー）	2名	特養・ケアハウス相談員
16	3月29日	令和5年度 特定給食講演会	1名	管理栄養士
17			延べ44名	
18				

算面の部 令和5年度 年間研修実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内 容	4/2-11 新入職員研修 4名	認知症研修 基礎編・全体 24日・26日・29日 79名参加	認知症研修 事例編 ユニット毎 各1 ユニット毎 各1	認知症研修 事例編 ユニット毎 各2 ユニット毎 各2	8/22 胃ろう嚥下 吸引研修	8/16身体拘束・高齢 者虐待防止研修会 (3)	8/19事故対応研修会 (2)	8/16身体拘束・高齢 者虐待防止研修会 (3)	8/11 BCP推進研修 山村	10/18 感染症・褥瘡予防 研修会	10/14身体拘束・高齢 者虐待防止研修会 (5)	10/25消防・防災訓練
	4/17 2年目フォローアップ 研修 (3名)	共通・マナー研修 (全体研修) 24日・26日・29日 79名参加	ユニットケア研修 (和歌山)2名 6/7～6/9 重宝東由 山下寛彦	外部研修 応急手当の普及講習 (栗田消防署) 3日間28・29・27日 電話	外部研修 9/11 BCP推進研修 山村	外部研修 9/11 BCP推進研修 山村	外部研修 9/11 BCP推進研修 山村	外部研修 11/24 BCP推進研修 山内	外部研修 12/14 認知症研修 (コミュニティメン の取り方)	外部研修 1/12 令和5年度 池田県消防管内 防内・消防直轄 対策ネットワーク	外部研修 2/8 R6年度介護職員 認定の主な事項に ついて (Zoom)	3/27 第7回BCP研 修会と訓練 (感染症) ボジショニング (株) モルテン アドバイザー
	新入職員研修 入替・権利保護 (全所別別) 4名	6/7身体拘束・高齢者 虐待防止研修会 (1) 6/12事故対応研修会 (1)	6/7身体拘束・高齢者 虐待防止研修会 (1) 6/12事故対応研修会 (1)	7/24 (月) 新入職員3ヵ月 フォローアップ 研修 コロナ の対応	7/5身体拘束・高齢者 虐待防止研修会 (2)	7/5身体拘束・高齢者 虐待防止研修会 (2)	7/5身体拘束・高齢者 虐待防止研修会 (2)	7/5身体拘束・高齢者 虐待防止研修会 (2)	7/5身体拘束・高齢者 虐待防止研修会 (2)	7/5身体拘束・高齢者 虐待防止研修会 (2)	7/5身体拘束・高齢者 虐待防止研修会 (2)	7/5身体拘束・高齢者 虐待防止研修会 (2)
BCP 推進 会議	4/19 感染症とその対策 (14名)	6/27 胃ろう・嚥下 吸引研修	6/14 第2回 BCP推進会議	8/2 第3回 BCP推進会議	8/2 第3回 BCP推進会議	8/2 第3回 BCP推進会議	8/2 第3回 BCP推進会議	8/2 第3回 BCP推進会議	8/2 第3回 BCP推進会議	8/2 第3回 BCP推進会議	8/2 第3回 BCP推進会議	8/2 第3回 BCP推進会議
BCP 進捗	4/28 原簿BCP会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川
認知症 介護実践 者研修	4/28 原簿BCP会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川
認知症 介護実践 者研修	4/28 原簿BCP会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川
認知症 介護実践 者研修	4/28 原簿BCP会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川	5/10 第1回 BCP推進会議 5/1 ヘルプ・デイ ・ケアハウス 5/5 西瀬・宮川

12月～3月 9ラーニング受講
認知症の人の理解と対応の基本
受講者：中島漢貴・西田清明・真野就美・セルキ・エカ・リアン・平山カレン (7名)

令和5年度事業報告書 デイサービス箕面の郷

【デイサービス登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	149	157	159	163	191	144	130	140	137	125	133	124	1752
女	407	466	441	457	482	498	497	475	486	499	503	505	5716
合計	556	623	600	620	673	642	627	615	623	624	636	629	7468

【デイサービス登録・利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	556	623	600	620	673	642	627	615	623	624	636	629	7468
実利用者数	505	560	521	571	544	569	556	536	545	512	530	576	6525
登録者数平均	22.4	23.0	23.0	23.8	24.9	24.6	24.1	23.6	23.0	23.1	25.4	24.1	23.7
実利用者数平均	20.2	20.7	20.0	21.9	20.1	21.8	21.3	20.6	20.1	18.9	21.2	22.1	20.7
実施日数	25	27	26	26	27	26	26	26	27	27	25	26	314

【要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請中	4	2	5	1	2	1	1	3	2	4	7	2	34
総合支援事業	5	4	4	2	2	2	3	2	2	2	2	2	32
要支援Ⅰ	3	4	4	4	4	5	4	4	3	3	3	3	44
要支援Ⅱ	3	4	4	4	6	6	6	5	5	6	5	6	60
要介Ⅰ	18	20	22	25	25	25	24	23	26	26	24	28	286
要介Ⅱ	10	11	8	9	9	8	8	7	7	5	7	9	98
要介Ⅲ	14	16	15	15	17	16	14	15	16	15	10	11	174
要介Ⅳ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11
要介Ⅴ	3	3	4	4	3	3	3	2	3	4	3	3	38
計	61	65	67	65	69	67	64	62	65	65	62	65	777

【障害者利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【利用状況】

令和5年度の利用実績が、6,525人 昨年比107.7% 予算比 93.2%と昨年より若干は回復するがコロナ感染等で苦戦。令和5年度の1日の平均利用実績が、事業計画の22.4名平均目標に対して20.7人と到達できませんでした。昨年19.5人から少し改善も、目標未達となりました。要因としては、施設内でのコロナやノロウイルス感染により利用者様の利用を控えてもらったことも要因。体験利用や新規利用に関してもかなり減っており、自宅で自粛される利用者が多かった。利用者様がコロナ感染で重篤化したり、コロナが収まった後でも、転倒骨折や体調不良で入院されて重症化する利用者が増えて、入院や施設入所になる利用者が増えている。

3月以降は、体験利用や新規利用者様が増えてきており、既存の利用者が入院や施設入所される利用者に入れ替わる状況が続いている。定員25名で各曜日予定しているが、ショートステイ利用や体調不良でのデイサービスキャンセルが日々出る状況が続いており、25名定員予定より2～3名多く利用者を確保しておかないと稼働率が上がり状況である。新規利用者をオーバー気味に確保しておき、日々状況見ながら調整していきます。経費面に関しては、人件比率が昨年70.8%から73.4%に上昇したことが要因で、利益率が-435(千)と赤字になる見込み。出産準備の職員1名や高年齢での職員退社もあり、紹介会社からの紹介での職員2名の手配もあったが、今後計画を持った職員採用を心がけ、人件比率の改善や経常利益の改善を図ります。大変申し訳ございませんでした。

【年間行事】

コロナウイルスの予防の為、外出及びボランティアレクリエーションは自粛しています。施設内のコロナ感染でのクラスターで、納涼祭等デイサービスの施設行事も中止になったも誕生日会は、毎月第三水曜日に実施。手作りケーキやゲームで楽しんべ頂いています。

令和5年5月4・5日 菖蒲湯
令和5年5月26日 マジックショー
令和5年7月10日 ハワイアンコンサート
令和5年9月16日 敬老会
令和5年11月6日 紅葉鑑賞

令和5年12月22日 ゆず湯
令和5年12月25日 クリスマス会
令和5年12月30日 餅つき大会

ボランティア様の活動に関しては、コロナ感染状況を見ながら、5月にマジックショーを開催したのと、第1・第3水曜日に音楽クラブ様の活動を再開しましたが、コロナ以前に協力いただいていた、アレンジフラワー・蓄音機・ガンバルーン体操・サンマ祭り等のボランティア様の活動に関しては、再開できませんでした。また、地域の交流として、もみじ保育園や箕面第4中学校の茶道部や吹奏楽部の交流を企画するが、コロナやインフルエンザの感染拡大で開催中止になりました。特に、季節を感じる外出やイベントを毎月企画して、利用者様を元気にさせたいと思っていましたが実施するのが難しい状況でした。来季は、再開していきたいと思います。

【食事】

1. 実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計
令和4年4月		495	495		990
令和4年5月		550	549		1,099
令和4年6月		507	506		1,013
令和4年7月		558	555		1,113
令和4年8月		531	529		1,060
令和4年9月		557	552		1,109
令和4年10月		542	534		1,076
令和4年11月		507	499		1,006
令和4年12月		532	525		1,057
令和4年1月		499	489		988
令和4年2月		518	517		1,035
令和4年3月		564	551		1,115
		6,360	6,301		12,661

【食事】

食事に関しては、毎日の選択食と月2回のイベント食や実演での昼食の提供を実施。利用者様に熱々の食事を提供し好評です。マンネリ化しないよう利用者様に喜んでもらえるようにしています。

以上

令和5年度事業報告書
ヘルパーステーション箕面の郷

(A) 訪問介護 **204 229 206 203 202 185 172 163 156 159 158 158**
 327 319 299 351 342 365 384 368 361 370 356 393 (回数)

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体01	35	37	37	53	59	51	54	57	56	50	52	69	610
身体01夜	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	7
身体介護1夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護1	94	63	45	44	45	48	53	50	49	60	61	61	673
身体介護1二人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体1生活1	96	102	98	131	125	148	148	127	126	129	121	127	1478
身体1生活1夜	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
身体1生活2	13	0	15	17	13	17	25	16	24	19	21	32	212
身体1生活2夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体1生活3	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
身体介護2	31	44	44	46	45	45	46	56	47	44	41	42	531
身2二人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護2夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身2生1夜朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体2生活1	11	10	11	12	10	9	13	10	11	11	14	11	133
身2生1二人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体2生活2夜朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体2生活2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	6
身体2生活3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
身体介護3	0	0	2	3	1	2	2	0	1	1	0	0	12
身体介護3 夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体3生活1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
身体3生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
身体3生活3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護4	3	0	2	0	0	0	0	1	0	2	1	1	10
身体4生活1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
身体4生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体4生活3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体5	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
身体5生活1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体5生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体5生活3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時訪問介護加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問介護初回加算	0	0	1	1	1	0	0	2	0	3	1	2	11
訪問介護処遇改善加算	43	46	43	44	43	44	43	44	43	44	43	45	525
合計	327	319	299	351	342	365	384	368	361	370	356	393	4235

(回数)

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活援助2	10	14	15	13	15	14	13	12	17	17	14	14	168
生活2深	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活援助3	194	215	191	190	187	171	159	151	139	142	144	144	2027
生活3夜朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	204	229	206	203	202	185	172	163	156	159	158	158	2195

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	男	76	91	88	95	102	107	101	90	95	115	81	74	1115
	女	125	128	141	176	138	127	130	128	128	117	132	134	1604
要介護2	男	54	40	24	22	22	21	25	30	30	29	42	53	392
	女	85	104	104	110	104	108	92	90	85	78	66	93	1117
要介護3	男	17	25	26	27	26	24	28	28	27	22	18	7	275
	女	82	100	65	66	95	108	92	85	77	83	89	91	1033
要介護4	男	11	14	13	13	13	13	13	13	13	14	12	13	155
	女	17	0	0	0	0	0	32	21	19	24	22	19	154
要介護5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	20	49
その他	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		488	502	461	509	500	506	513	485	474	482	470	504	5894

(B) 介護予防訪問介護

(回数)

回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防	I	18	22	17	18	16	18	18	16	18	19	27	30	237
	II	43	48	59	57	46	48	59	56	65	53	58	63	655
	III	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予防I・日割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初回加算	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	3	0	7
	処遇改善加算	11	11	11	11	10	10	11	11	12	12	15	15	140
合計		72	81	87	86	72	76	89	83	97	85	103	108	1039

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	男	15	15	16	15	13	15	16	16	15	13	18	16	183
	女	7	10	8	9	8	8	19	12	13	15	24	22	155
要支援2	男	7	7	7	10	0	0	0	0	7	8	8	8	62
	女	32	38	45	41	41	43	42	44	48	36	35	47	492
独自	男	22	22	23	25	13	15	16	16	22	21	26	24	245
	女	39	48	53	50	49	51	61	56	61	51	59	69	647
要支援・日割り	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		122	140	152	150	124	132	154	144	166	144	170	186	1784

(C) 全額利用者負担

(回数)

回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活援助2		7	7	7	6	8	13	14	11	12	7	11	9	112
生活援助3(1時間)		1	1	0	1	3	2	2	3	12	4	2	1	32
生活援助3(1.5時間)		0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
生活援助3(2時間)		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
生活援助3(3時間)		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
身体介護1		0	15	18	14	15	16	18	0	0	1	3	3	103
身体1生活1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体1生活2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護2		0	0	1	1	0	1	1	1	1	2	2	2	12
身体介護3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護4		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
身体介護5		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体介護6		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		8	23	27	22	26	32	35	15	32	15	19	15	269

(D)地域支援事業(身体障害者)

(回数)													
回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護を伴う													0
身体介護を伴わない													0
合計													0

(人数)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男													0
女													0
合計													0

(E)自立支援

(回数)													
回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体日中0.5													0
身体日中1.0													0
身体日中1.5													0
身体日中2.0													0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・訪問回数 内訳

(回数)													
(A)訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	324	311	345	359	385	336	271	253	245	255	217	266	3567
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(総括)

- ・今年度の訪問平均件数は601件 平均利用時間531時間
- ・ヘルパー人員は 常勤3名、登録は6名の9名体制になった
(年齢65歳以上4名・50代3名・一番若いヘルパー51歳)
- ・自費利用
 - ・年末の大掃除 16件 20時間 ・ぶらすワンケアサービスの提案(15分 500円)定期利用 4件
- ・稼働人員に関してはサ責1名(1/22)増員したが登録1名(家族介護のため退職)人数は変わらず
ベテランヘルパーは高齢になり新規利用者様対応難しくなったため、新規利用者はサ責2人が対応せざる状態になっている
- ・新規利用者様16名獲得(要介護12名・要支援4名)
- ・中止 入院12名(ほぼ骨折)⇒9名中止 ・入所2名 ・逝去1名
- ・利用者人数が63名 要介護46名 ・要支援 15名・ 自費利用 1名・ 障害 1名
- ・新規事業所開拓5件予定が3件の新規事業所獲得
- ・要支援の利用者の15名。(要介護に移行する方がいたり、要介護の新規依頼につながる)
- ・タブレット導入がケアマネへの迅速な報連相に繋がり、利用者様のリスク最小化へと繋がっている
ひやりはっと気づきになり事故防止につながった。
福祉用具の導入、サービス内容の見直し。自立支援につながる介護サービスになった
- ・タブレット導入により事務が軽減され時間外労働の改善につながり、働き方改革、有給利用につながった

<研修> ヘルパー研修

全体研修

開催月	研修内容
4月13日 (月) (水)	コロナ対策 ・事例ケースについて
5月22日 (水)	事故再発防止 ・事例ケースについて
6月22日 (水)	熱中症 ・事例ケースについて
7月15日 (水) (水)	高齢者の栄養 ・事例ケースについて
8月16日 (月) (水)	感染症対策 タブレット操作
9月20日 (火) (水)	BCP・感染症委員会の伝達 ・事例ケースについて
10月19日 (月) (水)	BCP、認知症 ・事例ケースについて
11月15日 (月) (水)	介護事故について ・事例ケースについて
12月20日 (水)	防火訓練、BCP ・事例ケースについて
1月17日 (水)	各委員会の伝達研修 ・事例ケースについて
2月21日 (金) (水)	感染委員からの感染対策実習 ・事例ケースについて
3月20日 (水)	BCP ・事例ケースについて

開催月	研修内容
	無し
5月	認知症研修
9月	普通救命講習
11月	BCP研修
3月	BCP研修訓練

令和5年度事業報告書

居宅介護支援事業所 箕面の郷

令和5年度 居宅・(予防)居宅介護支援事業の利用実績について、ご報告申し上げます。

〔実際に行った業務内容〕

- ① 介護保険新規申請代行・・・内容及び手続きの説明及び同意・契約
- ② 介護・予防ケアマネジメント
- ③ 各ケースの把握と更新申請代行
- ④ アセスメント
- ⑤ サービス担当者会議・ケアプランの作成
- ⑥ 月ごとの利用票・提供票の作成
- ⑦ モニタリング 利用票確認・意向確認
- ⑧ 地域包括支援センター・病院・各サービス事業所への連絡調整とサービスの調整
状態の変化の発見により他職種へつなぐ等
- ⑨ 毎月の実績管理
- ⑩ 毎月の給付管理
- ⑪ ケアプラン請求のチェック
- ⑫ 認定調査
- ⑬ 急変時の対応、入院情報提供、退院時カンファレンス出席、サービス調整
- ⑭ 新規ケースに関する業務
- ⑮ 各ケースの相談業務
- ⑯ 居宅介護支援の提供に関する記録の整備
- ⑰ 外部研修、施設内研修、委員会の参加

〔認定調査〕

	箕面市	吹田市	豊中市	その他	計
R5.4	2	0	1	0	3
R5.5	2	1	0	0	3
R5.6	2	0	3	0	5
R5.7	2	2	0	0	4
R5.8	2	0	3	1	6
R5.9	2	2	2	0	6
R5.10	2	1	0	1	4
R5.11	2	1	1	0	4
R5.12	2	1	1	0	4
R6.1	2	1	0	0	3
R6.2	2	0	3	0	5
R6.3	2	1	1	0	4

〔居宅サービス：予防・介護給付費請求実績〕

年月日	予防	介護	計
R5.4	23	55	78
R5.5	22	56	78
R5.6	22	56	78
R5.7	24	57	81
R5.8	23	56	79
R5.9	22	57	79
R5.10	24	55	79
R5.11	21	54	75
R5.12	22	57	79
R6.1	26	59	85
R6.2	29	51	80
R6.3	30	49	79

〔外部研修会 参加状況〕

- R5.4 主任介護支援専門員による勉強会の開催(包括主催)
- R5.5 ケアマネ連絡会総会、R5年度中東部圏域第1回居宅介護支援事業所勉強会
- R5.6 R5年度第1回在宅医療・介護推進のための多職種連携研修会
- R5.7 豊中市人権問題事業者学習会
- R5.9 人権研修「職場での障害者雇用」、主任ケアマネ向け研修
- R5.10 高齢者虐待防止研修(オンライン)
第2回中東部圏域居宅介護支援事業所勉強会
- R5.12 R5年度在宅難病関係機関研修会
豊中市認定調査員フォロー研修、箕面市認定調査員研修
- R6.3 ケアマネ連絡会医療研修会、R5年度中東部圏域第3回居宅介護支援事業所勉強会

〔施設内研修会 参加状況〕

- R5.10 BCP研修・訓練
- R6.2 BCP研修・訓練

〔委員会 参加状況〕

- 1/月 身体拘束適正化委員会
- 1/月 感染症委員会

〔居宅会議での研修〕

- R5.4 認知症の理解について
- R5.5 人権及びプライバシー保護について
- R5.6 接遇について
- R5.7 倫理及び法令遵守について(豊中市認定調査研修より)
- R5.8 リスクマネジメント(事故防止)(施設内BCP研修より)
- R5.9 緊急時対応について
- R5.10 非常災害時の対応について(施設火災訓練の伝達研修)
- R5.11 感染症対策について(施設内BCP研修より)
- R5.12 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について(箕面市高齢者虐待防止について)
- R6.1 高齢者に多い疾病について
- R6.2 介護報酬改定について
- R6.3 インフォーマルサービスについて、障がい特性の理解と認定調査時の配慮事項について

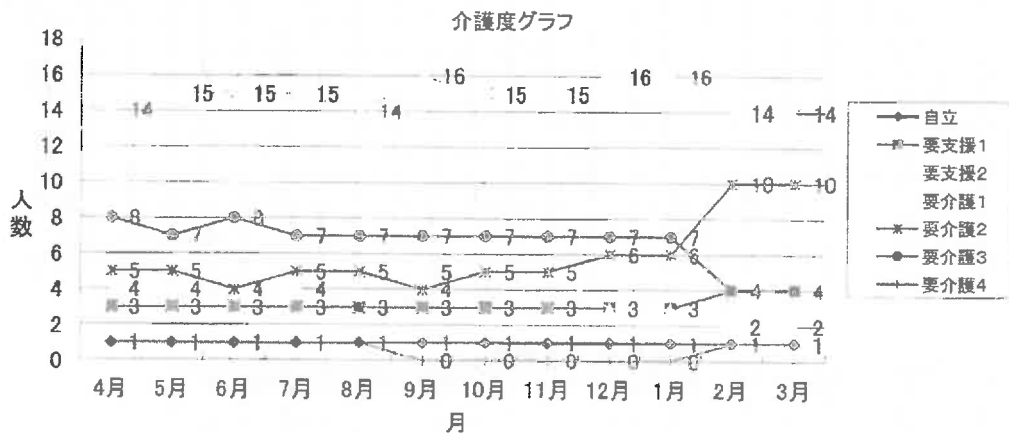
令和5年度事業報告書 ケアハウス箕面の郷(軽費老人ホーム)

・入退所および外泊入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者数(月末)	35	36	33	36	36	36	36	36	36	35	36	35	426
新規入居者数	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	5
外泊者数	2	4	4	5	3	1	1	3	4	5	4	4	40
入院者数	2	2	3	1	2	0	1	2	3	1	2	0	19
退居者													6
特養入所者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他施設入居	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
病院入院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家人宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
死亡者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
空室数	1	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6

・要介護度別 (2023年4月～2024年3月 各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
自立	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
要支援1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3.2
要支援2	4	4	4	4	5	5	5	5	3	3	2	2	3.8
要介護1	14	15	15	15	14	16	15	15	16	16	14	14	14.9
要介護2	5	5	4	5	5	4	5	5	6	6	10	10	5.8
要介護3	8	7	8	7	7	7	7	7	7	7	4	4	6.7
要介護4	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0.6
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
人数	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36.0
対入居者割合	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	97.2%	34.43



〔概要〕

○今年度は、新規入所が5名、退所が6名と、近年で一番変動が少ない年であった。退所理由については特養入居が1名、他施設入居が4名、長期入院のため退居になった方が1名だった。

他施設入居の方々は当施設のロングショートや特養に入居希望が多かったが、認知症症状や精神症状が著しく低下し、当施設の入居が難しくなり他施設への入居となった。

新規入居は5名で、退居者が少なかった分入居の人数も少なかった。今年のご家族様からのお問合せ、見学、入居申し込みという流れが多かった。面接やケアマネジャーからのヒアリングでは主たる認知症状は無いと聞いていても、いざ生活が始まると周辺症状や見当識障害があり、区分変更をせざるおえない方が数名おられた。

○令和5年度は、コロナウイルスが5類になった影響もあるのか、見学希望の方のお問い合わせが増え、入居申込者も増えた。また、身寄りの無い方の申し込みも近頃増えており、また保佐人や後見人もついていない方が多く、入居していただくに辺りそのあたりの問題をクリアにしなければ入居が難しい方も増えている。

○平均年齢は85.8歳となっており、緊急時に備える必要がある。既往歴、現病歴への理解を深め医療面との細かな連携を行う。

・利用前住所別

(2023年3月31日現在)

都道府県	地元市町村	同一圏内市町村						大阪市	他府県		
市町村名	箕面市	豊中市	吹田市	豊野町	池田市	茨木市	高槻市	大阪市	兵庫県	富山県	和歌山
人数	21	2	4	1	0	1	1	1	1	1	2

計 35

・在宅サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
訪問介護	26	26	28	27	27	28	28	27	27	26	29	28	27.3
通所介護	29	28	30	29	29	30	30	29	29	27	30	29	29.1
ショート利用者数	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3
福祉用具貸与	20	19	21	20	22	21	22	21	21	23	22	21	21.1
自費ヘルパー利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	77	73	80	76	78	79	80	77	77	76	81	78	77.7
対入居者割合	213.9%	202.8%	222.2%	211.1%	216.7%	219.4%	222.2%	213.9%	213.9%	211.1%	225.0%	216.7%	431.5%

・年齢状況一覧

(2023年3月31日現在)

以上	65	70	75	80	85	90	95	100	合計	構成比	最高	最小	平均
未満	70	75	80	85	90	95	100	105					
男	3	2	0	1	2	1	0	0	9	25.0%	97	68	84.8
女	0	0	2	6	7	10	1	0	26	72.2%	98	79	87.6
合計	3	2	2	7	9	11	1	0	35	97.2%	195	147	86.8
構成比	8.3%	5.6%	5.6%	19.4%	25.0%	30.6%	2.8%	0.0%	-	-	-	-	-

・事務費階層区分(2023年度)

階層区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	対入居者割合(%)
1 1500000以下	24	24	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25	22.0%
2 1500001～1800000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.8%
3 1800001～1700000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
4 1710001～1800000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.8%
5 1800001～1900000	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	5.6%
6 1900001～2000000	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	8.3%
7 2000001～2100000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.8%
8 2100001～2200000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.8%
9 2200001～2300000	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7%
10 2300001～2400000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
11 2400001～2500000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
12 2500001～2600000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
13 2600000以上	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	5.6%
夫婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	

・待機者の状況

(2023年3月31日現在)

現居住地	箕面市	吹田市	大阪市	豊中市	茨木市	高槻市	池田市	寝屋川市	摂津市	他府県	計
男	8	0	0	2	0	0	0	0	1	0	11
女	26	2	1	4	0	0	0	0	1	5	39
計	34	2	1	6	0	0	0	0	2	5	50

〈クラブ活動〉(定期的月間行事)

項目	曜日	時間	内容
ラジオ体操	月～土	10:00～10:15	健康増進、身体機能維持を目的とし、VTRを見ながら体を動かす
お絵描き教室	コロナのため中止	14:00～15:00	ボランティアの先生に来て頂き、手本を見ながら下絵の採色を行う。
DVD鑑賞会	コロナのため中止	14:00～15:00	入居者様のリクエストに応え、映画を鑑賞して頂く。
ガンパレーン体操	コロナのため中止	10:00～11:00	ボールを使い軽い運動を行い、運動機能の維持をうながす
レクリエーション	不定	13:30～15:30	今年も主に室内で行える、調理レクやお散歩を行った。

〈外来訪問業者〉

- ・訪問歯科・・・毎週月・火 10:30～12:00(かつらぎ歯科)
- ・訪問理容・・・毎月第4火曜 午後
- ・ヤクルト販売・・・毎週火曜日 11:15～12:00
- ・白洋舎(クリーニング)・・・毎週土曜日 9:30
- ・生協・・・毎火曜日11:30～

・行事等報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
クラブ等	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会
	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科
	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容
	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会
	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売
	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定
	給食懇談会	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
行事	大衆演劇		外食レク			敬老会	たこ焼き	小笠原地区交流	クリスマス会	餅つき		
						敬老福祉会			お買い物ツアー	お買い物ツアー		

〔概要〕

- ・令和6年1月にノロウイルス疑いの入居者様がおられ、職員が一名同様の症状で感染疑いがあり、他入居者様にも数名若干の体調不良者が出てしまった。感染対策を早急に行ったため、大きな広がりは無かったものの、コロナウイルスが流行してからはコロナに対しての危機感には常にあったが、それ以外の感染症についての危機感が薄れていた。感染症全てにおいて常に危機感を持つことが必要であると改めて感じたため、今まで以上に周囲徹底を行う。
- ・コロナ禍前に来て頂いていたボランティアさんがボランティアを辞めたり、高齢のため引退されたおり、外部からのボランティア参加が難しくなっている。ただ、ケアハウスとして外食レクを再開させ外食レクも随時再開していった。ボランティアさんは引き続き探す必要がある。
- ・ここ数年、ケアハウスの高齢化が進むと同時に認知症発症者も増えており、介護サービスを利用する方が増えている。また、認知症状なのか精神的な症状なのかの見極めが難しい方が増えている印象。令和6年度から月2回、精神科の先生による往診が始まったため、上記の様な入居者様を積極的に診ていただいている。

社会福祉法人 三養福祉会

檀原の郷

令和5年度 事業報告書

- 1、特別養護老人ホーム（各委員会）
- 2、短期入所生活介護
- 3、グループホーム
- 4、デイサービスセンター
- 5、リハビリデイサービス
- 6、居宅介護支援事業所
- 7、事業所内保育所 わくわく保育園

1、特別養護老人ホーム 檣原の郷

(総評)

○運営状況について

令和5年度の平均入居率は99.56%となり、令和4年度の99.15%と比較し微増した。
要因としては、ショートステイ9床を特養に転換したことにより、特養・ショートステイ全体としての入居・利用状況が安定したことが考えられる。
しかし、依然として退居者が多い状況には変わりなく、今後も入居者の状態の安定を図ること、そして新規入居者の獲得に向けた営業・渉外活動の継続は必要である。
今年度特に大きな動きが見られた11月には8名が一举に退居され、次期入居者をすぐに補うことができず日数を要したため、年末からは空床が目立ってしまった。
その他、令和5年度は下記のような特徴がみられた。

【入院の状況】

入院延べ人数・・・1,062人(R4年度 1,077人)
平均、1日2.9人入院(R4年度 3.0人)
入院者実数・・・63人(R4年度 46人)
平均、1人あたり16.9日(R4年度 23.4日)

前年度より、入院者実数が大きく増加しているのに対し、延べ人数がほぼ変化なし。
それによって、入院者1人あたりの平均入院日数が16.9日と、約一週間程度短くなっている。これは、入院の際に比較的軽症であった為に早期退院が可能であった、早い段階で退院が困難と判断された、または逝去されて退居になったためと考える。

【平均年齢】

R5年度	平均88.7歳	最低年齢 74歳	最高年齢 107歳
R4年度	平均86.8歳	最低年齢 63歳	最高年齢 102歳

最低年齢だった利用者が亡くなられ、今までの最高年齢の利用者よりさらに高齢の方が入居された。また、全体的に新規入居者の方の年齢が高齢化している。

【平均介護度】

R5年度 3.63
R4年度 3.68
※ 平均介護度は、R4年度と大きく変化なし。

【入退居の状況】

○退居者数【 36名 】： R4年度 43名

(内訳) 逝去 23名 長期入院 13名 (R4年度 逝去 31名 長期入院 12名)

退居者の状況は、R4年度と同様に、多い状況が続いている。
入居期間2年以内に退居される方が36名中、22名おられた。またその内1年以内に退居された方が全体の3分の1の13名と非常に多かった。これにより、入居される段階で、すでに重度化されているという事が分かる。

○新規入居者数【 47名 】

○新規入居者の入居前状況

R5年度	在宅12名	病院24名	施設等11名
(R4年度)	在宅15名	病院18名	施設等9名)

※入居前状況は、昨年度までと変わらず、病院が最多となった。
今年度の特徴としては、在宅、病院、施設等、全ての方のうち、
元々樫原の郷のサービスを利用していた方が、多くを占めていた。
ショートステイを利用していた方だけでなく、リハビリデイやデイサービス
利用されていた方で、入院等をきっかけにADLが低下し、馴染みのある
樫原の郷での入居を希望される方が多い。

○営業活動について

前年度に引き続き、主に病院と居宅介護支援事業所に対して、訪問や電話、文書による
営業活動を、定期的・継続的に行った。今後も継続的に行っていく。

また、以前から交流のある病院や老健の相談員が、樫原の郷を勧めて下さっている。

居宅介護支援事業所でも、友好的な関係を築けている為、ケアマネから家族様に対して
樫原の郷を薦めてくださっている方がおられる。今後も良好な関係を継続していく。

○人材育成について

⇒勉強会や研修等は、オンラインと対面式と混合で行う。

(研修内容)

※ステップアップ委員会報告書参照

⇒各ユニットごとに介護技術・知識の勉強会の開催。

(勉強会の実施内容)

- | |
|--------------|
| ①身体拘束について |
| ②高齢者虐待予防について |

○感染症について

・新型コロナウイルス感染症が第5類に移行された後も、医師の指示により対応は変えずに
感染対策している。直接面会を開始した後も、面会に起因するクラスターは起こっていない。

- ①アルコールでの職員、利用者様の手指の消毒、うがいの徹底
- ②感染症予防に関する啓発ポスターの掲示
- ③フロア内の消毒と定時の換気を徹底
- ④感染症勉強会の実施及び感染症に関する研修会への参加
- ⑤感染症対策物品を各ユニットに完備
- ⑥職員、面会者のマスク着用と消毒を義務化する
- ⑦看護師、医師との速やかな連携
- ⑧体調不良の職員は、仕事を休み、すぐに受診する。

→R5年度も、樫原の郷で新型コロナウイルスによるクラスターが複数回起こった。

その都度感染対応を見直し、マニュアルを更新した。同一ユニットや、同一フロアでの感染の広がりがあったが、他の階へ広がることはなかった。

〇リスクマネジメントについて

【報告書件数(内訳)】

- ・骨折 10件 (R4年度 6件)
- ・転倒、転落 197件 (R4年度 108件)
- ・落薬、服薬ミス、配薬ミス 35件 (R4年度 21件)

【ヒヤリハット報告書件数】

596件 (R4年度 452件)

・転倒、転落件数、ヒヤリハット件数は増加している。転倒リスクの高い方の入居が多く、ご自身で動かれて、バランスを崩して転倒されることが主だった。

認知症や、高次脳機能障害により、危機意識が低下し、転倒されるケースや職員が他の利用者様の介助中に、転倒されるケース、職員の少ない夜間に転倒されるケースが多い。

これらの事を踏まえた対策として、①一つの事故に対する情報共有のスピードを上げて次の事故が起こる前に的確な予防策を立てて実行する、②事故が起こる前後の状況が明確になるように記録内容の充実を図る、③職員のリスクマネジメント力の向上を図るため実践的な気づきのトレーニングを実施する、④入居者様の状態の変化に早く気づき行動の予見が出来るように日々の情報共有を強化する。主にこの4点について実施することとした。

特別養護老人ホーム 全体 令和5年度統計

令和5年度 (R5年4月1日～R5年9月30日)												令和5年度 (R5年10月1日～R6年3月31日)											
特別養護老人ホーム						定員：特別養護老人ホーム119名 短期入所15名						定員：特別養護老人ホーム119名 短期入所15名						全体					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合計	月平均	合計	月平均	合計	月平均	合計	月平均	合計	月平均
定数	3300	3410	3570	3689	3570	3570	3689	3570	3689	3689	3451	3689	3689	43005	3600.4	43005	3600.4	40150	3345.8	40150	3345.8	39813	3317.7
入居定員数	3300	3392	3564	3689	3565	3565	3679	3561	3658	3677	3401	3646	3646	42814	3567.8	42814	3567.8	39813	3317.7	39813	3317.7	39813	3317.7
在籍定員数	0	18	6	0	7	6.0	10	9	31	12	50	43	25.8	191	15.9	191	15.9	337	28.1	337	28.1	337	28.1
在籍者1日平均	110.00	109.42	118.80	119.00	118.77	115.8	118.68	118.70	118.00	118.61	117.28	117.61	118.1	1062	117.0	1062	117.0	1077	89.8	1077	89.8	1077	89.8
入所→月間平均人数	25	48	65	115	68	68.3	164	135	101	96	78	78	108.7	1062	88.5	1062	88.5	1077	89.8	1077	89.8	1077	89.8
入所数(引込数)	3275	3344	3499	3574	3476	3476	3515	3426	3557	3581	3323	3568	3568	41752	3479.3	41752	3479.3	38736	3228.0	38736	3228.0	38736	3228.0
退所数(引込数)	109.2	107.9	116.6	115.3	115.9	113.6	113.4	114.2	114.7	115.5	114.6	115.1	114.6	114.1	114.1	114.1	114.1	114.1	106.1	114.1	106.1	114.1	106.1
1日平均入所者数	0.83	1.55	2.17	3.71	2.97	2.2	5.29	4.50	3.26	3.10	2.69	2.52	3.6	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	2.9	3.0	2.9	3.0
1日平均退所者数	0.76%	1.94%	1.99%	3.12%	2.03%	2.08%	4.72%	4.03%	3.58%	2.93%	3.71%	3.28%	3.71%	2.89%	2.89%	2.89%	2.89%	2.89%	3.53%	2.89%	3.53%	2.89%	3.53%
新規入所者数	2	3	10	1	3	3.8	2	8	2	1	3	8	4.0	47	3.9	47	3.9	42	3.5	42	3.5	42	3.5
退所者数(内死亡者)	1(1)	4(2)	0(0)	1(0)	4(2)	2.3(1.3)	2(1)	8(5)	2(1)	2(1)	3(3)	5(4)	3.7(2.5)	36(23)	3.6	36(23)	3.6	43(31)	3.6(2.6)	43(31)	3.6(2.6)	43(31)	3.6(2.6)
平均入所率	100.0%	99.5%	99.8%	100.0%	99.9%	99.83%	99.7%	99.7%	99.2%	99.7%	98.6%	98.8%	99.28%	99.56%	99.56%	99.56%	99.56%	99.56%	99.15%	99.56%	99.15%	99.56%	99.15%
1日平均入所者数	532	465	366	352	292	372.0	278	304	234	248	130	208	233.7	3634	302.8	3634	302.8	5051	420.9	5051	420.9	5051	420.9
1日平均退所者数	4020	4154	4020	4154	4020	4087.0	4154	4020	4154	4154	3886	4154	4087.0	49044	4169.5	49044	4169.5	48910	4075.8	48910	4075.8	48910	4075.8
月平均在籍者数	3807	3809	3865	3926	3906	3835.7	3793	3730	3791	3829	3453	3776	3728.7	45386	3782.2	45386	3782.2	43787	3648.9	43787	3648.9	43787	3648.9
1日平均退所率	126.80	122.87	128.83	126.65	126.00	125.8	122.35	124.33	122.29	123.52	119.07	121.81	122.2	124.0	124.0	124.0	124.0	124.0	120.0	124.0	120.0	124.0	120.0
退所率(引込率)	95%	92%	96%	95%	94%	93.86%	91%	93%	91%	92%	88%	91%	91.22%	92.54%	92.54%	92.54%	92.54%	92.54%	89.53%	92.54%	89.53%	92.54%	89.53%
入所者1人当りの退所率	3.68	3.65	3.63	3.63	3.61	3.64	3.63	3.63	3.60	3.64	3.63	3.64	3.63	3.63	3.63	3.63	3.63	3.63	3.68	3.63	3.68	3.63	3.68
要介護(1)	2	2	2	2	2	2.0	2	2	3	2	2	2	2.2	2	2.2	2	2.2	2	2.2	2	2.2	2	2.2
要介護(2)	7	8	8	8	9	8.0	8	7	6	7	7	6	6.8	7	6.8	7	6.8	7	6.8	7	6.8	7	6.8
要介護(3)	33	32	39	39	37	36.5	39	42	45	43	43	44	42.7	44	42.7	44	42.7	44	42.7	44	42.7	44	42.7
要介護(4)	50	50	53	53	56	52.5	52	49	45	46	44	48	47.3	48	47.3	48	47.3	48	47.3	48	47.3	48	47.3
要介護(5)	18	16	17	17	15	16.5	17	18	19	20	20	19	18.8	19	18.8	19	18.8	19	18.8	19	18.8	19	18.8
合計	110	108	119	119	119	115.5	118	118	118	118	116	119	117.8	1400	116.7	1400	116.7	1311	109	1311	109	1311	109
外泊日数	0	0	0	0	0	0.0	0	0	2	0	0	0	0.3	2	0.2	2	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
外出数	2	0	0	0	0	0.3	0	0	1	2	2	0	0.8	7	0.6	7	0.6	3	0.3	3	0.3	3	0.3
通院者数	28	33	26	32	30	28.2	31	30	26	24	32	25	28.0	337	28.1	337	28.1	310	25.8	310	25.8	310	25.8
面会者数	19	76	112	122	151	102.7	239	363	380	266	9	397	275.7	2270	189.2	2270	189.2	424	35.3	424	35.3	424	35.3
要介護(累計)	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	56	4.7	56	4.7	56	4.7

特別養護老人ホーム 橿原の郷 全体

令和5年度 利用者別状況表(R6年4月1日現在)

①保険者別入居者数

	保険者別	住所地別		保険者別	住所地別
橿原市	77	80	高取町	1	1
香芝市	2	2	吉野町	1	1
大和高田市	5	5	天川村	3	3
葛城市	1	1	曽爾村	1	1
桜井市	4	4	東吉野村	1	1
奈良市	3	3	大阪市	2	2
大和郡山市	2	1	松原市	1	1
田原本町	12	11	尼崎市	1	1
下市町	1	1	宝塚市	1	
計			119	119	

②入居者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	29	90	119
平均年齢	88.1	89.3	88.7
最高年齢	100	107	
最低年齢	64	74	

③障害老人の日常生活自立度

寝たきり度	人数
軽度	J1 0
	J2 0
中度	A1 6
	A2 20
重度	B1 34
	B2 33
最重度	C1 13
	C2 13
合計	119

④認知性老人の日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	10
	IIa	4
中度	IIb	20
	IIIa	62
重度	IIIb	3
	IV	19
	M	1
合計		119

⑤日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	29	39	51	119
食事	77	15	27	119
排泄	9	52	58	119
入浴	0	62	57	119

⑥オムツ使用者状況

	人数
なし	34
夜間	32
常時	53
合計	119

令和5年度 QC委員会(運営計画書)報告書

報告者:加護・亀田・辻本・原

【今年度の活動内容】

●ユニット年間予定表の作成、実施

年度初めに、ユニットリーダーが年間の予定表を作り、担当職員を割り振った。
引き続き、コロナウィルスの流行状況を見ながらの実施となったが、コロナ対策を徹底した上で、ユニット、フロア、全館を通してのレクリエーションを行った。

●出納帳の作成

実施した企画ごとに、必要事項(店名や金額)を記入し、毎月27日ユニットリーダーが確認押印後、事務主任に提出。

●コロナウイルスに対する対策

- ・年間を通しての換気や消毒実施。
- ・マスクの常時装着。
- ・利用者様への直接介助時、食事・おやつ介助、口腔ケア時はフェイスシールド着用を義務付ける。
- ・感染症キットを作り、静養室での管理。
- ・新型コロナウイルスに感染したフロアへの人員確保、協力態勢、連絡を密にとり、現状の把握や必要物品を配布。
- ・医務、感染症委員会で啓発、指導を行った。

●新人職員指導

外国人職員を始め、指導を担当とする職員と連携し、講習や現場での指導を行った。

【反省と今後の課題】

・レクを積極的に実施するユニットと、あまりやらないユニットに差があった、もう少し主任からも促しが必要であった。

・コロナ感染も少し落ち着いてきたが、久しぶりに感染者がでると、感染対応の仕方を忘れてしまってる職員がいた、定期的な講習が必要であると感じた。

・既にいる外国人職員や、新人職員への指導を任せられる職員が少ない。
指導者の育成を図り、受け入れる体制を構築していく。

【来年度の目標】

・看護師、感染症委員と連携して、定期的な感染対応の講習を行っていく。
STEPUP勉強会の年間予定にも組み込み、全部署対象に行う。

・どのフロア、どのユニットにも新人を配属できるように、指導者の育成について担当者と話し合う場を設ける、また、既存の職員にはお手本となるように注意喚起行う。

・施設内だけでの生活を余儀なくされている利用者様に、少しでも明るい気持ちになってもらえるような、レクや取り組みを個々人に投げかけるだけでなく、主任、ユニットリーダー中心にフロア全体で模索し、行動に移していく。

令和5年度 ステップアップ委員会 報告書

報告者:加護・亀田・辻本・原

【今年度の活動】

4月	倫理	叶施設長
5月	接遇マナー	島原副施設長
6月	身体拘束、高齢者虐待	各フロア
7月	オムツの巻き方講座	業者
8月	感染症	オンライン
9月	高齢者虐待	オンライン
10月	リスクマネジメント	リスクマネジメント委員
11月	認知症	グループホーム
12月	感染対応	看護師、感染症委員
1月	褥瘡、ターミナルケア	オンライン
2月	危険予測(グループワーク)	主任
3月	高齢者虐待防止	オンライン

- ・新型コロナウイルス感染防止の為、昨年同様、勉強会を書面・オンラインで実施したが、感染状況見ながら、対面や実地講習も行った。

【反省と今後の課題】

- ・オンライン講習を閲覧し、感想を送信した職員の数少なく、参加していない職員が多数いた月もあった。
今年も業務内に閲覧できるような調整ができず、確実に参加できるよう工夫が不十分であった。
- ・毎年行ってる勉強会に関しては、内容がマンネリ化してきている節がある、
同じ職員が担当するのではなく、違った職員が関わるようにするべきかと考える。

【来年度の目標】

・来年度から、感染症や災害の発生を想定した業務継続計画（BCP）の策定と研修、訓練の実施等が省令改正により義務付けられる、詳細は次の通りである。

	研修等	委員会
身体拘束	年2回以上及び新規採用時	3ヶ月に1回以上
感染症	【研修】 年2回以上及び新規採用時 【訓練】 年2回以上及び新規採用時	概ね3ヶ月に1回以上
業務継続計画 （BCP）	【研修】 年2回以上及び新規採用時 【訓練】 年2回以上及び新規採用時	
事故防止	年2回以上及び新規採用時	定期的に開催
虐待	年2回以上及び新規採用時	定期的に開催
認知症 介護基礎研修	全ての職員が対象（資格者除く） 新規採用者は採用後1年以内	
褥瘡予防	職員継続教育の実施	対策チームを設置
口腔衛生	歯科医師または歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対する口腔衛生の管理に係る技術的助言及び指導を年2回以上実施	

抜けなく準備ができるよう、計画的に実施していく。

令和5年度 ケアプラン委員会 報告書

報告者: 松浦UL・増田 UL 左脇UL

今年度の活動

- ・毎月、フロア毎でケアマネジャー・管理栄養士・委員会職員・集まり、NSは書面にてサービス担当者会議を実施。
転倒や入院により、状態に大きな変化が見られた利用者様については、その時点で担当者会議を行った。
- ・毎月、各職員に、サービス担当者会議の資料作成や1ヶ月・3ヶ月評価の入力委員会職員で入力の不備が無いかの確認を行った。不備等があった場合は入力した職員に丁寧に説明し、修正を行う。
分かりにくい部分等があれば、再度入力時の注意事項と一緒に確認し、修正を行った。
- ・新規の委員会職員について。
新規の委員会職員に関しては基本となる、サービス担当者会議を行うにあたって必要な資料、流れ資料を確認する際のポイントや注意事項の説明を行った。
利用者様ごとに担当者会議を行う期間が違うので、チェック表を見ながら1ヶ月・3か月評価の入力場所・入力月が間違っていないかの確認方法の説明を行った。
- ・バーサルインデックスの評価について
3月と9月にバーサルインデックスの入力を居室担当職員が行い、委員会で確認・修正を行った。
新規入居者(LSS)入所した方については、LSSを担当した階が入力を行う事となる。
他の施設から入所した方に関しては入所した階の居室担当者が様子を確認し、入力する事となる。

今後の課題・反省

- ・1か月評価と3か月評価の入力する月を間違えていることがあった。
入力の仕組みを根本的に理解できていない職員が多い事が原因、再度評価の入力について、説明が必要。
- ・ケアチェック等、居室担当職員が入力した内容が間違っていないか、確認を毎月出来ておらず、確認がまとめてになってしまっている事もあった。
- ・フェイスシートも同様で更新が出来ていない事もあり、必要な場面で情報の古い物しか使用できていない事もあった。
- ・委員の入れ替えがあったフロアでの引き継ぎが、上手くできていないことがあった。
業務引き継ぎはしていたが引き継ぎ時の説明が上手くいっておらず結果、更新やサービスの計画書の差し替えが出来ておらず、確認出来ていない事があった。
- ・バーサルインデックスの入力忘れの指摘もあった。
LSSから特養に入居され、階をまたいで移動される時、バーサルインデックスの入力が出来ておらず、移動後に入力する・移動前に入力する、といった勘違いで入力できていなかったり、一定の期間入院等で利用者様が郷に不在の時は、一旦サービスを中断するのでバーサルインデックスの入力が必要だがその事を周知出来ていなかった。

来年度の課題・目標

1ヶ月と3か月評価の間違えについては毎年の課題として考えられる。
評価の入力方法を教える際に、サービス計画書の評価期間を確認するように指導しているが入力箇所を間違えている職員は、一番新しいサービス計画書が入力されている月に入力するといった覚え方をしていた。
その為、ケアプランのサービスが始まっていない月の所に1ヶ月・3か月評価を入力してしまっている事がある。
根本的な仕組みを理解していない状態で他の職員に教えている事が原因。
再度1ヶ月・3か月評価のマニュアルを使用し、入力場所を間違えている職員に個別に説明行う。

また、入力チェック表でも入力する月に注意する様に記載する。

- ・業務について確認を行う。
人事異動等で委員会の変更・他フロアに移動等する際に業務の引き継ぎが上手くいっていない事があった。
フロアによっては1人で担当している事もあり、引き継ぎが上手くいっていないと間違えたまま業務を進めている事もある。
移動後で分からない業務内容は他のフロアのケアプラン委員にも、確認するようにする。
- ・バーサルインデックスの入力について
年2回の入力は職員に周知されてきおり、入力も相談員の協力もあり出来ている。
しかし、入院している利用者様の入力が必要だったり・不要な事も有った。
ケアプラン委員も理解していない事もあり、居室担当者の疑問に説明が出来ていなかった。
その為、主任より相談員に再度、郷に利用者様が入院等で不在の際にバーサルインデックスの入力の基準を確認をしたので、ケアプラン委員間で確認し、フロアにの職員に説明していく。

令和5年度 リスクマネジメント委員会 報告書

報告者: 亀田主任、前田UL、巽UL、松浦UL、
小山UL、南UL、藤田、島澤、松本

令和5年 1月 ～ 令和5年 12月までのヒヤリハット 統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本館2階	22	25	13	11	11	5	22	26	8	7	19	30
本館3階	26	9	11	6	21	19	5	11	18	8	8	12
別館1階	7	7	10	6	6	3	1	4	3	3	9	17
別館2階	12	4	4	3	6	11	9	10	6	4	4	19
別館3階	3	3	8	8	5	1	7	12	6	9	4	9
合計	70	48	46	34	49	39	44	63	41	31	44	87

令和5年 1月 ～ 令和5年 12月までの事故件数 統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本館2階	1	11	10	6	3	3	6	4	6	2	7	5
本館3階	2	6	12	8	11	10	5	4	12	7	7	14
別館1階	2	3	0	2	4	5	0	4	2	1	4	0
別館2階	7	3	3	3	4	2	1	2	0	2	2	2
別館3階	4	5	6	3	3	4	2	5	2	1	5	4
合計	16	28	31	22	25	24	14	19	22	13	25	25

事故件数 内訳

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
転倒	14	24	28	18	19	13	9	13	13	8	19	19
薬	2	3	2	3	5	4	4	2	4	2	3	1
他	0	6	1	3	2	3	1	8	5	4	2	1
救急搬送	0	4	3	1	6	5	2	6	5	0	7	8
合計	16	37	34	25	32	25	16	29	27	14	31	29

今年度の活動報告

- 今年度、10月にてリスクマネジメント委員会によるSTEP・UP勉強会を開催した。
テーマは、「事故報告書の正しい書き方について。」として、報告書の事例を用意し、グループワークにて、間違った報告書の訂正の話し合い、勉強会を行った。
今後、報告書の書き方を第三者にもしっかりと伝わるような正しい報告書を作成して
いけるようにリスクマネジメント委員会より発信していった。
- 今年度の委員会での活動として、利用者様一人一人の対策を考えていくのではなく、
施設全体で対策として考えるようにし、各フロアですぐに発信するように対策を行った。
すぐにフロアで発信する、対策を考えるようにするために、
 - ①フロアで事故が起きたら、すぐに対策や情報共有できるように申し送りノートに貼る。
 - ②事故発生する前の段階で、対策を練り事故に繋がらないようにする。
 - ③委員の個々の働きだけでは足りない為、声掛け、話し合いなど設ける。
 また、ユニット会議などで、リスクマネジメント委員が事例をピックアップし、事故への原因、
状況を主任に報告し見て頂くことで、ユニット会議で職員全体への周知を図った。
次回の会議にてピックアップした事例を各フロア毎で持ちより、提出し、施設全体での情報
共有を図り、事故防止に繋がっていった。
- 骨折事故が2件、続いて発生していたことがあり、直接的な原因が不明であると記載していた。
「何故原因がわからなくなるのか」、「骨折事故や内出血事故を予防」、「早期発見するには」、を
委員会にて話し合い、職員が危険な介助をしている事に気付いていない、また、記録にも
残せず事故原因がわからないといった事が起こってしまう為、危険に繋がるリスクを考えた
話し合いを行い、リスクを伴う介助に対して自覚を持って業務にあたるよう。事故が起こる前の
意識付けが出来れば望ましい為、内出血等発見した際に原因を考え、介助面で気を付ける事が

ないか確認し、申し送り、対応に繋げていくなど、細かなことから都度リスクに対する対応の意識付けを行って行く。また、骨折に至ってしまった場合は経緯を話し合い、原因不明、のような記載の見直しをし、全体で原因追求できるよう日々の利用者様の観察、状態把握を怠らない様にしていこう、リスクマネジメント委員会より発信を行った。

- ・ 看取りではない利用者様が巡回間に逝去されてしまうという大きな事故が発生していた。どのような状況であったか、どこに原因があったか、今後どうしていくか、明確に話し合いを行った結果、
 - ①食後の臥床時間と臥床後の体位の位置
 - ②利用者様が居室内で居る際の巡視回数と確認の徹底
 - ③自力での体位変換の不可能な方の把握と対応策。
 - ④必要に応じて、居室内のベッドを顔が見えやすい方向への方向転換。上記の内容を対応策とし再度、各フロアに再発防止して行かなければならない為、周知徹底していただくよう、リスクマネジメント委員会より対策、発信活動した。

今年度の目標の振り返り

- ・ ヒヤリハットの多い利用者様の転倒を未然に防ぐ事が出来る様、利用者様の状態の変化を都度申し送り、意向を伝えられた際は可能な限りそれに沿った形で対応した上で、こういった思いをお持ちだという事を職員間で共有し、今後の対策に活かせる様働きかけていく。
 - 立ち上がりや歩行での危険リスクのある利用者様のヒヤリハットを多く上げ、委員会で報告、共有することで転倒事故を未然に防ぐ対策に繋げて行った。
 - また、利用者様に職員側の意見を通し、説明するだけでなく、利用者様自身の要望や思いに寄り添った声掛けを各フロアにて啓発を行い、適切な声掛け対応で少しでも転倒事故を減らせるよう努めていった。
- ・ 出勤している職員全員でフロア全体の見守り、状況を把握できる様、職員同士の連携に対する意識向上を啓発していく。
 - 事故発生後、急変時に職員同士の連携や協力態勢でのミス、判断ミスがあった。
 - 職員個々の意識付け、意識向上をするために各フロアでの再度、周知徹底を行い状況判断できる力を身に付けれる様に、委員から発信を行った。
- ・ 服薬介助を行う際は、一度気持ちを引き締め、一つ一つ確認をした上で介助を行う様、定期的な啓発や確認をしていく。
 - 服薬チェック方法が今年度より変更になり、医務とのチェック時間を削除し、保管場所の徹底を新たに施行した。薬の中身も間違わない様にさらに気持ちを引き締めて各フロアにて都度の声掛け、出来ているかの確認に努めた。

今後の課題・反省点

- ・ 急変時や事故発生後、それぞれのケースにて職員が一人で行動、判断してしまい、初期対応ミスをしてしまった。「必ず異変時は職員2名以上で対応すること」、を徹底できておらず起こってしまったので、委員会にて「急変時、自分一人で判断せずに要相談！」と標語を決め、各フロアへの周知徹底していく。その為にも、再度、各フロア職員に意識づけれるように、普段からの報連相をしっかりと行い、職員同士の連携を忘れない様にする必要がある。また、利用者様と職員同士でのコミュニケーションを常に図り、お互いに協力態勢を忘れずに業務していくことが必要である。
- ・ リスクマネジメント委員会の会議にて決まった案や、早急に対策を取らなければならない例を職員全体に周知徹底できるように、担当委員と主任が各フロア職員への伝達をこまめに行い、誰でも理解し行動がすぐに行えるように、各職員への具体的アドバイスや、事故の対応方法、事故原因の追求、をわかりやすく簡潔に発信できるようにすることが重要である。その為、事故発生の原因、対策、などの話し合いの時間を設け、各職員のスキルアップを目指してリスク対応への意識付けを図る。

上記の2点を今後の課題として重点に置き、初心に戻り事故防止に向き合っていかなければならない。職員個々で事故に向き合う力を身につけるだけでなく、職員同士の連携を常に忘れず協力態勢で利用者様のよりよい安全と快適な暮らしを保つよう努めていく。

来年度の目標

- ・ 大きな事故が発生し、委員会にて対策案を考え、再発のないよう事故防止に繋げて行く為に、リスクマネジメント委員会の会議毎に、考えた対策案を実施しての経過報告、見直し、修正や確認を行い、施設全体の事故防止に向けての統一の継続性を図っていく。また、時間経過と共に忘れてたり、抜けていくことの発生を防ぐ為に、各ユニット会議でも対策案の見直しの報告を行う。
- ・ 事故発生時の初期対応、判断力が全職員対応できるようにする必要がある。個々のスキルアップ、自己啓発がしっかりとできるよう、ヒヤリハットから事故に繋がるかもしれない危険リスクへの気付き、事故が発生する前の状況や情報共有できる職員との連携、申し送りの内容の重要さと正確さ、を各主任、委員会より発信していき、施設全体のレベルアップを図っていく。
- ・ 報告書の正しい記載の仕方、申し送りを正確に伝達できる力を身につけるため、今年度のSTEP・UP勉強会で行った知識を職員全体に広げ、誰もが情報共有し利用者様に対して、同じ介護ができるよう施設全体の統一を行っていく。

令和5年度 苦情処理委員会報告書

報告者:辻本主任、畑中、梶田

【今年度の苦情・要望・相談・SS忘れ物報告書件数】

◎苦情 …18件

◎要望 …30件

◎相談 …4件

◎SS忘れ物報告書…10件

計 62 件

【今年度の活動】

1) 苦情、要望、相談への啓発

R5、10月から家人様の面会が解除され、それに伴い家人様と接する機会が増え、家人様からの苦情や要望、相談が増えており今まで以上に利用者様の身だしなみ(爪切り、髭剃り、整容)などに注意していき、居室の掃除や言葉遣い、挨拶をしっかりとてくように啓発を行っていった。

2)集計表の入力方法の変更

今までの集計表の入力方法だと、内容が把握しにくいと意見が見られ、9月の苦情会議で話し合いを行い、変更となる。
変更箇所は、先月の集計表を当月の集計表にコピーをし対応方法を消去し詳細と経過を入力していたが、対応方法は消去せずにそのまま残し、対応方法の下に経過を入力する事で、内容の把握が分かりやすくなる。
9月の集計表から実施している。

3)ショートステイの忘れ物

ショートステイの忘れ物が続いている事から苦情委員会として過去の事例を含めピックアップを行う。
ユニット会議、ショート会議で話し合いを行い、今使用しているチェック表が上手く活用されておらず、再度チェック表を活用していき、確実に入居時、退居時にチェック欄を活用し、一人ひとりが、忘れ物に対しての意識を持ち、共に確認し合っている。

【反省と課題】

- ・苦情に繋がる様な言葉遣いや接遇などを見直す目的として各フロアできちんと取り組んで行く為の勉強会を実施と目標を挙げていたが、実施できていない。
来年度は、ユニット会議で勉強会を実施して行く。
- ・会議の開催が十分に出来ず、集計表の提出だけで話し合いが不十分で有った。
また、相談員も業務の都合で会議が行われても参加が余り出来なかった。
- ・忘れ物に関しては、昨年より件数が減少しているが、忘れ物の原因の一つとして現在使用しているチェック表が上手く活用されていなかった。
入居、退居に係る職員は、チェック表に漏れがないか確実にチェック表を確認をしていく様にする。

【来年度の目標】

- ・面会が解除された事で、家族様や利用者様からの苦情・要望・相談をしっかりと把握・対応・確認を職員間で共有する。
- ・苦情会議の開催が十分に出来ず話し合いが出来ていなかった事もある為、

来年度は会議を開催し、家族様に安心して頂ける情報伝達方法を話し合い
毎月のユニット会議などで苦情委員中心で話し合いを行っていく。
また、相談員にも会議に参加して頂き、適切な言葉遣いが出来ているかを
確認していく。

- ・忘れ物が見られた際は、都度原因をショート、苦情会議で話し合い具体的な
案を考えていく。
現在は、早出・遅出が協力し退居チェックを行っているが、チェック表の下の
チェックボックスの抜けが多く見られている為、退居に係る職員はチェック表
に抜けがないかを必ず確認を行い、一人ひとりが意識をし忘れ物件数ゼロを
目標とする。

令和5年度 広報委員会報告書

報告者: 島澤・中・井上

【今年度の活動】

*こもれび新聞

・年に4回の郷新聞『こもれび』の発行(6月、8月、11月、2月)

新聞を発行する前に、各部署(特養・GH・居宅・リハデイ)の広報委員が集まり、掲載内容や担当記事を決めた。そして締め切り日までに各部署が写真等を保存し、編集担当者が1つの新聞になるように編集を行った。その後、島原副施設長に確認してもらい必要に応じて修正を行った。1月の会議にて来年度分の発行月と編集担当を決めた。

令和6年度 こもれび新聞年間計画

発行月	編集担当	会議(17時～)
6 月	GH	5/7(火) 5/21(火)締め切り 5/28(火)最終確認
8 月	デイ	7/2(火) 7/16(火)締め切り 7/23(火)最終確認
10 月	居宅	9/3(火) 9/17(火)締め切り 9/24(火)最終確認
2 月	特養	1/7(火) 1/21(火)締め切り 1/28(火)最終確認

*状況次第で変更の可能性あり

令和5年度 ひまわり新聞年間計画

・年3回特養新聞(ひまわり)の発行(5月、11月、1月)

新聞発行前に、各フロアの広報委員が集まり、掲載内容、担当記事を決め締め切り日までに担当者がフォルダーに記事を入力し、編集担当者が一つの新聞になるよう編集を行った。その後、島原統括主任に確認して頂き、修正を行った。また、1月の特養広報委員会会議にて、来年度分の発行月、年間計画、編集担当を決めた。

令和6年度 ひまわり新聞年間計画

発行月	会議(16時～)
5 月	4/21(日) 5/7(火)締め切り 編集…本館2階
11 月	10/8(火) 10/22(火)締め切り 編集…全体
1 月	12/24(火) 1/7(火)締め切り 編集…本館3階

*状況次第で変更の可能性あり

【今年度の反省・今後の課題・来年度の目標】

～こもれび新聞～

昨年同様に新型コロナウイルス感染症で行事が大幅になくなり、記事の題材が少なかった。

少ないながらも、それぞれの部署で話し合い、「日常」(レクやリハビリ等)にスポットを

当てた内容の記事を中心に記載を行った。のA3の2ページに戻りつつある。

まだまだコロナやインフルエンザなどの感染症があり、行えない行事もあると予想されるため、

引き続き「日常」をメインにした掲載内容も加えながら、掲載内容に幅を持たせる努力を行っていきたい。

～ひまわり新聞～

コロナの影響もあったが、各階のレクリエーションなどの情報も委員会内で連絡をして予定を立てていたが、予定されていた行事がコロナなどで中止になる事が多く、特集号なども見送ることになった。来年度も大きな行事が中止になることも予想されるため、発行月に関わらず、日常生活における小さなレクや利用者様の日常の様子などを掲載できるように努力していきたい。

全体

各フロアの職員への伝達が遅れるなどして、新聞に載せる用の写真が取れていなかった階が。いくつか見られた。来年度は、連絡を取り合っただけ多くの写真を使えるようにしたい。写真掲載が可能か不可能か記した表があるが、更新も遅く空欄も多く、上手く活用出来なかった。その都度、確認をし必要箇所は相談員やケアマネージャーに協力を仰いでいく。

令和5年度 物品委員会報告書

報告者:原・巽・杉本・高橋・上村・赤滝

【今年度の活動】

施設備品設備破損、故障修理等報告書の管理、物品発注届けについて

施設備品設備破損、故障修理等報告書、物品発注届出書が分かれており、管理が難しく今後変更の検討を行い、A4用紙1枚に収まる書式に変更し、業務の効率化を図った。連絡については、緊急性のもの以外は内線での報告をなくし、情報が的確に伝わるようにした。

報告書提出の流れはパソコン入力か手書きで報告書を作成し、各フロアの主任が確認し事務員に提出することとした。

1週間程で提出した報告書のコピーが修理、新規購入、調整中に丸をしてフロアに届くようにし、各フロアでコピーをファイリングし管理していくこととした。

車椅子の修理について

修理部品の虫ゴムが各フロアで在庫が少なくなり次第購入依頼し、常時修理ができる状況とした。

ベッド柵について

各フロアで不足分、故障・破損の状況を調査行った。

破損し、修理が不可能なベッド柵については新規購入した。

眠りスキャンについて

眠りスキャンの故障が多く見られ、原因は不明であり、眠りスキャンを扱う職員は慎重に行うように周知徹底を呼びかけることになる。

居室扉・トイレ扉・センサー類のコンセントの確認について

全居室のトイレ扉・ナースコール・コンセントのカバー・配線がむき出し等の破損している箇所を調査、写真を撮り提出した。

【今年度の活動に対する反省と今後の課題】

・L字柵・センサーマットの使用状況について

L字柵・センサーマットの在庫の使用状況の確認が不十分であり、状況把握が困難であった為、各フロアでの確認を確実にし、委員会への報告の徹底を図ることとした。

【来年度の目標】

・車椅子の修理について

樫原の郷が出来て17年が経った為、車椅子の劣化が進んでいる。

車椅子故障箇所を調べ直せるところは修繕していく。

令和5年度 褥瘡・感染症予防委員会報告書

報告者:尾上・藤川・小山・今村・谷上

前年度(令和4年度)の目標結果

●感染症関連

①感染症対応の備品セットの内容明細を作成する事が出来なかった為
内容明細を作成する。

・本館2階静養室に感染症対応セットを準備し、内容明細を作成する。

②新型コロナウイルス感染症の対応マニュアルを作成する事が出来なかった為
対応マニュアルを作成する。

・BCPのマニュアルを参考に作成。各フロアに配布する。

③ノロウイルス感染症の対応マニュアルを作成する事が出来なかった為
対応マニュアルを作成する。

・マニュアルを作成し、各フロアに配布する。

④血液感染症の対応のマニュアルを作成する。

・他のマニュアル作成に時間を取られ、作成できず。

●褥瘡予防関連

①褥瘡予備軍の利用者様も多くおられ、今後予防備品の不足が懸念される為、
購入を検討する。

・エアマット2台新しく購入。ショート分1台、特養分1台として使用する。

ケースは新しく購入し、番号をふる。

・長期間故障中となっていたエアマット(マット番号2番)は、担当者に確認した所、
前回の修理の際、業者が持ち帰らなかった為、再度修理依頼する。

②マット関連の管理方法について取り決めるを行う。

・今後ショート分使用のマットについては、特養分として管理する事となる。

・ロングショートでエアマット使用される際は、特養分を使用する。

・エアクッション各フロア内で数と使用状況を確認しPC入力する事となる。

●感染防止への取り組み

新型コロナウイルスの感染が全国的に広がっていく中、当施設では利用者様への
感染も見られず日頃より職員一同の手洗い・うがい等、基本的な感染防止に
努めた事により防げる。

●褥瘡予防への取り組み

初期段階での褥瘡発生時には、医務と連携を取りながら早期の処置対応で
治癒する事ができた。

褥瘡保持者については、今以上に悪化させない様に様子観察を行いながら
看護師と相談しながら対応する。

本年度の活動について

●感染症防止対策

感染症対策の活動として下記を行う。

①コロナ感染症が5類に以降されてからの対応を医務から配布して下さる。

②5/20に本館3階利用者様、顔面に発疹あり、皮膚科受診し疥癬との診断される。
疥癬についての対応マニュアルないため、実施した3階で作成する。

③9月の会議内で、インフルエンザの勉強会を行う。また換気やフェイスシールドの
使用するタイミングについて話し合った。

④12月にガウンの着脱について勉強会を行う。看護師から着脱の方法や

注意事項を教えてください。

反省点

・現在フェイスシールドは、食事介助時使用することになっているが、出来ていない事があるとの意見有り。連絡帳にて注意喚起と、その様な職員を見かけたら、フェイスシールドを使用するよう声掛け行っていく。

●褥瘡予防について

- ・褥瘡保有者の処置状況の把握が出来る様に取り組む。
- ・褥瘡保有者・予備軍の状態に応じた、除圧や予防対策に取り組む。
- ・マット新しく購入した分を合わせ、

反省点

- ・褥瘡保有者リストの更新ができていないフロアがあり、提出が滞ってしまった。きちんと更新行っていく。
- ・マット使用状況のデータ更新が上手くいっておらず、漏れが目立った。

来年度の目標について

●感染症関連

①BCPのマニュアルを随時確認し、更新される毎に合わせてコロナ対策マニュアルも更新する。

②ノロウイルスのマニュアルも随時更新し、嘔吐時等の対応の実地の勉強会を行う。。

●褥瘡予防関連

①褥瘡保有者リストを毎月末に更新し、提出する。

②マットの使用状況を確認し、正しくデータの更新を行えるようにする。

2、短期入所生活介護 櫃原の郷

(総評)

昨年と比べて平均稼働率は、ほぼ変わっていない。R5年6月から部屋数を24床→15床に変更したが、特養の退居者が多く、ロングショートの数が安定しなかった事が原因である。病院や各事業所への定期的な営業は行っており紹介も多くあったが、それを上回る勢いで退居が続いた。特に施設内で新型コロナウイルスが蔓延した影響もあり、R6年2～3月は稼働率が大きく下がっている。今後も同様に退居者が重なる事を予想して、より多くのロングショート待機者を獲得する必要がある。

施設特有の利用料減額制度、ご家族の面会緩和、レクリエーションの充実、リハビリ関係の充実など、櫃原の郷ならではの強みを作り出せれば、それを活かしてより営業をしやすくなる。

今後は営業そのものだけではなく、施設のアピールポイントをうまく作り出せるように働きかけていきたい。

○下の表から読み取れる傾向(※R5年6月から15床に変更された為、前年度との比較できず)

- ・区分変更中の利用者が多くみられた。区変理由は様々だが、多くみられたのは認知症の悪化や骨折などによるADLの低下であった。ギリギリまで自宅でみられており、それが限界になった時点での区分変更という流れがほとんどで、急な対応が必要な場合も多かった。
- ・新規のショート受け入れも多かったが、1泊2日で土日や祝日定期利用の希望者がメイン。出来る限り、長期利用してもらえるように相談したり、予備部屋や入院部屋の活用もしている。
- ・昨年と同様、緊急SSや追加のSSとなった方が1年を通して多くあった。家族様の都合や体調不良という理由がほとんどだった。利用中にご家族の希望で、そのまま入居やLSSを希望される方もおり、今後も積極的な対応を行っていく。

R5年度 月別稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R4年度	R3年度
%	73.8	62.5	64.6	75.6	62.7	50	59.7	67.5	50.3	53.3	29.8	44.7	57.9	58%	54%

R5年度 介護度別利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4合計	R3合計
区変中、その他	3	1	1	1	3	2	3	3	3	2	2	2	26	18	20
要支援	5	5	1	2	1	2	2	4	2	1	1	2	28	42	57
1	8	8	7	8	7	8	11	12	9	14	11	11	114	114	89
2	10	8	8	6	9	5	12	10	11	10	10	11	110	136	169
3	16	18	14	13	9	9	7	9	7	6	5	10	123	164	183
4	10	5	6	4	4	4	7	6	6	4	6	4	66	109	90
5	3	3	3	3	4	3	3	5	3	4	2	2	38	58	67
合計人数	55	48	40	37	37	33	45	49	41	41	37	42	505	641	675
平均人数													42.08	53.42	56.25

R5年度 新規利用者(月別・事業所別内訳)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4 合計	R3 合計
新規利 用者数	男	0	0	0	1	3	2	4	2	2	1	0	2	17	30	29
	女	4	2	5	1	1	3	4	5	5	8	6	4	48	50	46
	計	4	2	5	2	4	5	8	7	7	9	6	6	65	80	75
	(LSS)	(2)	(0)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(0)	(2)	(14)	13	13
居宅介護 支援事業 所別	檀原の郷	2	0	4	1	1	2	0	3	2	4	3	2	24	19	30
	他事業所	2	2	1	1	3	3	8	4	5	5	3	4	41	61	45
	計	4	2	5	2	4	5	8	7	7	9	6	6	65	80	75

R5年度 緊急・追加ショート利用件数

緊急 ショート 追加 ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	R5年	5	6	7	8	8	4	7	2	8	9	4	5	73
	R4年	10	12	6	4	3	13	3	8	9	10	9	13	100
	R3年	4	14	22	12	15	9	4	6	10	5	3	10	114

R5年度 年齢別利用者内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4合計	R3合計
60才以下	男	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
61～65	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66～70	男	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	1	7	10	3
	女	1	2	2	2	1	1	0	1	1	1	1	0	13	13	15
71～75	男	2	1	2	0	1	0	3	1	2	2	2	1	17	10	11
	女	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	35	9	14
76～80	男	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	5	19	33
	女	2	2	2	3	3	3	5	5	4	7	5	6	47	39	51
81～85	男	1	0	0	1	2	1	2	1	1	1	1	0	11	20	49
	女	9	7	14	5	4	3	3	6	4	4	3	6	68	116	122
86～90	男	9	6	5	4	5	5	6	4	4	3	3	4	58	91	55
	女	16	16	11	12	10	12	13	16	14	13	11	12	156	158	170
91～95	男	3	1	1	1	1	1	2	2	2	1	0	0	15	24	39
	女	6	8	6	2	3	2	4	5	3	3	4	5	51	92	81
96才以上	男	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	10	10
	女	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	3	4	24	20	14
合計	男	18	10	9	8	11	7	15	11	10	8	7	6	120	194	
	女	37	38	40	29	26	26	30	38	31	33	30	36	394	447	
		55	48	49	37	37	33	45	49	41	41	37	42	514	641	675

R5年度 市町村別利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4合計	R3合計
橿原市	46	41	35	33	34	27	41	43	36	36	33	39	444	546	570
田原本町	4	3	3	2	2	3	2	3	4	4	4	3	37	56	60
大和高田市	1	2	1	1	0	2	1	2	0	0	0	0	10	8	0
その他市町村	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	5	19	33
他府県	2	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	9	12	12
合計	55	48	40	37	37	33	45	49	41	41	37	42	505	641	675

R5年度 担当居宅介護支援事業所(自事業所・他事業所)利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4合計	R3合計
自施設事業所	19	19	18	18	16	17	16	24	17	17	16	18	215	237	235
他事業所	36	29	22	19	21	16	29	25	24	24	21	24	290	404	440
合計	55	48	40	37	37	33	45	49	41	41	37	42	505	641	675

R5年度 新規ロングショート受け入れ数 ※単発SSからの受け入れも含む

新規 ロング ショート	R5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入居	3	0	4	2	1	1	5	2	1	3	0	3	25
	退居	1	4	0	2	2	2	1	6	2	0	3	2	25
	R4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入居	1	4	3	3	0	3	2	1	1	4	2	4	28
	退居	1	6	4	4	0	4	2	0	2	3	5	3	34
	R3年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入居	1	2	0	1	4	3	3	0	2	1	1	2	20
	退居	0	5	0	1	0	4	4	2	4	1	3	1	25

3、グループホーム榎原の郷

【総評】

1.入退居の状況

今年度は、退居者が4名おられた。内、2名は骨折からの状態低下による退居となり、1名は救急搬送からの急変にて、1名は看取りで退居となった。退居後の利用者確保については待機者や、居宅からの紹介により行ったが、2～3週間の期間を要した。

入院期間が長くなったり、繰り返しの入院があり、利用日数に関しては昨年より、54日減少となっている。転倒からの骨折での状態低下が主な原因となり、来期は転倒への事故予防を特に意識付け、防げる事故を防いでいくよう取り組んでいきたい。

2、利用者様の処遇について

家族様、利用者様との連携を中心に自由で開かれた施設を目指すことと、認知症介護技術の向上と寄り添う介護の徹底を軸に処遇の対応を行っていった。

【家族様、利用者様との連携を中心に自由で開かれた施設を目指す】

コロナ禍で、家族様への普段の様子を写真、リモート電話、電話、手紙等を用いてお伝えしグループホームの新聞を発行し、様子を発信していき、身近に感じていただけるようにしてきた。また、コロナ禍で中止となっていた運営推進会議の再開も今年度中盤より行えるようになり、家族様からの直接的なご意見も伺うようになり、施設での状況もより身近で報告させていただくことができた。

【認知症介護技術の向上と寄り添う介護】

寄り添うという点では、食事量が低下してきた利用者様に少しでも栄養を摂っていただく為に、家族様へ改めて昔好きだった食べ物をお伺いしながら、家族様とも密に連携を取りながら、徐々に終末期を迎える利用者様への対応を行っていくことができた。

また、普段のコミュニケーションから利用者様のニーズに応えていく意識をもつこととして、きれいにしたい気持ちに応えてネイルを提供したり、食べたいリクエストがあればお応えしていった。

3、職員の連携、情報の共有

・申送り、ケアカンファレンス、ケアプラン評価

- ①申し送りは、夜勤者・早出・日勤・遅出と引き継いだ。
- ②1日から15日までは、入居者様第1回目2週間評価。
- ③16日から31日までは、入居者様第2回目の2週間評価。
- ④適宜、モニタリングや担当者会議を実施し、報告、対策などを周知徹底した。
- ⑤本年度の目標に向けてケアの充実を図った。

結果→管理者が変わり、いろいろな点での変更や、それに対する意見もあり、今年度は例年より会議の回数を多く取り、意見のすり合わせを行ってきた。その成果もあり、職員間の意思統一も行うことができた。

ユニット会議

実施月	内 容
4月	職員倫理、身体拘束
5月	今年度の事業計画、接遇マナー
6月	両ユニットリーダー会議、感染症
7月	オムツの巻き方
8月	身体拘束、接遇マナー
9月	通常会議、緊急対応
10月	通常会議、認知症
11月	通常会議、感染症
12月	リスクマネジメント
1月	身体拘束
2月	身体拘束
3月	身体拘束、感染症対策

※上記以外に施設全体のリモート研修を1か月に1回行い、視聴する事が出来た。

4、感染症予防・対策について(新型コロナウイルス対応)

対策→①新型コロナウイルス、インフルエンザの大流行やノロウイルスに対する対策として
手洗い、うがい、換気、マスク、フェイスシールド着用などの徹底を行った。

②新型コロナウイルス対策よって外部から面会は、禁止させて頂き
家族様には書面、電話にて説明を行った。面会はリモートによる面会とした

③汚染物の処置として、対象者の居室に蓋つきバケツを設置し、ベランダより
ゴミ処理を行った。

④キッチン、手摺、フローア(床、椅子、テーブル)の塩素消毒。

⑤利用者様が、密にならないようひとテーブル3人までとし、昼食時は職員は黙食
を心掛けた。

⑥利用者様にマスク着用を促したが全員の徹底は出来なかった。

⑦施設より職員への告知により、感染症予防の意識を高め施設全体で取り組んだ。

結果→ 今年度は12月にコロナ感染者が発生したが、早期対応で3名の方のみで終息
することができた。今後も医務との協議を行い、さらに的確な対応が行えるように
したい。

5、身体拘束について

対策→ ①身体拘束にあたる行為や言動について、ユニット会議にて毎回話し合い
介護を振り返り、対策方法を考えた。

特に言葉の身体拘束については、職員と定期面談を行い、個々に
話し合いを行い、質の向上に向け改めるべきことを確認した。

結果→ 日々の業務の中で、職員一人一人が気付きや疑問を持ちながらケアの質を
向上する事ができた。意見を言いやすい環境を作り、細かいところまで話し合う
事が出来た。

6、リスクマネジメントについて

対策→ ①ユニット会議、リーダー会議にて事故の分析や勉強会を開いた。

②フロー見守りの注意点を話し合った。

③服薬マニュアルについて、更新し再発防止策を講じた。

結果→話し合いを行うが同じ事故が続くことが多く活かせなかったことが多く感じられた。

誤薬12件 3月に服用方法一新して以降の誤薬はゼロで推移。

転倒13件 コロナ禍での居室対応中の転倒が頻繁に起こったこと、同様の方が何度も転倒し最終骨折になり、退居となるケースが2件
単に報告書記入、提出だけでなく記入の際には、次へと活かせる報告書の作成をしてもらうよう職員への呼びかけを行った。

【年間行事】

日 時	企 画 名
5月 11日	桜まつり
6月 15日	紫陽花祭り
8月 4日	夏祭り
8月 27日	ケーキバイキング
10月 8日	ALWAYS 2023
10月 26日	敬老会
12月	イルミネーション見学(コロナの為中止)
12月 29日	忘年会
1月 1日	年始料理

コロナ禍、人員不足の環境の中で、職員からアイデアを出し合い、イベントを行った。また、他部署との合同企画にも参加させていただき、少しでも楽しい時間をすごしていただくことができた。

①月別入退居状況（毎月末日集計）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4
在籍者数 畝傍	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	108
新規入居者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
在籍者数 耳成	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	108
新規入居者数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	2
延べ利用日数	540	558	519	527	527	532	544	540	552	523	511	528	6401	6455
退居者数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	4	2
空ベッド数	0	0	0	0	19	8	14	0	0	6	0	17	64	24
空延べ日数	0	0	0	0	19	8	14	0	0	6	0	17	64	24
延べ入院日数	0	0	21	31	12	0	0	0	6	29	1	13	113	91

②要介護度（月末日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4
要支援	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
要介護1	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	9	9	93	77
要介護2	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	52	67
要介護3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	21	27
要介護4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	20
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
平均介護度	3	3	3	3	2.83	3	3	3	3	2.83	3	3	3.0	2.0

③要介護度別延利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4
要支援	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	388
要介護1	210	217	210	217	217	232	234	240	248	248	251	255	2779	2280
要介護2	150	155	129	124	124	120	124	120	118	104	116	124	1508	2062
要介護3	60	62	60	62	62	60	62	60	62	47	28	25	650	821
要介護4	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	58	62	732	589
要介護5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	365
月合計	540	558	519	527	527	532	544	540	552	523	511	528	6401	6455

④日常生活自立度

ランク	I	II	IIa	IIb	III	IIIa	IIIb	IV	M
認知症度	0	0	4	7	0	6	0	1	0
ランク	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
寝たきり度	0	0	11	4	1	0	1	1	

⑤面会・外泊・外出の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4
面会者数	0	31	19	30	10	38	23	43	11	29	2	42	278	56
外出者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑥入居者身体状況

視力			言語			歩行			聴力		
普通	弱視	全盲	普通	少し不自由	不自由	自立	一部介助	全介助	普通	やや難聴	難聴
17	1	0	12	3	3	10	4	4	17	0	1
排泄			オムツ/リハパン			食事			入浴		
自立	一部介助	全介助	無し	夜使用	昼夜使用	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
4	9	5	3	0	15	13	1	4	3	10	5

⑦入居者平均年齢(3月末現在)

	男性	女性
人数	3	15
平均	90	87

4、デイサービスセンター樫原の郷

○利用者数の推移、利用者状況の傾向について(令和4年度比較)

→新規利用者・登録者数は増加しているが、利用者延べ人数に反映されなかった。

(要因)

- ①感染症予防に気を付けながら、見学希望・体験希望・新規依頼に対し随時対応出来た為登録者数は増加した。
- ②事業対象者・介護2の方が減少し、それ以外は増加し、ひとり当たりの利用回数が少ない利用者が多かった。
- ③コロナ感染の為、次々と感染し落ち着くには2週間程かかり、感染し入院された方も数人おられ、長期での欠席となった。見合わせる方もおられたが、同時にサービスを続けたいと継続を希望される方も多くおられた。
- ④毎日利用されていた利用者が在宅生活困難になり、入所・入院の為中止される利用者も増加した

○利用者依頼件数について

→樫原の郷の他事業所との併用利用希望者は昨年同様多かった。

→上記に関する連携により、当施設の居宅介護支援事業からの依頼件数が増加した。

○サービス内容について

→午前中:入浴介助及び個別レク【脳トレ(計算プリント・間違いさがし)、カレンダー作り等。

→昼食前:ラジオ体操・計算プリント答え合わせ・口腔体操。

→午後:職員による軽体操・歌体操と同時間に、運動指導士による6名～10名程度のグループリハビリ体操を開始した。(家人様・利用者様希望者優先)

体操後は合同でゲーム・リモート演奏会・カラオケの再開も喜んで頂いた。

漢字・数字等の脳トレボード(利用者に合わせて提供)は、熱心に取り組まれる方も多かった。

季節の行事に合わせたレクリエーション・ゲーム等への参加時の様子を写真に取り、後日配布

本人様、家族様より喜びの声も多く頂いた。

誕生日の色紙プレゼントを統一することで多くの方に喜んで頂いた。

100歳の誕生日時に職員の手作りの花束も喜んで頂いた。

○登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計	R4年度合計
男	18	20	17	17	15	13	15	16	16	15	15	16	193	192
女	56	56	55	58	59	60	62	63	64	61	55	59	708	683
合計	74	76	72	75	74	73	77	79	80	76	70	75	901	875

○利用延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計	R4年度合計
総合事業	3	0	0	0	0	2	4	5	4	5	4	6	33	51
要支援1	38	42	36	36	34	38	40	34	30	30	34	32	424	408
要支援2	63	76	78	82	79	76	82	79	76	53	83	70	897	725
要介護度1	223	247	257	281	300	303	288	282	303	278	279	327	3368	3282
要介護度2	145	161	152	119	117	121	116	114	115	92	110	101	1463	1872
要介護度3	102	115	89	91	88	85	79	89	98	90	86	103	1115	1050
要介護度4	77	64	72	59	68	77	73	74	70	78	81	87	880	858
要介護度5	6	3	5	6	6	4	5	3	4	4	4	4	54	47
合計	657	708	689	674	692	706	687	680	700	630	681	730	8234	8293
1日平均(人)	26	26	26	25	25	27	26	26	26	26	27	28	26	27

○新規利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計	R4年度合計
1	2	2	7	4	3	3	4	2	3	1	9	41	37

○体験利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計	R4年度合計
	1	3	2	7	2	3	4	3	2	1	4	5	37	31
本契約となった利用者数	1	2	2	7	2	3	3	2	1	1	4	4	32	29

○利用追加者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計	R4年度合計
2	3	2	1	3	0	0	1	5	1	3	5	26	25

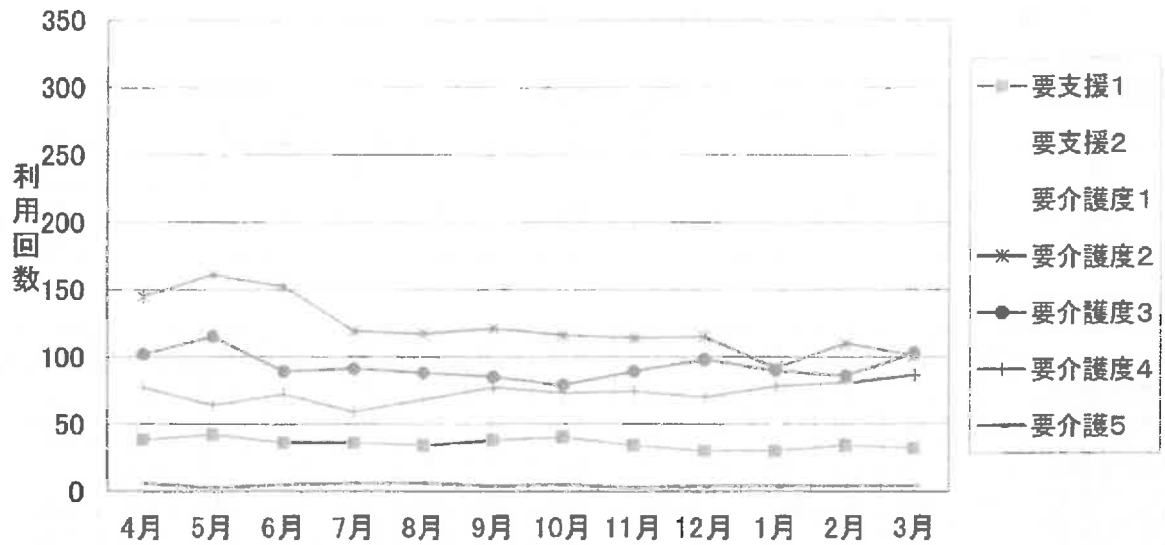
○利用休止者

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計	R4年度合計
入院	4	1	4	0	1	1	6	6	6	6	2	0	38	35

○利用中止者

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計	R4年度合計
逝去	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0
当施設入所	1	1	0	3	0	1	1	0	1	0	1	3	12	3
他施設入所	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	5	11

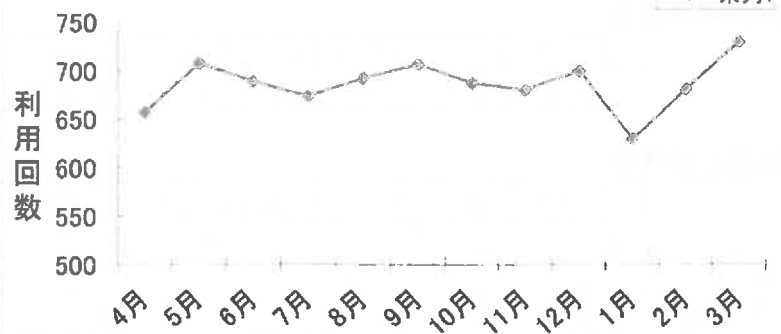
要介護度別利用回数推移



行事内容

4月	桜の花見ドライブ
5月	母の日
6月	父の日
7月	塗り絵
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	公園散策
11月	クリスマス準備
12月	脳トレ
1月	百人一首
2月	開運厄除け
3月	ひな祭り

合計利用回数推移



5、リハビリデイサービス 榎原の郷

【令和5年度分】

(表1) 今年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に変更され、制限や自粛の軽減もあり、以前の様子に戻ってきたが、自粛者も一定数おられた中、概ね通常に稼働する事ができた。

当事業所では毎年お盆、年末年始の帰省期間中は私用での休み希望が増加する傾向にあり、振替利用などの提案も実施しながらであったが、今年度も毎年と同様その月は延べ利用者数の減少が見られた。また、天候の影響で6月に1回の時間減、8月に1回の休業があった。

介護度については総合事業者(事業対象者・要支援①・要支援②)の利用率が約70%を占め、地域密着型通所介護(要介護者)は約30%と毎年同様の傾向があった。今年度より登録者数を17名に増加し、1日平均・稼働率の向上を目指した。令和4年度より、毎月の稼働率を割出し、職員全体で意識付けをおこなった。

(表2) 作業療法士の従事により、昨年度に引き続き加算の算定ができた。しかし、1月に退職した為、2月以降は加算の算定が出来ていない。

(表3) 地域密着型が定着している為か、他市町村からの問い合わせが無かった。

(表4) 天候不良により『時間・減』の算定あり。(6月)

(表5) 空き状況などのチラシを作成・毎月配布し、営業活動をおこなった。

コロナ禍でありながらも体験利用のお問合せが多かった。

R5年度 65% R4年度 84.3% (本利用に繋がった率)

《キャンセル理由》

- ・年代が合わなかった。
- ・カーブスを利用していたが、体験した事でカーブスを再開する意欲になった。
- ・事業所が狭く感じた。
- ・希望していた曜日が定員超えていた為、受けられず。
- ・体験利用時に血圧高値であり、何度も測定していた事が、職員に迷惑をかけていると感じたとケアマネを通じて仰る。
- ・その他

(表7) 入院者数は前年より増加し36名であった。詳細については、『骨折』『心不全』等、

(表8) 毎年ほぼ同じ事由であった。逝去は1名。

ADL低下により、家族様から随時相談を受け当施設のデイサービスへの移行を提案した。他施設入所については、遠方の家人様近くの施設へ入所された方が数名おられた。自己都合の利用中止については、当事業所の方針と合わず終了された方がおられた。介護度の変更により他事業所との併用が出来ずに他事業所へ移られた方もおられた。

《総評》 コロナウイルスの位置づけが変更となり、規制緩和され以前の様子を取戻しつつある。コロナ禍前に実施していた、カラオケや外出リハ等も再開し、利用者様の笑顔を見せて頂く事ができた。リハビリの必要性や日常生活での課題としてリハビリに取り組んでおられる姿勢を目の当たりにし、支援の意義を感じる事ができた。通所介護計画書の書式見直しや新項目での体力測定など、今年度の新たな取り組みにも注力し、現状の身体状況を可視化しケアマネージャーと連携を密にし、サービスの質を向上させ利用者様に『榎原の郷を選んで良かった』と仰って頂けるよう、職員一丸となって邁進していきたいと思っております。

(表1)

○利用者登録状況 総合事業(樫原市)・通所型サービス(田原本町)・地域密着型通所介護

登録実人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度 実人数合 計(平均)	R4年度 実人数合 計(平均)
自費利用														0	13
樫原市	事業対象者	3	3	3	3	5	5	7	7	7	7	7	6	63	35
	要支援1	54	52	49	50	47	51	51	55	55	53	54	52	623	383
	要支援2	26	28	28	26	28	28	30	31	31	32	31	30	349	455
田原本町	事業対象者	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6	5
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	要支援2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	13
樫原市・ 田原本町	要介護1	13	14	14	13	12	11	12	12	12	12	11	11	147	199
	要介護2	7	7	8	8	7	8	10	11	11	11	9	8	105	81
	要介護3	1	3	3	4	4	4	3	2	2	2	2	1	31	42
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	申請中	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	2	1	8	0
	合計	107	110	109	108	107	110	115	121	120	120	118	111	1356	1240
	午前(登録)	72	77	76	77	79	80	81	83	86	84	81	75	15.9	14.4
	午後(登録)	77	82	78	80	76	75	75	79	79	79	84	82	15.8	14.6
	利用述べ人数	517	594	590	551	579	577	621	635	602	574	598	574	7012	6356
	1日平均(人)	25.85	25.8	26.8	26.2	26.3	27.5	28.2	28.8	28.6	28.7	28.4	27.3	27.4	25
	稼働率(%)	86	86	89	87	88	91.5	94	96	95.5	95.6	95	91	91.2	82.8

(表2)

○サービス実施状況(実利用)

* 樫原市総合事業

サービス項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度 (実人数) 合計	R4年度 (実人数) 合計
通所型AⅠ1・半日	49	48	45	46	42	45	45	49	48	47	49	48	561	501
通所型AⅠ2・半日	3	2	2	2	2	3	3	3	4	3	2	1	30	44
通所型AⅠ3・半日	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	32	14
通所型AⅡ1・半日	24	26	26	24	26	26	28	29	29	30	29	29	326	253
通所型AⅡ2・半日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	17
通所型AⅡ3・半日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	15
小計	80	80	77	76	75	79	81	86	86	85	85	82	-	-
リハ職員配置加算1	73	73	70	69	68	69	73	78	77	34	0	0	684	751
リハ職員配置加算2	4	3	3	3	3	4	4	4	5	1	0	0	34	61
リハ職員配置加算3	3	2	3	3	4	4	4	4	4	1	0	0	32	29

(表9)

○登録人数

合計利用回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度	107	110	109	108	107	110	115	121	120	120	118	111	1356
R4年度	96	98	99	100	102	103	104	110	105	104	107	112	1240
R3年度	99	100	98	99	102	102	103	100	102	101	100	97	1203
R2年度	99	98	97	100	97	99	98	98	99	100	99	99	1183

6、居宅介護支援事業所 樫原の郷

【総 評】

○業務実績について

・要介護者登録延べ件数 902件 (R4年度 1084件)

・要支援者登録延べ件数 802件 (R4年度 734件)

・要介護新規依頼件数 45件 (R4年度 38件)

・要支援新規依頼件数 24件 (R4年度 22件)

⇒新規依頼件数は要支援者・要介護者共に増えているが、登録合計数で前年度比マイナス114件となった。職員1名の病気休職で、他法人へ利用者様の担当を引き継いだ事が影響している。

⇒6月には常勤職員の新入職、9月には職員の復職があり、徐々にではあるが登録件数は増えている。

⇒月間登録人数は平均で142件と月間目標登録件数160件には達しなかった。

⇒要支援者から要介護になり継続依頼で新規利用者に繋がるケースが多かった。

<要介護者新規依頼内訳>

要支援から介護	15件	ロングショートステイ	10件
樫原包括から紹介	0件	田原本包括紹介	1件
ランチからの依頼	8件	利用者からの紹介	0件
本人・家族の希望	8件	他事業所からの依頼	3件

・自法人への紹介率

デイサービス樫原の郷が紹介率73.8%、リハビリデイサービス樫原の郷が100%、

ショートステイ樫原の郷が紹介率88.8%

要介護者ケアプラン作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
5年度	13	18	19	18	15	21	19	21	27	19	17	18	225	18.8
4年度	26	25	22	11	24	24	17	23	11	20	12	25	240	20.0

新規 要介護利用者比較表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
5年度	4	0	6	5	3	4	3	5	3	5	6	1	45	3.8
4年度	4	6	3	5	2	5	2	3	3	3	0	2	38	3.2

業務実績

(5年度 要支援件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	29	28	28	29	29	36	36	36	34	33	33	35	386
要支援2	34	33	33	37	36	32	33	33	34	33	35	34	407
事業対象者	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	9
計	63	62	61	66	65	69	70	70	69	67	69	71	802
4年度計	59	58	57	59	59	59	60	61	65	64	63	70	734

(介護度別 利用件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
要介護1	28	28	29	31	30	29	29	30	31	30	27	29	351	29.3
要介護2	17	17	17	15	13	14	15	15	17	17	16	15	188	15.7
要介護3	17	17	16	18	16	13	12	12	10	12	9	10	162	13.5
要介護4	10	9	10	10	10	13	13	12	13	12	15	13	140	11.7
要介護5	5	5	5	4	3	3	5	6	7	7	6	5	61	5.1
計	77	76	77	78	72	72	74	75	78	78	73	72	902	75.2
4年度総合計					1084		5年度総合計					902		

総合相談件数 内訳(小学校区別)

	真菅北	耳成	耳成西	合計
相談件数	212件	235件	170件	617件
代行申請	55件			
基本チェックリスト	26件			

(教室等の開催・介護保険制度の説明)

日時	開催場所	対象	教室名	参加人数
5月8日	新中町自治会館	中町ミニサロン	一歩会体操	10名
6月24日	東竹田公民館	ふれあいサロンみみなし (東竹田町)	健康チェック教室	42名
5月23日	中曽司本町会館	ひまわりサロン	認知症サポーター養成講座	25名
6月6日	樫原の郷	地域住民・施設職員	認知症サポーター養成講座	18名
7月8日	耳成地区公民館	耳成地区民生委員	認知症サポーター養成講座	35名
9月8日	新中町自治会館	中町ミニサロン	高齢者施設の選び方	13名
9月16日	新賀町集会所	ふれあいサロンみみなし (新賀町)	健康チェック教室	18名
9月18日	八木グリーンタウン集会所	八木グリーンタウン老人会	介護予防教室 (低栄養・一歩会体操)	34名
10月1日	新ノ口公民館	新口喜楽会	いきいき百歳体操とコグニサイズ	13名
10月29日	樫原の郷	ふれあいサロンみみなし (十市団地)	介護予防セミナー・栄養教室	24名
11月19日	耳成地区公民館	耳成小が校区ふれあい交流会	健康体操	102名

7月9日	多地区公民館	耳成西小学校こども教室	耳成西
7月22日	真菅小学校	真菅地区そうめん流し	真菅北
8月10日	多地区公民館	サマールーム・ふれあい交流会打ち合わせ	耳成西
8月24日	耳成西小学校	耳成西小学校サマールーム	耳成西
9月15日	十市町集会所	十市かがやきの会	耳成
9月16日	多地区公民館	耳成西小学校区ふれあい交流会	耳成西
9月17日	小槻町老人会	敬老食事会・挨拶	真菅北
9月28日	寿楽会	敬老会	耳成
10月7日	市杵島神社	新賀町秋祭り	耳成
10月7日	十市御縣巫神社	十市町祭り	耳成
10月29日	十市町	収穫祭	耳成
11月26日	中曾司本町会館	ふれあい交流会	真菅北
11月30日	飯高町	飯高町掃除	真菅北
12月1日	新中町自治会館	中町ミニサロン	耳成
12月15日	十市町集会所	十市かがやきの会	耳成
12月16日	真菅小学校	真菅地区もちつき	真菅北
12月23日	十市町集会所	老人会・餅花づくり	耳成

- ・地域福祉推進委員会に周知活動、生活支援地域ケア会議の相談
- ・多地区公民館館長・喜楽会会長に挨拶
- ・民生委員・各町自治会長に挨拶
- ・飛鳥荘園ボランティアの会会長に挨拶
- ・ひがみりウマチ糖尿病内科クリニックに来年度の出張介護相談室の相談
- ・地域福祉推進委員会「広報かがやき」原稿作成。

※各町へかしはらの郷だよりの回覧依頼。(年間4回)

※太田市町にランチチラシ全戸配

【耳成小学校区】

- ・地域福祉推進委員会役員へ相談室の周知活動、生活支援地域ケア会議の相談。
- ・新中町ミニサロン・十市団地・葛本第二つどう会・東竹田町ふれあいサロンでの教室依頼。
- ・民生委員を交えた多職種交流勉強会の開催。
- ・十市町かがやき会への参加。
- ・地域福祉推進委員会「広報スマイルみみなし」原稿作成。

※各町へかしはらの郷だよりの回覧依頼。(年間4回)

※太田市町、ランチチラシ全戸配

(他事業所との連携)

日時	場所	内容	
12月15日	ホームナーシングセンター	BCPについて	檀原市ケアマネ連絡会
3月15日	檀原の郷	事例検討会、他	ケアマネ意見交換会
3月13日	ホームナーシングセンター	BCPについて	檀原市ケアマネ連絡会

・ランチ連絡会 4/18・9/19・11/21・3/19(計4回)

・八木北中学校区ランチ会議 5/12・7/14・9/14・11/14・12/5・1/17・3/11(計7回)

・檀原中学校区ランチ会議 5/15・7/14・9/12・11/13・1/11・3/13(計6回)

7、事業所内保育所 わくわく保育園

(総評)

○運営状況について

・利用状況については15名で新年度を開始し、従業員の仕事復帰に伴う途中入園が続き、2月以降は19名の定数となった。(表1参照) 最終的には従業員枠10名、地域枠9名と、今年度も事業所内保育所としての役割、また地域の待機児童解消に役立つことができたのではないかと考えている。(表2参照)

・新型コロナウイルス感染症は5類に移行されたものの、コロナだけでなくその他の感染症も流行したため、引き続き感染拡大防止対策を取りつつ、これまでに培った感染対策や工夫をすることで昨年度よりも通常保育に近づけるよう取り組んだ。

・保護者と園児についての共通理解を深めること、保護者からの要望などを知ることを目的に、今年度初めて個人懇談を実施した。個人懇談という場を設定することで保護者の子育ての悩みや相談を聞くとともに、園での様子を伝えることで、これまで以上に家庭と連携を取りながら園児と保護者への支援に努めることができた。発達が気になる園児については必要に応じて専門機関での発達相談に同席した。

・今年度初めて企業主導型保育事業より巡回指導が実施された。保育内容に関する相談が主な内容となっており、保育環境や指導計画などについてのアドバイスがあり、大変勉強になった。指導内容を職員間で共有し、保育に活かすことができた。

○保育内容について

・0歳児の途中入園が多くなることは予定通りであり、月齢も様々だったため安全面には特に配慮を要した。事業計画でも掲げていた通り、安心・安全な環境づくりに重点をおいて保育をすすめた。発達面、食事面、情緒面に配慮し家庭との連携を密にしながら園児と保護者が安心できる場となるよう努めた。

・昨年度は実施できなかった「親子で運動会ごっこ」を今年度は近くの体育館を借りて実施した。体を動かす内容だけでなく触れ合い遊びも取り入れ、親子の関わりが十分楽しめるような内容を計画した。園児の嬉しそうな表情はもちろん、子どもに対する保護者の優しい表情と対応が印象的で、保護者からも「楽しかったです」と喜びの声が聞かれた。

・毎年恒例となった菜園活動は、野菜の栽培、クッキングなど、様々な食の体験を重ねることができた。年齢とともに食に対する興味・関心が深まるように保護者と一緒に野菜の収穫をしたり、子どもが自分で作ったものを食べることができる簡単なメニューを考えたりしてクッキングも充実させた。(表5参照)

○安全対策、危機管理への取り組み

・安全面においては様々な対策のもと園児の安全を確保することで大きな事故もなく一年を終えることができた。ヒヤリハットの活用でこれからも安全管理を十分に行っていききたい。

・衛生管理においては新型コロナウイルス感染症だけでなく様々な感染症に対して、消毒、換気等の対策を怠らず感染防止に努めた。陽性者が出ても感染が拡大することはなかった。

・アレルギー対応では保護者、栄養士とこまやかな連携を図りながら食事が安全にかつ楽しい時間となるよう努めた。また、全職員でアレルギー対応マニュアルを周知し、マニュアル通りに2重チェック、配膳、提供を行った。

○他部署・地域との交流について

・新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたものの、インフルエンザなどの感染症が流行していたため他部署との交流は以前のように行うことはできず、年間2回のみとなった。(デイサービス・エントランス)

・感染症が落ち着いているタイミングで、檜原の郷エントランスにおいて歌や手遊びを披露することができた。リハビリデイサービスのご利用者様や職員が集まり、園児の姿を温かいまなざしで見下り、涙を流されるご利用者様もおられた。

・奈良県高等養護学校の職場体験事業として2年生1名の受け入れを行った。卒業後は企業就労をめざすということで、園児の身の回りの援助や様々な保育活動を経験してもらうことができた。

○行政機関・自治体等との関わりについて

・奈良県奈良っ子はぐくみ課より「奈良県保育対策総合支援事業」が実施され、性被害防止対策を図るためのパーテーションを購入し、オムツ交換や着替えの際に活用した。職員だけでなく園児においても人権を守るという意識を深めることができた。

・奈良県より光熱費・食材費等の高騰による利用者負担の増加を抑制し、認可外保育施設の継続的な運営を図るため「認可外保育施設における光熱費等高騰対策事業支援金」が創設され、支援金が交付された。

・JAならけん真菅支店よりヒヤシンスの球根をいただき、その様子を広報誌に掲載された。その後も担当者が訪問され、ヒヤシンスの生長を園児と共に喜び合うことができた。

表1【在籍児童数】

令和5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳児	2	3	4	4	4	4	4	5	5	6	7	7
1.2歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
3歳児	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	15	15	16	16	16	16	16	17	17	18	19	19
R3年度合計	15	16	17	18	18	18	19	19	19	19	19	19
R4年度合計	16	17	17	18	18	18	18	18	18	19	19	19

表2【利用児童の内訳】

令和5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
従業員枠	9	9	10	10	10	8	8	9	9	9	10	10
地域枠	6	6	6	6	6	8	8	8	8	9	9	9
R3年従業員枠	7	8	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10
R3年地域枠	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9
R4年従業員枠	7	8	9	10	10	10	10	10	10	10	11	11
R4年地域枠	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

表4【行事報告】

4月	ご入園・ご進級おめでとう	10月	落ち葉拾い・運動遊び
5月	こどもの日の集い	11月	親子で運動会ごっこ
6月	水遊び開始	12月	クリスマス会・大掃除
7月	七夕まつり・水遊び	1月	お正月遊び
8月	夏まつりごっこ	2月	保育参観(発表会)
9月	敬老の日(デイサービス)	3月	お別れ会

※毎月、身体計測(身長・体重)、誕生会、避難訓練(火災・地震・水害・不審者)を実施

表5【菜園活動】

4月	ミニキャロット収穫	10月	サツマイモ掘り
5月	イチゴ摘み・サツマイモ植え・タマネギ収穫	11月	サツマイモクッキング・タマネギ苗植え
6月	夏野菜苗植え(ピーマン・キュウリ・ミニトマト・オクラ・パプリカ)	12月	イチゴ苗植え・チューリップ球根植え
	タマネギクッキング(2回実施)	1月	スナップエンドウ・コマツナ・ホウレンソウ種植え
7月～9月	夏野菜・レタス収穫	3月	チューリップ持ち帰り

○健康管理について

- ・内科検診 年2回実施(6月21日・12月6日)
- ・歯科検診 年1回実施(6月19日)
- ・尿検査 年2回実施(5月31日・10月25日)

○職員研修実施状況

- ・各種研修会に積極的に参加し、保育の専門性と質の向上に努めた。

- 園内研修
- 4月 保育理念・基本方針・今年度の事業計画について
 - 5月 接遇マナー
 - 6月 安全な水遊びをするために(マニュアルに沿って・AEDと心肺蘇生法)
 - 7月 園外保育マニュアルの作成
 - 8月 感染症の基礎知識について
 - 9月 保育園における虐待について
 - 11月 児童育成協会巡回指導について
 - 12月 感染対策について
 - 1月 安全保育について
 - 3月 インクルーシブ保育について

外部研修

- 児童育成協会実施研修
- ・キャリアアップ研修(マネジメント・乳児・障害児保育)各1名
 - ・保育安全研修 1名
 - ・施設長研修 1名
- 自治体実施研修
- ・インクルーシブ研修
 - ・認可外保育施設保育従事者研修
- その他
- ・救命講習
 - ・児童発達支援研修

特別養護老人ホーム 白浜 日置の郷 令和5年度 報告書
令和5年度(令和5年4月1日—令和5年9月30日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名						
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	4-9月平均
定 数	1500	1550	1500	1550	1550	1500	1525
入居実数月累計	1489	1526	1482	1547	1550	1491	1514
在籍者1日平均	49.6	49.2	49.4	49.9	50.0	49.7	49.64
入院差し引く実数	1450	1505	1471	1520	1518	1437	1483.50
入院者差し引く実数	96.7%	97.1%	98.1%	98.1%	97.9%	95.8%	97.27%
1日当り実質空床率	2.60%	1.35%	0.73%	1.74%	2.06%	3.60%	2.02%
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0
新規入所者数	1	2	2	1	0	1	1.17
退所者(内死亡者)	2(2)	2(1)	1(0)	1(0)	0(0)	1(1)	1.5(0.8)
1日当り入院者平均	1.30	0.68	0.37	0.87	1.03	1.80	1.01
入院 日数1ヵ月累計	39	21	11	27	32	54	30.67
平均入居率	99.3%	98.5%	98.8%	99.8%	100.0%	99.4%	99.3%
短期入所者延べ人数	268	231	233	0	250	247	204.8
特養＋短期 定数	1800	1860	1800	1860	1860	1800	1830
月当り在所者実数	1718	1736	1704	1520	1768	1684	1688
1日当実質在所者数	57.27	56.00	56.80	49.03	57.03	56.13	55.38
稼働率(特＋短)	95.4%	93.3%	94.7%	81.7%	95.1%	93.6%	92.30%
入所者介護度平均	3.84	3.88	3.84	3.90	3.98	3.98	3.90
要支援	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護(2)	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護(3)	21	19	20	19	17	17	18.8
要介護(4)	15	17	18	17	17	17	16.8
要介護(5)	13	13	12	14	16	16	14.0
合 計	49	49	50	50	50	50	49.67
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0
外出数	0	0	0	0	0	0	0
通院者数	26	26	23	24	24	33	26
面会者数	30	49	50	53	31	33	41
実習生(累計)	0	0	42	48	24	24	23

令和5年度(令和5年10月1日—令和6年3月31日)

定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名								全体	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合計	月平均
定数	1550	1500	1550	1550	1450	1550	1525	18300	1525.00
入居実数月累計	1532	1469	1538	1530	1433	1547	1508	18134	1511.2
在籍者1日平均	49.4	47.4	49.6	49.4	46.2	49.9	48.7		49.15
入院差し引く実数	1508	1421	1482	1463	1415	1539	1471	17729	1477.4
入院者差し引く実数	97.3%	94.7%	95.6%	94.4%	97.6%	99.3%	96.48%		96.88%
1日当り実質空床率	1.55%	3.20%	3.61%	4.32%	1.24%	0.52%	2.41%		2.21%
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
新規入所者数	1	2	0	4	1	2	1.7	17	1.4
退所者(内死亡者)	2(1)	1(1)	0(0)	4(3)	1(0)	2(2)	1(0.5)	15(8)	1.25(0.7)
1日当り入院者平均	0.77	1.55	1.81	2.16	0.58	0.26	1.19		1.1
入院日数1ヵ月累計	24	48	56	67	18	8	36.8	405	33.8
平均入居率	98.8%	97.9%	99.2%	98.7%	98.8%	99.8%	98.89%		99.1%
短期入所者延べ人数	260	253	241	223	0	228	200.8	2434	202.8
特養＋短期 定数	1860	1800	1860	1860	1740	1860	1830.0	21960	1830.0
月当り在籍者実数	1768	1674	1723	1686	1415	1767	1672.2	20163	1680.3
1日当実質在籍者数	58.93	55.80	57.43	56.20	47.17	58.90	55.7		55.6
稼働率(特＋短)	95.1%	93.0%	92.6%	90.6%	81.3%	95.0%	91.28%		91.79%
入所者介護度平均	3.96	3.92	3.90	3.84	3.86	3.88	3.89		3.90
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護(3)	17	18	18	18	19	19	18.2	222	18.5
要介護(4)	17	18	18	21	18	17	18.2	210	17.5
要介護(5)	15	14	13	10	12	13	12.8	161	13.4
合計	49	50	49	49	49	49	49.2	593	49.4
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
外出数	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.0
通院者数	25	21	29	30	28	22	25.8	311	25.9
面会者数	48	53	64	67	78	69	63.2	625	52.1
実習生(累計)	12	9	3	0	4	44	12.0	210	17.5

利用者別状況表(令和6年3月末現在)

①保険者別入居者数

	保険者別	住所地別
白浜町	23	27
すさみ町	14	13
田辺市	7	6
上富田町	0	0
みなべ町	1	1
串本町	3	2
十津川村	1	1
紀北広域連合	1	0
	50	50

②入居者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	14名	36名	50名
平均年齢	89.7歳	87.5歳	88.1歳
最高年齢	100歳	101歳	
最低年齢	79歳	59歳	

②障害老人の日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	1
	J2	0
中度	A1	8
	A2	9
重度	B1	9
	B2	17
最重度	C1	4
	C2	2
合計		50

③認知症高齢者の日常生活自立度

	レベル	人数
自立	自立	2
軽度	I	6
	Ⅱa	3
	Ⅱb	10
中度	Ⅲa	17
	Ⅲb	7
重度	Ⅳ	5
	M	0
合計		50

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	14	12	24	50
食事	34	4	12	50
排泄	8	20	22	50
入浴	0	25	25	50

⑤オムツ使用者状況

	人数
日中	18
夜間	8
常時	18
合計	44

令和6年3月31日

令和5年度事業報告書

短期入所生活介護

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
要介護1	男	4	4	4	3	2	5	4	4	5	3	4	5	47
	女	3	4	3	6	7	5	4	3	3	4	4	6	52
要介護2	男	2	2	2	2	1	3	1	3	4	3	4	5	32
	女	6	7	9	7	7	10	13	9	8	7	8	9	100
要介護3	男	3	4	3	3	1	1	2	3	2	2	4	2	30
	女	12	10	13	11	11	9	9	11	10	10	9	8	123
要介護4	男	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	16
	女	7	5	3	3	4	4	4	3	2	2	1	1	39
要介護5	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
	女	5	5	6	6	6	6	6	6	6	4	5	5	66
合計		44	43	45	42	41	44	45	43	41	36	41	43	508

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
1	7	8	7	9	9	10	8	7	8	7	8	11	99
2	8	9	11	9	8	13	14	12	12	10	12	14	132
3	15	14	16	14	12	10	11	14	12	12	13	10	153
4	9	7	5	4	5	5	6	4	3	3	2	2	55
5	5	5	6	6	7	6	6	6	6	4	5	6	68
合計	44	43	45	42	41	44	45	43	41	36	41	43	508

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
白浜町	17	15	13	12	11	12	12	16	15	13	15	14	165
すさみ町	21	22	25	25	24	25	26	22	21	18	22	25	276
田辺市	5	5	6	4	5	6	6	4	4	4	3	3	55
上富田町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
福知山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
堺市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
串本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
													0
													0
合計	44	43	45	42	41	44	45	43	41	36	41	43	508

新規利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	0	1	0	0	1	3	0	2	2	0	1	3	13
女	2	3	3	2	4	0	2	1	1	2	1	5	26
計	2	4	3	2	5	3	2	3	3	2	2	8	39

緊急ショート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
女	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	5
計	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	2	6

年齢層		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61～65	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	10
66～70	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
71～75	男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
	女	4	1	1	2	1	2	1	1	3	2	1	0	19
76～80	男	2	3	2	3	1	2	1	2	1	0	1	1	19
	女	1	2	3	2	4	5	4	4	5	3	4	3	40
81～85	男	1	1	1	1	1	1	3	2	2	2	2	2	19
	女	4	5	5	5	6	3	3	3	3	3	4	5	49
86～90	男	3	3	3	2	1	3	1	3	3	1	4	6	33
	女	12	12	13	14	15	12	14	13	10	13	11	11	150
91～95	男	3	3	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2	28
	女	7	8	7	6	6	7	7	7	5	5	4	5	74
96以上	男	2	2	2	1	1	2	1	2	3	3	3	2	24
	女	3	1	3	2	2	3	5	3	2	1	3	4	32
合計		44	43	45	42	41	44	45	43	41	36	41	43	508

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	14	10	13	11	10	15	15	14	17	15	14	18	166
他事業所	30	33	32	31	31	29	30	29	24	21	27	25	342
合計	44	43	45	42	41	44	45	43	41	36	41	43	508

事業所別 延べ利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
居宅	76	34	49	42	63	91	101	97	114	99	93	99	958
他事業所	192	188	184	181	187	159	159	156	127	124	139	129	1925
合計	268	222	233	223	250	250	260	253	241	223	232	228	2883
平均	8.9	7.2	7.8	7.2	8.1	8.3	8.4	8.4	7.8	7.2	8.3	7.4	0.8

[illegible]

令和5年度 行事委員会事業報告書

白浜日置の郷 行事委員会メンバー

委員長 坂口紗矢香

副委員長 川本教子

委員 久森岳 三代真理子 南里砂 吉田智津子 中嶋明美 榎本忠良
堀野光一 桂幸広

委員会開催日

開催日 時間： 第1水曜日 14:00～15:00
第3水曜日 14:00～15:00 (必要に応じて開催)

1、目的

- ・入居者様・利用者様の記憶に残る1日にする。
- ・入居者様・利用者様個々への支援の幅を広げ、それぞれの入居者様の意思と自己決定を最大限尊重し個別ケアを実現していく。

2、目標

- ・感染対策中ではあるが、出来る事を模索し、家族・地域との交流を深める。
- ・広報誌を活用し家族との交流を図る。
- ・感染対策中ではあるが施設行事を通じ、地域との関係性を崩さないように努める。
- ・各ユニットがユニット単位、個別単位での行事を立案、実行する。

3、実施日

- ・5月22日 縁日
- ・2月3日 節分
- ・ユニット単位又は個人単位の行事は各ユニットが立案、実行する
(誕生日、季節の行事、敬老会、クリスマスなど)

(会議進捗状況詳細)

4月 縁日について

5月3日 縁日について 看板作成、必要物品の確認等
縁日について 屋台の担当者 屋台の具体的な内容

6月17日 縁日について 最終確認

6月7日 縁日終了後の反省点・改善点・提案

7月～ クリスマスイルミネーション、催しについて

クリスマスイルミネーション、催しについて 必要物品の確認、催しの内容

クリスマスイルミネーション、催しについて 装飾品の確認

クリスマスツリー(貼り絵)の作成

クリスマス、正月準備について

- クリスマスツリー(貼り絵)プレゼントボックスの作成
クリスマス、正月準備について
クリスマスツリー(貼り絵)、プレゼントボックスの作成
クリスマス、正月、節分について
12月 節分の企画書、稟議書提出。
1月～ クリスマスの振り返り、正月準備の振り返り、節分について
節分について
事業計画書の振り返り、雛人形飾り付けについて
節分準備、当日の振り返りについて
2月 事業報告について。令和5年度「縁日」について

4、評価

計画に沿って行事の開催は行えた。

ユニット通信など活用し家族様に発信することができた。

感染対策は継続中で家族・地域との交流は出来なかった。

季節感を感じていただけるよう季節になった飾りつけは継続して実地している。

職員不足のため行事準備など、委員は人任せにしまい行事内容をしっかり把握していなかった。委員長に任せきりになっていた。

ユニット単位、個別単位での行事を立案するに関しては、誕生日会は個別ではできている。

ユニット単位の行事は計画を立てておらず出来たユニット、出来ていないユニットがあった。

ユニット単位の行事はユニットで計画を立て実行すると決めた。

今年度は、通年通して職員不足が続く行事開催には介護職だけでは行事を実行することができず事務所職員や居宅職員も協力していただき無事終えることができた。

職員不足を理由にするのではなく、できる人数で出来る行事を実地し、入居者・利用者に楽しい時間を提供することができました。

以上

令和5年度 教育研修委員会事業報告書

白浜日置の郷 教育研修委員会メンバー

委員長 野村 清太郎

副委員長 久森 岳

委員 南 里砂、場谷 さおり、坂口 紗矢香、田村 聡志、森邊 悠
金崎 一也

委員会開催日

毎月 第1水曜日

時間 10:00～10:30

- 目的
- ・介護職員の知識、技術の向上を行い、入居者に安心、安全な暮らしを提供できる施設作りを行う。
 - ・新人職員、中堅職員、リーダーの育成を行う。
 - ・仕事に対してのやりがいや、意欲の向上を行う。
- 方法
- ・勉強会を開催し、個々のスキルアップの手助けを行う。
 - ・外部研修の参加を促す。
 - ・月1回の委員会の開催。

目標 ・介護職員の知識、技術が向上する。

評価

勉強会開催について、人員不足から勤務時間中の勉強会開催が困難となり、早出業務終了後の16:00から勉強会を行う様にした結果、残業は任意であり、参加人数は減少した。また、早出業務終了後、現場での残業も増え、参加者は、2～3名が最大人数となっていた。

新人職員、中堅職員、リーダーの育成については、勉強会や、現場での実地指導を行っているが、指導する職員の個々の知識になり、偏りが出ている。指導者のペースアップが最優先と考える。

仕事についてのやりがいや、意欲向上については勉強会後の感想文のコメントからも再確認ができた。また、勉強不足であったが、参加して理解でき、良かった等の意見が出ており、知識や技術を理解したことで、意欲が生まれ、仕事の中でのやりがいになっている様に感じた。

外部研修への参加については、コロナウィルス感染予防の為、会場で行われる研修はほぼ中止になっていた。オンラインでの研修を実施した。

総評

令和3年度より開始した勉強会は、今年で3年目となるが、人員不足の影響は大きく、勉強するというより、その日の業務を行う事で手いっぱいとなり、意欲低下が見られる。知識を増やすことで業務の効率や、入居者様との信頼関係を築くきっかけを多方面から模索出来るという事も理解されていないという現実も垣間見える。職員の高齢化も繋がっている。講師側からもっと分かりやすい勉強会、かみ砕いた内容の検討を行い、やりがいにつなげていく。

また、講師の育成や、プリセプター制度導入に繋がる中堅職員の指導力向上も視野に入れて、介護職員のレベルアップを目指したい。

令和 5 年度 教育研修委員会事業報告書

白浜日置の郷 教育研修委員会メンバー

委員長 野村 清太郎

副委員長 久森 岳

委員 南 里砂、場谷 さおり、坂口 紗矢香、田村 聡志、森邊 悠
金崎 一也

委員会開催日

毎月 第 1 水曜日

時間 10:00～10:30

目的 ・介護職員の知識、技術の向上を行い、入居者に安心、安全な暮らしを提供できる施設作りを行う。

・新人職員、中堅職員、リーダーの育成を行う。

・仕事に対してのやりがいや、意欲の向上を行う。

方法 ・勉強会を開催し、個々のスキルアップの手助けを行う。

・外部研修の参加を促す。

・月 1 回の委員会の開催。

目標 ・介護職員の知識、技術が向上する。

評価

勉強会開催について、人員不足から勤務時間中の勉強会開催が困難となり、早出業務終了後の 16:00 から勉強会を行う様にした結果、残業は任意であり、参加人数は減少した。また、早出業務終了後、現場での残業も増え、参加者は、2～3 名が最大人数となっていた。

新人職員、中堅職員、リーダーの育成については、勉強会や、現場での実地指導を行っているが、指導する職員の個々の知識になり、偏りが出ている。指導者のベースアップが最優先と考える。

仕事についてのやりがいや、意欲向上については勉強会後の感想文のコメントからも再確認ができた。また、勉強不足であったが、参加して理解でき、良かった等の意見が出ており、知識や技術を理解したことで、意欲が生まれ、仕事の中でのやりがいになっている様に感じた。

外部研修への参加については、コロナウィルス感染予防の為、会場で行われる研修はほぼ中止になっていた。オンラインでの研修を実施した。

総評

令和3年度より開始した勉強会は、今年で3年目となるが、人員不足の影響は大きく、勉強するというより、その日の業務を行う事で手いっぱいとなり、意欲低下が見られる。知識を増やすことで業務の効率や、入居者様との信頼関係を築くきっかけを多方面から模索出来るという事も理解されていないという現実も垣間見える。職員の高齢化も繋がっている。講師側からもっと分かりやすい勉強会、かみ砕いた内容の検討を行い、やりがいに繋げていく。

また、講師の育成や、プリセプター制度導入に繋がる中堅職員の指導力向上も視野に入れて、介護職員のレベルアップを目指したい。

令和5年度 褥瘡予防委員会実施報告書

白浜日置の郷 褥瘡予防委員会メンバー

委員長 早川弘美

副委員長 福田光宏

委員 南 里砂 関本禎子 三浦恵里子 山本英雄 中嶋明美 河上太郎 川本教子

委員会開催日 毎月第1水曜日

時間 14:30～15:00

褥瘡発生状況

持ち込み発生者数2件 再発者4件

新規発生14件

	新規発症数	発生部位							完治数
		臀部	仙骨	右腸骨	左肩甲骨	右大腿骨	右足背	右足指	
4月	2	2							2
5月	2	2							2
6月	3	2		1					0
7月	2	1			1				3
8月	3	2	1						2
9月	3	1	1	1					3
10月	3	3							2
11月	3	3							1
12月	0								2
1月	2					1	1		0
2月	2		1					1	
3月									
	25	16	3	2	1	1	1	1	17

発生原因

適切な体位交換が出来ていなかった為。

褥瘡予備群に早期の寝具の入れ替えができなかった。

一部のユニットで長時間の離床が目立った。

目標

- ・異常の早期発見に努め予防する。
- ・全身状態、栄養状態、活動量（自力にて体位変換が出来ない人）把握し適切な寝具の

選択を行う。

- ・冬は皮膚が乾燥傾向に陥りやすい為、保湿クリームの活用。弱酸性の石鹸を使用する。
- ・褥瘡の基礎を理解してもらい、予防を行う。
- ・看取り期の対象者についてはエアーマットの使用。適切な体位交換、褥瘡後発部位（肩甲骨、仙骨部、踵）の除圧を行う。体位交換時、シーツや衣類のシワを伸ばす。

評価

コロナ感染者で隔離期間が長期に渡った入居者様に適切な体位交換ができていなく褥瘡が発症してしまいました。教訓として褥瘡予備群には早期の寝具の入れ替えにて褥瘡の発症を抑えることができた。また、褥瘡が発症しても短期間で治癒することができた。

ここ最近では、各ユニットでの長時間の離床が目立つ事は少なくなった。しかし一部のユニットは重症者が多い為か、長期間の離床が目立った。認知症で臥床しても起き上がってくる入居者様には座布団やジェルクッションの活用をした。

また、低栄養で食事が十分にとれていない入居者様にはラコール等で栄養補給を促した。持ち込みは1件であったが適切な処置のため早期に改善されている。

令和5年度 感染委員会事業報告書

白浜日置の郷 感染委員会メンバー

委員長 吉田智津子

副委員長 福田光宏

ユニット 南 里砂 浦里美 山本英雄 浦夕月 河上太郎 黒川真由 川本教子 浦
翔太

- 目標 1. コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染症の持ち込みや
感染拡大を防ぐ。
2. 感染症に対する知識や対処方法を身につける。
3. 発症時には施設内感染を最小限にするため感染症対策を徹底する。

①（インフルエンザ）

感染者、持ち込みなし。

R5.11/10 11/24 入居者 職員 インフルエンザ予防接種実施

②（感染性胃腸炎）

職員の家庭内にて発生。施設内への持ち込みはなし。

③（新型コロナウイルス） 入居者5名 職員3名

入居者、職員とも12月8日 12月22日と2回に分けコロナワクチン接種

8月8日職員1名 家人より感染

8月12日職員1名 感染

8月16日居室とリビングで生活していた入居者1名 熱発コロナ感染

8月17日ゾーン分け 感染対策対応開始

1月18日ショート利用者発熱 コロナ感染

1月19日ゾーン分け感染対策対応開始

3月5日ショート利用者発熱あり帰ってもらう 感染

3月11日ショート利用者発熱あり帰ってもらう 感染

3月25日 家庭内より感染 自宅待機

3月30日職員1名

施設内での、感染症マニュアルの見直しが 途中になっている。

引き続きコロナウイルス感染対策も含めマニュアルの見直しを行っている

今回特にショーステイの方が多く蔓延はなく良かったが改めて対応を考える

また、ガウンテクニックなどの練習も委員会で実施し、全職員への周知徹底が出来るよう継続し練習。

- ・ 新型コロナウイルスの状況については、委員会でも共有。

手洗い、換気などの基本的な感染対策については理解出来ている。

陽性者が出た際の感染対策については、間違った知識・理解で対応してしまう事もあり、今後も勉強が必要である。特に陽性者が発生し感染対策対応を経験していないユニット職員への指導が必須と考える。

去年8月の感染発生時にはDrより

ゾーン分けや感染者居室とリビングでの感染対策などの仕方を習う、それを参考にゾーン分けしていた為、発症はあったが、蔓延まではいっていない。今回はショート利用での感染が多く朝家で体温測定してきておりなかなか予防対策が難しいのが現状である。手洗い マスク使用 換気の徹底 手すりテーブルの清掃 バーテーション等区画分けは出来ており 委員会を中心に1か月1つ目標決め評価し きちんと足並みをそろえ全体で対応できるよう努めている

令和5年度 ユニットケア推進委員会実施報告書

白浜日置の郷 ユニットケア推進委員会メンバー

委員長：野村清太郎

副委員長：久森 岳 金崎一也

委員：三代真理子 福田光宏 南里砂 看護職員1名

坂口紗矢香 場谷さおり 森邊悠 田村聡志

委員会開催日

毎月 第1水曜日 第3水曜日（必要時）

時間 10:30～11:30

○目的

- ・ユニットリーダー実地研修施設としての維持と向上
- ・ユニットケア理念（暮らしの継続）の維持と向上

○目標

- ・入居者様に寄り添い、なじみの関係が深まるよう努める。
- ・入居者様にとって落ち着いた暮らしが出来るように、ユニット・居室内の設えや環境の改善に努める。
- ・ユニットリーダー実地研修施設更新調査に向けての準備。（前回更新調査での指摘部分の改善）
- ・ユニットリーダー、施設職員へユニットケアに対する知識と技術の向上と理解を深める。

○実施計画に対しての実施内容及び評価

- ・前回の更新調査の指摘を受けた部分や受けなかった部分全体を見直し、改善・向上を図る。
 - 職員、リーダーの退職に伴う職員不足や、新入職者へのユニットケアに対する指導の浅さからユニットケアという言葉だけが浮かんでいるだけで、内容が低レベルの物となってしまう。しかし、現状行っている事が個別性や、ユニットケアの特色だと気付かないうちに出来ている事もあり、自然にユニットケアを行っているような状態がある。これは施設としてのシステムを活用しているだけであり、しっかりとした根拠やなぜこうしているのかを説明できる職員が少ない。指摘を受けている部分に対しては、職員の一部で対策してしまっており、全職員への周知徹底が不十分である。
- ・24シートとケース記録の完成と引き続きマニュアルの構築を行う。
 - 24シートに関しては入居当初から相談員による聞き取りから、入居までに今までの暮らしぶりを24シートに落とした状態で入居からの暮らしを追う形をとり、生活リズムやケアプランに対して正確なシートの作成を行えるように進めている。
- ・入居者がより有益に過ごせる生活に配慮した設えづくり。
 - 入居者が生活するリビングや居室の重要性が増しているが寛ぎスペースなど有

効活用されていない為、改善すべき部分が各ユニットに見られる。

- ・全施設職員へユニットケアの理解を深めるための機会の提供
→勉強会の開催を行うが、勉強会への参加人数が少なく、深められていない。

(評価・課題)

- ・ユニットケアに関してリーダーが積極的に意見を出したりすることが少ない。全員がユニットケアについて自信をもって話ができるように個別での指導や、各書類の活用法などを実践しながら指導する。24シートに関しては早急に正確な24シートを作成し全職員（リーダーを含む）に正確な24シートは活用用途があることを実感してもらう取り組みが必要。
- ・次回更新調査に関しては日時が不明。今年度はチェックシートで各ユニットが出来ていない部分を把握しているので次年度は出来ていない部分を改善、実施。

以上

令和 5 年度 苦情対応委員会実施報告書

白浜日置の郷 苦情対応委員会メンバー

委員長 : 島 副施設長

副委員長 : 久森岳

委員 : 南里砂、吉田靖宏、坂口紗矢香、場谷さおり、野村清太郎、田村聡志
森邊悠、金崎一也

委員会開催日

毎月 1 回 第 1 水曜日

時間 11:30～12:00

令和 5 年度の苦情報告書

14 件 (苦情報告書 別紙あり)

1. 目標の評価

1) 件数に関して

(1) 苦情件数について

前年度と比較して 17 件減っている。

令和 4 年度に比べて入居者、家族からの苦情が主となり、コロナが 5 類となり

入居者と職員とのやり取りの中でお互いの感覚の違い、信頼関係の希薄さから発生したものも多い。入居者の現状情報提供不足などが考えられる。

前年度から継続して職員の態度や言葉遣いなど接遇に対して注意する必要がある。

(2) 苦情内容の多くは施設職員によるケアに関することや入居者、利用者、家族への不注意な言動、対応が原因となるものが多い。利用者、入居者、家族との円滑な関係性が作られていないことも前年度以上に大きな要因となっている。

連絡・報告・相談が出来ておらず苦情に発展しているケースも前年度と変わらず発生している。

1. 令和 5 年度計画に対しての振り返りとまとめ

1) 苦情を受けた際は、苦情受付票に記入し解決に向けての話し合いの場を設け改善に努めたが、入居者、家族、職員へ苦情内容の聞き取り対応が不十分であり解決に時間を要した。

2) 意見箱の活用は、まだ施設内に家族や外部の方は入ることができなかったため意見箱の活用が出来なかった。

施設職員から意見を聞き取るツールとして、寄せられた意見については、苦情対応委員会で検討し対応を掲示、改善を行う。

- 3) 日々の生活の中で、入居者とのコミュニケーションを図り、入居者の意向や要望に耳を傾け、意見を記録に残し委員会で検討を行った。
- 4) コロナ禍で面会が出来ず入居者様と家族様が会えない中で、手紙などのツールを活用することで苦情はありながらも家族への不安を解消できたことも多くあった。今年度も継続し活用していきたい。
- 5) コロナ禍のため外部研修の開催が減ったが今年度は施設職員が「接遇」などの内部研修を行うなどして職員へのフォローを行っていた。
- 6) 課題を持ちより委員会で改善策を考え対策をとっていく方向であったが委員会が意見の報告の場として活用されることが多かった。次年度はもっと話し合う内容で進めていく。

3. 今後の課題

- ・苦情に関しての対応については速やかに苦情受付票に記入し解決に向けての話し合いの場を設け迅速な改善に努める。日々の生活の中で、入居者様とのコミュニケーションを図り、入居者様の意向や希望に耳を傾ける。また、その意見を記録に残し、委員会で検討していく。コロナ禍であることを考慮し、家族に対して電話や手紙などのツールを使い、より細やかなコミュニケーションを図り、小さな意見や要望を汲み取れるようにしていく。

入居者と信頼関係を築くために接遇マナーを身につけ特に話し方や態度は注意するよう心がける。

令和5年度 広報委員会実施報告書

白浜日置の郷 広報委員会メンバー

委員長 榎本忠良

副委員長 桂幸広

委員 南里砂 金崎一也 堀野光一 浦夕月 場谷さおり

委員会開催日

開催日 第1水曜日

時 間 16:00～16:30

1. 目的

- ① ご家族に施設での取り組みや行事などを知っていただく。
- ② 施設内の催しや行事・クラブ活動などを紹介する。
- ③ 広報誌やユニット通信を通じ、入居者様の様子を知らせる。

2. 目標

- ① 広報誌・ユニット通信を通して、施設の行事やクラブ活動・各ユニットの催し活動を知らせる。
- ② 期限内に広報新聞、ユニット通信、年賀状を完成させる。
- ③ 広報委員の文章構成能力の向上とスキルアップを目指す。

3. 実施計画

①広報新聞

- ・年3回の広報新聞を作成し、決められた月に請求書と共に発送する。
また、ご希望の家族様にも発送する。発送予定日:5月、9月、1月
- ・広報新聞のサイズは、基本A3サイズとし文字フォントサイズは12とする。
- ・広報新聞は、玄関・エレベーター内に閲覧できるよう掲示する。また、各ユニットに配布。
- ・広報新聞作成にあたり、各広報委員が進捗状況を細かく確認し完成させる。
- ・期限を守り月末に完成させる。

②ユニット通信

- ・基本年間3回ユニット通信を作成し、決められた月に請求書と共に発送する。
また、ご希望の家族様にも発送する。 発送予定日:7月、11月、2月
- ・ユニット通信をユニット内で閲覧できるように配布する。

- ・写真掲載を望まないご家族様については個別発送とする。

③年賀状

- ・11月末には年賀状準備に取り掛かる。特養・ショートステイに枚数の把握。
- ・年賀状は12月20日に投函する。

④写真撮影について

- ・広報新聞に掲載する写真撮影を行う。ただ単に、表情やしぐさを撮影するのではなく、「今・何を・どう過ごされているか。」という事がはっきり分かるように撮影する。
- ・身だしなみを整える。
- ・広報新聞やユニット通信で写真掲載が禁止となっている入居者様のプライバシーを守る。

◆実施計画評価

1. 目的評価

- ・家族様への広報新聞とユニット通信は滞りなく発送し、施設の出来事等を紹介出来ている。

2. 目標評価

- ・施設の出来事の紹介については概ね出来ている。
- ・文章作成については、手直しも多く必要でまだまだと感じる。加えて掲載する写真と文面が一致していない等の課題も残りました。
- ・広報新聞とユニット通信については、発送日に間に合う様に締切期限を設けるも、期限までに全ユニットが出そろふことはほとんどなく、締め切りに対する責任感がみられず、期限厳守は出来なかった。

3. 実地計画評価

- ・広報新聞について、前述通り締切期限を過ぎてから最終調整を時間外で完成させて発送準備に至るという事が繰り返されている。出来なかったと感じた。これは修正することなども考慮した時間短縮に対する工夫が必要と思われる。
- ・ユニット通信については、年度の後半に発送されたものは締切厳守が少し改善されたが、年間を通して3回の締め切りは守れなかったと考えます。又、文章や写真など素材作成のスキルアップも必要と感じました。
- ・年賀状については、事務所職員が準備したものを各ユニットで確認の上、投函した形となった。
- ・写真撮影について、掲載不可対象者のプライバシーは配慮出来ました。又、普段から写真などを撮る習慣付け等も必要な事と併せて、どのような写真を撮りたいのか、事

前に考えを整理しないと良い写真は撮れない事、両方の理解が必要だと感じました。

以上

令和5年度 事故予防委員会事業報告書

白浜日置の郷 事故予防委員会メンバー

委員長 島 伊津美

副委員長 福田光宏 久森 岳

委員 南里砂 原川忍 三倉恵里子 江野上加代子 堀野光一 浦夕月
田村聡志 水本好美 河上太郎 小出千鶴

委員会開催日

毎月 第1水曜日

時間 13:30～14:00

1. 目標の評価

目標

(総合目標) ユニットケアを考慮して職員の気付きにより入居者の事故を減らす。

(事故予防) 毎月事故報告書を10件以内減らす。

2. 評価

1) ヒヤリハット報告書件数…件 事故報告書件数…件

ヒヤリハット報告件数が前年比で約2/3に減少している。

原因としてはヒヤリハット報告書の中で改善策の記入欄を設け検討することで繰り返して発生するヒヤリハットに対しては予防することで増加を防いでいることも考えられる。しかし解決まで至らず繰り返し発生しているヒヤリハットもまだまだあるのも事実である。

2) 事故報告書は年間通して14～40件の間を推移しており目標に届いていない。

原因として、今まではヒヤリハットと事故の区別が曖昧であったが、厳密に区別するようにしたことで事故件数が増えたと考えられる。

事故発生後のミーティングは実施されているが介護職のみで行われていることが多く多職種への介入が出来ていない。

事故後は多職種を含めて分析、対策を検討し期限を決めて取り組み早期対応を行う。

3. 令和5年度のまとめ

1) 委員会で活用方法を考え、過去の事故報告書の原因を見直すことで増えている事故防止に努める。

改善策を考え再度発生するヒヤリハット、事故の防止に努めるが今後も継続して行い、多職種が積極的に関わり期限を決めて分析、対策を実施する。人為的なミスによる事故が多く、もっと主体的要因、環境的要因、人的要因の分析を行い事故発生防止に繋げる。

次年度も積極的な連携を目指す。

2) 事故報告書の書式が職員により理解度に違いがある為、書き方の平均化を行っていた。全体的なレベルは向上しており、今後も継続していく。

3) ヒヤリハット報告書の枚数は意図的に増やすのではなく、事故予防員委員会の中でヒヤリハット報告書の活用方法を考え、事故委員から部署やユニットへアナウンス

し事故件数の減少に勤めていく。

- 4) データ化して事故防止を目標としていたがデータ化が出来なかった。しかし発生したヒヤリハットを書き原因を精査することで未然に事故防ぐことに繋がった例が前年度より増えた。

令和5年度 物品管理委員会事業報告書

白浜日置の郷 物品管理委員会メンバー

委員長 浦里美

委員長補佐 森邊悠

委員 南里砂 桂幸広 江野上加代子 黒河真由 中嶋明美

委員会開催日

開催日 第1曜日水曜日

時 間 16:30～17:00

1. 目的

- ・ 物品の整理整頓・維持・管理。
- ・ 排泄用品はご本様に合ったものを選び不快なく使用して頂く。
- ・ コストを考え無駄を省く。

2. 目標

- ・ 消耗物品の維持管理に努める。
- ・ 感染症発生時等の物品不足においても、業者との連携で欠品を防ぐ。
- ・ 排泄物品の使用目的を理解し、モニタリングを通してご本人様に見合ったものを使用することで無駄をなくす。
- ・ 物品使用数の把握と経費削減に努める。
- ・ サンプル等あれば職員からの意見を聞き商品の入れ替えや必要な商品の購入に繋げていく。
- ・ 他業者で価格を比較し、コストを抑える事を考える。

3. 実施計画

- ① 毎週月曜日、物品倉庫の在庫数確認と物品発注をする。
- ② 排泄物品は各ユニットで発注用紙に記入し毎週金曜日までに提出。
- ③ 6ユニット分を合計した個数を毎週土曜日・日曜日のいずれかでメール注文。
- ④ 毎月末は物品の使用数をデータに出し委員会で評価していく（25日締め）。
- ⑤ 経費の把握を行ない、物品委員会を通して各部署へ経費削減の発信をかける。
- ⑥ 年2回、物品倉庫の掃除をする（9月・3月 目安時期として第1月曜）。
- ⑦ 物品管理委員は、全委員が排泄用品と物品の管理と注文が出来るようになる。

- ⑧ 感染対策用としてストックしている物品の在庫維持、管理に努める。

評価

・商品の価格高騰が続いている。

- ①～③発注ミスをなくすため、倉庫物品の在庫数や注文数、排泄用品の注文数に間違いがないか2名でダブルチェックをしている。物品により発注数が決まっている商品がある。それ以下の発注となると送料が発生するため間違えることなく、決められたケース数や固定金額以上からの注文をする。間違えないように一覧表にし委員は把握する。
- コストを考え無駄のないように注文している。
- ④物品、排泄用品は毎月開催の委員会で分析し使用量の確認をしている。メーカーの商品が廃番になり新しく商品が変わったものもある。
- ⑤排泄用品についてはメーカーの開催する勉強会に参加して、テープタイプオムツの正しい当てかた、尿吸収シートの使い方の確認し、不必要なパットの使用は入居者には不快である事や経費増大に繋がる事を学びユニット職員に指導していく。
- モニタリングを通し本人に見合った適切に排泄用品を使用する事を各委員から発信し無駄をなくす。
- ⑥倉庫の掃除に関しては、業務都合により予定日程日には行えなかったが、猶予期間を設け一度にするのではなく範囲を決め実施できた。
- ⑦勤務のすれ違いなどから物品管理の申し送りが不十分であった。
- これまで注文を一人が補っていた為、不在時に発注をかけていなかった。
- この課題も踏まえ次年度は引き継ぎをおこなう。発注先や発注個数・固定金額以上など業者によりさまざまであるため一覧表を作り委員は発注を間違えないようにしていく。
- ⑧感染対策用として保管している、一部商品の入れ替えは約半年前後でおこなえている。
- 昨年のコロナ感染時に追加注文し在庫管理が難しかったという反省を踏まえ、感染用物品在庫の数を少なくしたことで、数の把握および管理が行いやすくなった。

令和5年度 人権委員会実施報告書

白浜日置の郷 人権委員会メンバー

委員長 島 伊津美

副委員長 坂口 紗矢香

委員 坂口 紗矢香、江野上 加代子、野村 清太郎、榎本 忠良、
水本 好美、田村 聡志、浦 翔太、早川 弘美

委員会開催日

11回開催（内、8回外部講師） *1回は、施設内でコロナ感染症発症により
開催出来ず。

目標の評価

目標：①権利擁護に関する知識の向上。

②虐待を防止する勤務シフトまで考えられる。

③権利擁護について人権委員会から全職員に周知出来るようになる。

④ハラスメント、ストレスに関する理解を深める。

評価：①権利擁護に関する知識は向上しているものの、職員同士での情報共有の甘さや
人員不足を理由にしたケアの粗雑さがみられる。

②シフトの組み換えや、業務の組み立てを考慮するのではなく、漠然と「人員不
足で業務が回らない」などの不満や苛立ちが見えている。

③職員の入退職、人事異動に伴い人権委員の入れ替えもあり十分に理解した職員
ばかりではなくなり、他職員への周知は難しかった。

④チームケアで対応することで職員がお互いに気遣える関係を築く重要性を
学んではいるものの、注意や本音が言えずストレスを溜める傾向にある職員も
いる。

令和5年度の人権委員会のまとめ

今年度も外部講師参加による委員会が開催でき、権利擁護に対する理解がより
深まっていると思われる。全体会議でも全職員に対して権利擁護について学んで
もらっているが、周知徹底までは及んでおらず引き続き繰り返しの学習が必要である。
法人ホームページから参加の「高齢者虐待」についての研修も全員が参加出来たが、
一度見ただけでは分からないとの声も聞かれた。

また、他委員会でケアの粗雑さが確認される場面があり、適切なケアの提供に各部署、
多職種による関わりが今まで以上に必要と思われる。

入退職による人員不足やそれに伴う人事異動により、慣れない環境での業務で職員に
もストレスがかかる状態にあり、より一層のチームケアの充実、個人に対する面談等
職員へのメンタルヘルスケアも重要視していかなければならない。

令和5年度事業報告書

居宅介護支援事業所 白浜日置の郷

1、 基本理念と基本方針について

「利用者様が望む限り 望む場所で安らぎのある生活を 自らが継続していけるように 真心を持って支援」できるように努めたが、本当に自立支援に向かうことができたかどうかは今後も課題として残る。

また、介護保険制度以外の情報についても積極的に収集に努め、それが発信できるようにも努めているが、今年度これが不十分により苦情に繋がる事案が発生。今後も、この姿勢は保持したい。

対応の姿勢として「素直」「謙虚」「熱意」を上げたが、これに関してもまだ十分とは言えず、今後も精一杯取り組む。

総合的には この理念と基本方針を継続していきたい

2、 業務方針について

一部、コロナウィルスの感染対策により実行しがたい方針はあった。

総合的にこの業務方針に則って、利用者様及びその家族様が望む暮らしに向けて業務遂行できたと考ええる。来年度もこの業務方針に従い、業務を遂行していきたい。また、啓蒙活動等についても来年度は少しずつ実行できるように取り組んでいきたい。

3、 業務内容について

業務内容については問題なく実行できた。来年度も継続する。

☆月別契約件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防	94	93	88	87	88	82
介護	23	24	25	24	26	28
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防	89	90	92	98	94	97
介護	28	28	31	27	26	28

☆年間訪問回数等

単位：回

	利用者等	サービス事業者等
電話連絡	2753	4751
訪問・面会	1819	1078

4、 年間目標の達成状況について

(1)「利用者様自らが、それが自立した生活であることを自覚することができる支援を目指す。」について

毎週開催している「伝達等会議」において、新規相談のあったケースについて早々に議題にあげ、自立に向けたプランニングができるように検討している。また、モニタリング中に利用者本人や家族に対し、口頭でアンケートを行い、自立に向かっているか確認した。しかし、その集計までは行えていない。

(2)「災害時、(および災害級の事象)に強いまちづくりに貢献できる。」について
事業所としてBCPを通じて貢献ができるように考えている。年度末にBCPが完成。来年度中に机上訓練を行い、さらにBCPの内容を濃くしていきたい。

(3)「今年度、最終稼働率が92%以上を目指す。」について
3月の稼働率は92.5%。主に白浜町やすさみ町の地域包括支援センターからの依頼に対して、あまり断ることなく新規を受け付けたことにより達成できたと考える。しかし、ケアマネジャー3名とも書類の整理が追いついておらず、十分に稼働できたとはいえない。さらに、4月からはケアマネ一人当たりの上限人数が45人と増え、要支援者のカウントも3名で1件となるため、来年度は同じ稼働率で

5、 内部研修実施状況

日付	テーマ	講師役
令和5年4月19日	介護を我が事として考える ～CLUECARD～	奥野
令和5年5月26日	事例作成方法について	嶋中
令和5年6月21日	意識障害について	西崎
令和5年7月19日	腎臓・尿路の疾患について	横手
令和5年8月16日	各市町村の介護保険の取り扱いについて（申請・例外等）	西崎
令和5年9月20日	感染症の予防に対する対策について	西崎
令和5年10月18日	糖尿病について	奥野
令和5年11月15日	給付管理・請求業務でよくあるトラブルについて	西崎
令和5年12月13日	他制度との連携の取り方	横手
令和6年1月24日	人権について	嶋中
令和6年2月21日	面接における接遇（年金所得の聞き方についても）	嶋中
令和6年3月20日	パーキンソン病について	奥野

6、 外部研修参加状況

開催日	テーマ等	参加者
	↓主催及び共催が和歌山県介護支援専門員協会または行政等の場合に「○」	
令和5年4月18日	医療介護の連携の会定例会「心臓リハビリテーションって？」(ZOOM)	西崎
令和5年4月21日	○ 和歌山県介護支援専門員協会 定例研修会「事例作成の方法について」	嶋中
令和5年4月28日	○ 介護支援専門員協会西牟婁田辺支部定例研修会「カスタマーハラスメント」	嶋中、横手、奥野、西崎
令和5年5月8日	すさみ町社協居宅との合同事例検討会	嶋中、横手、奥野、西崎
令和5年5月16日	医療介護の連携の会定例会「高齢者の在宅生活とペット」(ZOOM)	西崎
令和5年6月11日	○ 和歌山県介護支援専門員協会 定例研修会「「ヤングケアラー」の現状と課題」	嶋中、西崎
令和5年6月20日	医療介護の連携の会定例会「新型コロナウイルス感染症、5類になったら何が変わる？」(ZOOM)	西崎
令和5年7月8日	○ 訪問看護連絡協議会主催研修会「ターミナルケア」	横手、西崎
令和5年7月13日	○ 介護支援専門員協会西牟婁田辺支部定例研修会「口腔ケアによる病気への予防効果」	嶋中、西崎
令和5年7月13日	○ 和歌山県介護支援専門員協会 定例研修会「認知症ケア」	横手、奥野
令和5年8月26日	和歌山県保険医協会紀南支部・総会記念講演会「高齢者医療と人生会議」	西崎
令和5年9月11日	○ 和歌山県介護支援専門員協会 定例研修会「BCP（業務継続計画）について第2弾」	嶋中、横手
令和5年9月13日	白浜町地域ケア会議「成年後見制度の理解と利用促進について」	横手
令和5年9月19日	医療介護の連携の会定例会「田辺市消防本部の救急需要について」(ZOOM)	西崎
令和5年10月17日	医療介護の連携の会定例会「要介護高齢者の急変時対応の負担軽減および円滑化」(ZOOM)	西崎
令和5年10月28日	○ 在宅医療・介護連携事業医療と介護の専門職向け研修会「認知症爆発の時代を迎える日本」	嶋中、西崎
令和5年11月13日	○ 和歌山県ケアマネ協会主催定例研修会「地域共生社会の在り方を考える」(ZOOM)	横手、奥野、西崎
令和5年11月21日	医療と介護の連携を進める会定例会「病院における虐待防止に関する取組」(ZOOM)	西崎
令和5年12月19日	医療と介護の連携を進める会定例会「“慢性便秘症の診療ガイドライン2023”の解説」(ZOOM)	西崎
令和6年1月16日	医療と介護の連携を進める会定例会(ZOOM)	西崎
令和6年2月12日	医療と介護の連携を進める会共催「オレンジ・ランプ」上映会	西崎
令和6年2月20日	医療と介護の連携を進める会定例会「被災地支援と受援」(ZOOM)	西崎
令和6年3月2日	田辺圏域在宅医療・介護連携支援センター主催「明日香に生きる」上映会	西崎
令和6年3月5日	○ 西牟婁田辺支部定例研修会相談支援専門員との交流会「支援のモヤモヤを考えてみよう」	西崎
令和6年3月19日	医療と介護の連携を進める会定例会「介護現場におけるハラスメント」(ZOOM)	西崎
令和6年3月20日	日本総合研究所主催「適切な「ガマサ」メント手法の手引きその2」解説セミナー(ZOOM)	横手、奥野、西崎
令和6年3月21日	認知症疾患医療研修会、『ぼけますから、よろしく願います。～おかえりお母さん～』上映会	西崎

令和6年3月22日	○	日本介護支援専門員協会第22回 近畿ブロック研究大会inひょうご(1日目)	嶋中、西崎
令和6年3月23日	○	日本介護支援専門員協会第22回 近畿ブロック研究大会inひょうご(2日目)	嶋中、西崎

7、 苦情の受付について

0 件	
-----	--

デイサービスセンター白浜日置の郷 令和5年度報告

介護予防通所介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	4	4	5	5	4	5	6	6	7	6	5	5	62
合計	4	4	5	5	4	5	6	6	7	6	5	5	62

通所介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	10	9	8	11	9	9	9	10	9	9	10	10	113
女	36	36	33	33	36	34	34	31	30	33	34	33	403
合計	46	45	41	44	45	43	43	41	39	42	44	43	516

登録者総数	50	49	46	49	49	48	49	47	46	48	49	48	578
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

介護度 一般

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	13
要支援2	3	3	4	3	3	5	5	5	6	5	4	4	50
要介護度1	18	18	16	19	19	15	17	15	14	18	19	16	204
要介護度2	13	12	14	16	15	14	13	14	13	12	13	15	164
要介護度3	6	7	5	4	5	4	6	6	6	5	5	5	64
要介護度4	6	5	4	4	4	6	5	4	4	5	5	5	57
要介護度5	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
計	50	49	46	49	49	48	49	47	46	48	49	48	578
男性	10	9	8	11	9	9	9	10	9	9	10	10	113
女性	40	40	38	38	40	39	40	37	37	39	39	38	465

デイサービスセンター実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防通所介護1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	4	4	4	4	6	4	4	4	4	4	4	50
介護予防通所介護2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	19	19	28	18	15	31	32	32	33	24	22	22	295
通所介護Ⅰ11時	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護Ⅰ11時	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
通所介護Ⅰ21時	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	5

通所介護 I 31	男	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	女	4	2	1	1	0	1	1	0	1	2	1	0	14
通所介護 I 41	男	27	55	46	44	41	42	25	25	23	22	14	20	384
	女	108	105	93	97	102	75	101	82	79	93	111	82	1128
通所介護 I 51	男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
所介護 I 12時	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 12	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 22	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
通所介護 I 32	男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	女	1	1	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	8
通所介護 I 42	男	2	5	4	31	16	29	50	61	39	40	39	35	351
	女	97	119	121	121	109	94	84	86	59	64	66	73	1093
通所介護 I 52	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 13	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
通所介護 I 23	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
通所介護 I 33	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
通所介護 I 43	男	4	5	6	1	7	0	0	0	0	0	0	0	23
	女	27	36	24	18	44	37	42	31	52	48	51	52	462
通所介護 I 53	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
通所介護 I 14	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 24	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
通所介護 I 34	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	女	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	6
通所介護 I 44	男	0	0	0	0	0	6	9	7	8	11	12	11	64
	女	29	32	29	28	34	26	29	24	25	27	27	26	336
通所介護 I 54	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
通所介護 I 15	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	7	8	8	5	5	2	7	4	5	4	0	0	55

通所介護 I 25	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 35	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	8
通所介護 I 45	男	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	女	8	9	9	9	9	8	9	9	8	8	9	8	103
通所介護 I 55	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		359	415	378	382	390	362	399	368	336	347	361	338	4435

6月 口腔ケアについて
9月 人権について
12月 認知症について
3月 人権について

4月	花見会（弁当）
5月	端午の節句会（歌など）
6月	おやつレク
7月	七夕（笹飾り作り）（綿菓子）
8月	夏祭り（かき氷）
9月	敬老会
10月	運動会
11月	散歩 園芸
12月	クリスマス飾り付け 作品展
1月	羽根つき 福笑い
2月	節分 豆まき
3月	ひな会（雛あられ）

（その月々に誕生日会）

令和5年度
事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

目 次

I 令和5年度 事業概況

- (1) 事業概況
- (2) 事業別収支状況表

II 事業別報告

- (1) 特別養護老人ホーム
 - ・入所者状況
 - ・年間行事
 - ・委員会活動(会議・研修・新聞・拘束虐待防止・感染褥瘡防止事故・再発防止)
- (2) 短期入所生活介護
 - ・入所者状況
- (3) デイサービス
 - ・入所者状況
 - ・年間行事
- (4) ヘルパーステーション
 - ・事業状況
 - ・研修状況等
- (5) 居宅介護支援
 - ・事業状況
 - ・請求概要

特別養護老人ホーム サンフォート武庫之荘

令和5年度事業報告書

(事業概況)

	(千円)	(前年比) %	
収入	556,545	99.1	
支出	429,091	102.6	
収支	127,454	89.5	収益率 22.9%
人件費	281,387	98.8	人件費率 50.6%

事業別収支状況 (次頁)

(事業運営)

- ・収入は引き続きコロナ禍もあって伸び悩みでした。
 - ・支出は創業15年を機に修繕費が嵩み、148,12千円に達し収益減の因をなしました。経年変化による補修は今後の課題であり、年間1000万円は避けられない経費と見込まれるので費用捻出に努めたいと考えます。
 - ・半面、出産・家族介護等による退職者を補えず、人件費は前年に引き続き減少しました。人事は事業継承・拡大の要諦ですから前向きに取り組みたいです。
 - ・人事面で本年同様、新卒者（介護福祉士）の確保を務める一方、海外からの導入も已むを得ないと考えます。現在の外国籍職員は5名（内1名産休）ですが後1～2名は必要かと思えます（グローバルライフとも詰めています）
 - ・一方、稼働率では特養単体では伸ばしていますが、ショート of 伸び悩み、デいのダウンが不振原因。ショート・特養の入所者は事実上一体で見ると、特養の退所（ご逝去）に左右されるので、ショート単体の不振とはみなせない。
- デイについては、ご利用者の大量解約者が出たことが大きいですが毎月増員に向かっており、来期は期待できます。

(稼働率)

特養：96.91%（96.56%）

ショート：75.72%（85.12%）

特養計：94.60%（95.28%）

デイ：59.97%（61.78%）

- ・「研修（人材育成）の充実」は令和5年度事業計画（計画概要）②に挙げ、新人・中堅・幹部の3段階研修を謳っていますが、幹部研修が「虐待辞事案の回復等」に時間を要し、「令和6年度4月」に延びる結果になりましたが、講師の選択が功を奏し参加者の共感を呼びましたので引き続き継続したいと考えております。

以上

サンフォート武庫之荘・令和5年度事業別収支(速報値)状況表

R.4年度・決算整理(対前年度比較・事業別内訳)

2024.5.1.

事業名	項目	5年度収支	4年度収支	3年度収支	2年度収支	参考・元年度	対前年度比較(5年度対4年度)			人件費		
		金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減(千円)	増減(%)	備考	5年度	4年度	増減(千円)
特養	収入	410,707	408,052	395,259	390,309	349,249	2,655	0.68%	定員増70→80 R1.11月から			
	支出											
ショート	収入	48,760	53,766	58,092	55,628	85,269	△ 5,006	-9.00%	定員減20→10 R1.11月から			
	支出											
特養計	収入	459,467	461,818	453,351	445,937	434,518	△ 2,351	-0.53%				
	支出	342,956	341,377	329,832	317,102	307,327	1,579	0.50%		226,799	235,576	-8,777
	収支差	116,511	120,441	123,519	128,835	127,191	△ 3,930	-3.05%				
デイ	収入	49,643	52,394	57,245	53,499	53,135	△ 2,751	-5.14%				
	支出	52,376	45,238	46,797	42,873	42,537	7,138	16.65%		29,471	24,735	4,736
	収支差	△ 2,733	7,156	10,448	10,626	10,598	△ 9,889	-93.06%				
ヘルパー	収入	22,278	21,483	21,961	25,227	23,431	793	3.14%				
	支出	17,041	15,771	15,950	16,411	15,155	1,270	7.74%		15,118	14,316	802
	収支差	5,235	5,712	6,011	8,816	8,275	△ 477	-5.41%				
居宅	収入	9,970	9,417	10,689	10,119	9,840	553	5.46%				
	支出	12,303	11,531	11,271	10,447	9,539	772	7.39%		9,939	9,946	53
	収支差	△ 2,333	△ 2,114	△ 582	△ 328	300	△ 219	66.77%				
診療所	収入	15,189	16,332	15,972	16,995	15,184	△ 1,143	-6.73%				
	支出	4,415	4,289	4,458	5,639	4,192	126	2.23%				
	収支差	10,774	12,043	11,514	11,356	10,992	△ 1,269	-11.17%				
喫茶	収入			44	41	34	0	0.00%				
	支出			11	10	13	0	0.00%				
	収支差	0	0	33	31	21	0	0.00%				
合計	収入	558,545	561,445	559,283	551,818	536,142	△ 4,900	-0.89%				0
	支出	429,091	418,207	408,320	392,482	378,767	10,884	2.77%		281,387	284,573	△ 3,186
	収支差	127,454	143,238	150,963	159,336	157,375	△ 15,784	-9.91%				0

令和5年度 事業報告書

特別養護老人ホーム 入所状況

令和5年度(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム80名、短期入所10名						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月～9月
定数	2400	2480	2400	2480	2480	2400	14,640
入所実数月累計	2316	2450	2312	2400	2395	2320	14,193
在籍者1日平均	77.20	79.00	77.00	77.40	77.25	77.30	465
入院差し引く実数	2397	2480	2400	2480	2480	2400	14,637
入院者差し引く実数	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100%
1日当り実質空床率	3.42%	1.25%	3.16%	3.42%	3.10%	3.30%	2.94%
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0
新規入所者数	2	1	2	1	1	2	7
退所者(内死亡者)	2(2)	1(1)	3(2)	0	2	1	3
1日当り入院者平均	2.73	1.00	3.16	2.7	2.48	2.66	2.46
入院日数1ヵ月累計	82	31	76	85	77	80	266
平均入所率	96.5%	98.8%	96.3%	96.8%	96.5%	96.6%	96.9%
短期入所者基本人数	285	257	244	232	308	243	1,094
特養+短期 定数	2700	2790	2700	2790	2790	2700	16,470
月当り在籍者実数	2564	2692	2556	2632	2703	2554	13,095
1日当実質在籍者平均	85.4	86.8	85.2	84.9	87.1	77.3	84.45
延べ稼働率(特+短)	96.4%	97.0%	95.7%	96.0%	98.4%	97.9%	96.9%
夜間帯稼働率	94.9%	96.4%	94.6%	94.3%	96.8%	94.5%	95.3%
入所者介護度平均	3.70	3.69	3.69	3.71	3.71	3.74	3.70
要支援	0	0	0	0	0	0	0
要介護(1)	1	1	1	1	1	1	6
要介護(2)	3	5	6	6	6	5	31
要介護(3)	31	28	28	26	26	27	166
要介護(4)	31	31	29	29	30	29	179
要介護(5)	16	16	18	18	18	19	105
合計	82	81	82	80	81	81	487
外泊日数	0	0	0	0	7	0	7
外出数	0	0	0	0	0	0	0
通院者数	23	20	25	28	18	23	137
面会者数	65	63	35	75	64	60	302
実習生(累計)	0	0	0	0	0	3	3

令和5年度(令和5年10月1日令和6年3月31日)

定員：特別養護老人ホーム80名、短期入所10名								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月～3月	年間合計
定数	2480	2400	2480	2480	2320	2480	14,640	29,280
入居実数月累計	2394	2336	2417	2416	2241	2412	14216	28409
在籍者1日平均	77.20	77.80	77.90	77.90	77.20	77.80	465.80	930.95
入院差し引く実数	2390	2400	2475	2480	2315	2480	14540	29177
入院者差し引く実数	96.3	100.0	99.7	100.0	99.7	100.0	99	100
1日当り実質空床率	3.62%	2.62%	2.10%	2.00%	2.50%	2.60%	2.57%	5.52%
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0
新規入所者数	3	3	2	1	5	0	14	21
退所者(内死亡者)	3(2)	3	2(1)	1	5(4)	0	4	7
1日当り入院者平均	2.90	2.10	1.70	1.90	2.30	2.12	2.18	4.64
入院日数1ヵ月累計	90	63	53	59	67	66	332	598
平均入所率	96.5%	97.3%	97.1%	97.0%	96.5%	97.2%	96.9%	193.9%
短期入所者延べ人数	238	181	220	212	196	239	1047	2141
特養+短期 定数	2790	2700	2750	2790	2610	2790	13640	30110
月当り在籍者実数	2632	2526	2640	2628	2407	2652	12833	25,928
1日当り実質在籍者平均	84.90	84.20	85.10	84.70	83.00	85.50	84.57	84.51
延べ移動率(特+短)	94.3%	93.2%	94.5%	94.0%	93.0%	95.0%	94.0%	95.5%
夜間帯稼働率	94.3%	93.5%	94.6%	94.0%	92.2%	95.0%	93.9%	94.6%
入所者介護度平均	3.66	3.66	3.60	3.44	3.58	3.6	3.59	3.65
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護(1)	2	3	3	3	3	3	17	23
要介護(2)	6	6	7	8	8	9	44	75
要介護(3)	28	26	27	27	27	21	156	322
要介護(4)	29	29	27	26	30	31	172	351
要介護(5)	18	19	18	17	17	16	105	210
合計	83	83	82	81	85	80	494	981
外泊日数	0	0	1	5	5	2	13	20
外出数	0	1	1	2	0	0	4	4
通院者数	34	32	23	17	25	29	160	297
面会者数	80	201	224	274	234	215	1228	1530
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0	3

(入所者別状況表)

①保険者別入所者数

	保険者別	住所地別
尼崎市	76	77
宝塚市	2	2
西宮市	2	2
伊丹市	16	16
神戸市中央区	1	1
神戸市垂水区	1	1
大阪市	1	1
藤井寺市	1	0
猪名川町	1	1
川西市	1	1
名古屋市	1	1
計	103	103

②入所者平均年齢

	男性	女性	全体
人数	24	79	103
平均年齢	83.4	82.3	
最高年齢	94	102	
最低年齢	72	68	

③障害老人の日常生活自立度別人数

障害度		人数
軽度	J1	1
	J2	1
中度	A1	3
	A2	17
重度	B1	22
	B2	40
最重度	C1	13
	C2	6
合計		103

④認知症老人の日常生活自立度別人数

	レベル	人数
軽度	自立	2
	I	6
	Ⅱa	14
中度	Ⅱb	14
	Ⅲa	31
	Ⅲb	15
重度	Ⅳ	21
	M	0
合計		103

⑤日常生活動作・介助別人数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	26	16	61	103
食事	45	27	32	103
排泄	7	46	50	103
入浴	0	44	59	103

⑥オムツ使用者状況

リハビリ	32
夜間のみ使用	25
常時オムツ	46
合計	103

(年間行事)

	イベント名	内 容	実施場所
4月	○お花見	桜の鑑賞を通じて季節感を味わって頂く	山田神社
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
5月	○母の日	日頃の感謝を伝えお祝いする	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
6月	○父の日	日頃の感謝を伝えお祝いする	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
7月	○七夕	短冊に願いを書き、季節感を味わって頂く	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
8月	○納涼祭	夏祭りの雰囲気味わい各フロアで楽しんで頂く	サンフォート武庫之荘
9月	○敬老会	ご利用者に向けて日々の感謝と敬意を払う	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
	○コスモス鑑賞	コスモスの鑑賞を通じて季節感を味わって頂く	武庫川河川敷
10月	○ハロウィン	お化けの恰好をして写真を撮っていただく	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
11月	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
12月	○クリスマス会	クリスマスの雰囲気味わって頂く	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
1月	○初詣	新年のお参りを行い季節感を感じて頂く	山田神社
2月	○節分	豆まきを行い、季節感を感じて頂く	サンフォート武庫之荘
	○ひな祭り	ひな壇の前で記念撮影	サンフォート武庫之荘
3月	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘

(研修活動)

実施月	研修内容	参加職程
4月	介護基礎研修(排泄・入浴・食事・移乗)認知症研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員(新人)
5月	介護基礎研修(排泄・入浴・食事・移乗)認知症研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員(新人)
6月	拘束・虐待研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員
7月		介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
8月		介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
9月	虐待研修	事務長・介護支援専門員・生活相談員・介護主任・ユニットリーダー職員
10月	身体拘束研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
11月	食中毒研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
12月	BCP研修	
1月		介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
2月	アンガーマネジメント研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
3月	褥瘡予防(ポジショニング)研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士

7月・8月は、施設内でコロナウイルスクラスター発生のため、1月はインフルエンザ発生のため研修は出来ませんでした。

(部署・委員会 会議)

()内は開催日

実施月	会議内容
4月	リーダー会議()・安全衛生(24)新聞、行事(25)・拘束、虐待(26)・感染、褥瘡(27)・事故防止(28)
5月	リーダー会議(9)・安全衛生(22)新聞、行事(23)・拘束、虐待(24)・感染、褥瘡(25)・事故防止(26)
6月	リーダー会議(13)・安全衛生(19)新聞、行事(20)・拘束、虐待(21)・感染、褥瘡(22)・事故防止(23)
7月	リーダー会議(11)・安全衛生(24)新聞、行事(25)・拘束、虐待(26)・感染、褥瘡(27)・事故防止(28)
8月	リーダー会議(8)・安全衛生(21)新聞、行事(22)・拘束、虐待(23)・感染、褥瘡(24)・事故防止(25)
9月	リーダー会議(12)・安全衛生(25)新聞、行事(26)・拘束、虐待(27)・感染、褥瘡(28)・事故防止(29)
10月	リーダー会議(10)・安全衛生(23)新聞、行事(24)・拘束、虐待(25)・感染、褥瘡(26)・事故防止(27)
11月	リーダー会議(14)・安全衛生(20)新聞、行事(21)・拘束、虐待(22)・感染、褥瘡(23)・事故防止(24)
12月	リーダー会議(12)・安全衛生(25)新聞、行事(26)・拘束、虐待(27)・感染、褥瘡(28)・事故防止(29)
1月	リーダー会議(9)・安全衛生(22)新聞、行事(23)・拘束、虐待(24)・感染、褥瘡(25)・事故防止(26)
2月	リーダー会議(13)・安全衛生(19)新聞、行事(20)・拘束、虐待(21)・感染、褥瘡(22)・事故防止(23)
3月	リーダー会議(12)・安全衛生(25)新聞、行事(26)・拘束、虐待(27)・感染、褥瘡(28)・事故防止(29)

短期入所生活介護

令和5年度(令和5年4月1日～令和4年3月31日)

(介護度別 利用状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
要介護1	6	6	5	5	8	4	6	8	9	8	8	8	81
要介護2	9	7	9	10	9	8	8	7	7	6	6	5	91
要介護3	10	10	7	10	8	8	8	3	6	4	6	10	90
要介護4	4	4	4	6	7	6	8	8	9	5	7	6	74
要介護5	4	4	3	4	2	3	5	5	3	4	3	3	43
合計	33	31	28	35	34	29	35	31	34	27	30	33	380

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尼崎市	28	25	23	29	29	23	24	22	23	16	21	25	288
伊丹市	4	5	4	4	3	4	10	9	9	10	9	8	79
名古屋市	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	8
宝塚市	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	5
合計	33	31	28	35	34	29	35	31	34	27	30	33	380

新規利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	2	0	4	4	2	0	3	1	3	1	4	2	26
	女	5	0	0	5	2	5	3	2	4	0	2	4	32
	計	7	0	4	9	4	5	6	3	7	1	6	6	58

緊急利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(年齢別 利用状況)

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
65未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～75	4	4	3	5	2	2	3	3	4	2	1	4	37
75～85	6	7	5	8	9	7	10	9	10	5	9	10	166
85以上	23	20	19	21	23	20	22	19	20	10	10	19	177
合計	33	31	28	34	34	29	35	31	34	27	31	33	380

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	6	7	6	5	7	6	6	6	3	3	4	4	63
他事業所	27	24	22	29	27	23	29	25	31	24	26	29	317
合計	33	31	28	34	34	29	35	31	34	27	30	33	380

介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1段階	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
2段階	3	4	4	4	5	5	5	4	5	4	5	5	53
3段階	12	11	9	12	9	7	7	8	7	6	7	7	102
4段階	18	16	15	19	20	17	23	19	20	16	18	21	222
合計	33	31	28	35	34	29	35	31	34	27	30	33	380

令和5年度 安全衛生・防災対策委員会

安全衛生は日々の職員の為の環境整備や入所者様への環境整備をすることによって、より良い職場環境や生活環境のしました。

防災対策は避難訓練・防火訓練の実施をはじめ、自然災害時のBCP委員の立ち上げと内容の充実を図るべく今後も話していきます。

委員会担当者名

委員長名	構成員							
	1F		2F		さくらひまわり		つつじりんどう	
中川	木村		野口		岡崎		友田	

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月24日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・研修と今後の職員参加訓練について
5月	5月22日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・フロア不足品の整備
6月	6月19日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・安全な通勤について
7月	7月24日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・職員の介護負担軽減について
8月	8月21日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・感染対策について
9月	9月25日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・消防署の立ち入り検査の結果報告
10月	10月23日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・災害対策について
11月	11月20日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・BCP関連
12月	12月25日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・BCP立ち上げ
1月	1月22日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・避難訓練についての内容検討
2月	2月19日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・避難訓練振り返り
3月	3月25日	安全衛生・防災対策委員会	活動報告・次年度について

令和4年度 新聞・行事委員会

サンSUNだよりに関して、昨年度同様コロナ禍により面会も出来ずご家族様にはご心配をおかけしました。
施設内の様子が知りたい、顔を見たいとの要望があり文章ばかりではなく出来る限り入所者様の写真を掲載しました。
また、施設のインスタグラムも併せて活用し委員会中心となって日常の風景やレクリエーション時の様子を発信しました。
来年度も継続していきます。

委員会担当者名

委員長名	構成員					
	1F	2F	さくらひまわり		つつじりんどう	
角岡	柴田	高 谷口	植田	トウオイ	角岡	

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月25日	新聞行事委員会	新体制による今期予定の打ち合わせ
5月	5月23日	新聞行事委員会	レク・父の日についての内容検討・納涼祭について
6月	6月20日	新聞行事委員会	納涼祭内容打ち合わせ
7月	7月25日	新聞行事委員会	8月発行サン機関紙記事打ち合わせ・納涼祭内容打ち合わせ
8月	8月22日	新聞行事委員会	夏祭の反省点整理
9月	9月26日	新聞行事委員会	敬老会企画について
10月	10月24日	新聞行事委員会	クリスマス会企画・10月の各フロアのレクリエーションについて
11月	11月21日	新聞行事委員会	新年発行機関紙記事・デザイン打ち合わせ・クリスマス会内容打ち合わせ
12月	12月26日	新聞行事委員会	新年発行機関紙記事打ち合わせ・クリスマス会の反省会
1月	1月23日	新聞行事委員会	3月発行機関紙記事打ち合わせ
2月	2月20日	新聞行事委員会	3月発行機関紙記事打ち合わせ・ひな祭りの内容検討
3月	3月26日	新聞行事委員会	今年度の振り返りと次年度へ向けて・4月の行事

令和4年度 拘束・虐待防止委員会

拘束・虐待防止委員会の年間計画を立てる際、委員会メンバー自身が意識改革に取り組みました。
研修活動以外にも、前年度に引き続き職員の目につく所(例えばロッカールームや詰所や食堂など)に啓発ポスターを
貼り、意識を持って業務に当たるように伝え続けました。拘束に関しては入所前に拘束していた御利用者様に対して
拘束をなくしていくよう努力しました。来年度も引き続き、職員の意識改革と接遇面での満足度を向上させていきます。

委員会担当者名

委員長名	構成員					
	1F		2F		さくらひまわり	つつじりんどう
萬	伊東	上山	萬	ヒダル	山本(高)	山口

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月26日	拘束虐待防止委員会	年次計画の取り組みの確認・身体拘束の評価と検討
5月	5月24日	拘束虐待防止委員会	研修内容の打ち合わせ
6月	6月21日	拘束虐待防止委員会	拘束研修の打ち合わせ
7月	7月26日	拘束虐待防止委員会	拘束虐待防止研修の総括
8月	8月23日	拘束虐待防止委員会	今後の研修についての話し合い
9月	9月27日	拘束虐待防止委員会	虐待研修に関しての内容精査と検討
10月	10月25日	拘束虐待防止委員会	研修内容の打ち合わせ
11月	11月22日	拘束虐待防止委員会	研修打ち合わせ総括
12月	12月27日	拘束虐待防止委員会	身体拘束の現状に連お手の反省と今後の対策
1月	1月24日	拘束虐待防止委員会	身体拘束研修について
2月	2月21日	拘束虐待防止委員会	来年度研修についての討議
3月	3月27日	拘束虐待防止委員会	今年度の振り返りと次年度へ向けての討議

令和4年度 感染・褥瘡防止委員会

今年度はコロナウイルス感染による施設内クラスターが起き、日頃の感染予防対策や一人ひとりの感染予防行動が重要であるか痛感しました。大規模感染には至りませんでしたが、終息後にはクラスター発生状況の振り返り・次回発生時の初動のロールプレ、何度も繰り返し、二度と施設内感染を起こさないと委員会中心となって施設全体で取り組みました。感染予防対策は今後も継続し、褥瘡に関しては、除圧・体圧分散等の基本介護の見直しや介護の統一をし、改善と予防を徹底しました。

委員会担当者名

委員長名		構成員						
友田	1F		2F		さくらひまわり		つつじりんど	
	岡本		ライス	尾崎	藤原		宮崎	友田

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月27日	感染褥瘡防止委員会	委員会活動内容についての確認
5月	5月25日	感染褥瘡防止委員会	面会・消毒についての確認
6月	6月22日	感染褥瘡防止委員会	感染症対策について・褥瘡予防についての内容確認
7月	7月27日	感染褥瘡防止委員会	エアマット使用者の確認と今後の検討
8月	8月24日	感染褥瘡防止委員会	褥瘡・コロナウイルス対応についての確認
9月	9月28日	感染褥瘡防止委員会	コロナウイルス対応についての確認
10月	10月26日	感染褥瘡防止委員会	研修内容の打ち合わせ
11月	11月23日	感染褥瘡防止委員会	食中毒研修の振り返り・エアマット使用者についての検討
12月	12月28日	感染褥瘡防止委員会	褥瘡予防・感染症について
1月	1月25日	感染褥瘡防止委員会	来年度の研修についての討議
2月	2月22日	感染褥瘡防止委員会	研修についての討議
3月	3月28日	感染褥瘡防止委員会	ポジショニング研修について・今年度の振り返りと次年度の活動へ向けての討議

令和年度 事故・再発防止委員会

昨年同様、防げる事故を防ぐという当たり前のことを目標とし、今年度は活動しました。職員にも注意啓発・指導をしてきましたが、依然防ぐべき事故や同じ事故が発生してしまっていました。来年度は更なる事故防止策の検討が必要であります。職員一人ひとりが起こった事故の振り返りと再発防止策を考え、事故を起こさないための意識改革や介護の見直しも必要です。すべての入所者様が安全で安心した生活を送っていただけるよう日々業務を行う必要があります。

委員会担当者名

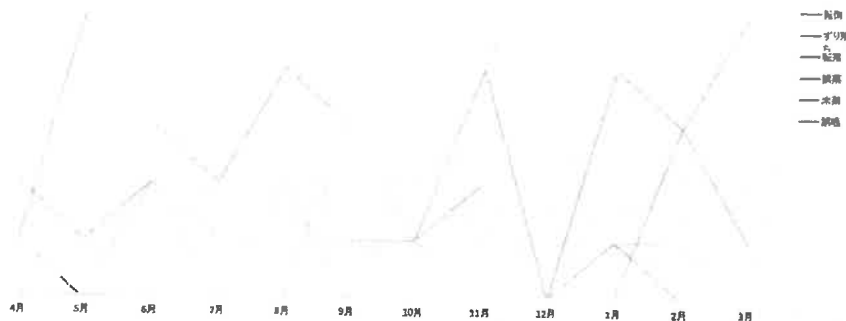
委員長名		構成員			
奥田	1F	2F		さくらひまわり	つつじりんどう
	信時	奥田	中井	島	山本(紅)

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月29日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修内容打ち合わせ
5月	5月29日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修内容打ち合わせ
6月	6月23日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修内容打ち合わせ
7月	7月28日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修内容打ち合わせ
8月	8月25日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修内容打ち合わせ
9月	9月29日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修反省点整理
10月	10月27日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察
11月	11月24日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察
12月	12月29日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察
1月	1月26日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察
2月	2月23日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察
3月	3月29日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察

年間事故報告集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	1	5	3	2	4	3	1	4	0	0	3	5	31
すり落ち	2	1	2	1	0	1	1	2	0	4	3	1	18
転落	0	2	2	1	0	3	1	0	0	1	1	0	11
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
床ずれ	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
誤嚥	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
褥瘡	3	5	3	1	1	0	2	2	0	2	0	2	21
その他	5	2	3	1	0	1	0	3	2	4	2	7	30
合計	12	18	13	8	7	8	5	11	2	14	6	14	121



令和5年度事業報告書

デイサービスサンフォート武庫之荘

令和5年(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(事業概要)

- ・令和5年度は、ご利用者は5,607名(令和5年度96.4%)の実績でしたが、前年度と比べると7.1%減の結果となりました。
- ・令和5年度8月より、新たにデイ相談員が加わり新体制となり新規ご利用者の獲得にも努め、26名確保することが出来ましたが、事業計画では月平均650名としていましたので、前年度は103.5%ですが目標に対しては96.4%と未達でした。
- ・令和5年度の傾向としては、9月頃より少しづつではありますが、体験利用から新規26名を獲得しましたが、令和6年2月に不適切なケアから発生した件にて、事業所からの信用問題につながり、利用者様を他施設に変更等々などが続き、稼働減少を食い止める事ができませんでした。
- ・現在、信用回復に向けデイサービスの情報及び利用者様の利用状況等を含め各事業所へ伺っています。
- ・過去からマンネリ化していた行事ごとや業務改善を行い、充実したレクリエーション、体操等、組織(チーム)として取り組み職員一丸となって利用者様、家族様から喜んで頂けるデイサービスを目指します。

(月間延べ利用者推移)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	単位 人 一月平均
要支援	11	13	11	11	18	17	20	17	20	22	18	13	191	15.9
要介護	448	492	348	444	454	485	484	457	451	464	464	444	5,435	452.9
合計	459	486	359	455	472	502	504	474	471	486	482	457	5,607	467.3
令和4年度	494	486	500	510	514	471	471	458	480	487	456	488	5,815	502.0

前年度比 208名減

(利用者分析) 介護度別利用状況(実人数/延べ回数)

(内容:介護予防通所介護)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1 4	4 1	1 4	2 8	1 5	1 4	2 7	1 4	1 4	2 9	1 4	2 4
要支援2	2 7	2 9	2 7	1 3	2 13	2 13	2 13	2 13	2 16	2 18	2 14	1 9
合計	3 11	6 10	3 11	3 11	3 18	3 17	4 20	3 17	3 20	4 27	3 18	3 13

(内容:通所介護)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	18 163	16 138	21 123	17 152	15 171	15 178	18 192	18 186	20 207	21 204	22 210	19 203
要介護2	14 125	14 164	16 99	15 134	10 119	12 146	12 137	13 133	11 116	11 124	13 125	13 128
要介護3	8 72	9 78	11 54	8 64	6 54	6 54	9 45	6 42	7 42	7 60	7 72	10 63
要介護4	6 50	5 54	7 40	5 56	6 50	8 52	7 50	9 53	10 42	5 21	5 22	5 19
要介護5	5 37	6 45	6 32	5 38	5 42	4 38	4 40	5 43	5 43	6 50	5 36	5 31
合計	51 447	50 479	61 348	50 444	42 436	45 468	50 464	51 457	53 450	50 459	52 465	52 444

(新規利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
要介護	1	0	1	0	0	1	3	0	2	6	2	3	19
合計	1	1	1	4	0	1	4	0	2	6	2	4	26
令和4年度	1	0	4	0	1	2	0	3	2	1	0	0	14

(請求状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護予防通所介護	57,763	57,763	57,763	57,763	70,770	70,770	70,770	69,585	101,071	84,698	84,698	59,831
通所介護	3,391,511	3,630,897	2,768,213	3,375,570	3,240,959	3,550,784	3,427,682	3,344,998	3,253,794	3,242,065	3,465,130	3,441,596
合計	3,449,274	3,688,660	2,825,976	3,433,333	3,311,729	3,621,554	3,498,452	3,414,583	3,354,865	3,326,763	3,549,828	3,501,427

(行事内容) 主な実施行事

4月	さくらまつり
5月	母の日
6月	父の日
7月	七夕祭り
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	運動会
11月	おやつレク
12月	クリスマス会
1月	初詣
2月	節分
3月	ひな祭り

協力ボランティア団体と活動内容(レクリエーション含む)

団体名	活動内容
堀江様	ギターに合わせて合唱
落語会様	落語を楽しめる

令和5年度事業報告書

ヘルパーステーション サンフォート武庫之荘

令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(業績概要)

- ・重度の在宅生活者の減少により、訪問内容は身体介護を必要としたケアは少なく、生活援助が中心となりました。
- 又、ヘルパーの高齢化もあり身体中心としたケアを引き受けれないのが現状です。
- ・居宅介護支援事業所からの依頼で、訪問型独自サービスを受けない事業所の利用者様を引き受け、利用者様の増加につながりました。
- ・自費サービスの通院介助の依頼が増加し、ショートステイ利用の通院も依頼されるなど、介護保険外サービスの増加につながりました。

(1) 職員の知識・技術を向上させる活動を行いました。

- ・定期会議で個々の情報交換をメールで行い、特に登録ヘルパーに介護方法や介護方法や各種サービスに関する情報提供を行いました。
- ・また訪問時指導や接遇や法令順守など様々な研修を行い、介護の質を高めるべく、職員の専門性向上を図りました。

(2) 利用者が安心できるサービス提供を行いました。

- ・利用者の生活環境に応じたサービス提供が行えるよう、ヘルパー間での情報交換を行い、統一したサービス内容になるように心がけました。
- ・ご利用者の持っているニーズの把握や問題等を早期に把握し、解決に向けて取り組むためにチームケアにて支援するよう心がけました。
- ・介護者の立場も同時に考慮し支援していくために、状況確認し寄り添うように心がけました。

(3) 今後の課題

- ・在籍している登録ヘルパーの高齢化と常勤ヘルパー欠員の為、若い人材確保に取り組まましたが厳しい状況です。
- ・災害時や緊急事態時の業務継続に向けた取り組みの強化が必要です。(BCP)

(研修)

研修内容

月 日	内 容	場 所
4/24	感染症	サンフォート武庫之荘 会議室
5/15	法令遵守	サンフォート武庫之荘 会議室
6/19	熱中症の予防と対応	サンフォート武庫之荘 会議室
7/24	プライバシー保護	サンフォート武庫之荘 会議室
8/21	薬との付き合い方	サンフォート武庫之荘 会議室
9/25	アセスメント、メンタルケア	サンフォート武庫之荘 会議室
10/16	緊急時対応	サンフォート武庫之荘 会議室
11/20	共依存という視点で考える高齢者虐待	サンフォート武庫之荘 会議室
12/16	今年1年振り返り、来年の抱負	サンフォート武庫之荘 会議室
1/16	接遇	サンフォート武庫之荘 会議室
2/20	BCP	サンフォート武庫之荘 会議室
3/20	認知症研修	サンフォート武庫之荘 会議室

(1) 訪問時同行指導

- ・同行し、サービス提供時間、援助内容、移動距離等を見直すことにより効率的に訪問介護業務が行えるよう指導しました。

(2) 会議

- ・職員会議～毎月実施(登録職員含む)しました。あわせて上記の研修も実施しました。
- ・情報交換～職員会議時の報告のほか、必要時に実施しました。

・自費サービス対応時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自費生活援助	3.5	4	3	6.5	4	4.5	4	5.5	4.5	3	4.5	6	53
自費通院介助	15.5	20	13.5	20	13.5	19	14.5	18.45	16	24.5	19.5	13	207.45
合 計	19	24	16.5	26.5	17.5	23.5	18.5	23.95	20.5	27.5	24	19	260.45

・訪問時間内訳

訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	52.5	105.5	65.5	72.5	72	71.5	69	61	72.5	69	68	72	851
生活	609.5	679	591.5	615.5	610.5	582.5	595.5	586	573	498	533	514	6988
合 計	662	784.5	657	688	682.5	654	664.5	647	645.5	567	601	586	7839

令和5年度事業報告書
居宅介護支援事業所 サンフォート武庫之荘
 令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年度は、入所や逝去が多かったが営業活動を通じ新規利用者獲得は定期的に出来ました。
 地域包括や病院からの新規依頼は多いが、要支援者が多い。要介護者獲得の為に出来るだけ受けている。
 今後も、より一層営業に力を入れ顧客獲得に努めていきます。

令和5年度は、下記の通り居宅介護支援業務を実施しました。

〔実施業務内容〕

- ① 介護保険代行申請
- ② 地域包括支援センターへの基本情報提出・再委託契約・ケアプラン作成・評価
- ③ 各ケースの把握と更新申請代行
- ④ 認定調査
- ⑤ アセスメント
- ⑥ サービス担当者会議
- ⑦ ケアプラン・計画書の作成
- ⑧ 月ごとの利用票・提供票の作成
- ⑨ 月ごとの利用票を確認して頂く為の家庭訪問
- ⑩ 各サービス事業所への連絡調整とサービスの仲介や実施
状態の変化の発見により他職種へつなぐ等
- ⑪ 毎月の実績管理
- ⑫ 毎月の給付管理
- ⑬ ケアプラン請求のチェック
- ⑭ モニタリング
- ⑮ 新規ケースに関する業務
- ⑯ 各ケースの相談業務
- ⑰ 居宅介護支援の提供に関する記録の整備

〔居宅サービス:介護給付費・介護予防支援費 請求実績件数〕

年 月	介護給付費	介護予防支援費
令和5年 4月	58	25
5月	58	26
6月	58	27
7月	54	28
8月	56	27
9月	52	30
10月	55	31
11月	56	31
12月	50	30
令和6年 1月	51	31
2月	53	33
3月	53	34

654

353

〔認定調査〕

市外の認定調査も積極的に受け入れました。

	尼崎市	その他	計
令和5年 4月	4		4
5月	2		2
6月	3	1	4
7月	3		3
8月	2		2
9月	1	1	2
10月	2	1	3
11月	3	1	4
12月	4		4
令和6年 1月	4		4
2月		2	2
3月	2		2

令和5年度 認定調査合計 36件

令和5年度は、下記の研修会に積極的に参加し、情報獲得と援助技術向上に務めました。

【研修会 参加状況】

年月日	内容	場所
令和5年 5月16日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会・全体研修会 【総会】 13:30～13:55 (1)令和4(2022)年度事業報告、収支決算及び監査報告について (2)令和5(2023)年度事業計画及び収支予算についてその他 【全体研修】 14:00～16:00 テーマ BCP(事業継続計画) 講師 特別養護老人ホームけま喜楽苑 施設長 堀口明子氏	尼崎市立中小企業センターホール
7月20日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会 テーマ 認知症のある利用者の困難事例について 講師 みつばケアステーション 山内知樹氏 14:00～16:00	尼崎市立中小企業センターホール
9月14日	武庫地区ケアマネ交流会 テーマ 認知症について 講師 株式会社フロンティア 薬剤師 14:00～15:30	尼崎市武庫西生涯学習プラザ
10月20日	尼崎医療介護スキルアップ交流会 テーマ カスタマーハラスメント 講師 ゼウス総合法律事務所 弁護士 山本健太郎氏 14:00～16:00	尼崎市立中小企業センター
11月14日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会 テーマ ICT活用により業務の効率化 講師 株式会社ビーブリット 竹下康平氏 14:00～16:00	尼崎市中小企業センターホール
12月14日	武庫地区ケアマネ交流会 テーマ 看取りについて 医師・ケアマネジャー対応事例と意見交換会、交流 14:00～16:00	尼崎市武庫西生涯学習プラザ
令和6年 2月16日	あまつなま多職種連携交流会 テーマ 消防署(救急隊)との交流・予防救急について 講師 尼崎市消防署・救急隊 10:00～12:00	尼崎市立花南生涯学習プラザ
2月27日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会 テーマ 介護保険改定 講師 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 白澤政和 教授 14:00～16:00 交流会16:30～18:00	尼崎市中小企業センターホール
3月12日	尼崎市 テーマ 令和4年度介護保険サービス事業者等集団指導	ZOOM

令和 5 年度
社会福祉法人 三養福祉会
四宮三養苑
事業報告書

- ・ 特別養護老人ホーム 四宮三養苑
- ・ 短期入所生活介護 四宮三養苑
- ・ デイサービスセンター 四宮三養苑
- ・ 養護老人ホーム 四宮三養苑

特別養護老人ホーム 四宮三養苑 2022年度 報告書

2023年度(2023年4月1日-2023年9月30日)

2023年度(2023年10月1日-2024年3月31日)

2023年度(2023年4月1日～2023年9月30日)									2023年度(2023年10月1日～2023年12月31日)									全体	
特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム29名、短期入所10名								定員：特別養護老人ホーム29名、短期入所10名										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月平均		10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合計	月平均		
定 数	870	899	870	899	899	870		定 数	899	870	870	899	841	899		10585			
入居実数月累計	857	837	850	889	877	840	858.3	入居実数月累計	879	870	870	899	829	897	874.0	10394	866.2		
在籍者1日平均	28.6	27.9	27.9	28.7	28.7	28.0	28.3	在籍者1日平均	28.4	29.0	29.0	29.0	28.4	29.9	29.0		28.62		
入院差し引き実数	803	803	803	803	877	803	815.3	入院差し引き実数	803	803	870	899	829	897	850	9993	832.8		
入院者差し引き実数	26.8	26.8	26.8	25.9	25.9	26.8	26.5	入院者差し引き実数	20.0	25.9	28.1	29.0	26.7	28.9	26	317.5	26.5		
1日当り実質空床率	7.7%	10.7%	7.7%	10.7%	10.7%	7.7%	9.20%	1日当り実質空床率	10.7%	7.7%	0.0%	0.0%	1.4%	0.2%	3.34%		6.27%		
新規入所者数	1	1	0	0	1	0	0.50	新規入所者数	0	0	0	1	0	0	0.17	4	0.3		
退所者(内死亡者)	1	1	0	0	1	0	0.67	退所者(内死亡者)	0	0	0	1	0	0	0.83				
1日当り入院者平均	2.07	2.07	0.67	0.32	0.71	1.00	1.14	1日当り入院者平均	0.65	0.00	0.00	0.00	0.40	0.07	0.19	7.9	0.7		
入院日数12月累計	62	62	20	10	22	30	34.3	入院日数12月累計	20	0	0	0	12	2	5.7	240	20.0		
平均入所率	98.5%	93.1%	97.7%	98.9%	98.9%	96.6%	97.3%	平均入所率	97.8%	100.0%	100.0%	100.0%	98.6%	99.8%	99.4%		98.3%		
短期入所者延べ人数	184	241	184	293	298	262	243.7	短期入所者延べ人数	256	309	296	277	298	319	292.5	3217	268.1		
特養+短期 定数	1170	1209	1170	1209	1209	1170	1189.5	特養+短期 定数	1209	1170	1209	1209	1131	1209	1189.5	14274	1189.5		
月当り在籍者実数	987	1044	987	1096	1101	1065	1046.7	月当り在籍者実数	1059	1112	1166	1176	1139	1216	1144.7	13148	1095.7		
1日当実質在籍者数	32.9	34.8	32.9	35.4	35.5	35.5	34.5	1日当実質在籍者数	34.2	37.1	38.9	39.2	38.0	40.5	38.0	434.8	36.2		
稼働率(特+短)	84.4%	86.4%	84.4%	90.7%	91.1%	91.1%	88.0%	稼働率(特+短)	87.6%	95.0%	96.4%	97.3%	100.7%	100.6%	96.27%		92.1%		
入所者介護度平均	4.48	4.48	4.48	4.48	4.48	4.48	4.48	入所者介護度平均	4.48	4.48	4.48	4.48	4.48	4.59	4.50	53.89	4.49		
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0.0	要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		
要介護(2)	0	0	0	0	0	0	0.0	要介護(2)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		
要介護(3)	3	3	3	3	3	3	3.0	要介護(3)	3	3	3	3	3	2	2.8	35	2.9		
要介護(4)	9	9	9	9	9	9	9.0	要介護(4)	9	9	9	9	9	8	8.8	107	8.9		
要介護(5)	17	17	17	17	17	17	17.0	要介護(5)	17	17	17	17	17	19	17.3	206	17.2		
合 計	29	29	29	29	29	29	29.0	合 計	29	29	29	29	29	29	29.0	348	29.0		
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		
外出数	0	0	0	0	0	0	0.0	外出数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		
通院者数	16	13	16	3	5	5	9.67	通院者数	10	8	8	8	11	17	10.33	120	10.0		
面会者数	0	0	0	0	0	0	0.0	面会者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		

②障害高齢者日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	0
中度	A1	0
	A2	2
重度	B1	1
	B2	16
最重度	C1	3
	C2	6
合計		28

③認知症高齢者日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	自立	0
	I	0
	IIa	0
中度	IIb	1
	IIIa	22
	IIIb	0
重度	IV	3
	M	3
合計		29

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	0	1	28	29
食事	12	10	5	27
排泄	2	15	12	29
入浴	0	9	20	29

⑤オムツ使用者状況

	人数
常時	11
夜間のみ	10
合計	21

⑥在所期間の状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	平均在所
男	1人	2人	5人	0人	0人	0人	2.6年
女	4人	8人	1人	5人	2人	0人	3.9年
計	5人	10人	6人	0人	2人	0人	3.6年

⑦日常生活の状況調査

区分					実数	割合	区分					実数	割合
移動 立 食 事 入 浴 着 脱 衣	自立	独立歩行		0人	0.0%	排泄 昼間 夜間	便所	自己で可能		0人	0.0%		
		杖等の歩行補助器使用		1人	3.4%			一部介助		15人	51.7%		
		車椅子使用		28人	96.6%			全部介助		3人	10.3%		
	要介助			0人	0.0%			自己で可能		0人	0.0%		
				12人	41.4%			一部介助		0人	0.0%		
				10人	34.5%			全部介助		0人	0.0%		
	全部介助			5人	17.2%		おむつ使用	おむつ使用		12人	41.4%		
				0人	0.0%			便所	自己で可能		2人	6.9%	
				0人	0.0%				一部介助		0人	0.0%	
		9人	31.0%	全部介助					0人	0.0%			
	全部介助			20人	69.0%		おむつ使用		自己で可能		0人	0.0%	
				0人	0.0%				一部介助		0人	0.0%	
			9人	31.0%	全部介助				0人	0.0%			
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用	おむつ使用			27人	93.1%			
			0人	0.0%		便所		自己で可能		0人	0.0%		
			0人	0.0%				一部介助		0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助					0人	0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用			自己で可能		0人	0.0%		
			0人	0.0%				一部介助		0人	0.0%		
			9人	31.0%				全部介助		0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用		おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助				0人		0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用		自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%		一部介助				0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助			0人			0.0%				
全部介助			20人	69.0%		おむつ使用	自己で可能			0人	0.0%		
			0人	0.0%			一部介助			0人	0.0%		
			9人	31.0%			全部介助			0人	0.0%		
全部介助			20人	69.0%			おむつ使用	おむつ使用		27人	93.1%		
			0人	0.0%				便所	自己で可能		0人	0.0%	
			0人	0.0%	一部介助					0人	0.0%		
	9人	31.0%	全部介助		0人				0.0%				
全部介助			20人	69.0%	おむつ使用								

尿器 名 排便時のみ一部介助でトイレ誘導。

■令和5年度 3階イベント委員実施報告書

担当: 輪島 真矢、レディ・トゥ・チャン

【活動内容】

イベント名	月	開催日	イベント内容・報告	支出
夏祭り	8月	8月21日	壁に折り紙で制作した提灯や花火等飾り付けを行い、夏らしい雰囲気を味わっていただきました。おやつ時にフローズンゼリーの提供を行い、涼しさを感じてもらいました。 参加者数 20名	¥3,520
敬老祝賀会	9月	9月25日	敬老のお祝いを行いました。おやつ時に少しでも季節を感じていただける様に、季節の和菓子を提供しお祝いをしました。経口摂取が難しい方には写真入りのお祝い色紙をプレゼントし、喜んでいただけたかと思えます。 参加者数 20名	¥3,630
クリスマス会	12月	12月25日	クリスマスにちなんで冷凍ケーキの提供を行いました。日頃より提供する事が無い為、とても喜んで召し上がっていただけました。 参加者数 20名	¥2,986
合計				¥10,136

《反省と課題》

おやつ提供が中心になってしまったイベント行事になってしまいました。コロナ禍との事でなかなか外出行事等行う事が難しいですが、少しでも何か環境の変化を感じていただけるような行事を企画していけたらと思います。

課題として、出来るだけ入居者様全員に楽しんでいただけるような企画を考えたいと思います。

■令和5年度 4階イベント委員実施報告書

担当: 宮口 千佳・松本 香織

【活動内容】

イベント名	月	開催日	イベント内容・報告	支出
夏祭り	7月	7月16日	金魚すくい・ヨーヨー釣り、かき氷を提供しました。金魚すくいとヨーヨー釣りは、入居者様が懐かしいと昔を思い出し、皆様の応援もあり、盛り上がりしました。かき氷は、目の前で氷を削ったので、臨場感もあり、久しぶりに食べたと喜んでいただきました。 参加者数 17名	¥2,937
敬老祝賀会	9月	9月24日	ビンゴ大会とおやつに和菓子を提供しました。ビンゴ大会は、入居者様に順にカードを引いていただき、読み上げてもらいました。また、景品も上位の方に関しては、予算内で欲しい物をお渡しする形をとりました。入居者様間の会話も多く、賑やかな敬老祝賀会になりました。 参加者数 16名	¥12,958
謹賀新年のお祝い	令和6年 1月	1月1日	当日までに小さなしめ縄をレクリエーションにて作り、表札に飾りました。元旦には、おみくじをおやつに栗きんとん、昆布茶を提供しました。しめ縄も好評で、おみくじに関しては「わぁー大吉」やおみくじの内容を読み爆笑されたりと盛り上がりしていました。少しでもお正月の雰囲気を味わってもらえたのではないかと思います。 参加者数 19名	¥10,301
合計				¥26,196

《反省と課題》

反省点としては、入居者・利用者様が予想以上に盛り上がりおられた為、イベントの時間が少し長くなってしまい、疲れがみられている様子が伺える方がおられ、もう少しスムーズに行えると、より良かったのではと思います。

ADLが様々である中で、全入居者・利用者様が参加、楽しめるイベントを、企画する事が課題となってくると思います。

■令和5年度 3・4階広報委員会実施報告書

委員会担当職員名
3階市村 4階村瀬

【活動内容】

ご家族の手紙、新聞作成まで至らないとき、日々の様子を随時、担当職員から入居者様の日常の様子などを連絡させて頂いた。
感染予防の観点から通常の面会を実施できておらず、ご家族に体調面などを直接説明する必要がある際は、ご足労頂き来苑時に説明をさせて頂くと同時に写真を一緒に撮らせて頂くなどの対応を実施しました。

《反省と課題》

イベントなどの行事も少なく写真撮影なども機会も減り、中々日常の撮影も時間が取れないままになってしまいました。次年度は、色んな場面でも撮影を行こうと思っています。

■令和5年度 3・4階スキルアップ委員実施報告書

委員会担当職員名
3、4階 本郷・梅澤

【活動内容】

「糖尿病」の勉強会を5月11日・19日に行う。
参加者数：16名

《反省と課題》

年4回の勉強会実施を計画していましたが、人員不足や勤務変更などで日常業務が優先となり定期開催が困難であった。
毎月の定例会議の中で事故防止、感染症対策、身体拘束防止、虐待防止、接遇についての取り組みを行った。
次回勉強会を行う際は、担当職員に留まらず共通する箇所については他部署と共同でしっかり打ち合わせを行い資料を作成し、勉強会を実施したいと思います

■令和5年度 3・4階接遇委員実施報告書

委員会担当職員名
3、4階 金谷・市村

【活動内容】

身なりや言葉使い等の勉強会に向けての資料作り。

《反省と課題》

夏頃に勉強会資料は、作成していましたがシフトや勤務変更等により開催するまで至りませんでした。
次回勉強会を行う時には事前にしっかり打ち合わせを行い、もっと質問形式にし参加職員で意見交換が出来るような勉強会を開きたいと思っています。

■令和5年度 車椅子委員実施報告書

担当者 3F 輪島、チャン 4F 宮口、ミン

【活動内容】

- ・一ヶ月に一回、全車椅子の点検を行った。(出来ない月もあった)
- ・車椅子の空気入れや、故障箇所の把握等。
- ・修理後車椅子の重さの記載シールが剥がれている事がある為、再度計測し、テプラー等で車椅子重量が分かる様に貼付を行った。

《反省と課題》

- ・車椅子の管理や把握が出来ない事が見られた。汚染時や、修理後。
- ・故障確認後、稟議書の提出等、迅速に行う必要があった。
- ・車椅子の物品等の知識をもっと知るべきと感じた点がみられた。(空気バルブ等)
- ・車椅子修理の際、業者が取りに来る日の把握が出来ず、修理に持ち帰った番号が分からず、困惑してしまった。
- ・故障台数が増え、汚染等で乗り換える車椅子の台数が、少ない状況が続いてしまっていた。

■令和5年度 ユニット飲み物/おやつ管理担当委員会実施報告書

委員会担当職員名
3階市村 4階村瀬

【活動内容】

3階・4階のユニットの飲み物を切らさない様に確認行い、職員同士で無くなりかけていたら報告してもらう様に声掛けしてもらう。
おやつに関しては、賞味期限の確認を行う。

《反省と課題》

飲み物が無くなっている事や、賞味期限が切れている事あり、今後は3日に一度は確認するようにする。

2023年度 事業報告書
短期入所生活介護 四宮三養苑

1. 介護度別利用者数

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	男													0
	女													0
要支援2	男													0
	女													0
要介護1	男								1					1
	女					1								1
要介護2	男													0
	女		1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	13
要介護3	男	1	1	2	1									5
	女	6	5	5	6	6	5	4	5	5	3	2	2	54
要介護4	男				2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	女	2	1	2	2		1	2	2	2	4	4	4	26
要介護5	男			2	1	1	1	1	1	1				8
	女		1	2	1	2	2	3	2	2	3	4	4	26
合計		9	9	14	14	13	11	12	13	13	13	12	12	145
夜間入人数		184	159	208	298	313	262	268	309	296	277	298	319	3191
平均		5.94	5.13	6.71	9.61	10.10	8.45	8.65	9.97	9.55	8.94	9.61	10.29	10.29

2. 保険者別利用者数

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
門真市	8	8	13	13	12	10	11	12	12	12	11	11	133
守口市													0
四条畷市													0
東大阪市													0
寝屋川市													0
大阪市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	9	9	14	14	13	11	12	13	13	13	12	12	145

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
新規利用	男	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	女	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1	0	0	5
	計	0	0	1	2	1	0	2	1	1	1	0	0	9

[illegible]

年齢層		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男													0
	女													0
61～65	男													0
	女													0
66～70	男													0
	女													0
71～75	男													0
	女													0
76～80	男				2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	女							1	1	1	1	1	1	6
81～85	男													0
	女	4	3	3	3	3	3	3	3	4	5	5	5	44
86～90	男	1	1	1	1				1					5
	女			2	2	3	2	2	2	2	1	1	1	18
91～95	男			3	1	1	1	1	1	1				9
	女	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	27
96以上	男													0
	女	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計		9	9	14	14	13	11	12	13	13	12	12	12	144

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
三養苑居宅							1	1	2	1		1	7
第5包括(委託)													0
他事業所	9	9	14	14	13	11	11	12	11	12	11	11	138
合計	9	9	14	14	13	11	12	13	13	13	12	12	145

事業所別延べ利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
三養苑居宅							9	30	32	20	29	31	151
第5包括(委託)													0
他事業所	191	161	215	303	316	269	264	286	269	264	273	293	3104
合計	191	161	215	303	316	269	273	316	301	284	302	324	3255
平均	6.37	5.19	7.17	9.77	10.19	8.97	8.81	10.53	9.71	9.16	10.41	10.45	8.89

事業所別延べ利用人数詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
三養苑							9	30	32	20	29	31	151
第5包括(委託)													0
SOMPOケア門真		23											23
あいずケアプランセンター門真													0
あきケアプラン													0
囲炉裏ケアプラン	33	13	15	38	40	25	10	8	8	8	9	11	218
えくぼケアセンター					4								4
萱島ラガー	30	30	35	31	31	30	31	30	31	31	29	31	370
クオレ古川橋													0
ケアサービス まるせ	37		1	62	62	60	62	70	62	62	58	62	598
ケアサポート都						30	31	30	9				100
ケアパートナー大東													0
ケアプランなるなる													0
島頭ケアプランセンター													0
ちどりケアマネジメント													0
柏友会ケアプランセンター													0
まあるけあぶらん													0
みどりケアプラン	30	34	64	53	35	34	36	33	36	39	62	65	521
さくらケアプランセンター	7	18	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	330
Nログ	54	43	40	57	31	30	31	30	31	31	29	31	438
ミーツケアプランセンター				28	51	30	30	29	30	31	28	31	288
ケアプランセンターブドウ			9										9
あじさいケアセンター			4	3	31								38
南郷ケアプランセンター			17										17
エルケアひがしくすのきケアプランセンター							2	26	31	31	29	31	150
他事業所合計	191	161	215	303	316	269	264	286	269	264	273	293	3104
合計	191	161	215	303	316	269	273	316	301	284	302	324	3255

令和5年度 三養福祉会デイサービスセンター四宮三養苑 事業報告書

メディアによる新型コロナウイルスの流行状況の報道が減少している中、社会全体には一定の解放感が広がっています。しかし、私たちの施設では、依然として感染者が散見される現状を鑑み、感染防止策を緩和せず継続しています。これは、コミュニティと職員の安全を最優先に考える私たちの責任ある対応です。

昨年は、職員の体調不良による長期欠勤が相次ぎ、デイ運営には厳しい時期がありました。更に11月から12月にかけては、利用者の皆様の健康問題による長期入院が増加し、前年の利用者数を下回る結果となりました。しかしながら、その後は新規の利用者様の増加や既存の利用者様の追加利用などにより、徐々に状況は改善し、持ち直すことができました。

以下が令和5年度の実績と、過去6年間の推移比較となっています。

【 令和5年度 三養福祉会 デイサービスセンター四宮三養苑 実績報告 】

介護保険 ・ 総合事業 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	26	26	24	24	22	25	25	26	24	25	26	27	300
女 性	32	32	35	37	36	35	36	34	34	33	33	34	411
合 計	58	58	59	61	58	60	61	60	58	58	59	61	711

介護度別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	29
要支援 1	2	2	2	3	4	5	4	4	4	4	4	4	42
要支援 2	5	4	4	5	5	7	8	7	5	5	4	5	64
要介護 1	17	18	15	15	12	11	11	11	10	10	11	11	152
要介護 2	17	17	22	22	22	23	22	22	22	23	23	21	256
要介護 3	8	8	7	6	7	6	8	9	10	9	10	11	99
要介護 4	3	3	3	4	4	5	5	4	4	4	4	5	48
要介護 5	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	2	21
合 計	58	58	59	61	58	60	61	60	58	58	59	61	711

介護度別 利用実績

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
総合事業・緩和型	46	57	55	60	64	75	60	61	52	58	61	61	664
総合事業・現行相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護・2～3時間	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1	6
要介護・3～4時間	15	16	17	17	15	16	11	9	13	12	14	15	155
要介護・4～5時間	14	15	15	14	16	21	23	35	33	36	39	41	288
要介護・5～6時間	137	142	130	124	138	138	133	134	95	88	92	108	1322
要介護・6～7時間	206	222	221	223	221	224	221	200	222	206	228	245	2433
要介護・7～8時間	88	92	89	91	82	71	81	88	94	97	93	84	962
要介護・8～9時間								0	0	0	0	8	8
合 計	506	545	527	529	536	546	529	527	509	499	528	563	6344
営業日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310
利用平均人数	20.2	20.2	20.3	20.3	19.9	21.0	20.3	20.3	19.6	20.8	21.1	21.7	20.5
前年比(人数)	109%	111%	106%	106%	150%	102%	102%	98%	97%	106%	104%	107%	108%

- ※ 総合事業 ・ 緩和型⇒ 通所型サービスA・緩和型(全日)
 ※ 総合事業 ・ 現行相当⇒ 通所型サービスA・現行相当

※ 8月の前年は新型コロナが蔓延して、数日の間は一桁台の利用人数であった。

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	463	373	369	374	389	380	443	417	437	400	369	444
1日平均利用者数(人)	17.8	13.8	14.2	14.4	14.5	15.8	16.4	16.1	16.8	16.0	15.4	16.8
定員に対する稼働率(%)	50.7	55.3	56.7	57.5	57.5	63.3	65.6	64.3	67.2	64.0	61.5	67.2



令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	436	409	416	461	466	458	518	532	509	491	527	560
1日平均利用者数(人)	16.8	15.1	16.6	17.1	17.9	18.3	19.9	20.5	19.6	20.5	21.1	21.5
定員に対する稼働率(%)	67.1	60.6	66.6	68.3	71.7	73.3	76.7	81.8	78.3	81.8	84.3	86.2



令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	457	447	512	535	514	505	506	458	449	335	392	484
1日平均利用者数(人)	17.6	17.9	19.2	19.8	19.8	19.4	18.7	18.3	16.6	15.2	16.3	17.9
定員に対する稼働率(%)	73.1	71.5	78.8	79.3	79.1	77.7	75.0	73.3	66.6	60.9	65.3	71.7



令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	463	464	463	511	507	529	510	518	538	454	310	421
1日平均利用者数(人)	17.8	17.8	17.8	18.9	19.5	20.3	19.6	19.9	19.9	18.9	12.9	15.6
定員に対する稼働率(%)	71.2	71.2	71.2	75.7	78.0	81.4	78.5	79.7	79.7	75.7	51.7	62.4



令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	481	472	497	502	371	527	519	538	553	470	477	547
1日平均利用者数(人)	18.5	18.2	19.2	19.3	13.7	20.3	20.0	20.7	20.5	19.6	19.9	20.3
定員に対する稼働率(%)	74.0	72.6	76.5	76.6	54.9	81.1	79.8	82.7	81.9	78.3	79.5	81.0



令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	506	545	527	529	536	546	529	527	509	499	528	563

1日平均 利用者数(人)	20.2	20.2	20.3	20.3	19.9	21.0	20.3	20.3	19.6	20.8	21.1	21.7
定員に対する 稼働率(%)	80.9	80.1	81.0	81.4	79.4	84.0	81.4	81.1	78.3	83.2	84.4	86.7

報告者 原本 義秀

養護老人ホーム 四宮三養苑
令和5年度事業報告書

1.利用及び入退所の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者数(人)	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	1	0	6
退居者数(人)	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	5
男性入居者数	9	9	9	8	8	8	9	9	8	10	11	11	109
女性入居者数	15	15	14	14	14	14	14	14	15	15	15	15	174
月初日現在 在籍者数(人)	25	24	24	23	22	22	23	24	24	24	25	26	平均 21.8

2.入居者の年齢、性別状況 R6.3.31現在

	65歳 未満	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳 以上	平均年齢
男性	0	0	1	0	3	5	0	0	0	79
女性	0	0	1	5	7	2	1	0	0	81.6
合計	0	0	2	5	10	7	1	0	0	80.7

3.要介護度別状況 R5.6.31現在

要介護度別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	未申請
人数	7	1	2	3	3	0	1	0	3

4.入居者の平均在所期間 R6.3.31現在

	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上
男性	2	2	1	1	3	0
女性	1	4	1	3	7	0

5.措置市町村別入居者数 R6.3.31現在

都道府県	大 阪 府									府外	
市町村	門真市	都島区	東大阪市	豊中市	浪速区	旭区	鶴見区	東淀川区	住吉区	神戸市	京都市
人数	7	3	1	1	1	2	1	1	1	1	6

6.退所者状況 R5.3.31現在

区分	在宅復帰	他施設入所	長期入院	死亡	その他
退居者数	0	2	1	0	0

7.面会・外泊・入院・外出の状況 R5.3.31現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会者数	0	0	0	0	0	1	2	3	1	2	0	0	9
外出者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院者数	10	10	9	10	11	8	6	7	4	1	5	7	88
入院者数	2	2	1	1	1	2	2	0	1	0	1	4	17
入院日数	53	42	30	9	14	50	33	0	31	0	14	52	328

8.日常生活状況

R5.3.31現在

	自立	一部介助	全介助
食事	25		
排泄	22	2	1
入浴	17	8	
移動	23	2	

令和5年度 年間行事報告

4月	開苑9周年記念祭とおやつレク 4月生まれお誕生日会
5月	母の日のお祝いとおやつレク 5月生まれお誕生日会
6月	父の日を祝うおやつレク 6月生まれお誕生日会
7月	七夕祭とおやつレク(七夕ぜんざい) 7月生まれお誕生日会
8月	おやつレクリエーション(栄養士によるかき氷) 8月生まれお誕生日会
9月	敬老の日を祝うとお月見を兼ねて 9月生まれお誕生日会、お月見に和菓子を頂く
10月	おやつレクリエーション(ハロウィン) 10月生まれお誕生日会
11月	おやつレクリエーション(スイートポテト) 11月生まれお誕生日会
12月	クリスマス会を楽しむおやつレク(栄養士による ふわふわホットケーキ) 12月生まれお誕生日会

1月	手作り神社への初詣、書初め、1月生まれお誕生日会 おやつレクリエーション(餅なしクリームフルーツ大福)
2月	節分祭とおやつレク(キャベツ焼き) 2月生まれお誕生日会、バレンタインデーを楽しむ
3月	雛祭り会とおやつレク(蒸しケーキ) 3月生まれお誕生日会

特別養護老人ホーム 田辺の郷 令和5年度 報告書

令和5年度 (令和5年4月1日～令和5年9月30日)

令和5年度 (令和5年10月1日～令和6年3月31日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名										定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名										全体	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月平均	10月		11月	12月	1月	2月	3月	10～3月平均	合計	月平均					
定数	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,525	定数	1,550	1,500	1,550	1,550	1,450	1,550	1,525	18,300	1,525					
入居実数月累計	1,466	1,506	1,459	1,500	1,414	1,337	1,447	入居実数月累計	1,431	1,384	1,496	1,512	1,392	1,523	1,456	17,420	1,452					
在籍者1日平均	48.9	48.6	47.0	48.4	45.6	44.6	47.17	在籍者1日平均	46.2	46.1	48.3	48.8	48.9	49.1	47.9	47.9	47.53					
入院差し引く要数	1,451	1,466	1,430	1,455	1,390	1,310	1,417	入院差し引く要数	1,409	1,377	1,473	1,497	1,379	1,505	1,440	17,142	1,429					
入所者差し引く要数	96.7%	94.6%	95.3%	93.9%	89.7%	87.3%	92.9%	入所者差し引く要数	90.9%	91.8%	95.0%	96.6%	95.1%	97.1%	94.4%	94.4%	93.67%					
1日当り実費型床率	3.3%	5.4%	4.7%	6.1%	10.3%	12.7%	7.08%	1日当り実費型床率	9.1%	8.2%	5.0%	3.4%	4.9%	2.9%	5.8%	5.8%	6.33%					
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0					
新規入所者数	1	0	1	1	1	1	0.8	新規入所者数	2	0	3	2	0	2	1.5	14	1.2					
退所者(内死亡者)	0	1(1)	0	2(2)	4(2)	0	1.7(1.5)	退所者(内死亡者)	2(1)	0	2	2	0	0	0.6(0.5)	14(12)	1.2(1.0)					
1日当り入所者平均	0.50	2.59	1.94	1.45	0.77	0.90	1.36	1日当り入所者平均	0.97	1.23	0.09	0.48	0.45	0.62	0.64	0.64	1.00					
入院日数(当月累計)	15	40	29	45	24	27	30	入院日数(当月累計)	15	7	23	15	13	18	15.2	271	22.8					
平均入所率	97.7%	97.2%	97.3%	96.8%	91.2%	89.1%	94.9%	平均入所率	92.3%	92.3%	96.5%	97.5%	95.0%	98.3%	95.5%	95.5%	95.18%					
短期入所者延べ人数	288	297	274	232	125	195	235.2	短期入所者延べ人数	219	184	100	114	87	123	137.8	2,238	186.5					
特養+短期 定数	1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,800	1,830	特養+短期 定数	1,860	1,800	1,860	1,860	1,740	1,860	1,830	21,960	1,830					
月当り在籍者実数	1,754	1,803	1,733	1,732	1,539	1,532	1,682	月当り在籍者実数	1,650	1,674	1,596	1,530	1,479	1,646	1,596	19,668	1,639					
1日当り実費在籍者数	58.5	58.2	57.8	55.9	49.6	51.1	55.2	1日当り実費在籍者数	53.2	55.8	51.5	49.4	53.19	53.10	52.7	53.9	53.9					
稼働率(特+短)	97.4%	96.9%	96.3%	93.1%	82.7%	85.1%	91.9%	稼働率(特+短)	88.7%	93.0%	85.8%	82.3%	85.0%	88.5%	87.2%	89.57%	89.57%					
入所者介護度平均	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	入所者介護度平均	4.1	4.0	4.0	4	4.0	4.00	4.02	4.05	4.05					
要支援	0	0	0	0	0	0	0	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0	要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
要介護(2)	3	3	2	2	2	2	2	要介護(2)	2	2	2	2	2	3	2.2	2.2	2.2					
要介護(3)	8	7	8	9	8	9	8	要介護(3)	8	8	10	9	10	11	9.3	9.3	9.3					
要介護(4)	22	22	22	20	20	20	21	要介護(4)	18	25	20	22	20	20	20.8	20.8	20.8					
要介護(5)	16	16	17	17	16	16	16	要介護(5)	16	14	16	15	16	16	15.5	15.5	15.5					
合計	49	48	49	48	46	47	48	合計	44	49	48	48	48	50	47.8	47.8	47.8					
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0					
外出数	0	2	3	1	1	3	2	外出数	1	7	1	3	2	1	3	25	2.1					
面会者数	32	43	32	36	20	31	32	面会者数	29	37	37	33	30	44	35	404	33.7					
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0					

利用者別状況表(令和6年3月末現在)

①保険者別入居者数

	保険者別	住所地別
田辺市	32	31
みなべ町	6	7
白浜町	8	8
すさみ町	2	2
上富田町	1	1
計	49	49

②入居者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	8	41	49
平均年齢	85.0	89.0	88
最高年齢	93	102	
最低年齢	74	55	

②障害老人の日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	0
中度	A1	2
	A2	11
重度	B1	9
	B2	23
最重度	C1	4
	C2	0
合計		49

③痴呆性老人の日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	2
	Ⅱa	4
	Ⅱb	3
中度	Ⅲa	11
	Ⅲb	8
重度	IV	19
	M	2
合計		49

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	4	5	40	49
食事	12	15	22	49
排泄	1	18	30	49
入浴		9	40	49

⑤おむつ使用者状況

	人数
日中	0
夜間	8
常時	28
合計	36

令和5年度 事業報告書
短期入所生活介護

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	男	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1	5
要介護1	男	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3
	女	3	4	1	3	0	3	2	2	1	1	1	1	22
要介護2	男	1	1	0	1	0	1	1	1	1	2	2	2	13
	女	9	7	7	8	3	10	8	10	5	6	2	1	76
要介護3	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	女	4	6	6	7	4	5	4	2	4	5	3	4	54
要介護4	男	3	3	4	4	2	3	3	2	0	2	2	2	30
	女	4	5	5	3	3	3	4	5	5	2	2	7	48
要介護5	男	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	21
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
合計		29	30	27	30	15	29	27	28	21	20	14	24	294
夜間入数		252	261	241	232	110	161	185	167	93	89	70	105	1,966
平均		8.40	8.42	8.03	7.48	3.55	5.37	5.97	5.57	3.00	2.87	2.50	3.39	5.4

介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
要支援1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	6
要支援2	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	2	6
1	3	4	1	3	0	3	2	3	2	1	1	2	25
2	10	8	7	9	3	11	9	11	6	8	4	3	89
3	5	7	7	8	5	6	5	3	5	6	4	5	66
4	7	8	9	7	5	6	7	7	5	4	4	9	78
5	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	23
合計	29	30	27	30	15	29	27	27	21	20	14	24	294

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
田辺市	23	26	23	26	12	25	24	23	18	16	13	22	251
みなべ町	5	3	4	4	3	3	2	2	2	1	1	1	31
白浜町	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	6
上富田町	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	4
京都市						1							1
													0
													0
合計	29	30	27	30	15	29	27	27	21	20	14	24	293

新規利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3	7
女	0	2	0	0	1	2	3	1	2	6	2	6	25
計	1	2	1	1	1	2	3	1	2	7	2	9	32

緊急ショート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	5	4	6	6	2	4	5	4	4	2	3	2	47
他事業所	24	26	21	24	13	25	22	23	17	18	11	22	246
合計	29	30	27	30	15	29	27	27	21	20	14	24	293

事業所別延べ利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
居宅	23	9	24	25	8	21	19	14	26	6	9	5	189
他事業所	261	288	250	207	117	174	200	170	74	108	78	118	2045
合計	284	297	274	232	125	195	219	184	100	114	87	123	2234
平均	9.5	9.6	9.1	7.5	4.0	6.5	7.1	6.1	3.2	3.7	3.0	4.0	6.1

令和5年度 ケアプラン委員会 報告書

柿平 雅代（生活相談員兼介護支援専門員）

○ケアプランについて

- ・ケアプラン更新表を作成し、相談員、管理栄養士、看護職員、介護職員に提出。
ケアチェックはユニットリーダー（医療面は看護職員）に聞き取りを行った。
ユニットリーダーはユニットスタッフと話し合い介護職の意見をまとめ、委員会にて発表した。
委員会にて情報の共有をし、問題点を話し合いそれに対しての目標をたて、ケアプランを作成した。
- ・栄養ケアプランについては管理栄養士が作成した。

○書類関係

- ・ケアプラン更新表を作成し、各情報がスムーズに収集することが出来た。
- ・各利用者のケースファイルに、新プランをファイリングし各職員がプランの内容が把握出来るようにした。

○アセスメント

- ・会議の度に現状把握の為、アセスメントを実施した。新たな問題点が無いか見直しも行った。

○モニタリング

- ・ユニットリーダーが毎月月末にサービスが計画通り実施され、状況がどう変わっているか評価しケアマネジャーに報告を行った。
- ・医療面に関しては、看護職員がケアプラン更新時に評価し、ケアマネジャーに報告した。
- ・ケアプラン更新時にはサービスが実施されているか、目標は達成しているか等のモニタリングを実施した。

【反省点】

- ・状態の変化時など、プラン内容の変更が速やかに行えなかった。
- ・リーダーをはじめユニットの職員全員がケアプランを把握できていなかった。

令和 5 年度 感染委員会報告書

委員長、特養ケアマネジャー 特養相談員 施設管理栄養士 ユニットリーダー
各フロアより委員 2 名
計 7 名

感染の発生状況

季節性インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルスに関して

令和 4 年度 特養入居者様で、入居者様の季節性インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルスの発症はありませんでしたが、職員の新型コロナウイルス、季節性のインフルエンザの発症者が多数出ました。

職員の新型コロナウイルス、季節性のインフルエンザの発症時は、厚生労働省・医療機関が定められている療養期間の指示に従い、自宅待機とした。

感染が拡大中は、週に 2 回、出勤前に抗原検査を実施した。飛沫防止の為、業務中はフェイスシールドを着用した。入浴介助時もゴーグルを着用し入浴介助を行った。

食事休憩の際、車で出勤している職員はなるべく自家用車で休憩をとるようにした。休憩室で休憩をとる際、間隔をあけて黙食を徹底した。

ショートステイ入居者様で新型コロナウイルスの発症が何名か見られました。

コロナ陽性の反応があったら、ショートステイの利用を中止とした。

ショートステイ入居者様は、入居前に抗原検査を実施し、陰性の判定が出たら利用可能とする。

その他

口呼吸にて入眠している方について

夜間巡回時に時折口呼吸している方は何人もおられるが頻繁にみられる方もおられる。頻繁に見られる方については、口腔内にスプレーを噴霧して湿潤を保てるようにしている

新型コロナウイルスの為、現在、外部からの面会中止になっている。

コロナ感染症の類型が 5 月 8 日より 2 類から 5 類に変更となります。

入居者様の面会について・・・5 月 15 日～1 階ロビーで再開予定になる。

面会時に、手指消毒、検温、マスク着用の上、人数は 3 名（幼児は人数に含まない）

今まで通り、事前予約制で、面会の曜日、時間変更はなし。

但し、終末期の入居者様については居室での面会になります。面会時間は通常の面会時間と同じです。

窓口で検温、手指消毒をし外階段でベランダから居室へ入って頂きます。

階段の昇り降りが難しい場合は、エレベーター使用になります。

令和4年度の目標

感染症の発生・予防する。(インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス含む)

- ・ 早期に感染症の発生状況を行う。
 - ・ 職員からの持ち込み予防の声かけを続ける。
 - ・ 来所者への持ち込み予防の声かけを行う。
 - ・ 職員出勤時は、必ず通用口、エレベーター、内部階段でアルコール消毒を実施し、他の部署に菌を持ち込まないように徹底する。その後手洗い・うがい・マスク使用を徹底する。
 - ・ 職員出勤前は必ず爪切りを行う。
-
- ・ 施設内の清潔、加湿をする
 - ・ 四季で流行する感染症予防の啓発

入居者様の感染予防

毎食時前の手洗い・うがい、爪切りの励行

口呼吸の予防

夜間頻繁に口呼吸して睡眠している方は枕の位置を工夫する。それでも効果がなければ加湿（洗面台に水を張る。濡れタオルを干す、加湿器を入れる等）実施する
口呼吸で呼吸されている入居者様は毎食後番茶でうがい、口腔スプレーにて噴霧する。

新人職員への口腔ケア指導を活用

翌年度も継続して指導を受けることになった。

指導を受ける事によりブラッシング方法等、技術・技能を学ぶ。

令和 5 年度 教育研修委員会 報告書

委員責任者：下地 敦司

委員：施設介護支援専門員、生活相談員、各ユニットリーダー

委員会開催：毎月 1 回

開催時間：30 分～1 時間程度

○1 年間の活動

- ・年間計画を元に内部研修(勉強会)を実施

○研修実施、参加実績

【内部研修(勉強会)】

- ・全体会議【人権擁護、虐待防止、労務関連(処遇改善等加算について)など】
- ・高齢者虐待・身体拘束について
- ・避難訓練(日中・夜間想定)、津波想定訓練
- ・感染予防について
- ・事故予防について
- ・業務継続計画(BCP)について

【外部研修】

- ・認知症介護基礎研修(Zoom)

○令和 5 年度のまとめ

- ・内部研修(勉強会)については、期間中コロナ感染症が施設内で発生したこと等により予定通りの実施が難しい場面もあったが、日程調整の上、予定していた議題についての研修を実施することはできた。研修受講スタッフ(ユニットリーダーまたは各委員会委員)はフロア会議で伝達研修を行い、他スタッフへの研修内容共有に努めた。
- ・外部研修は、認知症介護基礎研修(Zoom)のみであった。

○令和 6 年度の取り組み

- ・運営上実施が必須となっている研修について、実施漏れのないように計画的に取り組む。
- ・コロナウイルスの地域における感染状況を見ながら外部研修への参加を検討する。

令和5年度 苦情対応委員会 報告書

田辺の郷

委員責任者 柿平 雅代（生活相談員）

委員責任者補佐

委員 出合秀樹、三井悠平、堀智寿、坂本直紀、原代雄志、山本賢志郎
（各ユニットリーダー）

委員会開催 毎月1回

開催時間 30分程度

令和5年4月～令和6年3月

苦情件数・・・1件

- ・はや1丁目（ショート） 0件
- ・はや2丁目件 0件
- ・はや3丁目件 1件
- ・はや4丁目件 0件
- ・はや5丁目件 0件
- ・はや6丁目件 0件

令和5年度のまとめ

苦情が1件ありました。主に職員間の共有が出来ておらず面会時に、入居者様の様子について問い合わせがあった際に、すぐに答えられなかったことが原因でした。

今後の課題

- ・職員間の連携、情報共有をしっかりと行う。
- ・積極的に報告書の作成を行う。
- ・苦情を受けた際は、丁寧な対応を行う。
- ・苦情を受けた職員が、詳細な書類作成を行う。
- ・日頃から利用者、家族とコミュニケーションを図り、信頼関係を築く。

令和 5 年度広報委員会報告書

担当職員 柿平相談員・山本（賢）ユニットリーダー、

- ・今年度は広報紙の発行を行わず、数か月に 1 度イベントや普段の様子の写真を手紙と一緒に送りました。

令和 5 年度 行事委員会 報告書

○行事委員会担当職員

柿平相談員、本（賢）ユニットリーダー

○令和 5 年度の大型行事は新型コロナウイルスの流行の為中止となり、各ユニットにて代替の行事を行いました。

クリスマス会、花見会等は各ユニットで企画、実施行いました。

○来年度の課題

- ・新型コロナウイルスの状況をみながら、大型行事の計画を行う。
- ・毎月のイベントレクリエーションに関しては各ユニット行事委員が主となり計画し実施する。実施後はレクリエーション報告書を作成しユニット保管する。

令和5年度 事故予防・安全対策委員会 報告書

田辺の郷 事故予防・安全対策委員会メンバー

責 任 者 : 井上章雄

責任者補佐 : (安全対策管理担当者) 柿平雅代相談員

委 員 長 田辺の郷 代表理事

委員会開催

毎月1回 第3木曜日

時間 30分間程度

令和5年度の件数報告

4月

ヒヤリハット・・・50件	2階・・・15件	3階・・・26件	4階・・・9件
事故・・・11件	2階・・・3件	3階・・・8件	4階・・・0件
服薬ミス・・・1件	2階・・・0件	3階・・・1件	4階・・・0件

5月

ヒヤリハット・・・32件	2階・・・10件	3階・・・11件	4階・・・11件
事故・・・7件	2階・・・3件	3階・・・3件	4階・・・1件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

6月

ヒヤリハット・・・22件	2階・・・6件	3階・・・13件	4階・・・3件
事故・・・6件	2階・・・1件	3階・・・1件	4階・・・4件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

7月

ヒヤリハット・・・20件	2階・・・4件	3階・・・24件	4階・・・0件
事故・・・9件	2階・・・2件	3階・・・7件	4階・・・3件
服薬ミス・・・2件	2階・・・0件	3階・・・2件	4階・・・0件

8月

ヒヤリハット・・・28件	2階・・・2件	3階・・・24件	4階・・・2件
事故・・・3件	2階・・・2件	3階・・・0件	4階・・・1件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

9月

ヒヤリハット・・・15件	2階・・・1件	3階・・・10件	4階・・・4件
事故・・・4件	2階・・・1件	3階・・・2件	4階・・・1件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

10月

ヒヤリハット・・・	14件	2階・・・	6件	3階・・・	4件	4階・・・	4件
事故・・・	9件	2階・・・	5件	3階・・・	3件	4階・・・	1件
服薬ミス・・・	0件	2階・・・	0件	3階・・・	0件	4階・・・	0件

11月

ヒヤリハット・・・	15件	2階・・・	5件	3階・・・	6件	4階・・・	4件
事故・・・	7件	2階・・・	3件	3階・・・	2件	4階・・・	2件
服薬ミス・・・	0件	2階・・・	0件	3階・・・	0件	4階・・・	0件

12月

ヒヤリハット・・・	20件	2階・・・	7件	3階・・・	12件	4階・・・	1件
事故・・・	11件	2階・・・	6件	3階・・・	1件	4階・・・	4件
服薬ミス・・・	0件	2階・・・	0件	3階・・・	0件	4階・・・	0件

令和5年1月

ヒヤリハット・・・	45件	2階・・・	3件	3階・・・	36件	4階・・・	6件
事故・・・	9件	2階・・・	3件	3階・・・	5件	4階・・・	1件
服薬ミス・・・	1件	2階・・・	0件	3階・・・	1件	4階・・・	0件

2月

ヒヤリハット・・・	14件	2階・・・	6件	3階・・・	7件	4階・・・	1件
事故・・・	2件	2階・・・	1件	3階・・・	1件	4階・・・	0件
服薬ミス・・・	1件	2階・・・	0件	3階・・・	1件	4階・・・	0件

3月

ヒヤリハット・・・	15件	2階・・・	1件	3階・・・	9件	4階・・・	5件
事故・・・	14件	2階・・・	2件	3階・・・	6件	4階・・・	6件
服薬ミス・・・	0件	2階・・・	0件	3階・・・	0件	4階・・・	0件

フロア別件数

2階	ヒヤリハット件数・・・	66件	事故件数・・・	32件	服薬ミス件数・・・	0件
3階	ヒヤリハット件数・・・	182件	事故件数・・・	39件	服薬ミス件数・・・	5件
4階	ヒヤリハット件数・・・	50件	事故件数・・・	24件	服薬ミス件数・・・	0件

令和5年度の種別件数

ヒヤリハット件数・・・	298件	事故件数・・・	95件	服薬ミス件数・・・	5件
-------------	------	---------	-----	-----------	----

令和5年度のまとめ

- ・ヒヤリハットや事故が発生した際に、関係者間での対策の検討や情報共有を行い、必要に応じて安全対策部門への報告、相談、対応依頼等を行いました。
- ・報告書は比較的些細な件にいたるまで報告書として書類に残し、多職種間の情報の共有に役立てたと思います。
- ・委員会として、職員の事故予防意識、介護技術の向上となるよう、責任者と池田委員が講師となり介護技術勉強会を毎回委員会で実施し、その内容を各フロアの事故委員が所属のフロアに伝達することで、職員全員が介護能力の向上、自己の予防能力を高め、事故の減少に努めました。

今後の課題

- ・安全対策部門の下部組織として事故防止に取り組み、万一事故が発生した場合は必要な対応を迅速に行えるよう体制を整える。
- ・事故報告書・ヒヤリハット報告書は早急に提出すると共に、職員全員が把握し未然に事故を防ぐ。
- ・事故発生時には他職種と連携を図り、早急にユニット職員間で話し合える機会を設ける。
- ・転倒等の事故報告件数が多くなっている一方、ヒヤリハット報告書についてフロアによって数にばらつきが顕著で、未然の気づきをよりできるように意識付けが必要。
- ・業務優先にとらわれず入居者様の状態の変化により気づきが持てるよう努める。
- ・事故予防、介護技術向上のため継続して勉強会を実施する。

令和 5 年度 身体拘束防止委員会 報告書

田辺の郷

委員責任者

委員 施設長 看護職員 生活相談員 ケアマネ 管理栄養士 介護職員

委員会開催 3 ヶ月に 1 回

開催時間 30 分程度

令和 5 年度のまとめ

令和 5 年度は身体拘束につながる可能性のものは該当ありませんでした。

身体拘束についての勉強会も年 2 回開催しました。

今後の課題

- ・職員間の連携、情報共有をしっかりと行う。
- ・各職員に身体拘束に対しての知識を持ってもらう。

令和 5 年度 物品委員会 報告書

委員会メンバー 3 名

< 委員責任者 > 村上直志

< 責任者補佐 > 三井雄平

< 委員 > 井上章雄

○令和 5 年 4 月 1 日からの活動

- ・ 第 4 木曜日に委員会で集まり物品使用状況等について話し合いました。
- ・ 物品の在庫をきらさないよう、物品倉庫の確認を行い発注していました。
- ・ 各階へ物品を分配できるように取り組みました。
- ・ 各階が必要とする物品を把握し、見積もりをとりました。

○反省と対策

- ・ 今年度からは各委員メンバーが月担当で物品の発注を行いました。
各委員に発注方法や提出書類の仕様も改善し、把握しやすいようにした。
- ・ 物品の在庫状態が危うくなる事があった。
職員で都度確認し、在庫を切らさないように努めたが備蓄を使用することもあった為在庫管理を徹底していく。

令和 5 年度 褥瘡委員会 報告書

褥瘡予防委員会

委員長、特養ケアマネジャー、特養相談員、施設管理栄養士、ユニットリーダー
各フロアーより 2 名 計 7 名

褥瘡発生状況

施設に入居している入居者様で、現在褥瘡発症者はいません。

褥瘡発生のリスクが高そうな方について・・・

必要に応じて、マットレスを耐圧分散マット、エアーマットに変更し、リスク軽減につと
めている。適宜体位変換の実施を行う。

デイサービスセンター 田辺の郷 令和5年度報告

第一号通所事業 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
女	4	4	4	4	4	4	4	3	1				32
合計	4	4	4	4	4	4	4	3	1	0	0	0	32

通所介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	9	7	7	7	7	7	7	6	4				61
女	26	27	26	27	27	25	24	24	15				221
合計	35	34	33	34	34	32	31	30	19	0	0	0	282

要介護度 来た人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	4	4	4	4	4	1	0	0	0				21
要支援2	16	16	16	18	18	16	14	14	8				136
要介護度1	66	78	63	58	63	65	68	65	32				558
要介護度2	119	133	130	126	109	118	119	92	54				1000
要介護度3	22	11	8	13	22	26	26	27	25				180
要介護度4	7	7	7	7	5	6	7	4	4				54
要介護度5	8	9	9	7	7	8	9	8	0				65
計	242	258	237	233	228	240	243	210	123	0	0	0	2014
男性	56	55	54	42	41	46	44	42	27				407
女性	186	203	183	191	187	194	199	168	96				1607

デイサービスセンター実績 (延べ人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所型サービス 1回数	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	4	4	4	4	4	1	0	0	0				21
通所型サービス 2回数	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	16	16	16	18	18	16	14	14	8				136
通所介護Ⅰ11	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1				1
通所介護Ⅰ12	男	8	2	7	6	0	0	0	0	0				23
	女	2	0	0	0	0	0	0	0	0				2

通所介護 I 13	男	0	0	0	1	7	8	9	8	8				41
	女	0	0	0	0	1	0	0	1	0				2
通所介護 I 14	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
通所介護 I 15	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
通所介護 I 21	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0				1
	女	0	4	1	0	0	0	8	9	0				22
通所介護 I 22	男	9	9	8	8	8	9	0	0	9				60
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
通所介護 I 23	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
通所介護 I 24	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0				1
通所介護 I 25	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
通所介護 I 31	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0				1
	女	0	0	0	1	3	0	5	3	0				12
通所介護 I 32	男	4	5	4	4	6	3	0	1	4				31
	女	0	0	0	1	2	3	0	0	0				6
通所介護 I 33	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	2				2
通所介護 I 34	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0				1
通所介護 I 35	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0				1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
通所介護 I 41	男	8	9	9	5	4	4	4	5	1				49
	女	57	64	53	52	56	61	64	59	30				496
通所介護 I 42	男	11	14	17	10	6	8	5	4	0				75
	女	85	104	94	97	87	95	101	75	41				779
通所介護 I 43	男	8	0	0	1	3	5	4	5	5				31
	女	14	11	8	11	11	13	13	13	10				104
通所介護 I 44	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	女	6	7	6	7	5	6	7	4	4				52
通所介護 I 45	男	8	9	8	7	7	8	9	8	0				64
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
計		242	258	237	233	228	240	243	210	123	0	0	0	2014

勉強会・研修
4月 人権擁護、虐待防止について
5月
6月
7月 感染予防
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

4月 お花見
5月
6月
7月
8月
9月 敬老会
10月
11月
12月 クリスマス会
1月
2月
3月

【介護保険者】

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	5	5	3	5	6	4	4	4	5	6	4	7	58
身体介護1・2人													0
身体介護1・夜朝													0
身体介護1・深夜													0
身体介護2	2	4	4	4	8	3	5	5	11	20	17	17	100
身体介護2・夜朝													0
身体介護2・2人	4	4	5	4	3	5			1				26
身体介護3													0
身体介護3・夜朝													0
身体介護4													0
身体介護4・夜朝													0
身体介護5													0
身体介護6													0
身体介護7													0
身体介護8													0
身体介護9													0
身体介護9・2人													0
計	11	13	12	13	17	12	9	9	17	26	21	24	184

[illegible]

【訪問時間】

介護保険者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問型サービス	31	33	32	32	32	39	47	37	41	33	24	23	404
身体介護	8.5	10.5	10.5	10.5	14	10	7	7	14.5	23	19	20.5	155.0
生活援助	61	44.25	66.75	67.5	68.25	53.25	53.5	49.5	56.5	77.25	77.75	68.75	744.3
複合介護	165.75	173.8	157	162.5	173.5	171.8	174.3	176.8	171.5	184.5	199	228.5	2138.8
合計	266.3	261.5	266.3	272.5	287.8	274.0	281.8	270.3	283.5	317.8	319.8	340.8	3442.0

訪問時間総計	266.3	261.5	266.3	272.5	287.8	274.0	281.8	270.3	283.5	317.8	319.8	340.8	3442.0
前年度実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【利用者状況】

利用者数(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険者	33	32	32	32	34	34	33	33	33	37	38	40	411
実費													0
計	33	32	32	32	34	34	33	33	35	37	38	40	413

利用者終了内容

入所	死亡	中止	他事業所	転居	合計
18	3	3	2	1	27

利用者男女対比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援者 男	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	16
要支援者 女	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3	2	2	38
計	4	4	4	4	5	5	6	6	5	5	3	3	54

要介護者 男	4	4	4	4	5	5	4	4	4	4	6	6	54
要介護者 女	25	24	24	24	24	24	23	23	26	28	29	32	306
計	29	28	28	28	29	29	27	27	30	32	35	37	360

令和元年度 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	1	1	1	1	1	3	3	2	2	1	1	18
要支援2	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3	2	2	36
介護度1	11	10	10	10	11	11	11	12	14	16	17	19	152
介護度2	13	14	13	13	13	13	12	13	13	14	13	13	157
介護度3			1	1	1	1	1				1	1	7
介護度4	4	4	4	4	4	4	3	2	3	2	3	3	40
介護度5	1										1	1	3
合計	33	32	32	32	34	34	33	33	35	37	38	40	413

【令和5年度ヘルパー会議報告】

第1回	4月18日	施設内勉強会	西谷 飛田 栗原 谷
第2回	6月16日	高齢者虐待防止	栗原 西谷 谷
第3回	8月23日	感染症等の予防	西谷 栗原 田井 谷
第4回	10月23日	認知症と認知症	挟間 西谷 栗原 田井 谷
第5回	1月10日	苦情対応	西谷 挟間 谷 栗原 田井
第6回	2月22日	緊急時の対応	挟間 西谷 田井 栗原 谷

令和 5 年度 事業報告書
居宅介護支援事業所 田辺の郷

実施業務

1、ケアマネジメント業務

	居宅サービス計画数				
令和４年	通所介護(件)		訪問介護(件)		福祉用具貸与(件)
	全 体	法 人	全 体	法 人	
４月	29	11	17	1	24
５月	28	11	18	1	25
６月	30	11	19	1	26
７月	27	10	18	1	25
８月	25	10	17	1	24
９月	26	11	19	1	25
１０月	28	10	18	2	23
１１月	32	10	20	2	26
１２月	30	８	19	2	28
令和６年１月	26	0	17	2	25
２月	22	0	16	2	27
３月	19	0	17	2	27
	316	92	215	18	305

関わりのあった事業所（施設内サービス、営業活動除く）

病院、診療所：8 件 地域包括支援センター：1 件 保険者：市町村 田辺市、白浜町、

訪問介護事業所：8 件 通所介護：10 件 福祉用具：3 件 訪問看護：5 件 薬局：2 件

（同一施設内サービス 訪問介護 通所介護 短期入所生活介護）

2、レセ発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅在籍ケース	41	40	41	39	38	39	42	43	41	37	38	38	477
レセ発生(介護1・2)	19	19	17	15	14	17	17	20	17	15	14	14	198
レセ発生(介護3・4・5)	15	14	16	16	15	14	14	13	12	12	13	14	168
レセ発生(介護予防)	7	6	7	8	8	8	10	11	11	10	10	10	106
レセ発生合計	41	39	40	39	37	39	41	44	40	37	37	38	472
月遅れ	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0	3	1	11
入院等休止	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
新規契約者	0	0	2	0	0	2	3	1	0	0	0	1	9

3、単位数

令和4年	田辺の郷			白浜日置の郷	
	通所介護	訪問介護	短期入所	通所介護	短期入所
4月	39,470	2,025	7,508	0	0
5月	38,591	2,025	6,542	0	0
6月	30,925	2,025	16,250	0	0
7月	37,552	1,800	17,072	0	0
8月	35,967	2,025	9,256	0	0
9月	39,282	2,025	13,764	0	0
10月	41,284	3,704	10,222	0	0
11月	38,837	3,976	6,542	0	0
12月	45,527	3,929	30,076	0	0
令和5年1月	0	2,025	2,080	0	0
2月	0	3,976	10,800	0	0
3月	0	4,201	12,424	0	0
	347,435	33,736	142,536	0	0

4、研修参加

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修参加	1	1	0	0	1	10	0	0	0	1	1	1	7

令和5年度事業報告書

ケアハウス白浜椿の郷

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

・入退居及び外泊入院状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
在籍者数(月末)		49	49	46	47	50	50	49	47	46	49	50	50	582
新規入居者数		4	1	0	2	4	1	1	0	0	4	3	1	21
外泊者数		0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
入院者数		0	0	2	0	2	0	0	2	1	0	0	2	9
退居者	他施設入居	0	2	0	1	0	2	0	0	1	2	1	0	9
	病院入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家族宅	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	死亡退居	0	1	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	5

・認定区分別(各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自 立	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3
要支援 1	1	1	1	1	2	3	4	4	3	3	2	2
要支援 2	7	7	8	8	7	6	6	6	6	4	4	4
要介護 1	15	13	11	12	13	14	14	15	16	20	22	21
要介護 2	15	17	17	17	17	16	16	15	13	14	15	14
要介護 3	2	3	2	1	2	2	2	2	2	1	1	3
要介護 4	4	4	4	4	6	6	5	3	4	5	3	3
要介護 5	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	49	49	46	47	50	50	49	47	46	49	50	50

・法人内サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
訪問介護	271	261	273	279	295	278	286	273	291	331	331	344	3513
体験宿泊	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	5

1.入居者平均年齢

	男 性	女 性	全 体
人 数	11	39	50
平均年齢	79.6	86.5	85
最高年齢	95	100	
最低年齢	64	67	

2.保険者別入居者数 (R6.3.31)

保険者別	
白浜町	23
上富田町	2
串本町	4
田辺市	8
すさみ町	3
みなべ町	1
和歌山市	1
その他	5
自立(介護保険適用外)	3
合 計	50

3.住所別入居者数 (R6.3.31)

住所地別	
白浜町	3
白浜町椿	11
白浜町日置	8
白浜町市鹿野	1
白浜町堅田	6
白浜町その他	2
田辺市	6
上富田町	2
串本町	3
すさみ町	3
みなべ町	1
和歌山市	1
静岡県	1
兵庫県	1
大阪府	1
合 計	50

4.日常生活動作介助別人数 (R6.3.31)

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	40	6	4	50
食事	47	3	0	50
排泄	34	10	6	50
入浴	1	49	0	50

(総括)

①入居者の快適環境

- ・コロナウイルスが第5類になり、面会が緩和され食堂による家族面会を実施した。
- ・換気のための、窓の開閉を怠らなかった。
- ・毎日、耳にする施設内の音楽を入居者の親しみやすい音楽に変更した。
- ・レジオネラ対策として、週1回の水抜きと浴槽内の掃除。1日2回の残留塩素の測定を実施。(継続)

②入居者が満足する食事提供

- ・身体状況によって調理形態(一口大、刻み)を変えている。
- ・美味しく食事をして頂けるように口腔内の清潔、歯科受診なども積極的に声掛けを行った。
- ・目で見て、鼻で匂い、口で味わうを基本に置き食事を提供した。
- ・体調の変化により当日でも食事形態を変えて提供した。
- ・透析患者、腎機能低下などの方への減塩食の提供。
- ・行事食やお誕生日メニュー等の工夫をしている。

③入居者の健康で安全な生活

- ・食堂へ移動時の見守り、声掛け。
- ・病院受診の付き添い、Dr.の説明付き添い、その後、受診報告書作成。必要ならば家族に提示。
- ・病院の往診の実施
- ・入院時の対応 遠方の家族様が多い為、洗濯物などの手配や様子を見に顔を出し入院生活に不安が無いように配慮した。

④入居者への各種サービス

- ・月1回の理容店の訪問。
- ・週1回のカラオケの時間を実施した。
- ・月に1度のおやつ作りを実施。
- ・週1回パンの販売、移動スーパー、ヤクルト販売を行っている。

⑤入居者とスタッフの関係性

- ・遠慮なく話せる雰囲気作り。
- ・スタッフからの挨拶、何気ない声掛けなど。
- ・事務所の堅苦しさをなくし、オープンに出入りできるように心がけた。

⑥行事

	楽しむ行事
4月	※
5月	※
6月	※
7月	BBQ・流しそうめん
8月	※
9月	夏祭り
10月	運動会
11月	※
12月	クリスマス会
1月	餅つき・カラオケ大会・鏡開き
2月	節分
3月	お茶会

※コロナの為、行事中止

	手作り行事
4月	たこ焼き
5月	黒豆大福
6月	あんドーナツ
7月	3種のわらび餅
8月	クレープ
9月	たこ焼き
10月	※
11月	スイートポテト
12月	デコレーションミニケーキ
1月	たこ焼き
2月	三色団子
3月	※

※コロナの為、行事中止

令和五年度

社会福祉法人 三養福祉会

特別養護老人ホーム 網島の郷

事業報告書

- ・ 特別養護老人ホーム 網島の郷
- ・ 短期入所生活介護 網島の郷
- ・ デイサービスセンター 網島の郷

特別養護老人ホーム 網島の郷 令和5年度 報告書

令和5年度(R5年4月1日—R5年9月30日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム90名、短期入所10名						
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	4—9月平均
定 数	2700	2790	2700	2790	2790	2700	2745
入居実数月累計	2080	2076	2117	2221	2240	2216	2158.3
在籍者1日平均	67.1	67.0	70.6	71.6	72.3	73.9	70.4
入院差し引く実数	1969	1928	1994	2095	2164	2108	2043.0
入院者差し引く実数	63.5	62.2	66.5	67.6	69.8	70.3	66.6
1日当り実質空床率	27.1%	30.9%	26.1%	24.9%	22.4%	21.9%	25.57%
新規入所者数	1	2	3	3	4	4	2.83
退所者(内死亡者)	3(1)	4	2	1(1)	2	0	2.00
1日当り入院者平均	3.70	4.77	4.10	4.06	2.45	3.60	3.78
入院 日数1ヵ月累計	111	148	123	126	76	108	115.3
平均入所率	77.0%	74.4%	78.4%	79.6%	80.3%	82.1%	78.6%
短期入所者延べ人数	78	115	138	155	238	145	158.2
特養＋短期 定数	3000	3100	3000	3100	3100	3000	3050.0
月当り在籍者実数	2047	2043	2132	2250	2402	2253	2187.8
1日当実質在籍者数	66.0	65.9	68.8	72.6	77.5	75.1	71.0
稼働率(特＋短)	68.2%	65.9%	71.1%	72.6%	77.5%	75.1%	71.7%
入所者介護度平均	3.49	3.55	3.62	3.62	3.67	3.67	3.60
要介護 (1)	1	1	1	1	1	2	1.2
要介護 (2)	2	2	1	1	2	3	1.8
要介護 (3)	36	35	31	31	30	33	32.7
要介護 (4)	27	28	29	29	30	29	28.7
要介護 (5)	6	5	9	11	12	13	9.3
合 計	72	71	71	73	75	80	73.7
外泊日数	0	0	0	0	1	0	0.2
外出数	0	0	0	0	0	2	0.3
通院者数	23	19	32	34	42	46	32.67
面会者数	119	76	59	73	77	78	80.3
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0

令和5年度(R5年10月1日—R6年3月31日)

定員：特別養護老人ホーム90名、短期入所10名								全体	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合 計	月平均
定 数	2790	2700	2790	2790	2610	2790	2745.0	32940	2745.0
入居実数月累計	2437	2400	2445	2449	2399	2600	2455.0	27676	2306.3
在籍者1日平均	81.23	80.00	81.5	81.6	82.7	83.9	81.8	913	76.11
入院差し引く実数	2299	2233	2194	2093	2103	2365	2215	25545	2128.8
入院者差し引く実数	74.2	72.0	70.8	67.5	72.5	76.3	72	833.1	69.4
1日当り実質空床率	17.6%	17.3%	21.4%	25.0%	19.4%	15.2%	19.32%		22.44%
新規入所者数	3	3	4	4	11	8	5.50	50	4.2
退所者(内死亡者)	4(2)	1(1)	6(2)	4(2)	5(1)	7(3)	4.50	39	3.3
1日当り入院者平均	4.45	5.57	8.37	11.48	10.21	7.58	7.94	70.3	5.9
入院 日数1ヵ月累計	138	167	251	356	296	235	240.5	2135	177.9
平均入所率	87.3%	88.9%	87.6%	87.8%	91.9%	93.2%	89.5%		84.0%
短期入所者延べ人数	140	165	180	274	217	167	200.6	2012	574.1
特養＋短期 定数	3100	3000	3090	3100	2900	3100	3048.3	36590	3049.2
月当り在籍者実数	2439	2398	2374	2367	2320	2532	2405.0	27557	2296.4
1日当実質在籍者数	78.7	77.4	76.6	76.4	80.0	81.7	78.4	896.5	74.7
稼働率(特＋短)	78.7%	79.9%	76.8%	76.4%	80.0%	81.7%	78.91%	903.84%	75.3%
入所者介護度平均	3.67	3.69	3.72	3.73	3.72	3.77	3.72	43.92	3.66
要介護 (1)	2	2	1	2	2	2	1.8	18	1.5
要介護 (2)	3	3	3	3	3	3	3.0	29	2.4
要介護 (3)	30	30	29	29	32	31	30.2	377	31.4
要介護 (4)	29	29	30	29	31	31	29.8	351	29.3
要介護 (5)	15	17	16	19	20	19	17.7	162	13.5
合 計	79	81	79	82	88	86	82.5	937	78.1
外泊日数	0	0	0	0	8	0	1.3	9	0.8
外出数	2	0	0	0	0	0	0.3	4	0.3
通院者数	32	44	40	38	31	37	37.00	418	34.8
面会者数	93	96	105	105	101	130	105.0	1112	92.7
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0

②障害高齢者日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	
	J2	
中度	A1	
	A2	2
重度	B1	41
	B2	37
最重度	C1	1
	C2	5
合計		86

③認知症高齢者日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	1
	II a	0
	II b	8
中度	III a	72
	III b	1
重度	IV	4
	M	0
合計		86

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	48	5	33	86
食事	63	7	16	86
排泄	31	12	43	86
入浴	0	40	46	86

⑤オムツ使用者状況

	人数
常時	35
夜間のみ	12
合計	47

⑥在所期間の状況

	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上	平均在所
男	12人	3人	1人	0人	0人	0人	0.8年
女	30人	11人	18人	11人	0人	0人	2.3年
計	42人	14人	19人	11人	0人	0人	2.0年

⑦日常生活の状況調査

区 分					実数	割合	区 分					実数	割合		
移動 立 食 事 入 浴 着 脱 衣	自立	独立歩行			21 人	24.4 %	排泄	昼間	便所	自己で可能			32 人	37.2 %	
		杖等の歩行補助器使用			4 人	4.7 %				一部介助			11 人	12.8 %	
		車椅子使用			17 人	19.8 %				全部介助			1 人	1.2 %	
	要介助				44 人	51.2 %			ポータブル便器	自己で可能			1 人	1.2 %	
										一部介助			人	0.0 %	
										全部介助			人	0.0 %	
	介助				16 人	18.6 %			おむつ使用			41 人	47.7 %		
		自己で可能				0 人		0.0 %	夜間	便所	自己で可能			25 人	29.1 %
											一部介助			5 人	5.8 %
											全部介助			1 人	1.2 %
一部介助				40 人	46.5 %	ポータブル便器		自己で可能			2 人	2.3 %			
								一部介助			人	0.0 %			
								全部介助			人	0.0 %			
全部介助				46 人	53.5 %	おむつ使用				53 人	61.6 %				
				25 人	29.1 %	トイレ誘導実施者数			12 人	14.0 %					
				33 人	38.4 %										
				28 人	32.6 %										
じょくそう者数					6 人	7.0 %									
認知症	重 度			5 人	5.8 %										
	中 度			73 人	84.9 %										
	軽 度			8 人	9.3 %										

令和5年度 事業報告書

短期入所生活介護 網島の郷

1. 介護度別利用者数 (延べ)

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	0	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	11
要介護1	男	4	4	3	21	0	0	2	0	0	1	24	0	59
	女	6	10	3	4	8	0	2	12	8	15	3	3	74
要介護2	男	0	0	6	7	8	4	8	13	24	23	16	20	129
	女	24	36	31	35	16	20	14	10	5	5	5	4	205
要介護3	男	10	0	2	4	30	25	28	33	28	31	36	36	263
	女	3	11	15	18	135	51	36	46	58	129	71	26	599
要介護4	男	6	6	6	13	0	0	14	6	12	31	0	0	94
	女	15	40	53	36	26	14	12	14	15	19	20	35	299
要介護5	男	0	0	0	3	0	0	0	2	3	8	17	30	63
	女	8	8	16	17	16	22	21	27	26	16	25	13	215
合計		78	115	138	158	242	136	143	163	179	278	217	167	2014
夜間人数		58	86	105	129	212	113	108	124	148	241	183	140	1647
平均		2.6	3.7	4.6	5.1	7.8	4.5	4.6	5.4	5.8	9.0	7.5	5.4	5.5

2. 保険者別利用者数

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
大阪市	12	13	18	16	21	16	18	21	16	22	20	18	211
寝屋川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
くすのき広域連合	1	1	1	1	1	1	0	0	1	2	0	0	9
大和高田市	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	10
川西市	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
茨木市	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
生駒市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	13	16	21	19	24	18	19	22	18	25	22	20	237

新規利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	0	0	2	2	1	1	2	4	2	2	2	1	19
	女	1	2	4	5	2	3	5	4	5	3	3	2	39
計		1	2	6	7	3	4	7	8	7	5	5	3	58

緊急ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	4

年齢層		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61～65	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66～70	男	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	7
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
71～75	男	0	0	0	1	0	1	0	3	1	2	1	0	9
	女	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	6
76～80	男	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	0	6
	女	2	1	1	1	1	0	0	1	1	3	1	0	12
81～85	男	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	6
	女	0	2	3	2	3	4	3	3	2	5	2	3	32
86～90	男	1	1	3	3	4	3	5	3	3	5	4	5	40
	女	2	5	5	4	7	4	4	6	5	5	7	5	59
91～95	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	5	5	5	5	8	6	6	4	3	3	4	5	59
96以上	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計		13	16	21	19	24	18	19	22	18	25	22	20	237

3. 地域別利用者数

住所地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
大阪市 都島区	5	4	10	6	9	7	9	7	8	6	9	8	88
大阪市 北区	5	7	5	7	6	5	3	8	3	9	5	5	68
大阪市 中央区	2	2	3	2	4	3	2	1	1	3	3	3	29
大阪市 天王寺区	0	1	1	1	0	0	1	2	1	1	0	0	8
大阪市 住之江区	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
大阪市 旭区	0	0	0	0	0	1	2	1	1	1	1	1	8
大阪市 城東区	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	6
大阪市 東成区	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
大阪市 福島区	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
大阪市 鶴見区	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
大阪市 大正区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他	1	2	2	2	2	1	0	0	1	2	1	1	15
合計	13	16	21	19	24	18	19	22	18	25	22	20	237

事業所別延べ利用人数詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
蒼の里										11			11
あさひ松栄							2						2
あったかい手	4	6	5	3	7	12	7						44
いいとも							3	11					14
エバーグリーンれんげ	6	6	6	13									31
うしろく		20	22	30	4			3	4	4			87
エールサービス					3								3
エルケア長柄										3			3
大阪城								6	16	15	12	16	65
おかだ	12	8	3	7	7	3		3			4		47
おかえり			14										14
雅秀苑							14	6					20
関医ケアプランセンター						2	5	9	5	24			45
からまつ				6	8	6	14	18	20	22	21	18	133
北区在宅サービス			2	17	8	18	12	16	16	8	8	4	109
グッドライフケア大阪北				3			2		4		24		37
くらさぼ									3				3
ケア21 都島			2		3	5	3					3	16
ケア21 門真									12	31			43
ケア21 北	4	8	6	10	3			3		3			37
コスモ	2	2	1	1									6
コープ淀川クリニック		5											5
こころ					8								8
さくしあ	12	12	15	11	66	40	7	4	7	61	42	8	285
サンアドバンスケアプランセンター			4										4
さんさん							4						4
寿梨の里												28	28
スマイル			3							2			5
多根総合病院居宅											9		9
友洲地域在宅サービス	2		3		3								8
ハート介護				4	4	4							12
フレンズ					22								22
法円坂ケアプランセンター	20	26	26	24	39	7	14	11	12	18	22	3	222
ほんわり	4	4	4	8	3	2	7	4	5	5	8	3	57
まっちゃまち					1								1
都島ナース			8	4	8	4	8	9	12	8	8	7	76
都島北部地域包括							3						3
都島区在宅サービスセンター											4	19	23
もりた								3					3
ユアーズ		4			6		2	10	3	4	3	5	37
結							1	2					3
ユーアイ	12	14	14	17	12	14	12	14	33	16	12	13	183
よつ葉										6	8	6	20
ライフ											4	4	8
りんくる									3	5			8
わか					27	17	25	27	28	28	28	30	210
合計	78	115	138	158	242	136	143	163	179	278	217	167	2014

4. エリア別 居宅支援事業所

住所地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
大阪市 都島区	5	4	10	6	10	7	8	7	7	4	8	7	83
大阪市 北区	5	7	5	7	7	6	4	8	4	11	7	7	78
大阪市 城東区								1	1	1	1	1	5
大阪市 東成区	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
大阪市 中央区	2	3	3	2	4	3	2	1	1	3	3	3	30
大阪市 福島区	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
天王寺区	0	1	2	1	1	0	0	1	1	1	0	0	8
大阪市 旭区	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	4
大阪市 住之江区	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10
大阪市 鶴見区	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
大阪市 大正区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他	1	1	1	2	0	1	1	1	2	3	0	0	13
合計	13	16	21	19	24	18	19	22	18	25	22	20	237

令和5年度 デイサービスセンター網島の郷 事業報告書

【 令和5年度 デイサービスセンター網島の郷 実績報告(介護保険) 】

介護保険 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	17	17	17	16	15	16	16	16	17	17	16	13	193
女 性	27	27	28	29	29	29	30	33	32	27	28	30	349
合 計	44	44	45	45	44	45	46	49	49	44	44	43	542

要介護度別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護度 1	12	11	10	10	10	10	10	11	10	9	10	11	124
要介護度 2	14	15	16	16	16	17	18	18	17	16	16	15	194
要介護度 3	11	11	12	13	12	12	12	14	16	13	12	11	149
要介護度 4	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	63
要介護度 5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合 計	44	44	45	45	44	45	46	49	49	44	44	43	542

要介護度別 利用実績(延べ)

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
通所介護 I 21・時減													0
通所介護 I 22・時減		1											1
通所介護 I 23・時減				1	1								2
通所介護 I 24・時減											1		1
通所介護 I 11	51	55	36	35	44	33	37	32	28	28	35	40	454
通所介護 I 12	67	75	79	81	91	66	74	80	62	49	53	66	843
通所介護 I 13	54	58	54	57	55	58	59	56	68	56	57	53	685
通所介護 I 14	37	46	42	42	43	26	28	23	23	20	24	24	378
通所介護 I 15	7	9	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	28
通所介護 I 51						4	8	10	8	10	13	12	65
通所介護 I 52						12	14	12	13	12	14	12	89
通所介護 I 53						0	0	0	0	8	7	3	18
通所介護 I 54						19	20	22	21	20	18	22	142
通所介護 I 55						5	4	3	0	0	0	3	15
合 計	216	244	215	220	238	223	244	238	223	203	222	235	2721
営業日数	20	23	22	21	22	21	22	22	21	20	21	21	256
利用平均	10.8	10.6	9.8	10.5	10.8	10.6	11.1	10.8	10.6	10.2	10.6	11.2	10.6

【 令和5年度 デイサービスセンター網島の郷 大阪市介護予防・日常生活支援総合事業 実績報告 】

総合事業 利用登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	2	2	2	2	2	2	4	4	3	2	2	2	29
女 性	17	18	19	19	18	19	18	17	17	17	18	18	215
合 計	19	20	21	21	20	21	22	21	20	19	20	20	244

○ 大阪市介護予防型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
--------	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	-----

事業対象者													0
要支援1	6	6	6	6	6	6	7	7	6	5	5	5	71
要支援2	13	14	15	15	14	15	15	14	14	14	15	15	173
合計	19	20	21	21	20	21	22	21	20	19	20	20	244

○ 大阪市短時間型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大阪市介護予防・日常生活支援総合事業 利用実績(延べ)

○ 大阪市介護予防型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	20	22	21	16	15	22	26	21	16	17	19	19	234
要支援2	79	91	95	98	86	80	85	88	79	80	91	85	1037
合 計	99	113	116	114	101	102	111	109	95	97	110	104	1271
営業日数	20	23	22	21	22	21	22	22	21	20	21	21	256
利用平均	5.0	4.9	5.3	5.4	4.6	4.9	5.0	5.0	4.5	4.9	5.2	5.0	5.0

○ 大阪市短時間型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業日数													0
利用平均													

介護保険 + 総合事業 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数(人)	57	58	58	57	55	58	53	55	58	56	59	59
1日平均 利用者数(人)	15.8	15.5	15.0	15.9	15.4	15.5	16.1	15.8	15.1	15.0	15.8	16.1
定員に対する 稼働率(%)	41%	41%	40%	42%	41%	77%	81%	79%	76%	75%	79%	81%

令和5年度 社会福祉法人 三養福祉会 幼保連携型認定こども園 ゆめの樹保育園 事業報告書

総 括

令和5年度より、幼保連携型認定こども園へ移行した。特に混乱等もなく運営を進めてこれた。また、1号認定の園児2名が2号認定より1号認定に移行し、1名入園し計3名の園児が1号認定として利用されましたが、必要に応じて延長等を利用され、クラス活動等にも馴染み楽しく過ごすことができた。

職員については、年度途中で退職する保育教諭がおり、園全体でカバーしあって運営を進めてきた。保育士不足の中、安定した職員組織にするには、新規採用を定期的且つ募集時期の前倒し、保育実習の積極的な受入れに手を尽くすのは必須である。

こども園に移行し日々の保育は、子ども達が主体的に活動できているのか、子どもたちが主体的に活動できるようにするにはどのような保育にしていけるのかを確認しながら、教育という部分にも意識しながら保育するようになってきた。また、理念を念頭に置きながら、ゆめの樹保育園の目指す教育保育目標やこども像を含め、職員との十分な話し合いができなかったため、次年度に向けて確認という課題が残った。

昨年同様、今年度も外部研修への参加が難しかったため、非常勤職員も含めた園内研修を姉妹園と合同でZoomを活用しながら行った。同じ研修を通して、当園の保育理念や保育で大切にしていること、子ども達にどのようなまなざしを向けていくかということ、同じ研修を通して伝えられることができた。

しかし、職員数が多く大きな集団ということもあり、意思疎通がとりにくい職員が多い。コミュニケーション不足から、伝達事項の漏れが目立った。一人ひとりの意識の薄さが課題となったので、次年度に生かせるようにしたい。

1. 保育の概要

(1) 所在地

大阪市城東区今福西6-6-30

(2) 入園児数

利用定員240名

入園率

[令和5年 4月 87%
令和6年 3月 85%

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4月	7	29	34	57	41	54	222
5月	8	26	31	57	40	54	216
6月	8	28	32	58	36	54	216
7月	8	29	31	57	35	54	214
8月	9	30	31	57	35	54	216
9月	10	30	30	57	35	52	214
10月	10	30	30	58	35	52	215
11月	10	30	30	58	35	52	215
12月	11	30	31	58	35	52	217
1月	11	30	31	58	35	52	217
2月	11	30	32	58	35	52	218
3月	11	30	32	58	35	52	218

(3) 職員数

職種	園長	副園長	主幹 保育教諭	正規 保育士	非正規 保育士	子育て 支援員	保育補助	事務員	合計
4月人数	1	1	2	28	8	9	5	1	55
3月人数	1	1	2	21	11	9	5	1	51

(1) 保育理念

一人ひとりの個性を大切に見守り、健康で意欲のある子どもに育てます

どの子どもも きらきら のびのびと 「明るく素直で元気な子」

(2) 保育目標

○ 心も体も健康な子ども

元気にあいさつができ、また生活習慣を身につけたり、活動的な遊びを通して心身の健康と自立をめざす。

- 豊かに感じて表現できる子ども
自分のありのままの姿を認めてもらうことで安心し、見たことや考えを自由にイメージでき素直に伝えたり行動に移せる。
- よく見て、よく聞いて、よく考える子ども
いつも自分の思いを聞いてもらう経験から、相手の話にも耳を傾け、好奇心や探求心をもって積極的に物事に関わる。
- 優しく感謝のできる子ども
自分を認め、他者を認められる肯定感や共感できる力を育み、全てのものに対する感謝や大切に扱うことを知る。

(3) 保育方針

- 子ども達が日々の生活を通して安心して楽しく自分らしく過ごし、見通しを持って生活することで自立した活動ができ、また保護者にとっても安心して任せられる場所になっています。
- 家庭的な雰囲気の中で、保育士に対して安心感と信頼感が持てるように一人ひとりを大切に優しく関わっていきます。
- 相手の話に耳を傾け、自分の言葉で挨拶や気持ちを伝えられるよう育みます。
- 子ども、保護者、保育者にとっても幸せであるための居場所となり、一人ひとりが輝ける環境作りに励みます。

(4) 保育をするうえで大切にしていること

「一人ひとりを丁寧に育む保育」

基本的信頼関係の築きが大切な1歳児期は、「愛着関係を基に丁寧に一人ずつ関わる保育（自分を受容してもらう）」、1歳児期は、「自我（自分からやりたい）を大切にする保育（自己主張を受け入れてもらう）」、2歳児期は、「みんな（少しずつ友だちどうし）でやる（集団の）楽しさやルールに気づかせる保育」を展開していく。社会性の芽生えと共に自我のコントロールと基本的生活習慣の自立を目指す。

「一人ひとりが大切にされる保育」

子どもの成長、発達、やりたいことに合わせた活動を見守り、重視しながら保育をしていく。それぞれの子どもの違いを認め、自分の考えを持ち、それを他人に伝えていくことを通して「生きる力」を育めるよう援助していく。

(5) 保育時間

(平 日)	7時30分	～	19時30分
(土曜日)	7時30分	～	18時30分
保育標準時間	7時30分	～	18時30分
保育短時間	8時00分	～	16時00分

(6) 特別保育事業

○ 延長保育

保育時間は、午前7時30分～午後6時30分までの11時間とするが、保護者の就労時間や家庭状況等を考慮し、時間外保育の必要があれば、保育時間を延長する

保育標準時間	18時30分	～	19時30分
保育短時間	7時30分	～	8時00分
	16時00分	～	19時30分

○ 障害児保育

配慮が必要な子どもを受け入れ、発達の遅れや、それぞれの障害を理解し、保護者や子ども発達支援センター、児童相談所等の療育機関や専門機関との連携をとりながら、保育・支援していった。また、障害児ではないが、身体的、体力的、精神的、知的等に特別な配慮を要する子どもに対しても、家庭や関係機関と連携を図りながら、大切に見守りをしていった。

(7) 要支援園児への対応

- ・ 特別な配慮が必要な子どもの受入れについての配慮をし、積極的に受け入れる。
- ・ 気になる園児に対し、関係機関と密に連絡を取り合い、情報共有を図った。
- ・ 子ども中央相談センターの方とも情報共有しながら要保護園児の対応を行った。
- ・ 加配の必要な園児や気になる園児への保護者との定期的な面談を行い、支援の方法を共有を行う。

(8) 地域交流活動

実施日	子育て支援活動
4月	おやつ試食会
5月	園庭解放 ・ 親子クッキング ・ 子育てカフェ
6月	絵本の読み聞かせ ・ 玩具づくり
7月	みずあそび ・ 子育てカフェ
8月	みずあそび ・ 親子でペインティング
9月	運動あそび ・ 子育てカフェ
10月	園庭解放
11月	玩具であそぼう ・ 「子ども会議」自主映画開催
12月	リズム運動 ・ 子育てカフェ
1月	絵本の読み聞かせ ・ 親子クッキング
2月	フェルトであそぼう
3月	実施なし

○ ボランティア・保育実習生の学生を受け入れ実施した。

3. 年齢別保育目標

0歳児	○安全で清潔な環境の中、心地よく過ごし身の回りの物、人への興味・関心を育てる。 ○特定の保育者の応答的な関わりにより情緒的な絆を深め信頼関係を築く。
1歳児	○自分でしようとする気持ちの芽生えを受け止められ、保育者との信頼関係の中で安心して過ごす。 ○五感を使って探索活動を通し、周囲の物・人への視野を広げる。
2歳児	○基本的生活習慣が身に付き、自分でできることを喜ぶ。 ○日常生活に必要な言葉が分かり、模倣遊びや戸外遊びを通して、保育者やとだちとのやりとりや表現する楽しさを味わう。
3歳児	○基本的生活習慣が身に付き自分でできることを喜ぶ。 ○様々なことに興味を持ち、楽しんで参加する。 ○自分の気持ちを様々な方法で表現し、友だちとのつながりを広げる。
4歳児	○自立に向けて葛藤や経験をしながら、自分の感じたことや想いを表現する。 ○友だちとの関わりを深め、相手を思いやる気持ちを育てたり、みんなで決まりを考え、継続的に活動できることの楽しさを感じる。
5歳児	○自分でできることの範囲を広げ、様々なことに好奇心や興味、関心を持ち、工夫しながら、意欲的に活動する。 ○友だちどうしで認めあい、自分の役割を果たそうとしたり目標に向かって取り組みやり遂げることの達成感や喜びを味わう。

- ① 子ども達にとって保育園が「第2のおうちとなるよう」一人ひとり丁寧に、その成長を見守る保育を進めた。また、コーナー保育により自らしたい遊びが直ぐでき、遊び込める空間があることで主体性や自主性、集中力を育てていった。落ち着いて遊べる室内環境を心掛け、食事や午睡は決まったところで行い、家庭的な温かい雰囲気づくりを心掛ける保育を行った。
- ② 保育士が保育園内での”お母さん”になれるよう、乳児クラスは育児担当保育を実施し、子ども達と密な信頼関係を築くことで安心して過ごしていった。
また、そのことで保育士も子どもの心身の小さい変化に気付いたり、保護者も安心して何でも相談できる関係を構築していった。
- ③ 一人ひとりの成長や生活リズムを大切にできるよう、家庭との連携をとった。特に乳幼児期は、その子の一日の生活リズムに無理がないようタイムスケジュールを作成し、食事を摂ったり午睡したり毎日規則正しい生活リズムで過ごした。幼児クラスになってからも、日々同じリズムで見通しを持ちながら保護者と連絡を取り合い、夜遅くに寝ていたり、また体調がおもわしくない時は、保育内容を変えたり休息をとったりと、その子に応じた活動をした。

- ④ 幼児クラスでは、乳児の時に培った大人との信頼関係を基に、友だちの中で自分の存在をうまく発揮できるよう関わっている。また、体育指導や英会話を取り入れ、無理なく興味を持って楽しく参加できるように進めた。
- ⑤ 幼児クラスは、様々な事物に対して不思議に思ったり関心を持てるような働きかけを意識した関わりをし季節の事や動植物等、興味をもったことを五感を使って実際に感じたり、絵本や図鑑を使って調べていくという活動を進めた。
- ⑥ 年齢に応じた内容の月刊絵本を取り入れている。0・1歳児クラスは、お話絵本、2～5歳児は総合絵本を選び、ひと月楽しんで持ち帰った。
- ⑦ 3～4歳児は、ピアノの音に合わせてながら音楽やリズムで楽しく遊びながらリズム運動を実施した。集中力を高める即時反応の活動を行うことで、一定の速さで拍子を保つ事や頭で考え体を使って表現することが出来るよう進めた。身体的・感覚的・知的的にもあらゆる教育を十分に吸収し大きく育つための基礎作りとなる事を目的とする。
- [

 - 体を動かすことが好きになる
 - 姿勢を保持する力が育つ
 - しなやかな体をつくる
 - 健康な体をつくっていく

]
- ⑧ 同じ年齢の中で育まれる「人と関わる力」もありますが、色々な年齢と多く関わることで、より育まれます。また、色々な人と関わるということは、色々な人がいるということを知るきっかけになります。一人ひとりの想いを認め受け入れることが「人と関わる力」になり、また相手の立場になる、友だちを好きになる「心」の育ちを助長できる取組みとして、異年齢保育を進めていく。

4. 給 食

給食は 株式会社魚国総本社 に業務委託し、提供している。

- 給食は、離乳食(初期食・中期食・後期食・完了食)・乳児食・幼児食・アレルギー食に分類し、子どもに応じた調理によって提供をした。
- 0歳児は その子に合った離乳食を食べる。
一対一で食事をしながら食事を摂る中で、咀嚼や嚥下状態、また歯の本数や便の様子を見ながら、保護者と相談して初期～中期～後期～完了期～乳児食と進めていった。
- 乳児は、生活リズムを整え担当保育士と少人数で食事をし、幼児はランチルームにて、食べるが、コロナ感染予防の為、園児が同じ方向をむき間隔を開け食事を摂った。

- 献立は、委託による栄養士により作成し、自園で調理したものを温かく食べると美味しい物は温かい状態で、冷たく食べると美味しいものは冷たい状態で提供する。
- 給食は、食育という保育の重要な一部である。給食を通し、心身の成長発達と健康の保持増進に必要な食べ物を提供すると共に、望ましい生活習慣をしつけ、栄養や衛生の知識を与える等、重要な役割を果たすと考ええる。
- 乳児クラスは朝のおやつ、全園児に給食と午睡のおやつ(手作り)を提供する。
- 日々の給食、おやつで話しかけを行い、見た目も美味しさを味わったり食材の名前やその栄養について話をする他、幼児クラスを中心に指導計画に基づいた食育活動を行う。
- 年齢に関わらず、その子の状態に合った食事を食べる。

【食育活動】

郷土料理や世界の料理を取り入れた献立を提供し、保護者へもレシピの提供をした。
また、旬の食材を提供するとともに、子ども達にも季節の野菜を知り、その特徴を分かりやすく伝えたり、食べることで体にどのような効果があるのか知らせたりし、積極的に食に興味を持ち食べる意欲に繋がるようにする。

5. 避難訓練および消火訓練

- 消防法に則り防火管理者の指揮の下、乳幼児の生命を守り、安全対策を行う。
- 各種災害時に非難訓練および消火訓練を行うことにより、各々の状態で臨機黄変に判断し、避難誘導等の適切な対応が出来るようにする。

(避難訓練等実施状況)

実施月	訓練内容	消防署立合	消防署届出	その他
4	地震	無	無	
5	火災	無	無	
6	火災(避難・通報・消火)	有	有	消防署の方立ち合いの元、実施
7	不審者対応	無	無	
8	地震	無	無	
9	台風・地震	無	無	大阪880万人訓練
10	火災(午睡時)	無	無	
11	地震(引き渡し訓練)	無	無	実際に保護者の方に引き渡す
12	不審者対応	有	有	消防署の方立ち合いの元、実施
1	地震・火災	無	無	
2	火災	無	無	
3	地震・火災	無	無	南海トラフを想定しての訓練

6. 職員研修

- 職員の資質と職務能力を高め、乳幼児保育の向上を図り、自己研鑽に努めれるよう園内研修および外部研修を招いたり、ズームにて積極的に研修を実施した。
保育教諭等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。
- キャリアアップのための各種研修会にズーム積極的に参加をした。
- 保育者の専門知識・技術を習得したり、相互理解を深めることを目的として姉妹園とともに公開保育を一年間をお通して実施した。

7. 年間行事報告

4月	入園式 進級式
5月	こどもの日のつどい 園外保育
6月	保育参観 保育参加 プール開き 歯科検診 内科検診
7月	たなばたの集い プール参観 特別保育（5歳児のみ）
8月	なつまつり
9月	おやこであそぼうかい（0～2歳児）
10月	運動会（3～5歳児）
11月	親子遠足
12月	音楽会 おもちつき クリスマス会
1月	たこあげ会
2月	節分豆まき会 生活発表会
3月	ひなまつり会 おわかれ会 お別れ遠足（5歳児のみ） 卒園式
毎月	○ 避難訓練 ○ 身体測定 ○ 食育活動 ○ 体育教室 ○ 英語教室 ○ リズム運動 ○ 異年齢交流

令和5年度 社会福祉法人 三養福祉会

幼保連携型認定こども園 大正ゆめの樹保育園 事業報告書

総 括

令和5年度より、幼保連携型認定こども園へ移行した。
特に混乱等もなく運営を進めてることができた。
また、園児3名が1号認定児として入園し利用されたが、必要に応じて延長等を利用され、クラス活動等にも馴染み楽しく過ごすことができた。

職員については、今年度も最少人数で運営していたこともあり、急な休みが計画休暇とかさなると保育に支障が出ることもあり、園全体でカバーするほか、ゆめの樹保育園からもフォローをしてもらいながら、運営を進めてきた。
保育士不足の中、安定した職員組織にするには、新規採用を定期的且つ募集時期の前倒し、保育実習の積極的な受入れに手を尽くすのは必須であると考えているが、実習生が繋がることなく、実習生が入ったクラスの職員が行う指導に係る時間と手間が職員の負担になりつつある。
TikTok撮影を行うことで、広く“大正ゆめの樹保育園”を知ってもらうことはできたと思われるが、目的であった職員採用に対しての実績はなく、意気込んでいた職員の気持ちも低下しているのが見て取れた。

こども園に移行し日々の保育は、子ども達が主体的に活動できているのか、子どもたちが主体的に活動できるようにするにはどのような保育にしていけるのかを確認しながら、教育という部分にも意識しながら保育するようにしてきた。
また、理念を念頭に置きながら、ゆめの樹保育園の目指す教育保育目標やこども像を含め、職員と場面場面による指導を進めるが、保育に入る職員の実践に繋がらないことが多く、次年度に向けて確認という課題が残った。

昨年同様、今年度も外部研修への参加が難しかったため、非常勤職員も含めた園内研修を姉妹園と合同でズームを活用しながら行った。
同じ研修を通して、当園の保育理念や保育で大切にしていること、子ども達にどのようなまなざしを向けていくかということを、同じ研修を通して伝えられることができた。

しかし、職員数が多く大きな集団ということもあり、意思疎通がとりにくい職員が多い。コミュニケーション不足から、伝達事項の漏れが目立った。一人ひとりの意識の薄さが課題となったので、次年度に生かせるようにしたい。

1. 保育の概要

(1) 所在地

大阪市大正区三軒家西1-3-21

(2) 入園児数

利用定員 123名 入園率

[令和5年 4月 88 %
令和6年 3月 88 %

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4月	9	15	18	24	25	18	109
5月	9	15	18	25	25	18	110
6月	9	15	18	25	25	18	110
7月	9	15	18	25	25	18	110
8月	9	15	18	25	25	18	110
9月	9	15	18	25	25	17	109
10月	9	15	18	25	25	17	109
11月	9	15	18	25	25	17	109
12月	9	15	18	25	25	17	109
1月	9	15	18	25	25	17	109
2月	9	15	18	25	25	17	109
3月	9	15	18	25	25	17	109

(3) 職員数

職種	園長	主幹保育 教諭	正規 保育士	非正規 保育士	子育て 支援員	保育補助	事務員	看護師	合計
4月人数	1	1	13	4	2	4	1	1	27
3月人数	1	1	13	4	6	3	1	1	30

(1) 保育理念

一人ひとりの個性を大切に見守り、健康で意欲のある子どもに育てます
どの子どもも きらきら のびのびと 「明るく素直で元気な子」

(2) 保育目標

○ 心も体も健康な子ども

元気にあいさつができ、また生活習慣を身につけたり、活動的な遊びを通して心身の健康と自立をめざす。

- 豊かに感じて表現できる子ども
自分のありのままの姿を認めてもらうことで安心し、見たことや考えを自由にイメージでき素直に伝えたり行動に移せる。
- よく見て、よく聞いて、よく考える子ども
いつも自分の思いを聞いてもらう経験から、相手の話にも耳を傾け、好奇心や探求心をもって積極的に物事に関わる。
- 優しく感謝のできる子ども
自分を認め、他者を認められる肯定感や共感できる力を育み、全てのものに対する感謝や大切に扱うことを知る。

(3) 保育方針

- 子ども達が日々の生活を通して安心して楽しく自分らしく過ごし、見通しを持って生活することで自立した活動ができ、また保護者にとっても安心して任せられる場所にしていきます。
- 家庭的な雰囲気の中で、保育士に対して安心感と信頼感が持てるように一人ひとりを大切に優しく関わっていきます。
- 相手の話に耳を傾け、自分の言葉で挨拶や気持ちを伝えられるよう育みます。
- 子ども、保護者、保育者にとっても幸せであるための居場所となり、一人ひとりが輝ける環境作りに励みます。

(4) 保育をするうえで大切にしていること

「一人ひとりを丁寧に育む保育」

基本的信頼関係の築きが大切な1歳児期は、「愛着関係を基に丁寧に一人ずつ関わる保育（自分を受容してもらう）」、1歳児期は、「自我（自分からやりたい）を大切にする保育（自己主張を受け入れてもらう）」、2歳児期は、「みんな（少しずつ友だちどうし）でやる（集団の）楽しさやルールに気づかせる保育」を展開していく。社会性の芽生えと共に自我のコントロール、基本的生活習慣の自立を目指す。

「一人ひとりが大切にされる保育」

子どもの成長、発達、やりたいことに合わせた活動を見守り、重視しながら保育をしていく。それぞれの子どもの違いを認め、自分の考えを持ち、それを他人に伝えていくことを通して「生きる力」を育めるよう援助していく。

(5) 保育時間

(平 日)	7時30分	～	19時30分
(土曜日)	7時30分	～	18時30分
保育標準時間	7時30分	～	18時30分
保育短時間	8時00分	～	16時00分

(6) 特別保育事業

○ 延長保育

保育時間は、午前7時30分～午後6時30分までの11時間とするが、保護者の就労時間や家庭状況等を考慮し、時間外保育の必要があれば、保育時間を延長する

保育標準時間	18時30分	～	19時30分
保育短時間	7時30分	～	8時00分
	16時00分	～	19時30分

○ 障害児保育

配慮が必要な子どもを受け入れ、発達の遅れや、それぞれの障害を理解し、保護者や子ども発達支援センター、児童相談所等の療育機関や専門機関との連携をとりながら、保育・支援していった。また、障害児ではないが、身体的、体力的、精神的、知的等に特別な配慮を要する子どもに 対しても、家庭や関係機関と連携を図りながら、大切に
見守りをしていった。

(7) 地域交流活動

実施日	子育て支援活動
4月	実施なし
5月	園庭解放 ・ 絵本の読み聞かせ
6月	絵本の読み聞かせ ・ 玩具づくり
7月	園庭開放 ・ みずあそび
8月	みずあそび ・ 園内（テラス・冒険広場）あそび
9月	園庭開放 ・ 園内（テラス・冒険広場）あそび
10月	園庭開放 ・ 園内（テラス・冒険広場）あそび
11月	園庭開放 ・ 園内（冒険広場）あそび
12月	園庭開放 ・ 園内（冒険広場）あそび
1月	園庭開放 ・ 園内（地域交流室）あそび
2月	園庭開放 ・ 園内（地域交流室）あそび
3月	園庭開放 ・ 園内（地域交流室）あそび

○ ボランティア・保育実習生の学生を受け入れ実施した。

3. 年齢別保育目標

0歳児	○安全で清潔な環境の中、心地よく過ごし身の回りの物、人への興味・関心を育てる。 ○特定の保育者の応答的な関わりにより情緒的な絆を深め信頼関係を築く。
1歳児	○自分でしようとする気持ちの芽生えを受け止められ、保育者との信頼関係の中で安心して過ごす。 ○五感を使って探索活動を通し、周囲の物・人への視野を広げる。
2歳児	○基本的な生活習慣が身に付き、自分でできることを喜ぶ。 ○日常生活に必要な言葉が分かり、模倣遊びや戸外遊びを通して、保育者やとだちとのやりとりや表現する楽しさを味わう。
3歳児	○基本的な生活習慣が身に付き自分でできることを喜ぶ。 ○様々なことに興味を持ち、楽しんで参加する。 ○自分の気持ちを様々な方法で表現し、友だちとのつながりを広げる。
4歳児	○自立に向けて葛藤や経験をしながら、自分の感じたことや想いを表現する。 ○友だちとの関わりを深め、相手を思いやる気持ちを育てたり、みんなで決まりを考え、継続的に活動できることの楽しさを感じる。
5歳児	○自分でできることの範囲を広げ、様々なことに好奇心や興味、関心を持ち、工夫しながら、意欲的に活動する。 ○友だちどうしで認めあい、自分の役割を果たそうとしたり目標に向かって取り組みやり遂げることの達成感や喜びを味わう。

- ① 子ども達にとって保育園が「第2のおうちとなるよう」一人ひとり丁寧に、その成長を見守る保育を進めた。また、コーナー保育により自らしたい遊びが直ぐでき、遊び込める空間があることで主体性や自主性、集中力を育てていった。落ち着いて遊べる室内環境を心掛け、食事や午睡は決まったところで行い、家庭的な温かい雰囲気づくりを心掛ける保育を行った。
- ② 保育士が保育園内での”お母さん”になれるよう、乳児クラスは育児担当保育を実施し、子ども達と密な信頼関係を築くことで安心して過ごしていった。相談できる関係を構築していった。
- ③ 一人ひとりの成長や生活リズムを大切にできるよう、家庭との連携をとった。特に乳幼児期はその子の一日の生活リズムに無理がないようタイムスケジュールを作成し、食事を摂ったり午睡したり毎日規則正しい生活リズムで過ごした。幼児クラスになってからも、日々同じリズムで見通しを持ちながら保護者と連絡を取り合い、夜遅くに寝ていたり、また体調がおもわしくない時は、保育内容を変えたり休息をとったりと、その子に応じた活動をした。
- ④ 幼児クラスでは、乳児の時に培った大人との信頼関係を基に、友だちの中で自分の存在をうまく発揮できるよう関わっている。また、体育指導や英会話を取り入れ、無理なく興味を持って楽しく参加できるように進めた。

- ⑤ 幼児クラスは、様々な事物に対して不思議に思ったり関心を持てるような働きかけを意識した関わりをし季節の事や動植物等、興味をもったことを五感を使って実際に感じたり、絵本や図鑑を使って調べていくという活動を進めた。
- ⑥ 年齢に応じた内容の月刊絵本を取り入れている。0・1歳児クラスは、お話絵本、2～5歳児は総合絵本を選び、ひと月楽しんで持ち帰った。
- ⑦ 3～4歳児は、ピアノの音に合わせてながら音楽やリズムで楽しく遊びながらリズム運動を実施し集中力を高める即時反応の活動を行うことで、一定の速さで拍子を保つ事や頭で考え体を使って表現することが出来るよう進めた。身体的・感覚的・知的的にもあらゆる教育を十分に吸収し大きく育つための基礎作りとなる事を目的とする。
- [

 - 体を動かすことが好きになる
 - 姿勢を保持する力が育つ
 - しなやかな体をつくる
 - 健康な体をつくっていく

]
- ⑧ 同じ年齢の中で育まれる「人と関わる力」もありますが、色々な年齢と多く関わることで、より育まれます。また、色々な人と関わるということは、色々な人がいるということを知ることになります。一人ひとりの想いを認め受け入れることが「人と関わる力」になり、ま相手の立場になる、友だちを好きになる「心」の育ちを助長できる取組みとして、異年齢保育を進めていく。

4. 給 食

給食は 株式会社魚国総本社 に業務委託し、提供している。

- 給食は、離乳食(初期食・中期食・後期食・完了食)・乳児食・幼児食・アレルギー食分類し、子どもに応じた調理によって提供をした。
- 0歳児は その子に合った離乳食を食べる。
一対一で食事をしながら食事を摂る中で、咀嚼や嚥下状態、また歯の本数や便の様子見ながら、保護者と相談して初期～中期～後期～完了期～乳児食と進めていった。
- 乳児は、生活リズムを整え担当保育士と少人数で食事をし、幼児はランチルームにて、食べるが、コロナ感染予防の為、園児が同じ方向をむき間隔を開け食事を摂った。
- 献立は、委託による栄養士により作成し、自園で調理したものを温かく食べると美味しい物は温かい状態で、冷たく食べると美味しいものは冷たい状態で提供する。
- 給食は、食育という保育の重要な一部である。給食を通し、心身の成長発達と健康の保持増進に必要な食べ物を提供すると共に、望ましい生活習慣をしつけ、栄養や

衛生の知識を与える等、重要な役割を果たすと考える。

○ 乳児クラスは朝のおやつ、全園児に給食と午睡のおやつ(手作り)を提供する。

○ 日々の給食、おやつで話しかけを行い、見た目も美味しさを味わったり食材の名前や

その栄養について話をする他、幼児クラスを中心に指導計画に基づいた食育活動を行

○ 年齢に関わらず、その子の状態に合った食事を食べる。

【食育活動】

郷土料理や世界の料理を取り入れた献立を提供し、保護者へもレシピの提供をした。

また、旬の食材を提供するとともに、子ども達にも季節の野菜を知り、その特徴を分かりやすく伝えたり、食べることで体にどのような効果があるのか知らせたりし、積極的に食に興味を持ち食べる意欲に繋がるようにする。

5. 避難訓練および消火訓練

○ 消防法に則り防火管理者の指揮の下、乳幼児の生命を守り、安全対策を行う。

○ 各種災害時に非難訓練および消火訓練を行うことにより、各々の状態で臨機黄変に判断し、避難誘導等の適切な対応が出来るようにする。

(避難訓練等実施状況)

実施月	訓練内容	消防署立合	消防署届出	その他
4	火災	無	無	地震
5	火災	無	無	地震
6	火災 (消防避難訓練)	有	有	研修 (阿倍野防災センター)
7	地震・火災	無	無	台風対応
8	火災	無	無	プール中での地震
9	火災	無	無	大阪880万人訓練
10	火災	無	無	ミサイル攻撃
11	火災	無	無	津波、実際に保護者の方に引き渡す
12	火災	有	有	不審者対応
1	火災	無	無	
2	火災	無	無	
3	火災	無	無	

6. 職員研修

保育教諭等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。保育教諭等に求められる人間性と専門性について、次の3つの視点を挙げる。

- (1) 子どもたちの育ちを援助する力を身に付ける。保育教諭等の意図を優先し、子ども達に対して、一方的に自分自身の考えを押し付けたり、働きかけたりするのではなく、保育の心は、子どもが主体であるという認識のもと、子どもの思い（心に寄り添うこと）を感じ取ることが大切である。援助の方法は、子ども一人ひとりの状態や状況によって違う。常に、その時々保育教諭等は、子ども自身が自ら、自分の課題を乗り越えていくことの出来るよう、援助を行うことが必要だと考える。
- (2) 保育教諭等が豊かな人間性を身に付ける。子どもの理解や受容は決して一方的なものではなく、保育教諭等の心と子どもの心の相互的な営みであると考え。子どもの気持ちを受け止めようと、保育教諭等が一人の人間として、子どもと関わる時、子どもたちは、それを感じ取り、心を開き、自分らしさを表現する。この関係こそが、互いの信頼関係を生み出す基盤となると考える。
- (3) モデルとしての保育教諭等が自覚しなければならないことは、自分の持つ文化や価値観の枠組みを、保育の場において、意図的、または無意識のうちに、子どもに示しているということである。その時、常に保育教諭等は、この枠組みや価値観を絶対視することなく、いつも柔軟な姿勢で見直し続ける必要があると考える。
 子どもに自分の価値観を押し付けるのではなく、子ども自身が主体的に努められるよう、職員自身の資質と職務能力を高め、乳幼児保育の向上を自身で目指すべく、入外研修を乗り越えたり、日々の研修を実施したりしていく必要があると考える。

○ 園外研修

キャリアアップのための各種研修会にZoomにて参加をした。

○ 公開保育

ゆめの樹保育園保育・白鷺保育園・末次保育園・連携施設（3園所）での保育を見学させていた

7. 年間行事報告

4月	入園式 進級式 こどもの日の集い
5月	交通安全指導
6月	園外保育 保育（参加）参観 プール開き 歯科検診 内科検診
7月	たなばたの集い プール参観 特別保育（5歳児のみ）
8月	
9月	あきまつり 交通安全指導
10月	おやこであそぼうかい（0～2歳児） 交通安全指導
11月	運動会（3～5歳児） 親子遠足

12月	音楽会 おもちつき クリスマス会			
1月	たこあげ会			
2月	節分豆まき会 生活発表会			
3月	おわかれ会 お別れ遠足（5歳児のみ） 卒園式			
毎月	○ 避難訓練 ○ 英語教室	○ 身体測定 ○ 絵画教室	○ 食育活動 ○ リズム運動	○ 体育教室 ○ 異年齢交流

8. 要支援園児への対応

- ・特別な配慮が必要な子どもの受入れについての配慮をし、積極的に受け入れる。
- ・気になる園児に対し、関係機関と密に連絡を取り合い、情報共有を図った。
- ・子ども中央相談センターの方とも情報共有しながら要保護園児の対応を行った。
- ・加配の必要な園児や気になる園児への保護者との定期的な面談を行い、支援の方法を共有を行う。

9. 小学校との円滑な接続

本園での教育・保育が小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることに考慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにする。

また、園児の発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校教育への円滑な接続に向け地元小学校（三軒家西小学校）の児童との交流や、近隣の施設（公立）大浪保育所・（公立）三軒家西幼稚園との交流を重ねる。

さらに修了児の就学先小学校教諭との意見交換や情報交換の機会を設け、連携を通じ質の向上を図ってきた。

就学を控えた年長クラスの保護者の方々も、子どもと同じように不安をお持ちであったが、交流があることに安心をいだかれてるようだった

令和 5 年度

特別養護老人ホーム プライムガーデنز高円寺

事業報告書

【特別養護老人ホーム】

【短期入所生活介護】

【高円寺わくわく保育園】

特別養護老人ホーム プライムガーデンズ高円寺

令和5年度事業報告書

【総括】

開設から4年目を迎える中、入居者が昨年84名で満床となりましたが、年度後半より入院者が増加し併せて帰設に至らず他の医療機関への転院が増えたことで、年度末での入所率が84.5%にまで落ち込む結果となりました。新規入居者の申込を増やすべく改善を図っております。

新型コロナウイルスが5月に5類相当に引き下げられましたが、コロナウイルス感染症の発症が、9月14日ショートステイにて2名発症し、その後違うフロア4階7名、3階にて3名陽性者が発生し、それぞれ医師及び保健所へ連絡し、処方薬で施設内対応を行いました。10月2日に終息をしております。新規入居者への抗原検査はひきつづき行いながら、家族面会についてはガラス越しから1階エントランスでの面会ができるよう移行しておりますが、マスク着用、手洗いの徹底含め引き続き感染症の徹底を図っております。

職員の採用に関しては以前より介護、看護、保育共に難しい状況ではありますが、外国人職員のユニットリーダー職への昇格含め、新規採用により職員確保を引き続き進めてまいります。

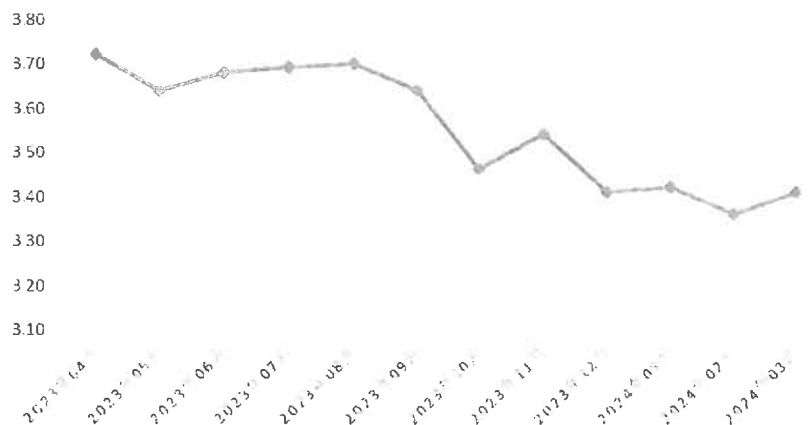
【入居者の状況】

平均年齢 全体 88歳（男性85歳、女性88歳） 最高年齢 101歳
最高年齢 男性96歳 女性102歳
最低年齢 男性71歳 女性63歳

① 【平均介護度】

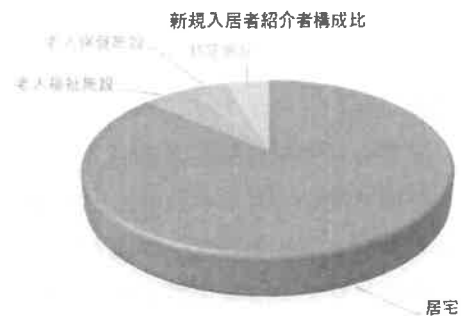
	平均介護度
2023年04月	3.72
2023年05月	3.64
2023年06月	3.68
2023年07月	3.69
2023年08月	3.70
2023年09月	3.64
2023年10月	3.46
2023年11月	3.54
2023年12月	3.41
2024年01月	3.42
2024年02月	3.36
2024年03月	3.41
合 計	3.56

平均介護度推移（2023/04/01～2024/03/31）



② 【新規入居者数】

	居宅	老人福祉施設	老人保健施設	特定施設	合計
2023年4月	3				3
2023年5月	1				1
2023年6月	1		1	1	3
2023年7月	3				3
2023年8月	1				1
2023年9月	1				1
2023年10月	2	1			3
2023年11月	1				1
2023年12月	2				2
2024年1月	2				2
2024年2月	1				1
2024年3月	1				1
合 計	19	1	1	1	22

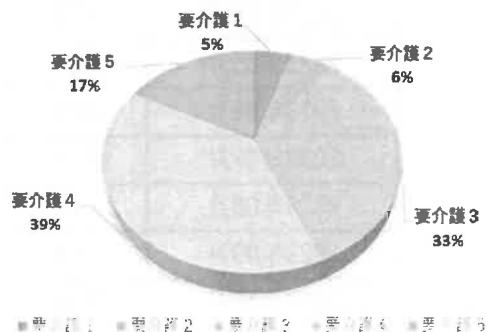


③ 【延べ人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2023年04月	60	90	792	968	462	2,372
2023年05月	93	93	822	1,000	461	2,469
2023年06月	120	90	803	953	376	2,342
2023年07月	124	89	834	1,035	403	2,485
2023年08月	124	93	761	1,051	443	2,472
2023年09月	120	114	719	985	383	2,321
2023年10月	124	133	828	893	372	2,350
2023年11月	98	129	787	830	390	2,234
2023年12月	124	155	786	882	402	2,349
2024年01月	124	155	732	817	386	2,214
2024年02月	119	203	660	684	346	2,012
2024年03月	133	231	669	774	341	2,148
合 計	1,363	1,575	9,193	10,872	4,765	27,768



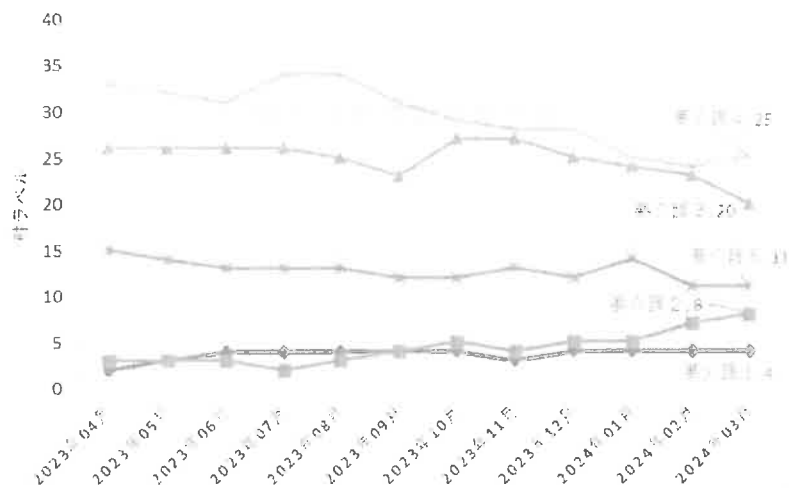
年間要介護度別延べ人数構成比



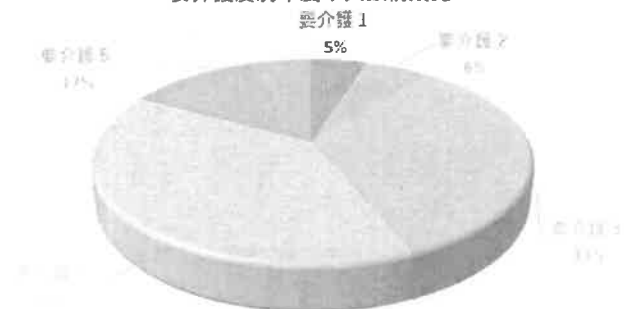
④ 【月末人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2023年04月	2	3	26	33	15	79
2023年05月	3	3	26	32	14	78
2023年06月	4	3	26	31	13	77
2023年07月	4	2	26	34	13	79
2023年08月	4	3	25	34	13	79
2023年09月	4	4	23	31	12	74
2023年10月	4	5	27	29	12	77
2023年11月	3	4	27	28	13	75
2023年12月	4	5	25	28	12	74
2024年01月	4	5	24	25	14	72
2024年02月	4	7	23	24	11	69
2024年03月	4	8	20	25	11	68
合 計	44	52	298	354	153	901

要介護度別月末人数推移



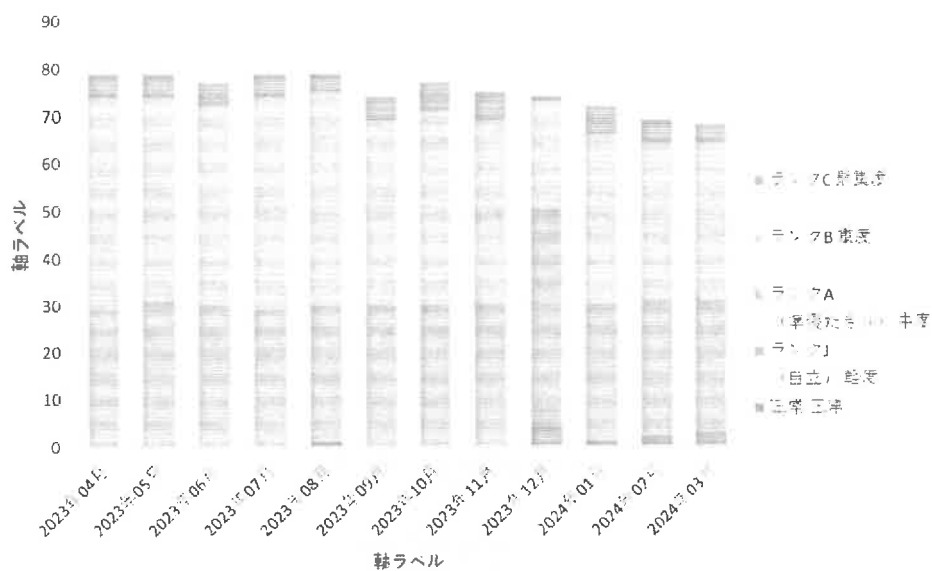
要介護度別年度末人数構成比



⑤ 【寝たきり度基準】

	正常	ランクJ (自立)	ランクA (準寝たきり)	ランクB	ランクC	合計
	正常	軽度	中度	重度	最重度	
2023年04月	0	0	29	45	5	79
2023年05月	0	0	31	43	5	79
2023年06月	0	0	30	42	5	77
2023年07月	0	0	29	45	5	79
2023年08月	1	0	29	45	4	79
2023年09月	0	0	30	39	5	74
2023年10月	0	0	30	41	6	77
2023年11月	0	0	30	39	6	75
2023年12月	4	4	42	23	1	74
2024年01月	1	0	29	36	6	72
2024年02月	2	0	29	33	5	69
2024年03月	3	0	28	33	4	68

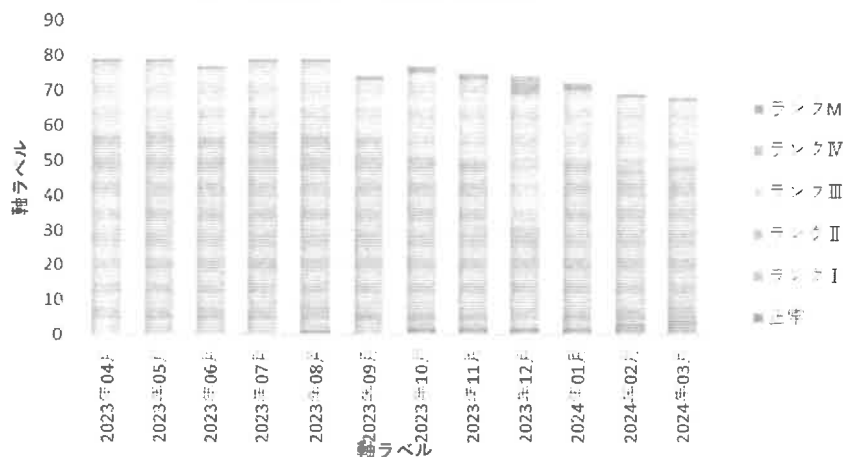
寝たきり度基準別人数



⑥ 【認知症高齢者の生活自立度】

	正常	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	合計
2023年04月	0	7	50	21	1	0	79
2023年05月	0	7	51	20	1	0	79
2023年06月	0	7	49	20	1	0	77
2023年07月	0	7	51	20	1	0	79
2023年08月	1	7	49	21	1	0	79
2023年09月	0	6	50	17	1	0	74
2023年10月	2	4	45	24	2	0	77
2023年11月	2	4	43	24	2	0	75
2023年12月	2	0	29	38	5	0	74
2024年01月	2	4	43	21	2	0	72
2024年02月	3	4	40	21	1	0	69
2024年03月	4	4	40	19	1	0	68

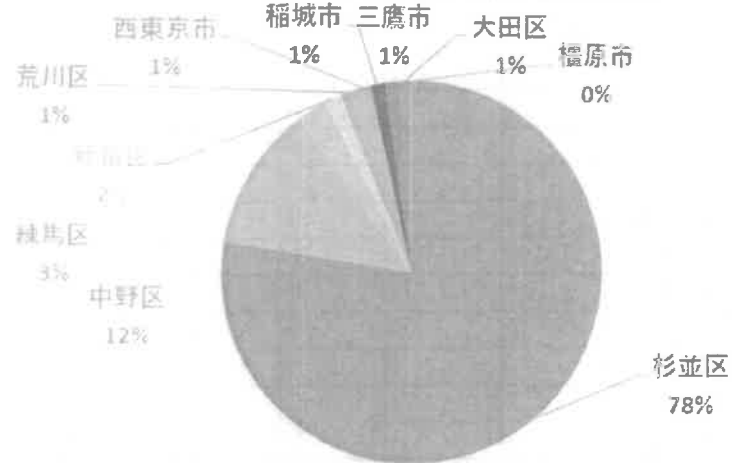
認知症高齢者の生活自立度推移



⑦ 【保険者別利用件数】

	杉並区	中野区	練馬区	荒川区	三鷹市	西東京市	新宿区	大田区	稲城市	檜原市	合計
2023年04月	62	10	2	1	1	1	1	1			79
2023年05月	60	10	2	1	1	1	1	1	1		78
2023年06月	59	10	2	1	1	1	1	1	1		77
2023年07月	60	11	2	1	1	1	1	1	1		79
2023年08月	60	11	2	1	1	1	1	1	1		79
2023年09月	58	8	2	1	1	1	1	1	1		74
2023年10月	58	9	2	1	1	1	2	1	1	1	77
2023年11月	57	10	2	1	1	1	1	1	1		75
2023年12月	59	8	2	1	1	1	1		1		74
2024年01月	57	8	2	1	1	1	1		1		72
2024年02月	55	7	2	1	1	1	1		1		69
2024年03月	54	8	1	1		1	1		1	1	68
合 計	699	110	23	12	11	12	13	8	11	2	901

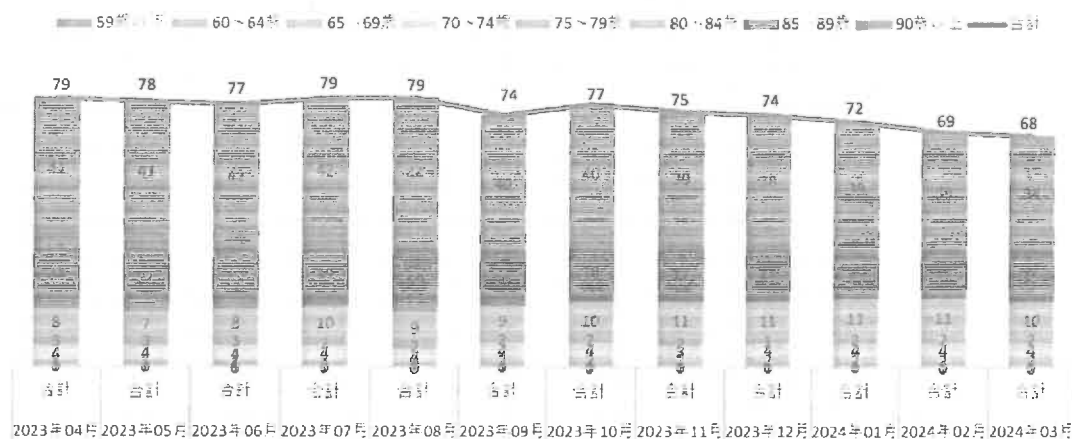
保険者地区別利用件数構成比



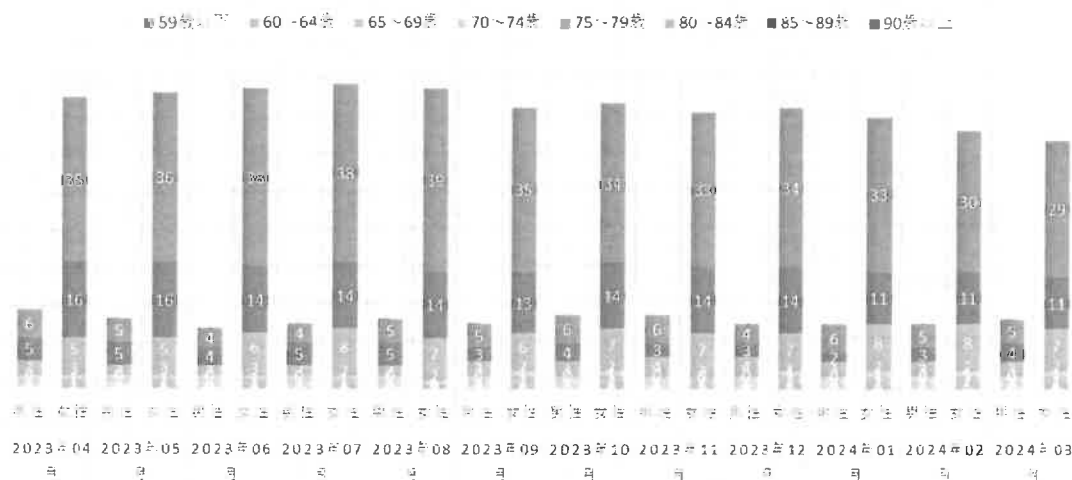
【年齢別月末人数】

		59歳以下	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	合計
2023年04月	男性	0	0	0	3	0	3	5	6	17
	女性		1	1	1	3	5	16	35	62
	合計	0	1	1	4	3	8	21	41	79
2023年05月	男性	0	0	0	3	0	2	5	5	15
	女性	0	1	1	1	3	5	16	36	63
	合計	0	1	1	4	3	7	21	41	78
2023年06月	男性	0	0	0	3	0	2	4	4	13
	女性	0	1	1	1	3	6	14	38	64
	合計	0	1	1	4	3	8	18	42	77
2023年07月	男性	0	0	0	3	0	2	5	4	14
	女性	0	1	1	1	2	8	14	38	65
	合計	0	1	1	4	2	10	19	42	79
2023年08月	男性	0	0	0	3	0	2	5	5	15
	女性	0	1	0	1	2	7	14	39	64
	合計	0	1	0	4	2	9	19	44	79
2023年09月	男性	0	0	0	3	0	3	3	5	14
	女性	0	1	2	1	2	6	13	35	60
	合計	0	1	2	4	2	9	16	40	74
2023年10月	男性	0	0	0	3	0	3	4	6	16
	女性	0	1	2	1	2	7	14	34	61
	合計	0	1	2	4	2	10	18	40	77
2023年11月	男性	0	0	0	3	0	4	3	6	16
	女性	0	1	2	0	2	7	14	33	59
	合計	0	1	2	3	2	11	17	39	75
2023年12月	男性	0	0	0	3	0	4	3	4	14
	女性	0	1	2	1	1	7	14	34	60
	合計	0	1	2	4	1	11	17	38	74
2024年01月	男性	0	0	0	3	0	3	2	6	14
	女性	0	1	2	1	2	8	11	33	58
	合計	0	1	2	4	2	11	13	39	72
2024年02月	男性	0	0	0	3	0	3	3	5	14
	女性	0	1	2	1	2	8	11	30	55
	合計	0	1	2	4	2	11	14	35	69
2024年03月	男性	0	0	0	3	0	3	4	5	15
	女性	0	1	2	1	2	7	11	29	53
	合計	0	1	2	4	2	10	15	34	68

年齢別月末人数推移



年齢別月末人数推移

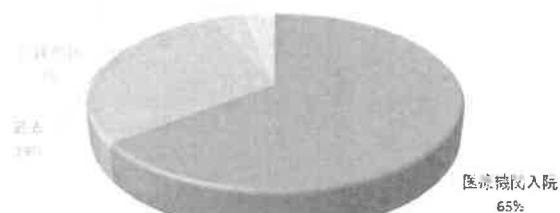


⑧ 【退去者状況】

月間退所者原因別

	逝去	医療機関入院	介護施設	その他	合計
2023年04月		1			1
2023年05月		3			3
2023年06月		2		1	3
2023年07月	1	1			2
2023年08月	1				1
2023年09月	2	1			3
2023年10月		4			4
2023年11月		2			2
2023年12月					0
2024年01月	1	3			4
2024年02月	2	2			4
2024年03月	2	1	1		4
合 計	9	20	1	1	31

退所者原因別構成比

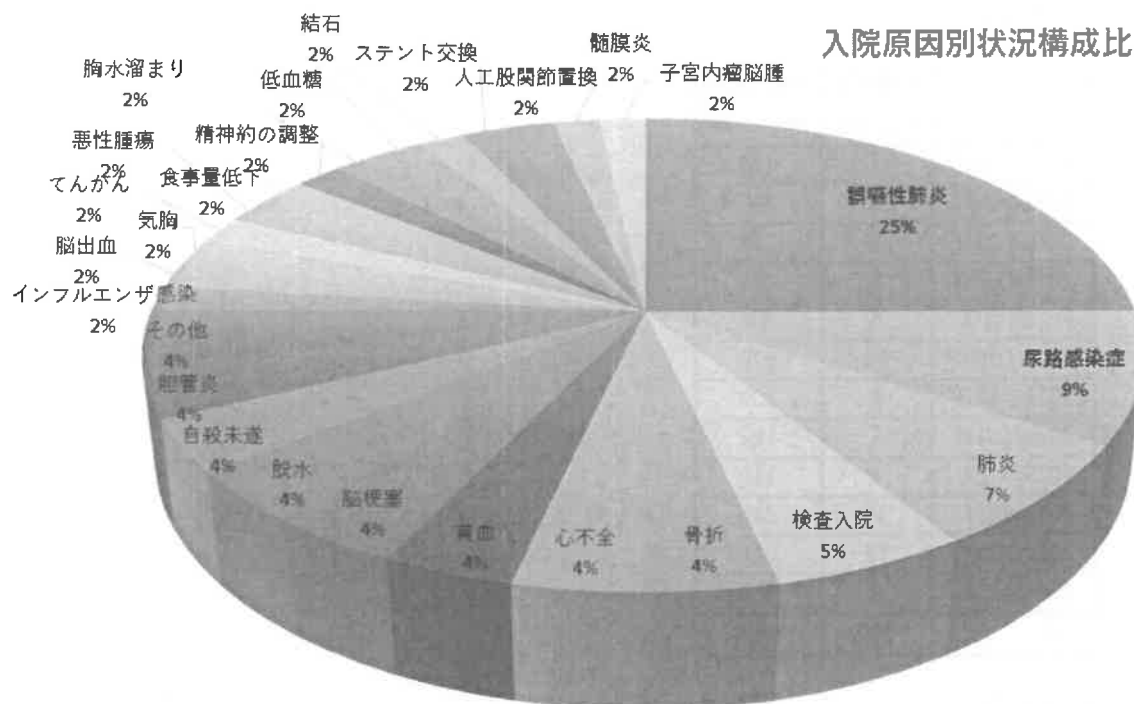


【入院の状況】

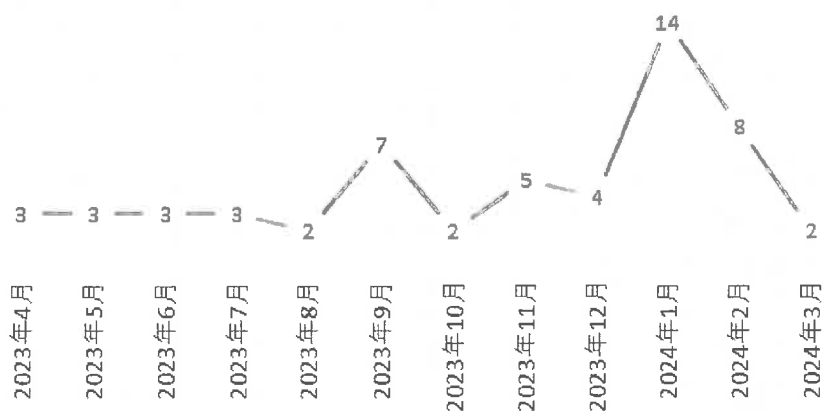
	月間入院 等実人数	月間入院等 延べ人数
2023年04月	9	125
2023年05月	6	97
2023年06月	6	119
2023年07月	7	67
2023年08月	6	83
2023年09月	10	113
2023年10月	8	109
2023年11月	7	112
2023年12月	7	116
2024年01月	15	210
2024年02月	12	214
2024年03月	9	102
合 計	102	1,467

【入院の内容】

	2023年4	2023年5	2023年6	2023年7	2023年8	2023年9	2023年10	2023年11	2023年12	2024年1	2024年2	2024年3	合 計
誤嚥性肺炎	1	3	2			1	1	1		3	2		14
尿路感染症						1		1	1	2			5
肺炎					1					2	1		4
検査入院				1						1	1		3
骨折				1				1					2
心不全					1					1			2
貧血										1		1	2
脳梗塞						1				1			2
脱水						1				1			2
自殺未遂			1					1					2
胆管炎											2		2
その他											1	1	2
インフルエンザ感染									1				1
脳出血										1			1
気胸										1			1
てんかん									1				1
悪性腫瘍	1												1
食事量低下	1												1
精神約の調整				1									1
胸水溜まり						1							1
低血糖						1							1
結石						1							1
ステント交換							1						1
人工股関節置換								1					1
髄膜炎									1				1
子宮内瘤脳腫											1		1
合計	3	3	3	3	2	7	2	5	4	14	8	2	56

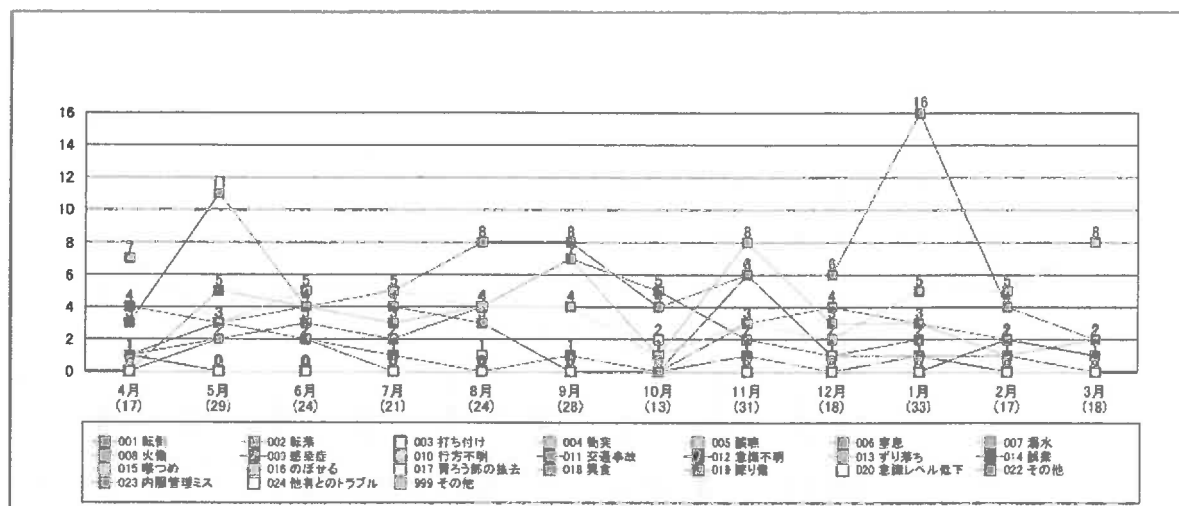


月別入院者数推移

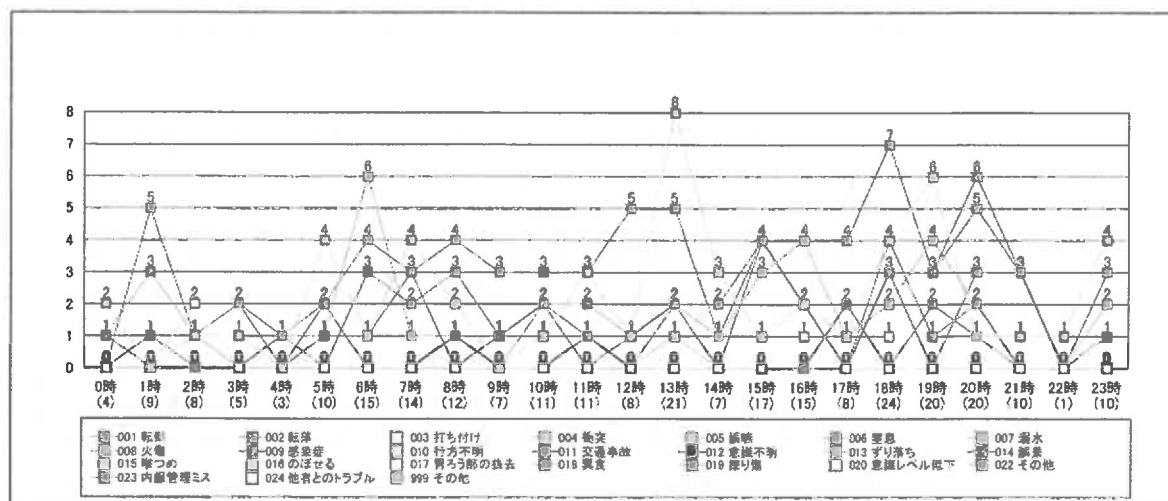


【事故報告について】

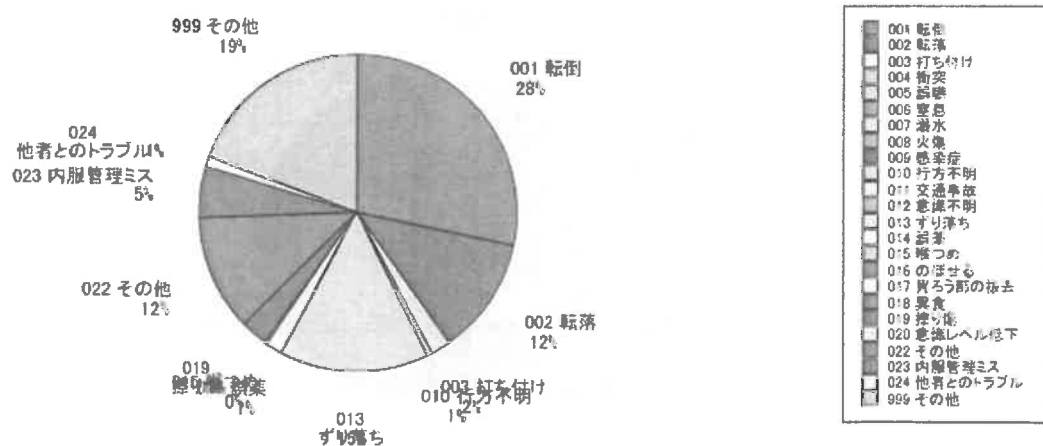
【事故発生形態別推移】



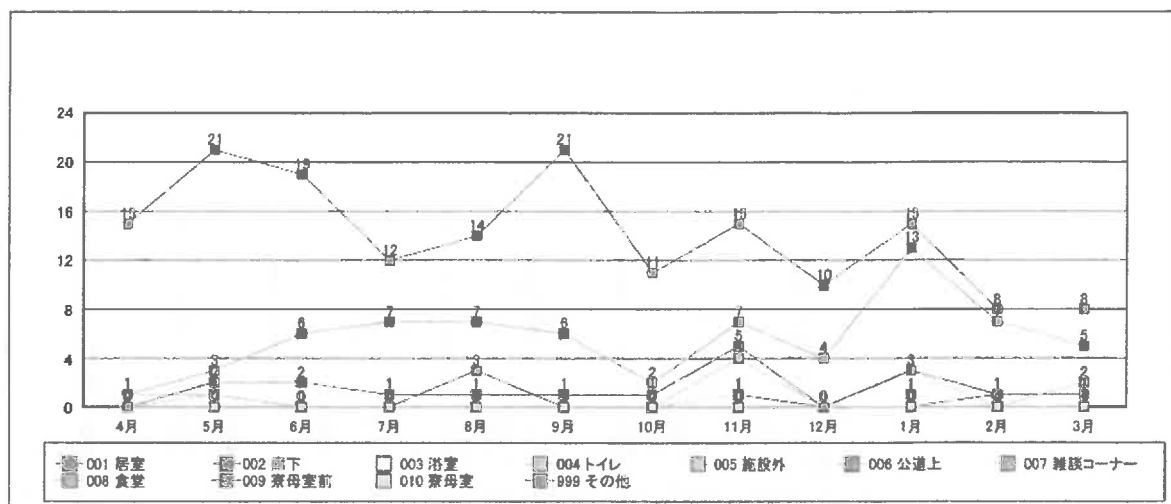
【事故発生形態時間別発生件数】



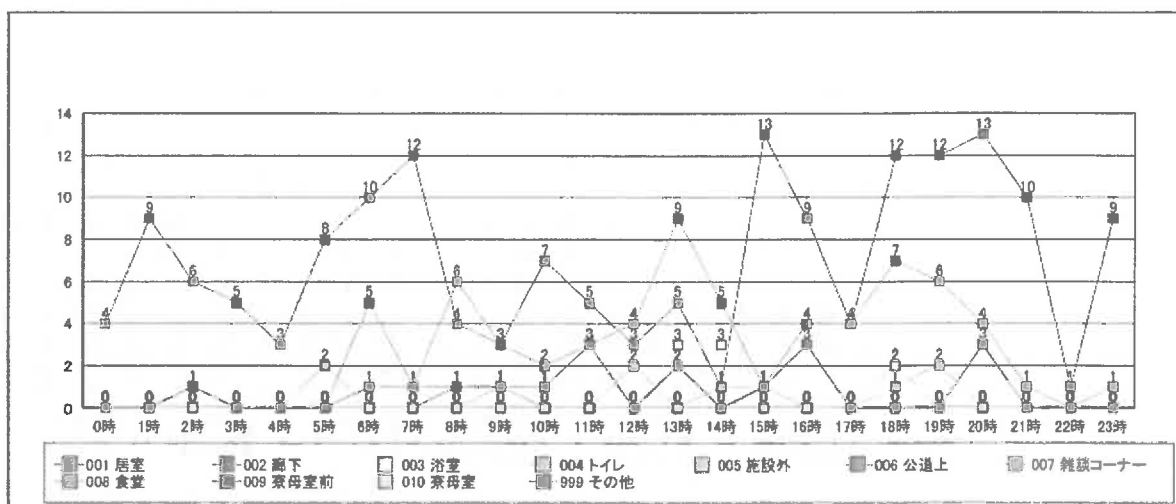
【事故発生形態別構成】



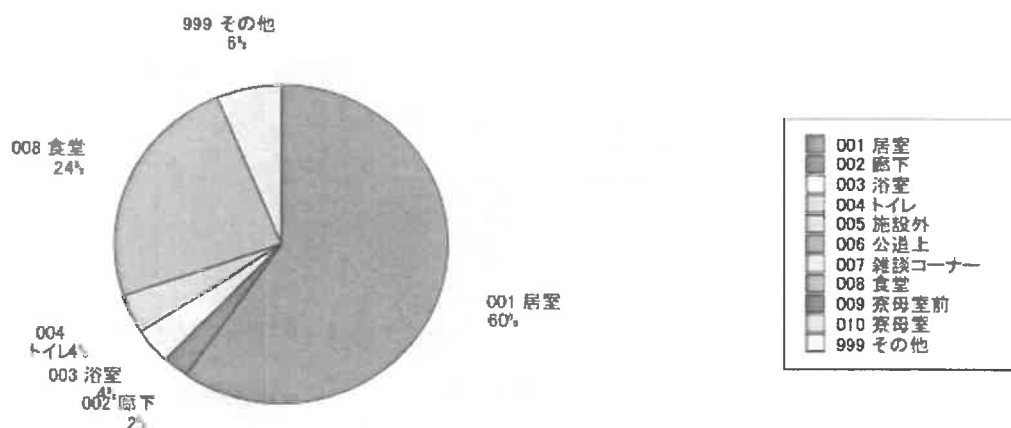
【事故発生場所件数】



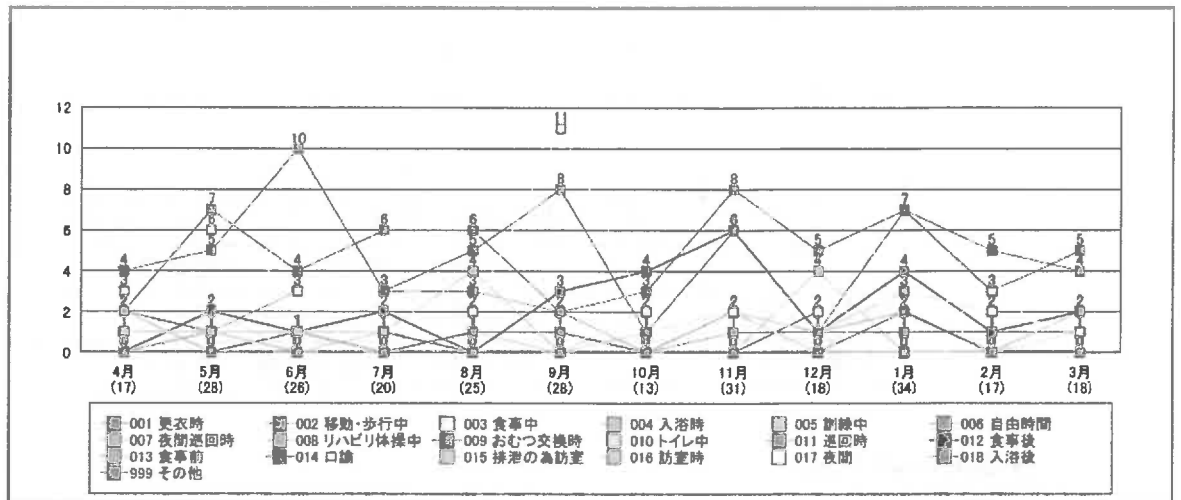
【事故発生場所時間帯別発生件数】



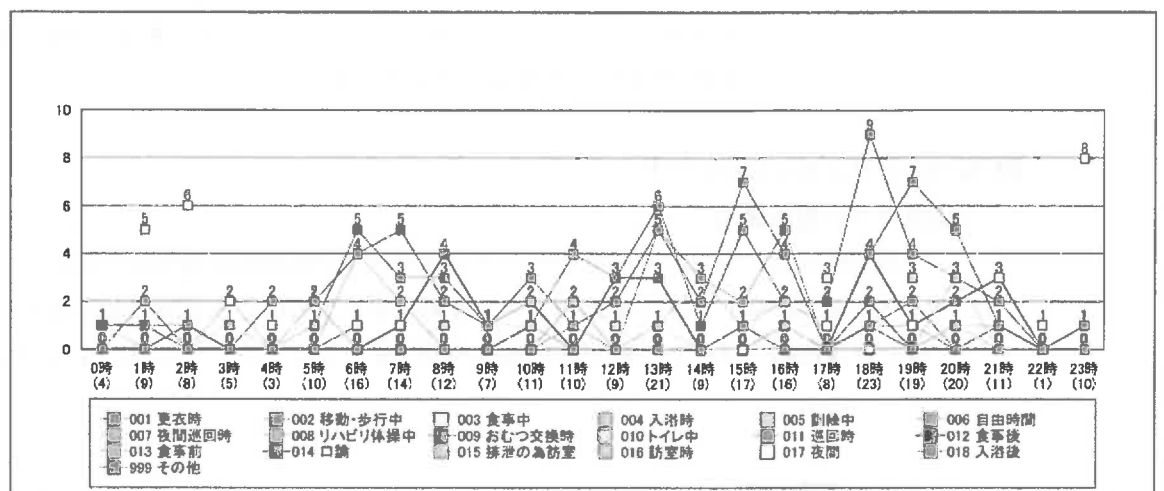
【事故発生場所別構成比】



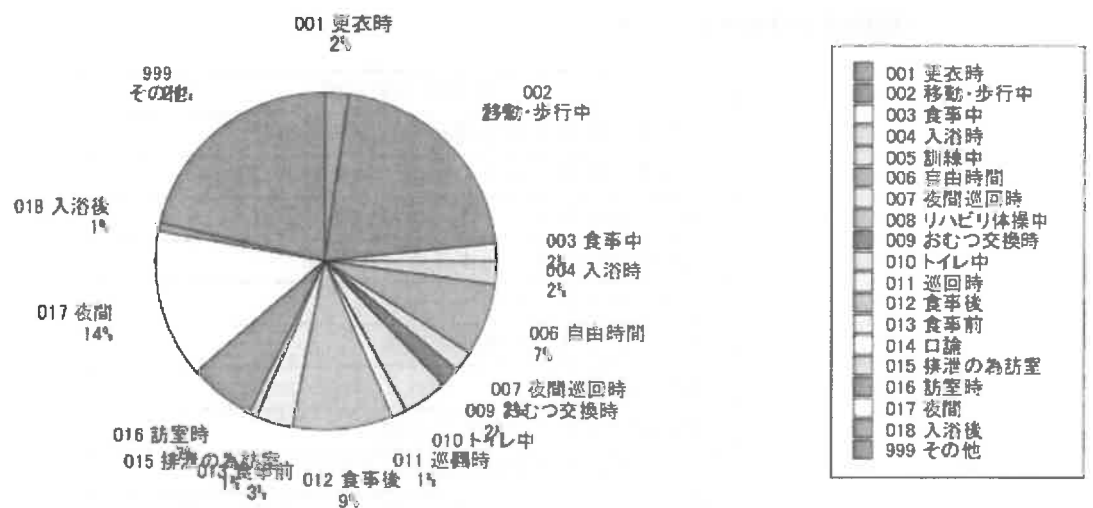
【事故発生場面別発生状況】



【事故発生場面別推移】



【事故発生場面別構成】



【職員研修について】

・新任研修

入職時には個別にオリエンテーションを実施し、職員手帳に添って法人理念や施設の方針、介護についての基本方針などの説明を実施。

介護の基本となる事項を中心として入職1ヶ月目から3ヶ月目まで実施。

	内 容
入職月	介護の仕事の基本・尊厳とプライバシー・接遇マナー
	身体拘束・虐待防止・法令遵守
入職2か月目	新人研修「介護の仕事の基本」
入職3か月目	新人研修「介護の仕事の基本」

【外国人の採用状況】

・今年度採用人数 特定技能 6名 特定活動 3名

2023年3月末現在籍数21名（内・介護福祉士 6名）

ベトナム：5名、ミャンマー：6人、モンゴル：8名、中国：2名

2023年1月 介護福祉士2名合格

【新型コロナウイルスについて】

・新型コロナ感染状況

感染経路については不明ですが、コロナウイルス感染症の発症が、9月14日ショートステイにて2名発症し、その後違うフロア4階7名、3階にて3名陽性者が発生し、それぞれ医師及び保健所へ連絡し、処方薬で施設内対応を行いました。10月2日に終息をしております。

・ワクチン接種実施状況

6回目	2023/9/20～2023/10/25
-----	----------------------

・感染症予防対策について

感染症予防対策
・入居者、職員の手指消毒、うがいの徹底
・入居者、職員の毎日の検温・体調管理の徹底
・来客・業者等への検温・手指消毒の徹底
・感染症予防対策啓発ポスターの掲示
・食堂でのアクリルボード設置
・館内のアルコール消毒の実施
・換気の徹底
・家族面会はガラス越しでの対応
・ショートステイ新規入居者への抗原検査実施
・体調不良（入居者・職員）者への抗原検査の実施

令和4年度事業報告書

【総括】

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に5月より変更となり、終息に向かうかと考えていましたが、9月中旬にショートステイにて2名の陽性者が発生し、他の3階4階フロアにても陽性者が発生する事態となり、ショートステイ利用者が再度減少する状況になりました。感染者が落ち着いてからは当施設を気に入って定期的に利用してくださる利用者の方も徐々に増えてきており、そのような方はコロナが発生したとしても引き続き利用して下さいました。

特養入居者の減少に伴い、ショートステイの入居者の空室利用も積極的に推進し、ロングショートステイの確保に努めました。

【新型コロナウイルス等感染対策】

- ・新規利用者様については利用時に抗原検査の実施
- ・複数回利用していただいている利用者様については利用前体温・体調変化記録の提示願い
- ・マスク着用の促しと手洗い・手指消毒の励行
- ・座席の配置の工夫とアクリルボードの設置
- ・換気の実施

【営業活動について】

- ・新型コロナウイルスコロナ禍でもあり、直接訪問は難しい状況ではありましたが、近隣の居宅介護支援事業所、病院の地域連携室、老人保健施設への電話と郵送にて営業活動の実施
- ・担当ケアマネとの連絡を密に取り合い、信頼関係の構築を図りました

【ケアの充実・リピーターの獲得・業務の見直しについて】

- ・接遇（挨拶・言葉づかいなど）の見直しを実施
- ・入居時の持ち物チェック方法と退去時の忘れ物がないかチェック方法の見直しを行いました。
- ・送迎時の安全な運行ができるように、送迎ルートの見直しや車内での健康状態の確認の実施を行いました

【柔軟な対応の実施】

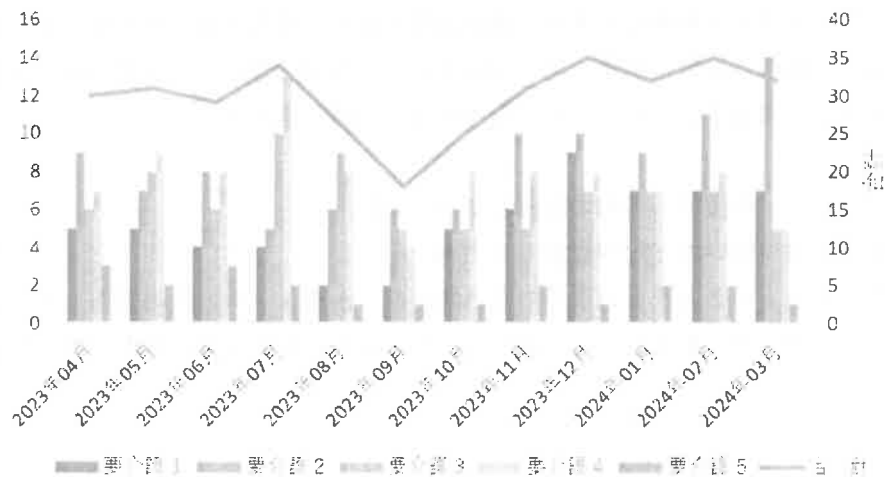
- ・緊急ショートを受け入れについて可能な限り受入対応いたしました。
- ・ご家族の都合による入退居時間の変更に対するできる限り希望を受け入れるように対応しました
- ・利用者・家族等による入居日の変更、利用日数の短縮や延長にも柔軟に対応いたしました。

I。ショートステイ

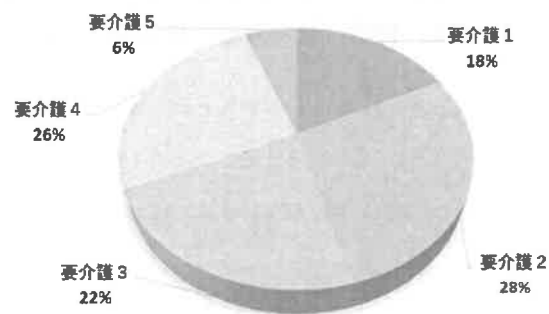
① 【利用実人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
2023年04月	5	9	6	7	3	30
2023年05月	5	7	8	9	2	31
2023年06月	4	8	6	8	3	29
2023年07月	4	5	10	13	2	34
2023年08月	2	6	9	8	1	26
2023年09月	2	6	5	4	1	18
2023年10月	5	6	5	8	1	25
2023年11月	6	10	5	8	2	31
2023年12月	9	10	7	8	1	35
2024年01月	7	9	7	7	2	32
2024年02月	7	11	7	8	2	35
2024年03月	7	14	5	5	1	32
合 計	63	101	80	93	21	358

月別利用人数推移



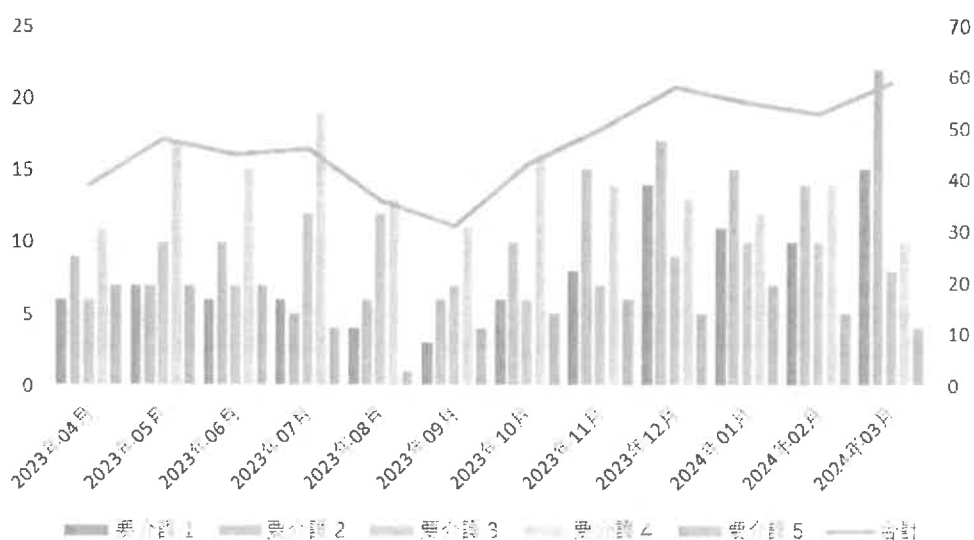
利用実人数要介護度別構成比



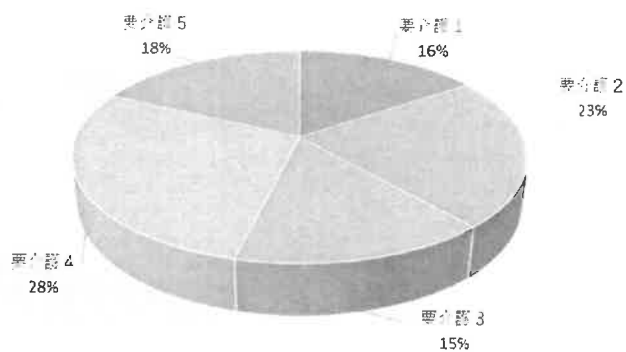
② 【利用件数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2023年04月	6	9	6	11	7	39
2023年05月	7	7	10	17	7	48
2023年06月	6	10	7	15	7	45
2023年07月	6	5	12	19	4	46
2023年08月	4	6	12	13	1	36
2023年09月	3	6	7	11	4	31
2023年10月	6	10	6	16	5	43
2023年11月	8	15	7	14	6	50
2023年12月	14	17	9	13	5	58
2024年01月	11	15	10	12	7	55
2024年02月	10	14	10	14	5	53
2024年03月	15	22	8	10	4	59
合 計	96	136	104	165	62	563

グラフ タイトル



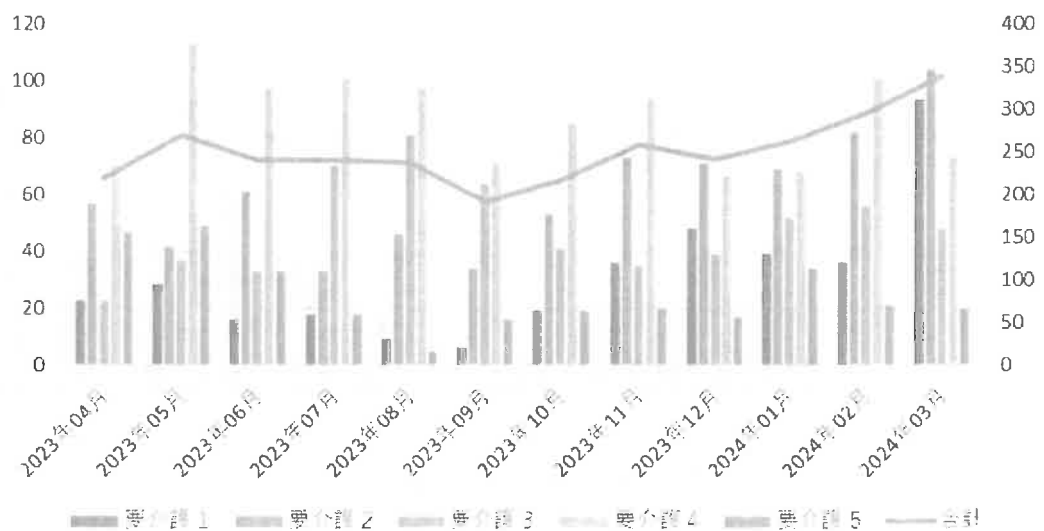
利用件数介護度別構成比



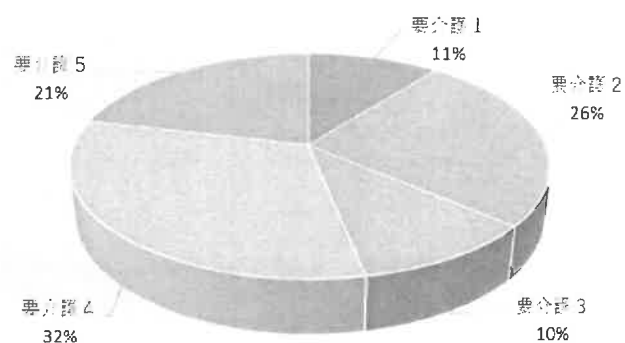
③ 【延べ日数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2023年04月	23	57	23	70	47	220
2023年05月	28	42	37	113	49	269
2023年06月	16	61	33	97	33	240
2023年07月	18	33	70	101	18	240
2023年08月	9	46	81	97	5	238
2023年09月	6	34	64	71	16	191
2023年10月	19	53	41	85	19	217
2023年11月	36	73	35	94	20	258
2023年12月	48	71	39	67	17	242
2024年01月	39	69	52	68	34	262
2024年02月	36	82	56	101	21	296
2024年03月	93	104	48	73	20	338
合 計	371	725	579	1037	299	3,011

介護度別延べ人数推移

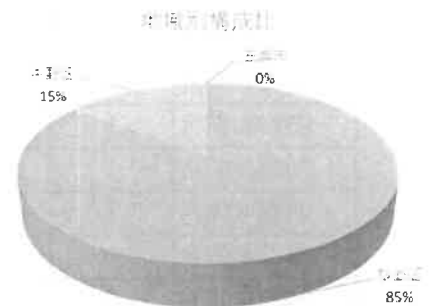


延べ人数介護度別構成比



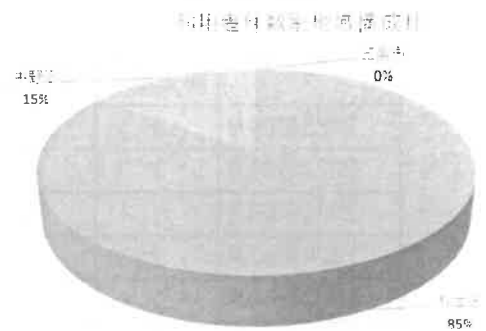
④ 【保険者別実人数】

	杉並区	中野区	三鷹市	合計
2023年04月	36	3		39
2023年05月	28	3		31
2023年06月	26	3		29
2023年07月	31	2	1	34
2023年08月	22	4		26
2023年09月	15	3		18
2023年10月	19	6		25
2023年11月	25	6		31
2023年12月	28	7		35
2024年01月	27	5		32
2024年02月	30	5		35
2024年03月	25	7		32
合 計	312	54	1	367



⑤ 【保険者別利用件数】

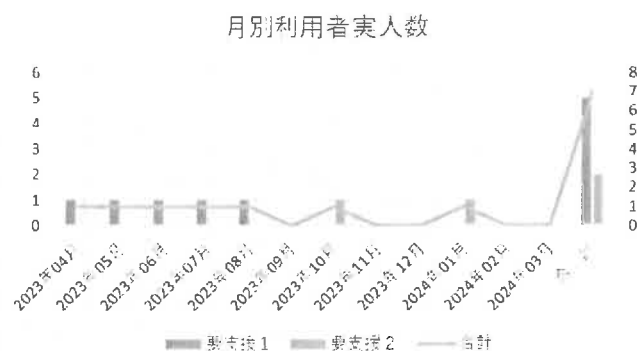
	杉並区	中野区	三鷹市	合計
2023年04月	36	3		39
2023年05月	43	5		48
2023年06月	39	6		45
2023年07月	41	4	1	46
2023年08月	31	5		36
2023年09月	26	5		31
2023年10月	32	11		43
2023年11月	41	9		50
2023年12月	47	11		58
2024年01月	47	8		55
2024年02月	47	6		53
2024年03月	49	10		59
合 計	479	83	1	563



Ⅱ。介護予防短期入所サービス

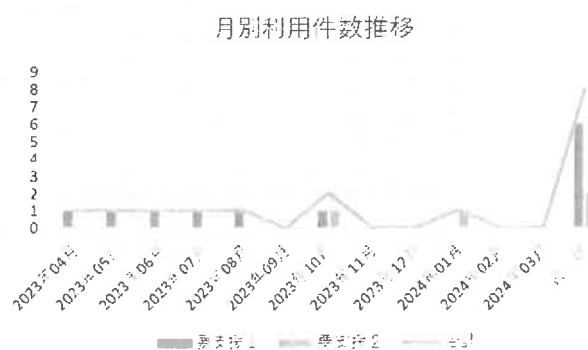
① 【利用実人数】

	要支援 1	要支援 2	合計
2023年04月	1	0	1
2023年05月	1	0	1
2023年06月	1	0	1
2023年07月	1	0	1
2023年08月	1	0	1
2023年09月	0	0	0
2023年10月	0	1	1
2023年11月	0	0	0
2023年12月	0	0	0
2024年01月	0	1	1
2024年02月	0	0	0
2024年03月	0	0	0
合 計	5	2	7



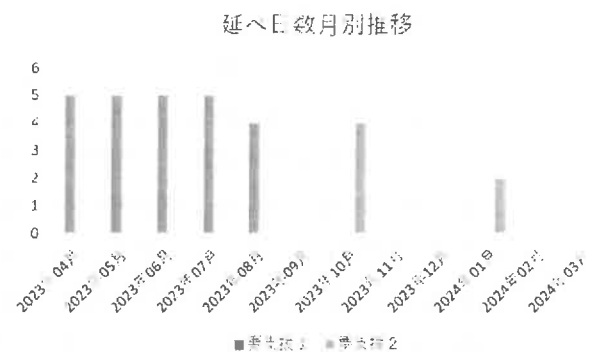
② 【利用件数】

	要支援 1	要支援 2	合計
2023年04月	1	0	1
2023年05月	1	0	1
2023年06月	1	0	1
2023年07月	1	0	1
2023年08月	1	0	1
2023年09月	0	0	0
2023年10月	1	1	2
2023年11月	0	0	0
2023年12月	0	0	0
2024年01月	0	1	1
2024年02月	0	0	0
2024年03月	0	0	0
合 計	6	2	8



③ 【延べ日数】

	要支援 1	要支援 2	合計
2023年04月	5	0	5
2023年05月	5	0	5
2023年06月	5	0	5
2023年07月	5	0	5
2023年08月	4	0	4
2023年09月	0	0	0
2023年10月	0	4	4
2023年11月	0	0	0
2023年12月	0	0	0
2024年01月	0	2	2
2024年02月	0	0	0
2024年03月	0	0	0
合 計	24	6	30



④ 【保険者別実人数】

	杉並区	合計
2023年04月	1	1
2023年05月	1	1
2023年06月	1	1
2023年07月	1	1
2023年08月	1	1
2023年09月	0	0
2023年10月	1	1
2023年11月	0	0
2023年12月	0	0
2024年01月	1	1
2024年02月	0	0
2024年03月	0	0
合 計	7	7

⑤ 【利用者件数】

	杉並区	合計
2023年04月	1	1
2023年05月	1	1
2023年06月	1	1
2023年07月	1	1
2023年08月	1	1
2023年09月	0	0
2023年10月	1	1
2023年11月	0	0
2023年12月	0	0
2024年01月	1	1
2024年02月	0	0
2024年03月	0	0
合 計	7	7

事業所内保育所 高円寺わくわく保育園

令和 5 年度事業報告書

【総 括】

令和 3 年 7 月から開園し、当初は従業員枠のみでの開園予定でしたが、児童育成協会及び杉並区と相談の上、地域枠も加えることとしました。その後近隣の住宅地や企業へのパンフレット配布等の営業活動を実施。地域枠は少しずつ入園者も増えてきましたが、従業員枠としての入園希望者が増えない為、厨房業者や提携医院との共同利用契約を 4 社で締結し、昨年 1 月に一般企業との接触を深めるため企業とのマッチング会に参加し、当園のアピールを図りました。その結果年度末に企業枠 3 名、地域枠 4 名まで園児も増えてきましたが、令和 6 年 4 月から 4 名が認可保育園へ転園する予定となっております。令和 6 年 8 月には従業員子息の入園予定となっておりますが、共同利用での園児獲得の為アピールを強化していきます。

新型コロナが 5 月に 5 類相当に引き下げられましたが、手洗い、換気等感染対策には引き続き十分注意しながら運営していきます。

特養との世代間交流や地域との交流については、コロナ禍ということもありなかなか実施できずに終わりました。

【保育の質の向上と保育環境の整備】

- ・それぞれの子どもに適した保育の実施
 - ・0 歳児、1 歳児、2 歳児とそれぞれの児童に、規則正しい生活リズムを身に付けられるプログラムの提供、3 歳児には遊びを通して学びの時間を提供。
 - ・午前中は天候が良ければ屋外活動(近隣公園へのお出かけ)し、天候が悪い場合は屋内の 6 階地域交流スペースやベランダへ行きできるだけ体を動かせる方法をとりました。
- 又、午後からは机上遊びなどを行い、メリハリのある生活ができるようにしました。

【世代間交流と異年齢保育の実施】

- ・コロナ禍の為、入居者との交流を持つ機会がありませんでした。

【保育職員人財確保について】

- ・現状、介護職員のお子さんをお預かりした実績はありませんでしたが、介護職員との関わりを大切にして、安心して預けられる環境をアピールしました。
- ・福利厚生の実施した特養の魅力を実践しながら、人財の確保に努めております。

【研修の実施について】

- ・できうる限り、社内及び社外での研修に参加するように努め、最低 1 回/月の研修参加をすることを目標にしていました。2 月には消防署より来ていただき、心肺蘇生の講習会を実施いたしました。

【利用園児数】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠
0歳児	1		1		1		1		1		1	
1歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2歳児	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
3歳児		1		1		1		1		1		1
小 計	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4
合 計	7		7		7		7		7		7	
	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠
0歳児	1		1		1		1		1		1	
1歳児	1	1	1	1	1	2	1	2	1	2	1	2
2歳児	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3歳児		1		1		1		1		1		1
小 計	3	4	3	3	3	4	3	4	3	4	3	4
合 計	7		6		7		7		7		7	

【研修受講記録】

	研修内容
7月	虐待防止①（内部）
8月	事故防止①（内部）
	嘔吐処理（内部）
9月	保育安全研修
	・事故防止対策について
	・予防接種と感染症対策
	・アレルギー対策
	・再発防止の取り組み
	・乳幼児時期の発達と事故防止
12月	おもちゃ製作A（実習）
	・キャリアアップ研修（幼児教育）
1月	保育理論
2月	事故防止②（内部）
	救命講習
3月	虐待防止②（内部）

【年間行事】

	行 事
4月	-
5月	野菜の栽培
6月	内科健康診断・歯科検診
7月	七夕の会
8月	水遊び
9月	敬老の日
10月	ハロウィン
11月	遠足
12月	クリスマス会・内科健康診断
1月	お正月遊び
2月	節分の会
3月	ひな祭りの会
	お別れの遠足
	お別れ会

【お誕生会】

5月、6月、9月、1月、2月 に実施